

平成 29 年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業

「子どもの自立・自律と共生事業」 報告書

平成 30 年 3 月

特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎
<http://www.chibasha.com/>

はじめに

私たちは、千葉県東金市で「本人の思いや願いを受け止め、生きる力を地域で支える」を理念とした団体を設立し、子どもやお年寄り、障がい者など、地域に住む誰もが住み慣れた家や地域で、これまでの人間関係や生活を維持・継続しながら、自分らしく暮らし続けられる地域社会の実現を目指し、活動を行ってまいりました。

活動を通じて実感することは、公的なサービスや制度からこぼれ落ちてしまう人たち、貧困等の連鎖を断ち切れず苦しんでいる人たちがおり、その影響が子ども達にもおよんでいることです。

そこで私たちは、独立行政法人福祉医療機構の平成 29 年度社会福祉振興助成事業の助成を受け、生活困窮の状態にある世帯の子ども「居場所・学習の場づくり」「個別的な学習支援」「社会・生活等体験学習」等を実施する拠点「学び舎・ゆーすぽーと」を開設し支援に取り組むと共に、東金市や東金市教育委員会等の協力を得ながら子どもと保護者に対し、アンケート調査を行い生活実態の把握と啓発を行ってきました。

この事業を通じて出会った子ども達やその家庭の状態は、子どもやその家族にのみ負わせるべきものではなく、東金市全体で関心を持ち、関わるべきことであり、皆が当事者性をもって取り組むべきものと改めて実感しているところです

この事業により開設した「学び舎・ゆーすぽーと」、実施した実態調査を基に、東金市における生活困窮の状態にある世帯と子どもの将来に向けた、包括かつ連続的な支援を関係機関及び地域と共に深めていきたいと考えております。

最後に、本事業を助成いただいた独立行政法人福祉医療機構をはじめとし、東金市（社会福祉課・子ども課）、東金市教育委員会、東金市内の小中学校・幼稚園・保育所、東金市社会福祉協議会、山武ボランティア協会、地域のボランティア等多くの地域の皆さまの多大な協力により本事業を実施・運営することができましたことに深く感謝申し上げます。

ここに事業の成果をご報告するとともに、今後も「学び舎・ゆーすぽーと」の活動にご理解とご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 30 年 3 月

特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎

代表理事 宮 下 裕 一

「子どもの自立・自律と共生事業」報告書

目 次

序章 事業背景・概要	1
第1章 事業内容・実績	9
1. 常設の居場所・学習の場づくり	
2. 個別的な学習支援の実施	
3. 社会・生活等体験イベントの実施	
4. 相談支援とコーディネート	
第2章 子どもの貧困と学習環境の実態調査	33
第Ⅰ部 調査概要	
1. 調査目的	
2. 調査方法と回収結果	
3. 調査項目	
4. 報告書の見方	
第Ⅱ部 アンケート調査結果	
1. 5歳児保護者アンケート結果	
2. 小学5年生・中学2年生アンケート結果	
3. 小学5年生・中学2年生保護者アンケート結果	
第3章 事業成果	201
1. 子ども・保護者の評価	
2. 子ども達の評価	
3. 報告会の評価	
4. 事業成果のまとめ	
第4章 新たなニーズ	219
終章 まとめ	223
参考資料	227

序章 事業背景・概要

1. 事業の背景・目的

平成 16 年からの東金市での高齢者、障がい者、子どもにかかる活動やサービス提供を通じて見えてきたことは、病気や障がい等により日常生活スキルや対人関係に困難さを抱え、そのことにより生活困窮を招いている人、世帯があること。

東金市がまとめている統計資料によると、市内の生活保護世帯は、この 10 年で 2 倍に増えており、その世帯分類でも高齢者世帯以外の母子世帯等でも 2 倍以上に増えている。この状況から考えるとボーダーの世帯はさらに多いことが予測される。

そのため、当法人では、平成 28 年度より東金市委託事業・生活困窮者自立相談支援事業を受託し、生活困窮者の多様な相談及び支援に取り組んできた。その中で、相談者の世帯にいる子どもへの学習支援や各種生活体験等の必要性を実感するとともに、支援の受け皿整備が急務だと考える。

しかしながら、東金市においては、生活困窮者自立支援法に基づく「学習支援事業」を現時点で実施する予定はなく、また東金市内の多く団体・機関では、経済的な貧困者への支援に関しての理解はあるが、ボーダーの貧困者への理解や支援に関しては、関心が薄れてしまう状況である。

さらに学習支援についても、学力アップというイメージだけが先行してしまうため、貧困世帯の子どもが抱える内面的な弱さ等への理解とかかわり、支援について難しい状況がある。その一例としていえることは、教育関係の事業や子育て支援関係の事業で十分との認識が高い状況でもあり、このあたりの意識転換を図る必要が求められる。

一方で、地域の資源としては、現在東金市内で、教員退職者等の有志メンバーによるボランティアグループがあり、週 1 回程度東金市中央公民館を会場に、意欲のある子ども（会場に来る子）に支援を行っている会がある。当法人としても、その会へ相談者の子どもをつないだりしているが、地域の潜在的なニーズを考えると十分な状況ではないと考える。

このたびの事業では、生活困窮の状態にある世帯の子どもと保護者に対し「貧困世帯の子どもの実態把握」を行いながら、「居場所・学習の場づくり」「包括的な相談支援」「学習支援」「多様な社会体験学習」「地域支援ネットづくり」を取り組み、包括かつ連続的に子どもを支え、子どもの将来の「自立・自律」と共に支え・生かしあう意識づくり、ひとづくり、地域づくりを目的とし実施した。

2. 事業概要

（1）常設の居場所・学習の場づくり

東金市街中心部（東金市東新宿）にある普通の一軒家を賃貸し、居場所と学習の場を開設。

①拠点名称「学び舎・ゆーすぽーと」

※子ども達の育ちの場・拠り所にしたいという思いから命名

②開設日数 週 4 日間

③開設曜日 6 月～8 月：月曜日・水曜日・金曜日・土曜日

9 月以降：月曜日・水曜日・木曜日・土曜日

④開設時間：平 日：15:00～19:00

土曜・祝日：14:00～18:00

長期休業中：9:00～13:00（※夏休み・冬休み・春休み）

(2) 個別的な学習支援の実施

主任コーディネーターとコーディネーターが軸となり、教員退職者や大学生のボランティアの協力の元、子どもの状態に合わせた個別支援を行った。具体的には、各教科の中身を教えるということだけでなく、自ら学ぶことのできるよう、学習の習慣づくりに主眼を置き取り組んだ。

また受験を控えた中学3年の生徒が5人いたため、冬季休みや受験直前には、現役の教員等のボランティアの講師を募るとともに、受験生対象の特別受講等も開講した。

なお、独自事業として、毎回学習終了後に、必要な子どもたちに対し食事提供も行った。

①利用登録人数 25人

紹介先・連携先	東金市役所 子ども課	10人
	東金市内小中学校	4人
	東金ひと・しごと・くらしサポートセンターこころん	3人
	東金市家庭教育相談室	2人
	適応指導教室「ハートフルさんむ」	2人
	ゆーすぽーと（※直接相談があった）	4人

②利用者数 19人

学校種別人数	小学生	9人	(男1人、女8人)
	中学生	9人	(男3人、女6人)
	高校生	1人	(女1人)

③延べ利用数（平成29年6月21日～平成30年3月31日まで）

利用総数	1,296人（延べ人数）
内訳	小学生 568人
	中学生 721人
	高校生 7人

(3) 社会・生活等体験イベント（体験学習）の実施

多様な社会体験や協働作業の体験の機会を得ることにより、生活力やコミュニケーション力等の向上が期待できるため実施。その他、日々の中で、子ども達が家に帰ってからでもできること、将来の個々の生活を見据えた、生活習慣体験を織り交ぜ実施した。

①講師をお願いした体験活動

No.	体 験 内 容	期 日	曜日	活動場所	参加数
1	ブルーベリー摘みとジャム作り	08月07日	月	市内・松之郷	13人
2	木工教室	08月18日	金	ゆーすぽーと	12人
3	さつま芋と落花生掘り	10月09日	月・祝	大網・金谷郷	10人
4	太巻き寿司づくり	10月28日	土	ゆーすぽーと	14人

5	そば打ち体験	11月04日	土	ゆーすぽーと	10人
6	餃子づくり	11月11日	土	ゆーすぽーと	6人
7	ケーキづくり	11月23日	金・祝	ゆーすぽーと	10人
8	餅つき	12月25日	月	ゆーすぽーと	12人
9	恵方巻づくり	02月03日	土	ゆーすぽーと	11人
10	茶道教室	02月24日	土	ゆーすぽーと	11人
11	味噌づくり（国際交流）	03月17日	土	ゆーすぽーと	8人

②その他の体験

- ・豆まき（節分）
- ・雛飾り
- ・調理体験
- ・大掃除
- ・庭の草取り
- ・フリーマーケット
- ・中学3年生の壮行会（中3年生を追い出す会）

③日常の活動を通じた体験

- ・食事の配膳
- ・食事の片付けや食器洗い
- ・学習室やトイレなどの清掃
- ・雨戸の戸締り
- ・布巾やタオルの洗濯
- ・洗濯物の取り込み

（4）子どもの貧困と学習環境の実態調査

東金市における子どもの貧困と学習環境の実態把握を行い、関係者の生活困窮への意識改革に取り組むとともに、今後の具体的な支援策を検討する材料とするため、東金市及び東金市教員委員会、東金市内小中学校、幼稚園、保育園等に協力を得ながら実態調査を実施した。

①調査対象

- 東金市内の保育園所・幼稚園などに通所・通園する全5歳児の保護者（388名）
 東金市内の小学5年生の全児童と保護者（各467名）
 東金市内の中学2年生の全児童と保護者（各494名）

②回収結果

	配付数	回収数	無効票数	有効回収数	回収率
5歳児保護者	388	292	0	292	75.3%
小学5年生	467	385	1	384	82.2%
小学5年生保護者	467	384	2	382	81.8%
中学2年生	494	300	4	296	59.9%
中学2年保護者	494	300	3	297	60.1%
合計	2,310	1,661	10	1,651	71.5%

③調査方法

東金市内の調査対象の世帯に、学校・保育所・幼稚園などを通じて調査票を配付し、留置き後、再度学校等を通じて回収した。

④調査期間

平成 30 年 1 月 29 日（月）～平成 30 年 2 月 19 日（月）

（５）相談支援とコーディネート

生活困窮状態にある世帯又は陥りそうな状況にある世帯の子どもと親への支援を関係機関と連携・協働して実施するため主任コーディネーターとコーディネーターを設置。「①学習と生活全般の相談支援」「②学校及び各種機関・団体との連絡調整」「③学習支援の協力者のシフト調整とリクルートメント」「④社会・生活等体験イベントの企画・調整」「⑤社会・生活等体験イベント協力者募集」「⑥親の養育支援」「⑦その他、学習支援等のフォロー」等の業務にあたった。

1) コーディネーター

①体制（基本３人体制）

主任コーディネーター	1 名（男性） ※元 教員、生活困窮者自立相談支援事業・相談員
コーディネーター	4 名（男性 1 名、女性 3 名） ※元 教員、家庭相談員

②雇用期間

平成 29 年 6 月～平成 30 年 3 月

2) 学習支援・調理担当ボランティア＞

*学習支援ボランティア

登録者数 31 人（内訳：大学生 13 人、元教員 4 人、現職教員 7 人、会社員 7 人）
延べ参加人数 132 人

*調理ボランティア

登録者数 35 人
延べ参加人数 165 人

3) 食事提供

「ゆーすぽーと」へ来る子ども達を包括的にサポートするため学習支援の後食事提供を行った。

(6) 運営委員会の設置

この事業を円滑かつ効果的に実施するために、連携団体を中心とした運営委員会を開催した。

①運営委員会

[委員]

No.	所属・団体名	氏名
1	学び舎・ゆーすぽーと	藤田 実
2	山武ボランティア協会	西 芳秀
3	城西国際大学社会福祉学部	篠崎 良勝
4	淑徳大学社会福祉学部	山下興一郎
5	社会福祉法人東金市社会福祉協議会	北田 兼久
6	東金市市民福祉部こども課	
7	東金市市民福祉部社会福祉課	
8	東金市教員委員会	

[事務局]

特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎 代表理事 宮下裕一
事務局長 太齋 寛
総合施設長 齊藤 操
総務企画課 川島悠季

開催日：平成 29 年 8 月 30 日 15：00～16：30

場 所：学び舎・ゆーすぽーと内

出席人数：7 名

議 題：a. 現況報告について

b. 支援者確保について

②ボランティア・サポーター運営会議

開催日：平成 29 年 11 月 25 日 19：00～21：00

場 所：学び舎・ゆーすぽーと内

出席人数：29 名

議 題：a. 支援方針及び子ども達状況について

b. シフト等調整について

c. 関係づくりのための交流会

(7) ミニシンポジウム・報告会の開催

①中間報告会

日時：平成 29 年 11 月 17 日 13：00～16：00

会場：東金市ふれあいセンター 視聴覚室

内容：a. 基調講演「子どもを取り巻く状況と子どもの貧困」

b. 実践報告「学び舎ゆーすぽーとの活動報告」

c. 質疑・ディスカッション

人数：21 人

②報告会

日時：平成 30 年 3 月 8 日（木） 14：45～16：30

会場：東金市ふれあいセンター 栄養指導室

内容：a. 基調講演「子どもの貧困の支援に向けて

～相談・居場所・学習支援を通じて感じること～」

b. 「学び舎・ゆーすぽーと」の活動報告

c. 子どもの生活に関する実態調査の概要報告

人数：41 人

(8) 報告書の作成

報告書を 100 部作成、東金市・東金市教育委員会等行政機関及び東金市内の小中学校、幼稚園、保育園、その他、ご協力いただいた機関、団体等に配布。

第 1 章 事業内容・実績

1. 常設の居場所・学習の場づくり

(1) 拠点名称「学び舎・ゆーすぽーと」

※子ども達の育ちの場・拠り所にしたいという思いから命名

(2) 開設日数と曜日

①開設日数 週4日間

③開設曜日 6月～8月：月曜日・水曜日・金曜日・土曜日

9月以降：月曜日・水曜日・木曜日・土曜日

当初は金曜日を開設日にしていましたが、市内の学校すべてが木曜日に職員会議や職員研修日に充てていて早帰りが多いことがわかり、金曜日を休みにし、利用しやすい木曜日を開設日とした。

(3) 開業時間

平日：15:00～19:00

土曜・祝日：14:00～18:00

長期休業中：9:00～13:00（※夏休み・冬休み・春休み）

拠点の開業時間を14時や15時に設定し周知しているにも関わらず、開業時間1時間前から待っている子ども達も度々おり、より早い開業時間も検討したが、時間は変えず、コーディネーターが、原則1時間前に待機するようにだけにした。

（その理由は…）

ある日、コーディネーターが開業時間より少し遅れて到着すると、玄関先にしょんぼり座っている子どもがいた。遅れてしまったことにより、不安を与えてしまったのかな？と思い、急いで玄関の鍵を開けた途端「友達とのことについて相談してきた」話を聞いていてわかったことは、他の子達が来る前にコーディネーターに相談をしたかったのだということ。

営業時間が、表向きのもとの、裏向き（個別なもの）が必要だということを改めて実感させられた

(4) 一日の流れ（平日版）

14:00 コーディネーターの準備の時間&（裏向き・個別対応の開始時間）

15:00 子どもたちは学校及び自宅からそれぞれ集合（表向き：開始時間）

15:00～18:00 学習や体験活動の時間

18:00～18:30 夕食

18:30～19:00 夕食の後片付け、清掃

19:00 帰宅

平日は、学校の終業時刻が遅いことや委員会活動や部活動などの課外活動に参加してから利用する子どもが多いため、全員が揃って始まることはほぼなかった。揃って始まったのは体験

活動日くらいであった。それも会場を移す体験活動のため、マイクロバスの出発時刻が決まっていたためであり、そのとき以外はほぼなかった。

通ってくる時間が遅く、学習時間が 30 分程度と短い子ども、中には食事時間ぎりぎり間に合う子どももいた。食事中やその後の片付けの時間を通してのコミュニケーションが「子育て」に大変重要と考え了解している。

日常で繰り広げられている食事中の楽しい会話、後片付けで、皿を洗う子ども、それを布巾で拭き取る子ども、食器棚に整頓してしまう子どもなど、男女や年齢の壁がない連携プレー中で交わされる会話などを通して多くを学び、体得しているように思われる。楽しい会話を交わしながらの共同作業は、子どもたちの役割分担の中で一番楽しく・充実しているように見える。

土曜日・祝日は、開始時間・食事・帰宅がそれぞれ一時間早まり、長期休業中の期間は昼食を食べて帰宅になる。

体験活動は子どもたちの通所可能時間がそろいやすく、講師の方々の都合にも合わせやすい土曜日・祝日や長期休業中に実施した。しかし、学年を揃えての集中学習、特に受験生にとっても集まりやすい土曜日・祝日などはその日程の調整に苦労した。

(5) 居場所

ここに通ってきている子どもたちの住まいは、ほぼ借家で狭いスペースで生活していて、学習空間が確保されていない子どもが多い。加えて、整理整頓がされていない俗にいう「足の踏み場がない状況」の中で暮らしている子どももいる。母子家庭で保護者の母親が精神を患っていて親の精神状態に振り回されている家庭や母親が長期に家を空けている家庭もあり、精神的に不安を抱え、満たされていない子どももいる。

そんな子どもたちにとって彼らの家庭の代わりを果たし、全てを満たしてあげることはできないが、無条件に受け入れてくれるおじいちゃんおばあちゃんの家、おじさんおばさんの家のような存在でありたいと願ってきた。

だから一般的な家のたたずまいを大切にし、一般的な家庭の習慣を心がけている。幸い、お借りしている物件は、昭和の一軒家でそのままおじいさんおばあさんの家の雰囲気が漂っていて、子どもたちにとってはくつろげる場になっているように感じる。

子どもたちには経済的に困っている家庭の子どもが通っている場だとは正面から説明していないが、互いにその事情を察しているようで、「ゆーすぽーと」では何を話しても良い場になっているようだ。学校では絶対に話さないであろうと思われるようなそれぞれの家庭の事情をあからさまに言い合っている。胸のつかえを吐き出し、互いに共感して、解放感を感じているように思われる。



後に掲載した「利用者の感想」の中に、中2の女の子が「得ることができたものがたくさんあります。・・・数ある中でも、特に得ることができたのは自分の居場所です。たくさんの人に出会い、たくさんの仲間である味方ができました。自分のことを認めてくれる人や相談を聞いてくれる人、自分のことを叱ってくれる人、いっぱい出会いました。そんな人たちと関係を築いていくうちに飾らない自分でいいんだと感じました。・・・自然体でいられます。」とストレートに私たちの考える「居場所」を語ってくれていて、一定の役割が果たしているかと思われる。

2. 個別的な学習支援の実施

主任コーディネーターとコーディネーターが軸となり、教員退職者や大学生のボランティアの協力の元、子どもの状態に合わせた個別支援を行った。具体的には、各教科の中身を教えるということだけでなく、自ら学ぶことのできるよう、学習の習慣づくりに主眼を置き取り組んだ。

また受験を控えた中学3年の生徒が5人いたため、冬季休みや受験直前には、現役の教員等のボランティアの講師を募るとともに、受験生対象の特別受講等も開講した。

なお、独自事業として、毎回学習終了後に、必要な子どもたちに対し食事提供も行った。

(1) 利用実績

①利用登録人数 25人

紹介先・連携先	東金市役所 子ども課	10人
	東金市内小中学校	4人
	東金ひと・しごと・くらしサポートセンターこころん	3人
	東金市家庭教育相談室	2人
	適応指導教室「ハートフルさんむ」	2人
	ゆーすぽーと（※直接相談があった）	4人

「ゆーすぽーと」の利用は、他機関からの紹介が原則となっていて直接受け付けることはないが、すでに利用受付をしている家庭の兄弟関係に限って直接受けているため、「ゆーすぽーと」が4人になっている。

②利用者数 19人

学校種別人数	小学生	9人	(男1人、女8人)
	中学生	9人	(男3人、女6人)
	高校生	1人	(女1人)

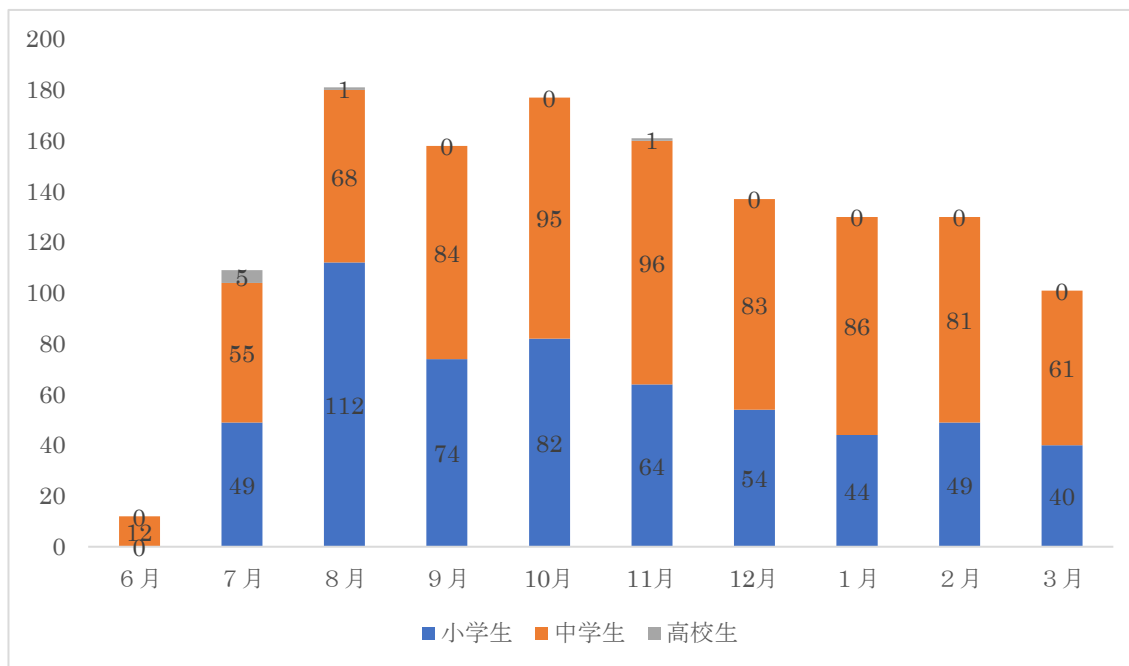
③延べ利用数（平成29年6月21日～平成30年3月31日まで）

利用総数	1,296人（延べ人数）
内訳	小学生 568人
	中学生 721人
	高校生 7人

高校生の利用は、小学生の利用者の保護者から「高校生の娘が中退をしたがって、すでに担任にも伝えてあるけれどどうしたらよいだろうか」と相談されて、利用を勧めたものであった。半月ほど通ううちに、高校での部活動に意欲を示したので、高校生活を継続することとなった。

規則正しい生活を送り、同じくらいの年齢の子どもと率直に意見交換をすることで、意欲を回復し、気持ちを切り替えることができたのではないかと推察している。その後一回顔を見せたが元気に学校に通っている様子であった。

④月別利用者数



月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
延べ人数	12	114	181	158	192	161	137	130	130	101
平均人数	2	6.3	11.3	10	11.2	10.1	8.6	8.1	8.1	7.2
開設日	6	18	16	16	17	16	16	16	16	14

6月、7月は関係機関への周知活動中で人数が少なくアットホームな状況が続いていたが、夏休みを迎える7月中旬から問い合わせが多くなりだした。利用のための面接が相次ぎ、夏休みに入ると同時に利用者が一気に増加した。「中学3年生の受験対策の勉強の場」として、「長期休業中の生活の乱れへの心配」、「給食がない期間の栄養状態への心配」などの理由が多いためである。

また、様々な体験活動が企画されていた10月、11月の利用も多かった。日没が早まり寒くなってきた秋口から小学生の利用が大きく減ってきた。小学生の利用の条件に日没後は保護者の送迎をお願いしていたこともあり、病気を患う保護者が送迎できなくなってきたことも影響している。中学生は受験を控えた3年生が多かったり、2年生がそれに刺激を受けて意欲的になったりして、寒さに耐えてよく頑張ったため利用者数が減らなかった。3月は卒業式など学校行事が多かったことと、受験生の利用が終わったことや課題のない長期休業のため利用者数が減った。

④開設回数（平成 29 年 6 月 2 1 日～平成 30 年 3 月 31 日まで）

総開設回数	151 日
月平均開設数	15 回

⑤開設日平均利用者数 8.5 人

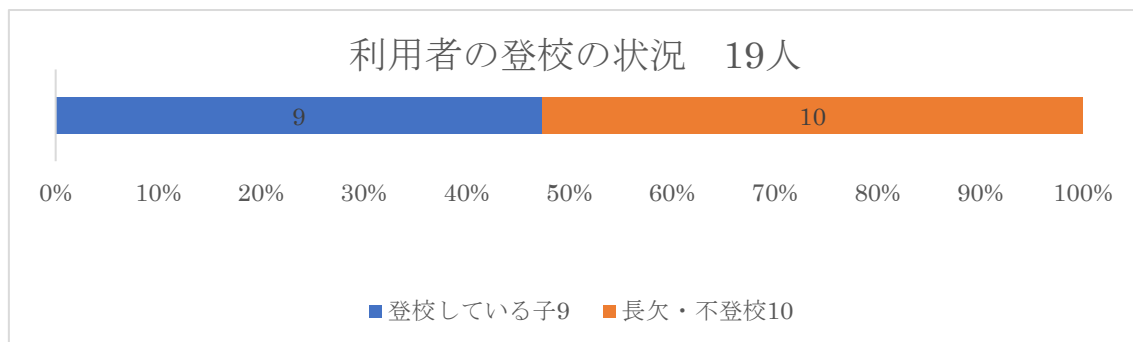
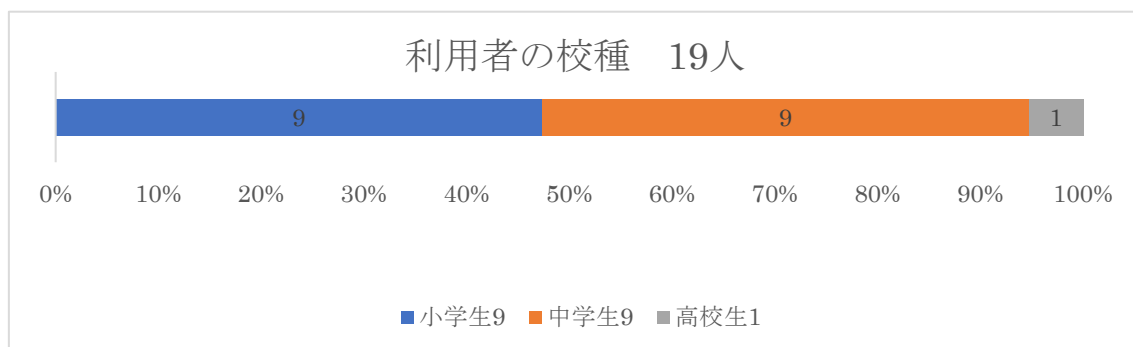
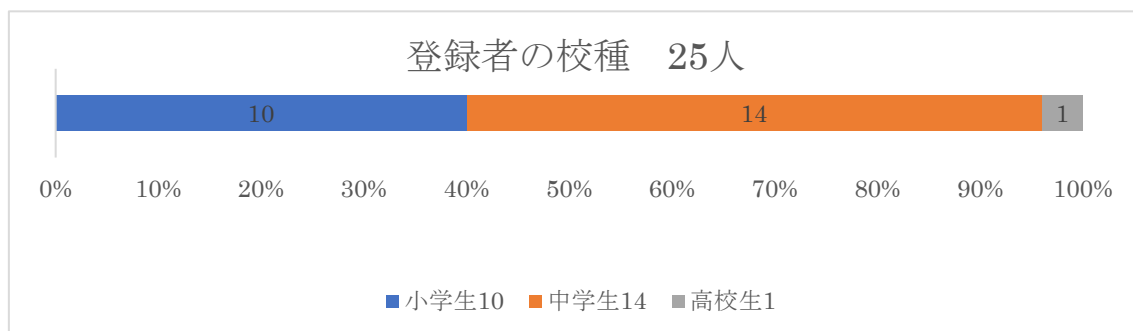
⑥一開設日の最大・最少利用者数

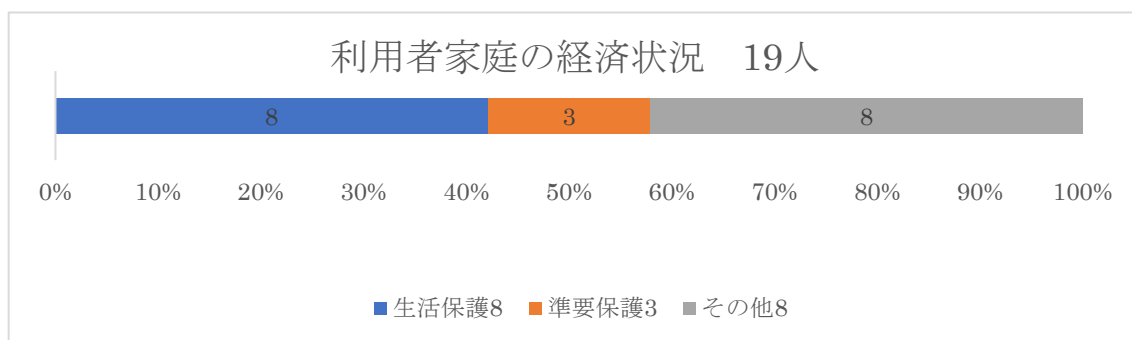
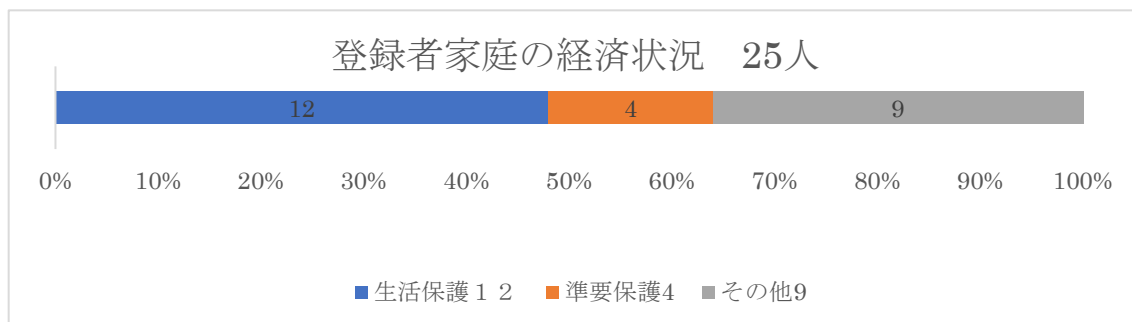
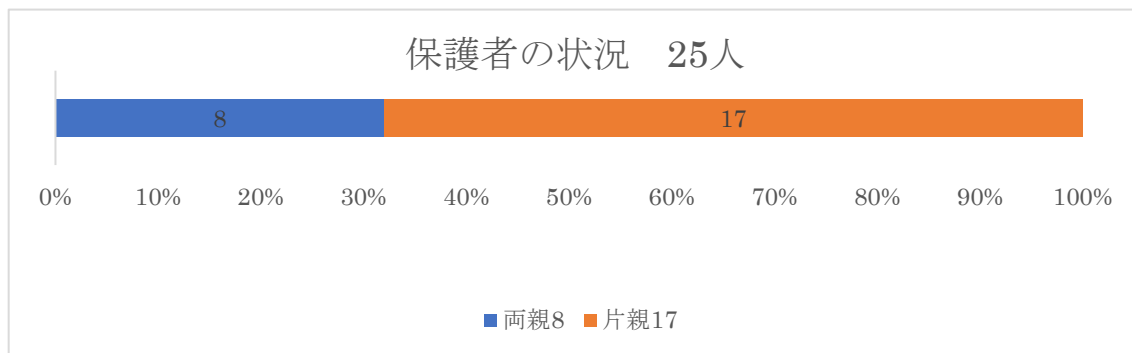
最大利用者数	15 人
最少利用者数	1 人

⑦利用者の通所方法（主な方法）

・徒歩	5 人
・自転車	9 人
・車・自転車での送迎	2 人
・電車（時々自転車）	1 人
・片道徒歩、片道送迎	2 人

（2）利用している子ども・家庭の具体的状況





利用の条件の一定の目安として、生活保護家庭と準用保護家庭の子どもたちを対象にしていることを、東金市や東金市教育委員会、各種相談機関などのつながりの機関に周知しておいた。当初の利用者は、ほぼその基準内の家庭の子どもたちだったが、徐々に基準外の子どもたちにも門戸を広げざるを得ない状況になってきた。掘り起こしていくと、基準を超える収入がありながら保護家庭の子どもたちより厳しい経済状況に置かれている子どもがいることがわかった。そんな家庭の子どもで、友達の家を転々として夕食をたべさせてもらっている子どもの紹介があったり、DV を受けていて少しの間だけでも母子を分離して母親に精神的ゆとりが必要な家庭等が紹介されてくるようになってきた。

「ゆーすぽーと」を利用している半数以上の子どもが不登校や、現在は登校できていても過去に不登校の時期を経験している子どもが多い。そのため、本来学ぶべき単元や分野がそっくり抜けている例が多く、全体的に学力が低いため、自学につながらない子も多い。現在の学年より前の学年の学習を理解していないため、前学年の学習の援助が必要と思われたが、他の子どもの目を気にして拒否する例も多くあって困った。個別ブースでの学習も必要というケースもあったが、それには支援の手が不足している。

(3)学習支援の内容

①日々の活動

原則として自主学習を基本として学習習慣の定着を目指すことに主眼を置いた。自主学習の中身は、宿題をやる、自身で持ち込んだ問題集を解く、読書をする、学習漫画を読むなどなんでも可とした。中学生にはパソコンを備えて、授業形式の学習を学べる環境を用意した。その過程で、コーディネーターに支援が必要な子どもは自ら声をかける仕組みをとった。

しかし、「子どもの具体的状況」の項で触れたように利用者の中に不登校の子どもが多いため、宿題はないし、読書の習慣もないし、そもそもそれぞれの教科の基礎知識が身につけていないため自主学習が困難な子どもが多くいた。そのため、それぞれの子どもの学力に見合ったプリントを準備して学習させることが多くなっていった。必然的に個々の子どもへの支援の時間が多く必要になってきた。読書も、とりつきやすいように絵本など読みやすいものをそろえていった。

それぞれの意思で行う活動を尊重することにしてきたが、限られた空間であることや、小学生の集中力の限界を考慮して一定の目安「時間割表」を作って、それを掲示して行動を促すようにした。

ゆーすぽーとの時間割表		
学習タイム①	15:05～15:50	勉強・読書など
休　　憩	15:50～16:10	トイレ・お茶
学習タイム②	16:10～16:55	勉強・読書など
休　　憩	16:55～17:10	トイレ・お茶
学習タイム③	17:10～18:00	勉強・読書など
夕　　食	18:00～18:30	
片付け清掃	18:30～18:55	
帰　　宅	19:00	
平日版		

学習タイムを3コマもとっていたが、下校時間が遅く、その上まちまちで小学生で2コマ、中学生になると1コマも確保できないことが多かった。3コマが確保できたのは不登校の子どもが時々高校進学を意識して意欲的になったときと学校が早帰りの時にあった程度である。

時間の経過とともに休憩時間を取って解放感を味わっておしゃべりをしたり、鬼ごっこに興じたりすることもいつの間にかなくなってきた。時間割にとらわれず、周囲に気を配りながら自然体で話をしたり、遊んで過ごしたりするようになってきていた。時間割の掲示を外しても誰も気づかずそのままになり現在に至っている。

ここで学習したプリントなどの成果物は、個人用のファイルに綴じこんで保存していった。学習によく取り組んでたくさんのプリントをやった小学5年生の女の子は、厚い3冊のとじ込みファイルを抱えて満足げな表情を作っていた。一方、薄い一冊のファイルの子どももいた。また、一日の終わりに、その日取り組んだ学習などの内容とその感想や学習以外の感想などを何でも一言記録する「今日の成果」のタイトルのファイルに記録することも習慣化するように促した。

(学習環境と学習の様子)



②受験生に対する対応

利用者のうち5人の中学3年生が受験を控えていた。受験ということで親やつなぎの機関の配慮で利用するようになったのだが、本人たちには全くと言ってよいほど当事者意識がなく、のんびりと構えて過ごしていた。

全体的に学力が低く、黙っていると5人中4人がほぼ毎日漢字の書き取りだけという状態だった。学習中につかえて先に進めないことがない漢字の書き取りは家でもできるのだから、解らないことがあったら教えてもらえる教科に取り組むよう、プリントを用意して渡した。しか

し、渡されたプリントに頼り切り、それ以上に発展する様子も、家庭学習に取り組んでいる様子も見られず全くの他力本願であった。

それでも、学校で進路面接が重なったり、校外模試の案内が届いたりして周囲が動き出すと、さすがに本人たちも気になり始めたようである。問題集を買ってもらったり、校外模試を申し込んだりするようになってきて、いくらか受験生らしい雰囲気を醸すようになっていった。そのタイミングで受験対策用の集中授業を提案したところ、揃って同意したため、実施することにしてボランティアの講師集めの準備を始めた。内容は以下のとおり。

〈受験生対象の特別授業予定 改訂版 12月27日〉

12月9日(土)	14:00～16:00	理解	岡先生
12月16日(土)	14:00～17:00	社会	藤田
12月20日(水)	14:00～17:00	数学	四之宮先生
12月23日(水)	9:00～12:00	理科	岡先生
	13:00～16:00	社会	藤田
12月25日(月)	14:00～17:00	英語	上江先生
12月27日(水)	9:00～12:00	数学	四之宮先生
	14:00～17:00	理科	澤畑先生
12月28日(木)	14:00～17:00	国語	花澤先生
1月4日(木)	9:00～12:00	数学	池田先生
	13:00～15:00	英語	上江先生
	15:00～17:00	社会	藤田



3. 社会・生活等体験イベントの実施

多様な社会体験や協働作業の体験の機会を得ることにより、生活力やコミュニケーション力等の向上が期待できるため実施。その他、日々の中で、子ども達が家に帰ってからもできること、将来の個々の生活を見据えた、生活習慣体験を織り交ぜ実施した。

①講師をお願いした体験活動

No.	体 験 内 容	期 日	曜日	活動場所	参加数
1	ブルーベリー摘みとジャム作り	08 月 07 日	月	市内・松之郷	13 人
2	木工教室	08 月 18 日	金	ゆーすぽーと	12 人
3	さつま芋と落花生掘り	10 月 09 日	月・祝	大網・金谷郷	10 人
4	太巻き寿司づくり	10 月 28 日	土	ゆーすぽーと	14 人
5	そば打ち体験	11 月 04 日	土	ゆーすぽーと	10 人
6	餃子づくり	11 月 11 日	土	ゆーすぽーと	6 人
7	ケーキづくり	11 月 23 日	金・祝	ゆーすぽーと	10 人
8	餅つき	12 月 25 日	月	ゆーすぽーと	12 人
9	恵方巻づくり	02 月 03 日	土	ゆーすぽーと	11 人
10	茶道教室	02 月 24 日	土	ゆーすぽーと	11 人
11	味噌づくり（国際交流）	03 月 17 日	土	ゆーすぽーと	8 人

全 10 回の予定であったが、「さつま芋と落花生掘り」体験を講師の方のご厚意により無償で実施することができたため、11 回の体験活動を実施することができた。また、すべての講師の方が、善意で材料費込みの講師料で実施してくださった。

人という面では 11 回の講師の他にその家族、お手伝い役の講師の友人など、たくさんの人たちと交わり会話を交わすことができた。しかし、さまざまな場での体験という意味では、多彩な設定で実施したかったが、時間と移動手段の制約があったため、「ゆーすぽーと」を会場に実施することが多くなってしまった。

講師の方々の多くは調理ボランティア、学習支援ボランティア、物品提供を通して知り合った方々で、皆さんが秘められていた特技を生かして取り組んでくださった。ボランティアの機会を通してすでに子どもたちとも顔見知りだったので、馴染むことが早く充実した体験活動になったように感じられる。

味噌づくりの際には城西国際大学のハンガリーとスロバキアからの留学生が飛び入りで参加してくれて、思わず貴重な国際交流の体験にもなった。二人とも日本語が堪能で、子どもたちは興味津々でお国のことを質問していた。

体験活動後は、一部時間の制約やコーディネーターの失念で漏れてしまったこともあるが、できるだけ感想を綴ってもらってきた。体験を通して彼らが豊かに感じてくれたことを少し紹介したい。こうした体験がいつか学力を支えるバックボーンになってくれることを願っている。

[体験活動の子どもたちの感想]

- ・ジャムのあじは、ブルーベリーもいっぱい入ったし、レモンを入れたのにすっぱくなかったのには、びっくりしました（小2）
- ・灰汁が出てきて、出てきた灰汁をなくなるまで、取り除きました。ガスコンロからの火の熱で、汗だくになりながら取り除き、ジャム作りの中で一番大変な作業でした（中3）
- ・落花生を~~4~~つむのが大変でした。とくに、落花生のねっこを持ち、ひっばるのがすごく大変でした（小5）
- ・らっかせいのほりかたは、上下にふって、ひっばってのくりかえしでした（小2）
- ・ふとまきずし作りをしました。はじめの「くまさん」はむずかしかったです。かおのパーツがむずかしかったです。でも、切ってみるとすごくきれいでした（小2）
- ・形がくずれてしまいましたが、でも、切ってみると顔がくっきりしていて、うれしかったです。他のみんなも上手にできていて、私より年下なのにすごいなと思いました（中2）
- ・食べた感想は、正直に言うとても酸っぱかったです。私はとても酢の物が苦手なのですが、自分が作った太巻き寿司なので食べようと思いました（中2）
- ・少しずつ水を加えることにより、粉がきんいつになるのは、目からうろこでした。そして、丸い形を四角に変えるのは大変そうだなと思ったけれど、5分くらいでひし形になって、もう2分で四角になったのにはおどろきでした。ちなみに、新そば粉の香りはピーナツでした。とてもいい香りだと思います（中2）
- ・なぜ小麦粉を入れるかというと、そば粉だけではうまくくっつかないみたいです。そばを食べてみて、スーパーに売っている物と比べ物にならないくらい美味しかったです（中3）
- ・一口食べた時、とてもおいしかったです。自分で作ったデコレーションがすごくかわいいと思いました。自分で作ったらおいしかったです（小5）
- ・最初にケーキのスポンジを作りました。私は、卵の黄身だけをボウルの中に入れてまぜました。楽しかったです。兄のまぜているところを見てすごいなと思いました。ケーキを作るのは初めてだったので、今度は家で作ろうと思いました。今までは、買ったりもらったりしていたので、いい体験でした（小5）
- ・デコレーションはとてもたのしかったけど、デコレーションするとバランスがくずれてケーキがたおれそうになりました。でも、生クリームでバランスが良くなりました。とてもおいしかったです（小3）
- ・みんななっとうをいっぱい食べました。私は、なっとう2こ、きなこ1こ食べました。友だちは、なっとうを11こ食べました。すごかったです。わたしは3こでおなかがいっぱいになりました（小2）
- ・後日、自分たちが作ったおもちで、お雑煮としてでてきました。私の家のお雑煮と全然違って驚きました（中3）
- ・おもちのしゅるいが「なっとう」「きなこ」「あんこ」「からみ」がありました。わたしの好きなランキングは、1位からみ、2位なっとう、3位あんこ、4位きなこでした（小2）
- ・講師の足立先生は、私とは違い、一つ一つの行動が穏やかで、外国の人が理想とする日本人のようでした。私も、日本人らしさをもっと身に付けていくために、背筋を伸ばしたり、手を膝におくこと、そして、相手を思いやる気持ちを持ち、これからは生活しようと思います（中2）

- ・体験中にはみんな、足立さんに何度も細かく注意されました。注意をされているとき、早くしてほしいと何度も思いました。ですが、先生もそのたびに「心をこめて」と私たちに言ってきました。私は心を込めて作ったり、飲まないと相手の方に失礼だと改めました。態度を改めた後飲んだ抹茶はとてもおいしかったです（中２）
- ・体験する前まで味そは、作ったらすぐ食べられると思っていて、半年ぐらい発酵させておくということを初めて知りました。毎日当たり前に使っていた味そが半年以上もかけて作られていると思うと、すごいなと感じました（中２）
- ・体験中、甘酒を飲ませていただいたり、お豆の煮汁を飲ませていただいたり、ゆでたての大豆を食べさせていただけました。どれも初めてで、とても変わった味がしました（中２）





②その他の体験

- ・豆まき（節分）
- ・雛飾り
- ・調理体験
- ・大掃除
- ・庭の草取り
- ・フリーマーケット
- ・中学3年生の壮行会（中3年生を追い出す会）

◆子ども達との会話・関わりから生まれた体験学習◆

その1 「得意な料理」を子どもたちに聞いたことがある。その時に耳にした「カップ麺の絶妙な仕上がり時間なら任せてください」という。母親が不在のことが多く普段は冷凍食品やカップ麺を多く食している中学2年生の女の子の言葉が気にかかっていた。それならと、子どもたちが普段食えることが多いインスタントラーメンをバランスのとれた食事にするための調理教室を開催した。たくさんの種類の刻み野菜とゆで卵、生卵、のり、ハムなどのトッピング素材を用意して、野菜は3種類以上、卵はゆでたものか生を必ず入れるように条件を出して、あとは自由に作る体験を何回か実施した。

その2 提供物品の子どもサイズの洋服や靴、キャラクター付きのタオルなどを部屋中に展示して子どもたちに選んでもらう「フリーマーケット」も体験をした。くじ引きで順に選ばせたが、少ない子で3巡、多い子は5巡した子もいて、大きな袋を抱えて嬉しそうに帰宅していった。たくさんの中から選び決断する行為は貴重な経験だったと感じられる。

その3 中学3年生の壮行会を「追い出す会」のネーミングで実施した。中学2年生が企画して下級生を引っ張って準備し、当日は進行を仕切った。5人の3年生から2年生2人へのバトンタッチで少し不安だったが、しっかり「ゆーすぽと」の伝統らしき「みんな平等、他人を労わる気持」を大切にしたい会にして盛り上げてくれた。卒業生全員が心から喜び、感謝し涙ぐんでお礼の挨拶をしていた。

③日常の活動を通した体験

- ・食事の配膳
- ・食事の片付けや食器洗い
- ・学習室やトイレなどの清掃
- ・雨戸の戸締り
- ・布巾やタオルの洗濯
- ・洗濯物の取り込み



最初は求められて少しの手伝いから始まった活動が、今ではほとんど自発的に子どもたちで手分けをして行っている。上級生から下級生にそれぞれのやり方が手ほどきされて、確実に伝授されてきている。この、日常のさりげない活動こそが、子どもたちの自主性、協調性を育てる有効なツールになっており、大事にしていきたい部分である。

4. 相談支援とコーディネート

生活困窮状態にある世帯又は陥りそうな状況にある世帯の子どもと親への支援を関係機関と連携・協働して実施するため主任コーディネーターとコーディネーターを設置。「①学習と生活全般の相談支援」「②学校及び各種機関・団体との連絡調整」「③学習支援の協力者のシフト調整とリクルートメント」「④社会・生活等体験イベントの企画・調整」「⑤社会・生活等体験イベント協力者募集」「⑥親の養育支援」「⑦その他、学習支援等のフォロー」等の業務にあたった。

(1) 体制

5人のコーディネーターでシフトを組み、常時3人以上で子どもたちを迎えるようにした。シフトの関係で4人体制を組まなければならないことがあるので、足りない時は法人内の事務所よりサポートを入れて必ず3体制を組んだ。

①メンバー

役割	氏名	資格・経験
主任コーディネーター	藤田 実	教員、生活困窮者自立相談支援事業・相談員
コーディネーター	積田 隆夫	教員
コーディネーター	福島 邦英	教員
コーディネーター	今井 静子	教員、家庭相談員
コーディネーター	中村 優希	教員

※コーディネーター補助メンバー 川島悠季、鈴木麻奈美

②雇用期間

平成 29 年 6 月～平成 30 年 3 月

(2) 相談支援・コーディネート

①子どもと保護者への関わり対応

小学生には相談支援のための特別の体制をとることはなかったが、子どもたちの表情を注意深く読み取ったり、小さなつぶやきに耳を傾けるようにしたりして、気になる子どもにはタイムリーに声をかけ、相談に乗るようにした。

中学生は進路相談を兼ねて定期的に相談してきた。その中で学校や家庭での悩みを拾って相談に心がけてきた。

保護者の相談も受けていたが、子どもたちの対応に追われてしまい、ゆっくり時間をかけて相談に乗る体制は不十分であった。子どもたちの安定には、親の悩みをしっかり受け止めることが重要だと理解しているからこそ、歯がゆい面があった。休日の電話相談が何回かあったが、それには、時間をかけて対応することができた。

②関係機関との調整

東金市こども課、社会福祉課及び東金市教育委員会、その他各種機関団体に、時間の合間、又は「ゆーすぽーと」が休業の日、営業時間前等を利用しこまめに訪問し、ゆーすぽーとの説明を行った。依頼や案内等は、必ず直接伺って説明し、協力を取り付けるように心掛けた。

また、機会あるごとに、「ゆーすぽーと」へ来ることを促してまずは見てもらうこと、体感してもらうことを大事にした。

現役の教員等には、合間を見て学習支援ボランティアを積極的に促し、実際に冬休み等の期間にボランティアとして協力いただいた。

子どもをつないでいただいた機関や団体には、子ども様子等を適宜伝えるようにした。

③地域・ボランティアとの調整

子ども達を今後も継続的に支えていくためには、「ゆーすぽーと」の維持・継続・発展が不可欠である。そのためには、地域やボランティアの協力は不可欠なものである。

また、信用できる人、多様な技能や知恵を持った人達との関わりにより子ども達の人間性やコミュニケーション力が広がること見込めるため、そうした人達がボランティアとしてかわってくれることはとても重要である。

一方で、地域やボランティアへの伝え方、子ども達との出合わせ方を誤ってしまうと、生活困窮者への理解やあるべき支援はより遠のいてしまいかねないので、広報の仕方・ボランティアの入れ方、子ども達との関わりには、細心の注意をはかった。

④広報啓発等

a. 関係機関への広報

市内小・中学校、市役所子ども課・福祉課、市教育委員会、広域行政組合教育委員会研究所、社会福祉協議会、家庭教育相談室、適応指導教室「ハートフルさんむ東金教室」など関係する機関に「ゆーすぽーと」のチラシを持って説明に伺った。

b. 外部団体の説明

- ・ 8 月 25 日 九十九里コミュニティヘルスケアセミナーに参加
城西国際大学主催のセミナーで、「ゆーすぽーと」を会場提供。
- ・ 12 月 13 日 東金市小・中学校長会に参加。
「子どもの生活実態調査」の協力依頼と「ゆーすぽーと」の現状報告
- ・ 12 月 21 日 東金市主任児童委員部会会議に参加
1 時間の講演で「ゆーすぽーと」の活動を紹介

c. 施設見学

広報の意味で、積極的に施設を開放して見学してもらっている。「見学者」と正式に日誌に記載されている人は 20 人以上。ボランティアや打ち合わせなどの業務で来所した人も合わせると 100 人ほどの人に活動を見ていただいていると思われる。

(3) 食事の提供

食事提供は開設からやや遅れて7月12日から開始した。それ以降は、数食の欠食くらいで、ほぼ出席数イコール食数となっていて1,270食の提供は確実である。

週4回、夕食あるいは昼食として食事を提供してきた。保護者が頑張って食事を作り、一緒に食べることで、親から受ける愛情や交わされる会話など家庭の機能を守るという意味で、週の半分以上も食事の提供をすることに迷いがあった。途中の変更を視野に入れて開始した。しかし、後掲のアンケート結果にもあるように、子どもたちも保護者もたいへん喜んでくれていたので変更できずに続けた。

「ゆーすぽーと」を利用する子どもたちの家庭環境が徐々に明らかになってきたが、栄養面・精神面において、ほとんどの子どもにとっても食事提供は必要だったと認識している。調理を手伝い、配膳し、それを感謝して一緒に楽しい会話をしながら食べて、みんなで協力して片づける、この過程が子どもたちの成長面で大きな役割を果たしたことも間違いない。子どもたちとの関係性を深める有効なツールにもなっており、これからも運営面で欠かせないものであった。また、ボランティアに来てくださった多くのおばあちゃん、おばさん、お兄さんお姉さんの存在の人たちとの出会いと触れ合いも、子どもたちにとっては欠かせない要素であった。

栄養面でもバランスのとれた食事ができて、子どもたちに良い影響をもたらしたと推察する。インフルエンザ以外に罹患する子どもが少なかったように感じる。ただ、美味しくて競うようにおかわりを繰り返していて、肥満を心配するほどだった。たっぷり食べることができる経験が続き、今ではすっかり落ち着いて適量の食事になってきている。

「子ども食堂」は多くの人たちにとって、特に女性の皆さんには強い関心を示されるキーワードになっており、主婦の皆さんにとってはハードルが割合低く、ボランティア活動の一步になりやすいのではないかと感じられる。支援体制の項で示したように35人もの多くの方に参加していただいた。延べにすると165人で、平均すると毎回ボランティアがいてくれた勘定になる。

たくさんの支援者から旬の地産野菜が届けられて、毎食野菜料理がどっさり食卓に上っている。野菜が高騰した際にも途切れることなく子どもたちは野菜をふんだんに食することができた。野菜嫌いや特定の野菜が嫌いという子どもが多かったが、様々にアレンジされて出てきているうちに次第に口にできるようになり、現在はほとんどの子が克服しつつあるように思う。集団で食べていることも効果が大きいのかもしれない。

果物も支援者やコーディネーターの家庭で採れたスイカや柿、ぶどう、栗などほぼ連日食卓をにぎわしていた。「またスイカ」と子どもたちの声上がるほどだった。いただいたからお裾分けと梨や桃を届けて下さったり、わざわざ買ったミカンを持ってきて下さる人もいた。

栗ご飯、たけのご飯、旬の野菜のかき揚げ丼など旬の食材を使ったその季節ならではの食事も多く提供されている。新米もいち早くいただくことができた。米を楽しむために子どもたちみんなでおにぎりを結んで食べた。ここに通う子どもたちこそ、誰よりも季節を先取りした、そして、新鮮で贅沢な食事がたべられているのではないかとすら思う。加えて子どもたちの健康に配慮した有機無農薬野菜を栽培しておられる団体からもたくさんの野菜を頂戴している。





(4) 学習支援・調理担当ボランティア

①学習支援ボランティア

登録者数 31 人

(内訳：大学生 13 人、元教員 4 人、現職教員 7 人、会社員 7 人)

延べ参加人数 132 人

受験生が 5 人いたこともあり、直近の進路情報確保のため現職教員にもボランティアで学習支援を依頼した。現職教員の人たちは休日や長期休業中に年休を取って参加してくれた。また、元職の中には曜日を決めて毎週参加してくれた人が 2 人いた。水曜日に参加してくれた元中学校長は数学が専門だったので、水曜日を数学の日と設定して、数学の課題を持って参加するよう促した。土曜日の小学校長は小学生を中心として支援をしてもらった。また、英語が得意だったので英語の曜日としても設定した。お 2 人の存在は大きく利用者、コーディネーター共々感謝していた。

②調理ボランティア

登録者数 35 人

延べ参加人数 165 人

調理ボランティア不在率

7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
94%	44%	44%	35%	8 %	25%	14%	6 %	7%

月を追うごとにネットワークが広がったり、ボランティア募集のチラシ効果があったりして登録者数が増えてきた。チラシは、大学、市役所、相談機関など公共施設や協力いただけるお店などに掲示させてもらったり、機会あるごとに配布したりしてきた。

ここ数年の子どもの貧困や子ども食堂の活動のニュースを見聞きされた方々が多く、そうした活動に関わってみたいとの思いを抱かれている人が多数おられることが分かった。

調理ボランティア不在率とは、調理ボランティアが参加してくれた日を開設日数で除した率だが、11月以降は食事の準備はほぼ調理ボランティアさんをお願いすることができて、コーディネーターは学習支援や相談活動に専念することができるようになった。

ただ、コーディネーターも全てを調理ボランティアに任せることはしない。なぜならば、コーディネーター自身が調理することで、キッチンにふらりと入り込んでくる子どもたちと何気ない会話をしたり、子どもたちのつぶやきをすくい取ったりすることができる貴重な機会であったことと、子どもと共同作業ができる機会を確保することも狙ったからである。また、調理ボランティアとして来所はできないが調理済み食材を提供したいという方もいらっしやったので、提供されたミートソースやシチュー、カレーなどの食材を食べる日も確保したかったからである。

学習室で見せる態度や発する言葉とキッチンで見せるそれとは違い、その言葉を拾うことができた貴重なチャンスだった。お昼の準備をしていると、キッチンにスーッと入りこんできて、ちょこんと椅子に座ってその様子をじっと見つめている。つぶやくように、「お腹すいたー」と小学1年生の女の子。「朝ごはん食べてきたの」の問いに「忘れたー」と答える。「昨日の夜は何だったの」。「うーん、何だったっけ」「あっそうだ、カステラだった」と本音を語る。「味見だよ」と作りかけのおかずを小皿に入れてあげると、「おいしい」と食べて、笑顔で静かに学習室に戻っていく。今後も、そうしたさりげないふれあいを大事にするために、調理ボランティア不在の日も確保していきたいと考える。

全く面識のなかった人同士が、たまたま同じ日に調理ボランティアしたことがきっかけで意気投合して、以来必ず二人で月2回のボランティアを買って出てくれるようになったケースもあった。調理経験の多い二人だったので、手が込む魚料理を専門に引き受けてくださっている。ボランティアの定着という面と栄養面で助けられている。

児童相談所の現職という異色の調理ボランティアのメンバーもいた。「ゆーすぽーと」を利用している子どもの中に、以前兄相で担当した子どもがいたので、様子伺いを兼ねて希望したださって腕を振るってくれた。食事作りは手慣れていて手際よく、美味しい見た目も良い料理で子どもたちには大好評だった。2回目も約束して帰られたが、予定の日に職場で急用ができたためキャンセルになってしまい子どもたちはがっかりしていた。

その後、東金市内のある子どものケースの際、保護解除の時に「ゆーすぽーと」の利用を母子ともに熱心に勧められていた。職員の方ご自身が体験してくださった上での紹介だったのでありがたかった。

(5) 物品等の提供支援

①物品を提供してくださった個人及び団体 73人以上

②提供いただいた物品

食 品：米、乾麺、野菜、調味料、レトルト食品、調理済み食品、缶詰

日用品：洗剤、トイレトペーパー、タオル

その他：絵本、児童書、参考書、問題集、辞書、家具（本箱、カラーボックス等）、

電子ピアノ、ギター、炊飯器、食器、調理用品、絵画、鉢植えの花

活動日誌で拾えた数だけで 73 人いらっしゃったが、開設早々の多忙な頃にはメモを取り忘れたことも多く、確実にそれ以上の人や団体の人たちの善意が届いているはずである。「ゆーすぽーと」開設の趣旨に共感されて、格安で譲っていただいた物もたくさんある。

田園地帯に位置する土地柄、野菜の提供が多く、端境期以外はほぼいただいた野菜で賄うことができた。主食のお米に至っては、冗談で「お米屋さんができるね」との会話が出るほど多くのお米をいただいた。賞味期限もあることなので、提供者に了解をいただいて、フードバンクに回すこともあった。集中した野菜も同様フードバンクに提供させていただいた。

第2章 子どもの貧困と学習環境の実態調査

第 I 部 調査概要

1 調査目的

近年わが国は、人口減少と少子高齢化、核家族、家族形態の多様化、家庭内の就労状況の変化等が進んでおり、これに伴い、子育てにあたっての不安や孤立を感じている家庭も増えており、保育ニーズや子育て相談・サポートに対するニーズが増大している。また、子ども達が置かれている環境も大きな格差が起こっている。

こうした状況の中で、子どもたちの未来が生まれ育った環境によって左右されることなく、自らの可能性を追求できる社会の実現が必要となっている。

本調査は、児童、生徒や保護者の学校・家庭での状況や考えを把握し、経済面、社会面、教育面において、子どものいる世帯で発生する困難等の問題を解決する施策につなぐための資料を得ることを目的とする。

2 調査方法と回収結果

- (1) 調査対象 東金市内の保育園所・幼稚園などに通所・通園する
全 5 歳児の保護者 (388 名)
東金市内の小学 5 年生の全児童と保護者 (各 467 名)
東金市内の中学 2 年生の全児童と保護者 (各 494 名)

(2) 回収結果

	配付数	回収数	無効票数	有効回収数	回収率
5歳児保護者	388	292	0	292	75.3%
小学5年生	467	385	1	384	82.2%
小学5年生保護者	467	384	2	382	81.8%
中学2年生	494	300	4	296	59.9%
中学2年保護者	494	300	3	297	60.1%
合計	2,310	1,661	10	1,651	71.5%

- (3) 調査方法 東金市内の調査対象の世帯に、学校・保育所・幼稚園などを通じて調査票を配付し、留置き後、再度学校等を通じて回収した。
- (4) 調査期間 平成 30 年 1 月 29 日 (月) ～平成 30 年 2 月 19 日 (月)

3 調査項目

- (1) 保護者向け (5 歳児、小学 5 年生、中学 2 年生)
- ・世帯状況 (世帯構成、居住地域、居住形態など)
 - ・保護者の状況 (就労状況、最終学歴など)
 - ・世帯の経済状況 (世帯収入、主な収入者、手当などの受給状況、収支、貯蓄の状況、経済的な問題など)
 - ・子どもの生活状況 (身体状況、睡眠、食事の摂取、入浴、歯磨き、余暇の過ごし方、しつけ、テレビなどの視聴時間など)
 - ・子供への接し方 (会話、子どもと接する時間など)
 - ・保護者自身の心理状況 (悩みなどの相談相手、心の状態、自己評価など)
 - ・その他 (地域との関わり、関係機関・団体の認知状況など)

(2) 小学5年生・中学2年生向け

- ・生活状況（身体状況、睡眠、食事の摂取、入浴、大人との接する状況、放課後の過ごし方、塾・習い事、こづかい、読書など）
- ・心の状態（悩み事、相談相手・頼れる人、自己評価、進学など）
- ・その他（身体状況、居住地区、同居者など）

【調査票の参考・引用】

- ・大阪府・大阪市 子どもの生活に関する実態調査（平成28年度）
- ・足立区 子どもの健康・生活実態調査（平成28年度）
- ・千葉県八千代市 子ども・子育て支援に関するアンケート（平成25年度）

4 報告書の見方

- ・図中のNとは（Number of cases）のことであり、回答者総数あるいは分類別の回答者数を示す。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。このため、単一選択式の質問においては、全ての選択肢の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をする事ができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%以上となる。
- ・図表やコメント部分においては、調査票における設問及び選択肢の語句などを一部簡略化している場合がある。
- ・説明のある場合を除いて、本文中の「子ども」とは、アンケートの対象世帯となっている児童・生徒又は5歳児を表す。また、報告書の本文中に表記されている「お母さん」、「お父さん」などの続柄は、今回調査で対象となっている子どもからみたものである。

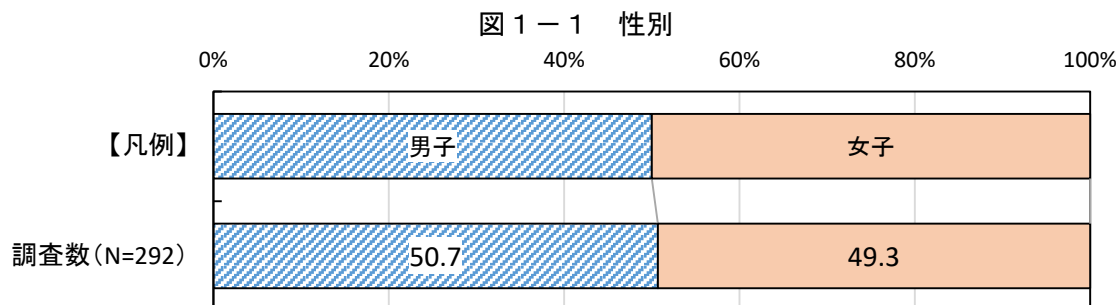
第Ⅱ部 アンケート結果

1 5歳児保護者アンケート結果

(1) 回答者属性

① 調査票を持ち帰った子どもの性別

子どもの性別をみると、「男子」148人（50.7%）、「女子」が144人（49.3%）とほぼ同数となっている。



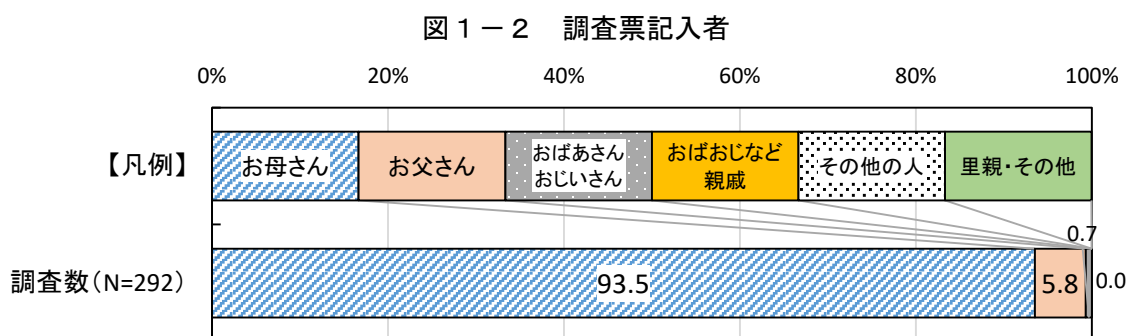
② 調査票記入者

調査票記入者をみると、「お母さん」が93.5%を占めている。

表 1-1 調査票記入者

(上段：実数)
(下段：割合)

調査数	お母さん	お父さん	おばあさん おじいさん・	親戚、 おば、 おじなど	その他の人	里親・ その他
292	273	17	2	0	0	0
100.0	93.5	5.8	0.7	0.0	0.0	0.0



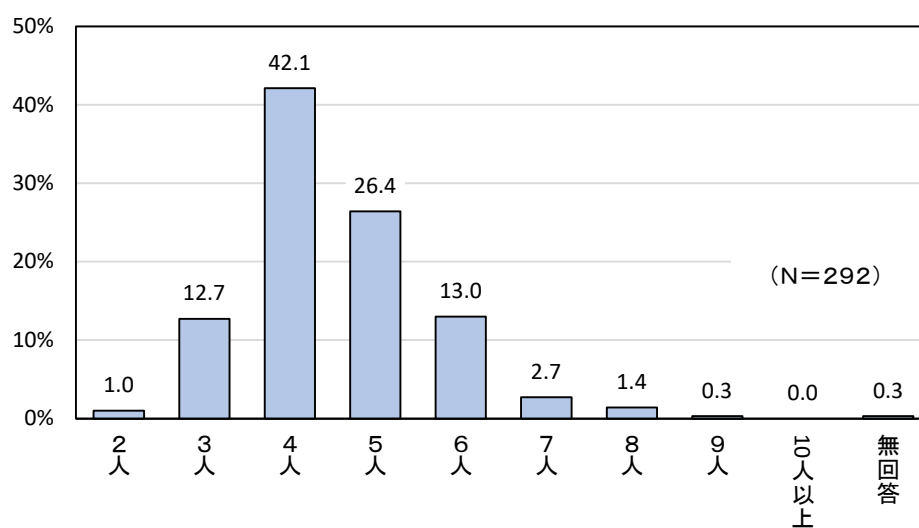
③ 世帯人数

世帯人数をみると、「4人」が42.1%と最も多く、以下「5人」(26.4%)、「6人」(13.0%)などとなっている。

表1-2 世帯人数

調査数	(上段：実数) (下段：割合)									
	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答
	292 100.0	3 1.0	37 12.7	123 42.1	77 26.4	38 13.0	8 2.7	4 1.4	1 0.3	0 0.0
										1 0.3

図1-3 世帯人数



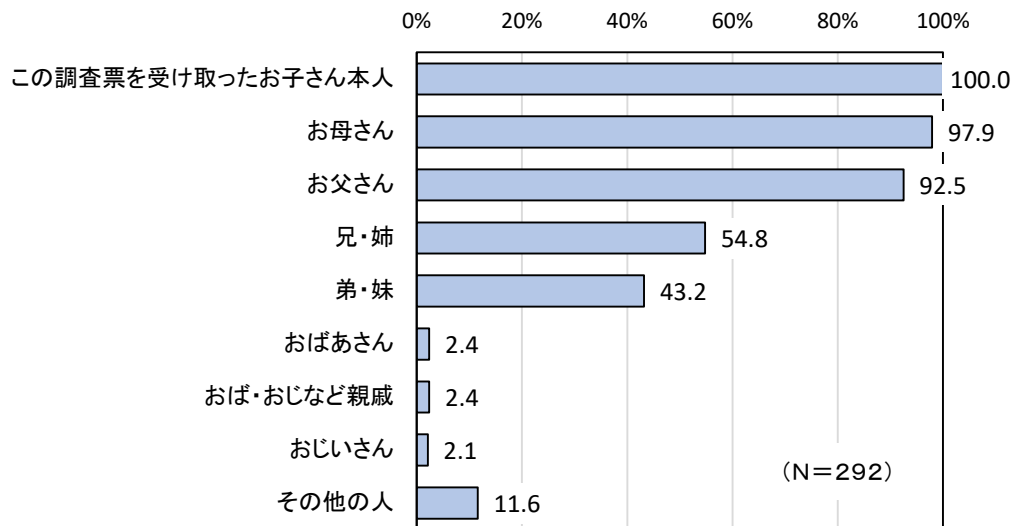
④ 世帯構成

世帯構成をみると、「この調査票を受け取ったお子さん本人」を除くと、「お母さん」が97.9%と最も多く、次いで「お父さん」(92.5%)、「兄・姉」(54.8%)、「弟・妹」(43.2%)などとなっている。

表1-3 世帯構成

調査数	この調査票を受けたおじさん	お母さん	お父さん	兄・姉	弟・妹	おばあさん	おじいさん	親戚 おば・おじなど	その他の人
292 100.0	292 100.0	286 97.9	270 92.5	160 54.8	126 43.2	7 2.4	6 2.1	7 2.4	34 11.6

図 1 - 4 世帯構成



世帯構成を世帯人数別にみると、世帯人数が4人～6人の世帯では、概ね子どもの親と兄弟姉妹で構成されており、全体的にみても核家族が多くなっている。

表 1 - 4 世帯構成×世帯人数

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	取 つ た こ の 調 査 票 を 受 け 取 っ た お 子 さ ん 本 人	お 母 さ ん	お 父 さ ん	兄 ・ 姉	弟 ・ 妹	お ば あ さん	お じ い さん	お ば ・ お じ な ど 親 戚	そ の 他 の 人
全体	292	292	286	270	160	126	7	6	7	34
	100.0	100.0	97.9	92.5	54.8	43.2	2.4	2.1	2.4	11.6
2人	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3人	37	37	37	27	7	3	0	0	0	0
	100.0	100.0	100.0	73.0	18.9	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0
4人	123	123	121	117	61	57	2	2	0	5
	100.0	100.0	98.4	95.1	49.6	46.3	1.6	1.6	0.0	4.1
5人	77	77	74	74	54	36	2	1	4	9
	100.0	100.0	96.1	96.1	70.1	46.8	2.6	1.3	5.2	11.7
6人	38	38	37	38	29	20	2	1	2	16
	100.0	100.0	97.4	100.0	76.3	52.6	5.3	2.6	5.3	42.1
7人	8	8	8	8	7	5	0	1	0	2
	100.0	100.0	100.0	100.0	87.5	62.5	0.0	12.5	0.0	25.0
8人	4	4	4	4	1	3	1	1	1	1
	100.0	100.0	100.0	100.0	25.0	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0
9人	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1
	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
10人以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

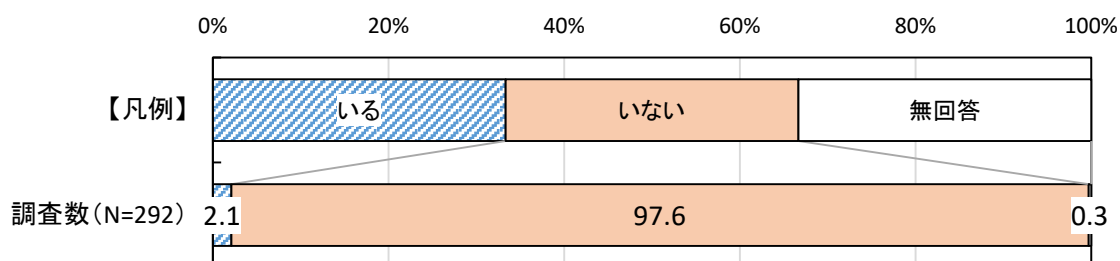
⑤ 世帯内の介護・介助が必要な人の有無

世帯内の介護・介助が必要な人の有無をみると、「いない」が97.6%を占めている。

表 1－5 世帯内の介護・介助が必要な人の有無

調査数	(上段：実数)			(下段：割合)
	いる	いない	無回答	
292	6	285	1	
100.0	2.1	97.6	0.3	

図 1－5 世帯内の介護・介助が必要な人の有無



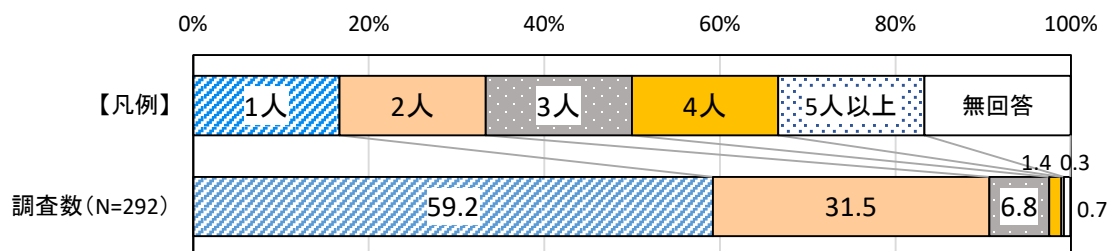
⑥ 小学校入学前の子どもの人数

小学校入学前の子どもの人数を尋ねたところ、「1人」が59.2%と最も多く、以下「2人」(31.5%)などとなっている。

表 1－6 小学校入学前の子どもの人数

調査数	(上段：実数)						(下段：割合)
	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	
292	173	92	20	4	1	2	
100.0	59.2	31.5	6.8	1.4	0.3	0.7	

図 1－6 小学校入学前の子どもの人数



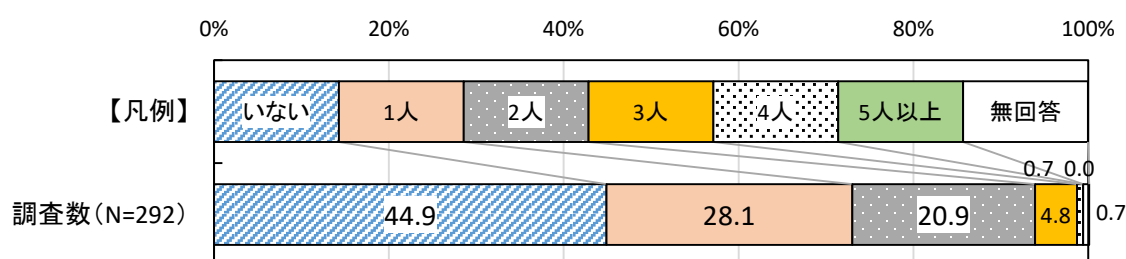
⑦ 小学校1年生から18歳未満の子どもの人数

小学校1年生から18歳未満の子どもの人数を尋ねたところ、「いない」が44.9%と最も多く、以下「1人」(28.1%)、「2人」(20.9%) などとなっている。

表1-7 小学校1年生から18歳未満の子どもの人数

調査数	いない	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
292	131	82	61	14	2	0	2
100.0	44.9	28.1	20.9	4.8	0.7	0.0	0.7

図1-7 小学校1年生から18歳未満の子どもの人数



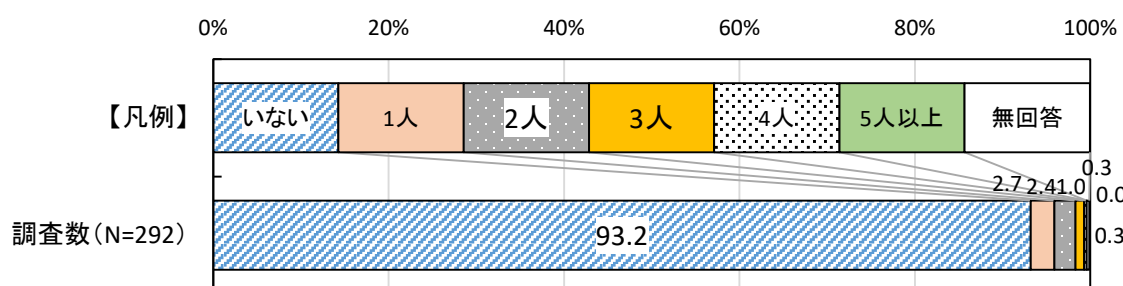
⑧ 18歳以上の子どもの人数

18歳以上の子どもの人数を尋ねたところ、「いない」が93.2%を占めている。

表1-8 18歳以上の子どもの人数

調査数	いない	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
292	272	8	7	3	1	0	1
100.0	93.2	2.7	2.4	1.0	0.3	0.0	0.3

図1-8 18歳以上の子どもの人数



世帯内にいる子どもの類型をみると、小学校入学以前は5歳児本人のみで他に小学1年～18歳未満の子どもがいる世帯（類型No.6）が39.4%で最も多く、次いで小学校入学以前の子どもが5歳児本人以外にいて、他の子どもはいない世帯（類型No.4）が28.1%、子どもは5歳児本人のみの世帯（類型No.8）が15.1%などとなっている。

表1-9 学齢区分による世帯内にいる子どもの類型

類型No.	小学校入学前の 子どももう 1人以上いる	小学1年～18歳未 満の子どもがいる	18歳以上の子ども がいる	回答数	構成比
1	いる	いる	いる	5	1.7%
2	いる	いる	いない	28	9.6%
3	いる	いない	いる	1	0.3%
4	いる	いない	いない	82	28.1%
5	いない	いる	いる	11	3.8%
6	いない	いる	いない	115	39.4%
7	いない	いない	いる	2	0.7%
8	いない	いない	いない	44	15.1%
9	いずれかが無回答			4	1.4%
			計	292	100%

⑨ 居住地区

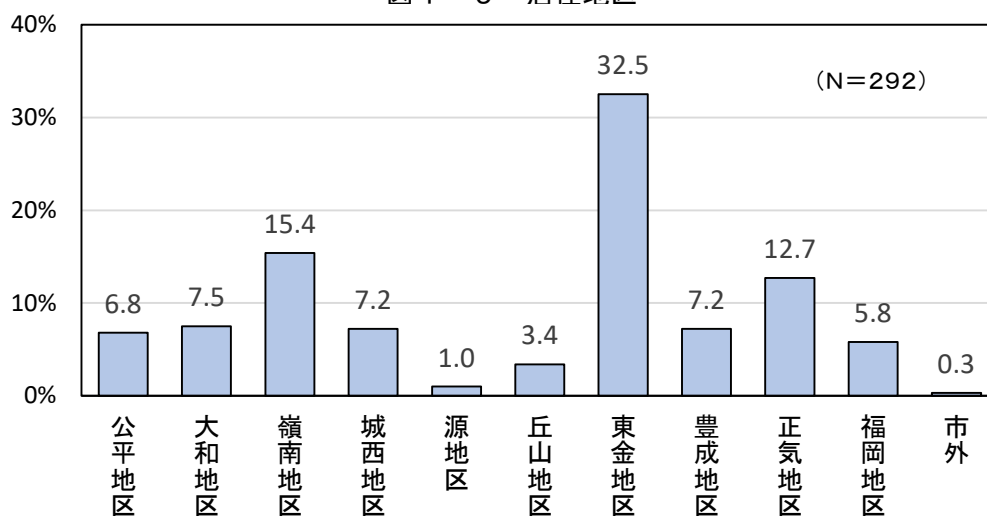
居住地区をみると、「東金地区」が32.5%と最も多く、以下「嶺南地区」（15.4%）、「正気地区」（12.7%）などとなっている。

表1-10 居住地区

調査数											
	公平地区	大和地区	嶺南地区	城西地区	源地区	丘山地区	東金地区	豊成地区	正気地区	福岡地区	市外
292	20	22	45	21	3	10	95	21	37	17	1
100.0	6.8	7.5	15.4	7.2	1.0	3.4	32.5	7.2	12.7	5.8	0.3

（上段：実数）
（下段：割合）

図1-9 居住地区



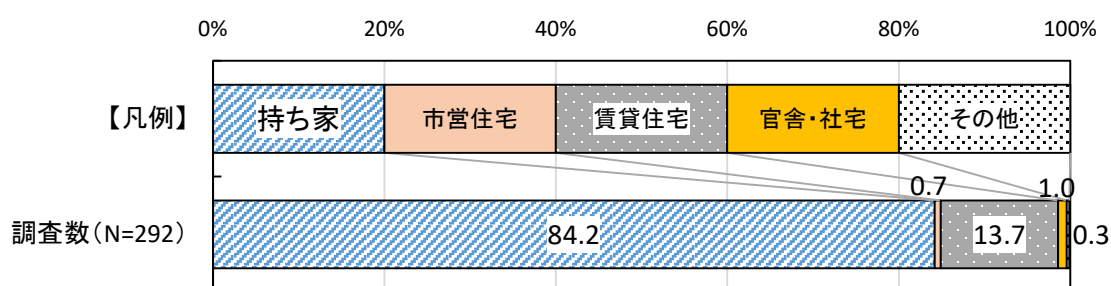
⑩ 居住形態

居住形態をみると、「持ち家」が84.2%と最も多く、以下「賃貸住宅」(13.7%) などとなっている。

表 1-11 居住形態

調査数	親・持ち家(あなたを含みます)	市営の住宅	民間の賃貸住宅	官舎・社宅	その他
292	246	2	40	3	1
100.0	84.2	0.7	13.7	1.0	0.3

図 1-10 居住形態



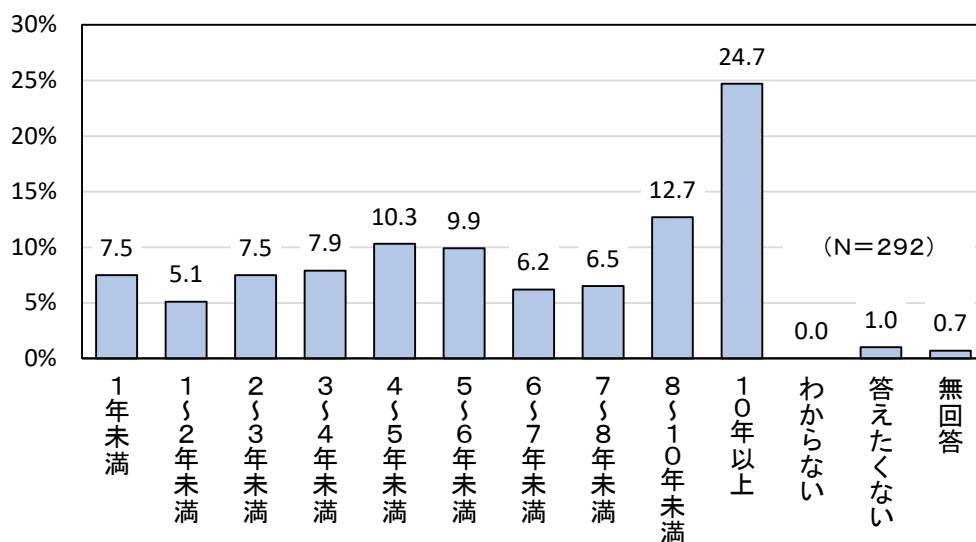
⑪ 居住年数

居住年数をみると、「10年以上」が24.7%と最も多く、以下「8~10年未満」(12.7%)、「4~5年未満」(10.3%)、「5~6年未満」(9.9%) などとなっている。

表 1-12 居住年数

調査数	1年未満	1~2年未満	2~3年未満	3~4年未満	4~5年未満	5~6年未満	6~7年未満	7~8年未満	8~10年未満	10年以上	わからない	答えたくない	無回答
292	22	15	22	23	30	29	18	19	37	72	0	3	2
100.0	7.5	5.1	7.5	7.9	10.3	9.9	6.2	6.5	12.7	24.7	0.0	1.0	0.7

図 1-11 居住年数



(2) 保護者の状況

① 父親の就業状況

問5 お子さんの保護者の方の、現在の就業状況についておたずねします。
※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

問5-1 (1) 問3②で世帯員に「3. お父さん」と答えた方に伺います。

お父さんはお仕事をされていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

世帯に父親がいると回答した270人に父親の就業状況を尋ねたところ、「勤め（常勤・正規職員）」が78.5%と最も多く、以下「自営業・家業」（15.2%）などとなっており、仕事に就いている人は95.6%を占めている。

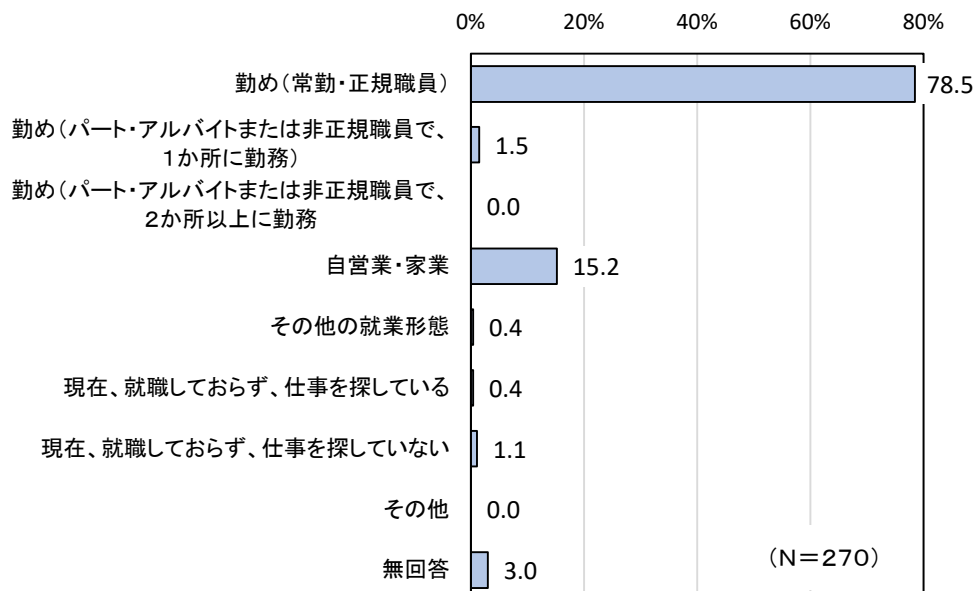
表1-13 就業状況【父親】

調査数	勤め（常勤・正規職員）	1 勤め（パート・アルバイトまたは非正規職員で、1か所に勤務）	2 勤め（パート・アルバイトまたは非正規職員で、2か所以上に勤務）	自営業・家業	その他の就業形態	現在、就職しておらず、仕事を探している	現在、就職しておらず、仕事を探していない	その他	無回答
270	212	4	0	41	1	1	3	0	8
100.0	78.5	1.5	0.0	15.2	0.4	0.4	1.1	0.0	3.0

(上段：実数)

(下段：割合)

図1-12 就業状況【父親】



② 父親が無職で求職していない理由

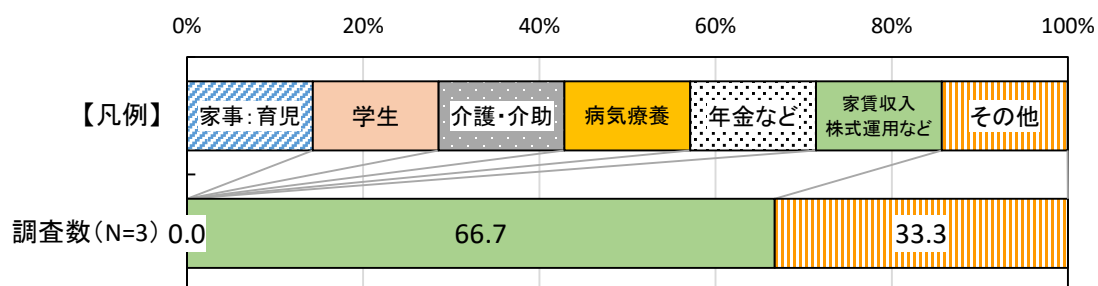
問5-1(2) 問5-1(1)で「7. 現在、就職しておらず、仕事を探していない」と答えた方に伺います。その理由について教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

父親が無職で求職していない件数は、3件と少ない為、参考程度にとどめる。

表1-14 父親が無職で求職していない理由

調査数	家事や育児に専念	学生	や お 介 助 の 人 の 介 護	病 気 療 養	年 金 な ど	株 家 賃 運 用 入 、 な ど	そ の 他
3	0	0	0	0	0	2	1
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3

図1-13 父親が無職で求職していない理由



③ 母親の就業状況

問5－2（1）問3②で世帯員に「2. お母さん」と答えた方に伺います。
お母さんはお仕事をされていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

世帯に母親がいると回答した 286 人に母親の就業状況を尋ねたところ、「勤め（パート・アルバイトまたは非正規職員で、1 か所に勤務）」が 28.7%と最も多く、以下「勤め（常勤・正規職員）」（17.8%）などとなっており、56.3%の人が仕事に就いている。

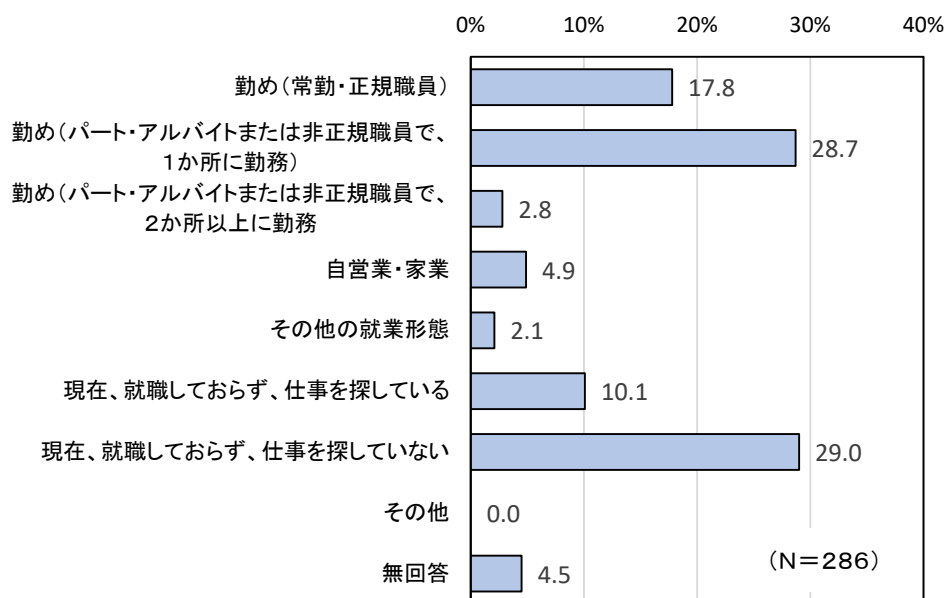
一方、「現在、就職しておらず、仕事を探していない」（29.0%）と「現在、就職しておらず、仕事を探している」（10.1%）を合わせた『現在、就職していない』人は 39.1%となっている。

表 1－15 就業状況【母親】

調査数	勤め（常勤・正規職員）	1 か所またはパート・アルバイトで、1 か所以上は非正規職員で、	2 か所またはパート・アルバイトで、2 か所以上は非正規職員で、	自営業・家業	その他の就業形態	現在、就職しておらず、仕事を探している	現在、就職しておらず、仕事を探していない	その他	無回答
286	51	82	8	14	6	29	83	0	13
100.0	17.8	28.7	2.8	4.9	2.1	10.1	29.0	0.0	4.5

(上段：実数)
(下段：割合)

図 1－14 就業状況【母親】



④ 母親が無職で求職していない理由

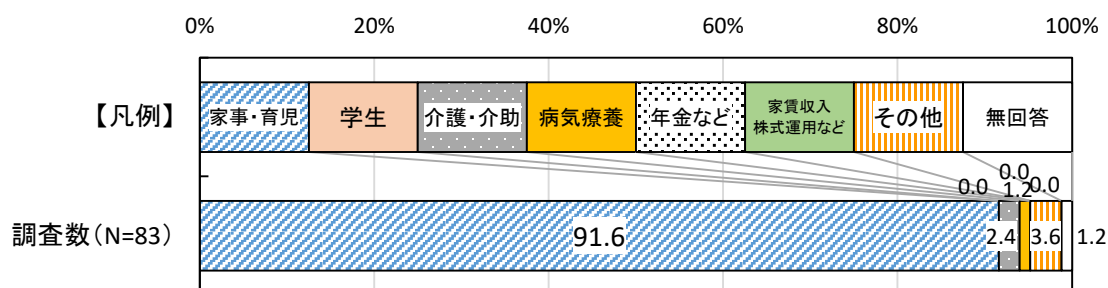
問5-2(2) 問5-2(1)で「7. 現在、就職しておらず、仕事を探していない」と答えた方に伺います。その理由について教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

現在、就職しておらず、求職していない母親83人に求職していない理由を尋ねたところ、「家事や育児に専念」としているとの回答が91.6%を占めている。

表1-16 母親が無職で求職していない理由

調査数	家事や育児に専念	学生	やおうちの人の介護	病気療養	年金など	株家賃収入、株式運用など	その他	無回答
83	76	0	2	1	0	0	3	1
100.0	91.6	0.0	2.4	1.2	0.0	0.0	3.6	1.2

図1-15 母親が無職で求職していない理由



⑤ 両親の最終学歴

問6 お子さんのお母さんとお父さんの最後に通った学校を教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

両親の最終学歴を尋ねたところ、母親では「高等学校卒業」が36.0%と最も多く、次いで「高専、短大、専門学校等卒業」(32.9%)、「大学卒業」(15.7%) などとなっている。

父親では母親と同じく「高等学校卒業」が36.7%と最も多いが、2番目は「大学卒業」が25.9%と、母親に比べて大卒の割合が高くなっている。

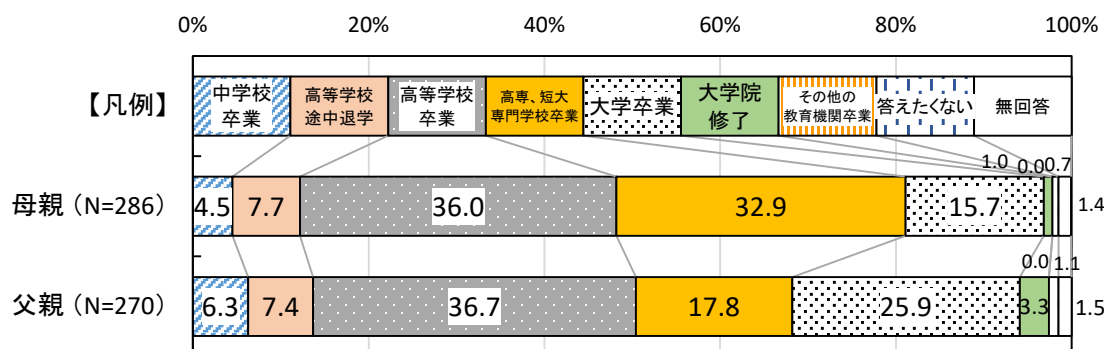
表1-17 両親の最終学歴

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	中学校卒業	高等学校途中退学	高等学校卒業	高専、短大、専門学校等卒業	大学卒業	大学院修了	その他の教育機関卒業	答えたくない	無回答
母親	286	13	22	103	94	45	3	0	2	4
	100.0	4.5	7.7	36.0	32.9	15.7	1.0	0.0	0.7	1.4
父親	270	17	20	99	48	70	9	0	3	4
	100.0	6.3	7.4	36.7	17.8	25.9	3.3	0.0	1.1	1.5

図1-16 両親の最終学歴



⑥ 保護者が家にいることが多い時間帯

問7 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、最も多い時間帯を選んでください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

※保護者の方には、おばあさん・おじいさん、おば・おじなどの親戚を含みます。

※自宅が仕事の場合は、お仕事が終わる時間帯を選んでください。

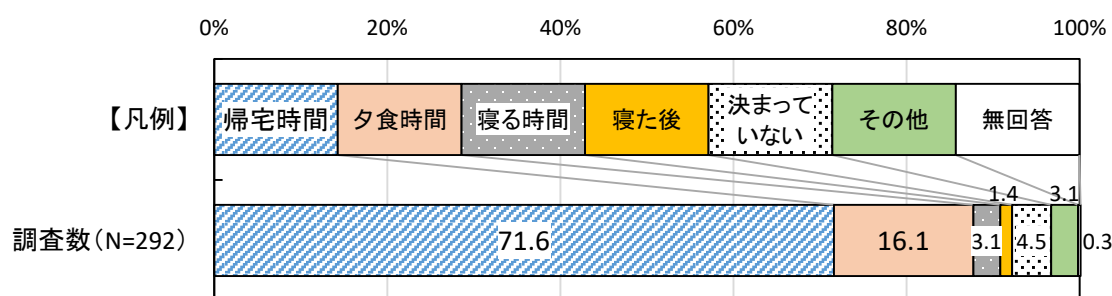
保護者が家にいることが多い時間帯を尋ねたところ、「お子さんの学校や塾・習い事からの帰宅時間には家にいる」が71.6%と最も多く、以下「お子さんの夕食時間には家にいる」（16.1%）などとなっている。

一方、「保護者の方の帰宅時間が決まっていない」は4.5%となっている。

表1-18 保護者が家にいることが多い時間帯

							(上段：実数)	
							(下段：割合)	
調 査 数	お 子 さ ん の 学 校 や 塾 ・ 習 い 事 か ら の 帰 宅 時 間 に は 家 に い る	お 子 さ ん の 夕 食 時 間 に は 家 に い る	お 子 さ ん の 寝 る 時 間 に は 家 に い る	お 子 さ ん が 寝 た 後 に 帰 っ て く る	保 護 者 の 方 の 帰 宅 時 間 が 決 ま っ て い な い	そ の 他	無 回 答	
292	209	47	9	4	13	9	1	
100.0	71.6	16.1	3.1	1.4	4.5	3.1	0.3	

図1-17 保護者が家にいることが多い時間帯



⑦ 学校が終わってから、主に子どもと過ごす時間が長い人

問8 学校が終わってから、主にお子さんと過ごす時間が長いのはどなたですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

学校が終わってから、主に子どもと過ごす時間が長い人を尋ねたところ、「お母さん」が90.8%と最も多く、以下「弟・妹」(26.4%)、「兄・姉」(24.7%)、「おばあさん」(17.8%)などとなっている。

一方、「お子さんがひとりである」は僅かだが0.3%となっている。

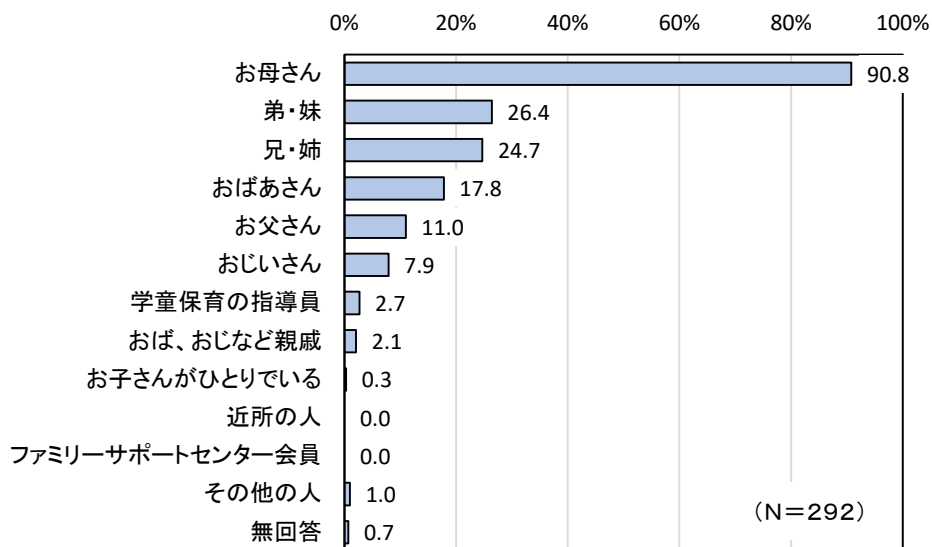
表1-19 学校が終わってから、主に子どもと過ごす時間が長い人

調査数	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	兄・姉	弟・妹	おば、おじなど親戚	近所の人	学童保育の指導員	ファミリーサポートセンター会員	お子さんがひとりである	その他の人	無回答
292	265	32	52	23	72	77	6	0	8	0	1	3	2
100.0	90.8	11.0	17.8	7.9	24.7	26.4	2.1	0.0	2.7	0.0	0.3	1.0	0.7

(上段：実数)

(下段：割合)

図1-18 学校が終わってから、主に子どもと過ごす時間が長い人



(3) 世帯の経済状況

① 世帯で収入のある人数

問9 あなたの世帯の収入状況についておたずねします。

(1) あなたの世帯で収入のある方の人数を教えてください。

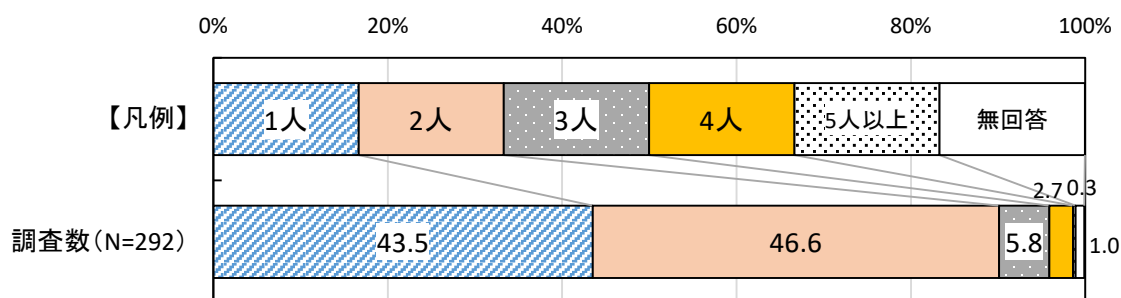
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

世帯で収入のある人数を尋ねたところ、「2人」が46.6%と最も多く、以下「1人」(43.5%)、「3人」(5.8%) などとなっている。

表1-20 世帯で収入のある人数

調査数	(上段：実数) (下段：割合)					
	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
292	127	136	17	8	1	3
100.0	43.5	46.6	5.8	2.7	0.3	1.0

図1-19 世帯で収入のある人数



② 主に生計を支えている人

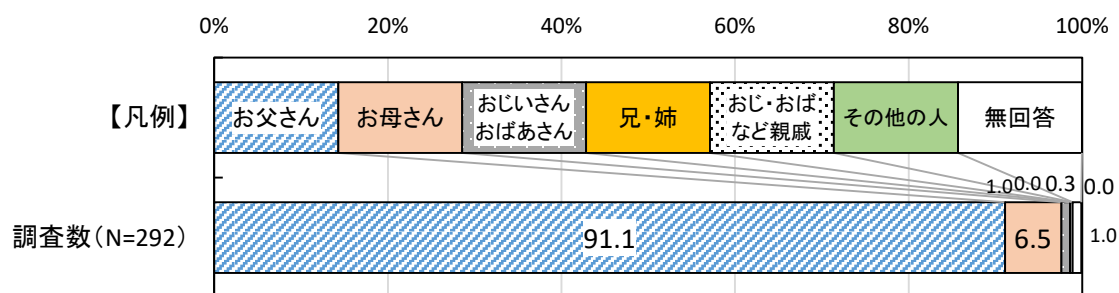
(2) あなたの世帯で主に生計を支えている方はどなたですか。
(お子さんからみた続柄で、あてはまる番号1つに○をつけてください)

主に生計を支えている人を尋ねたところ、「お父さん」が91.1%を占めている。

表1-21 主に生計を支えている人

調査数	お父さん	お母さん	おじいさん、 おばあさん	兄・姉	親戚・おじ・おばなど	その他の人	無回答
292	266	19	3	0	1	0	3
100.0	91.1	6.5	1.0	0.0	0.3	0.0	1.0

図1-20 主に生計を支えている人



③ 受けている手当や援助等

(3) あなたの世帯では以下の手当や援助等を受けていますか。
 (①～⑫の項目について、それぞれ1～3のあてはまる番号1つに○をつけてください)

受けている手当や援助等を尋ねたところ、『①児童手当』を「受けている」人が93.5%となっている。その他の手当や補助等では、「受けたことがない」人が70%前後と多くなっている。

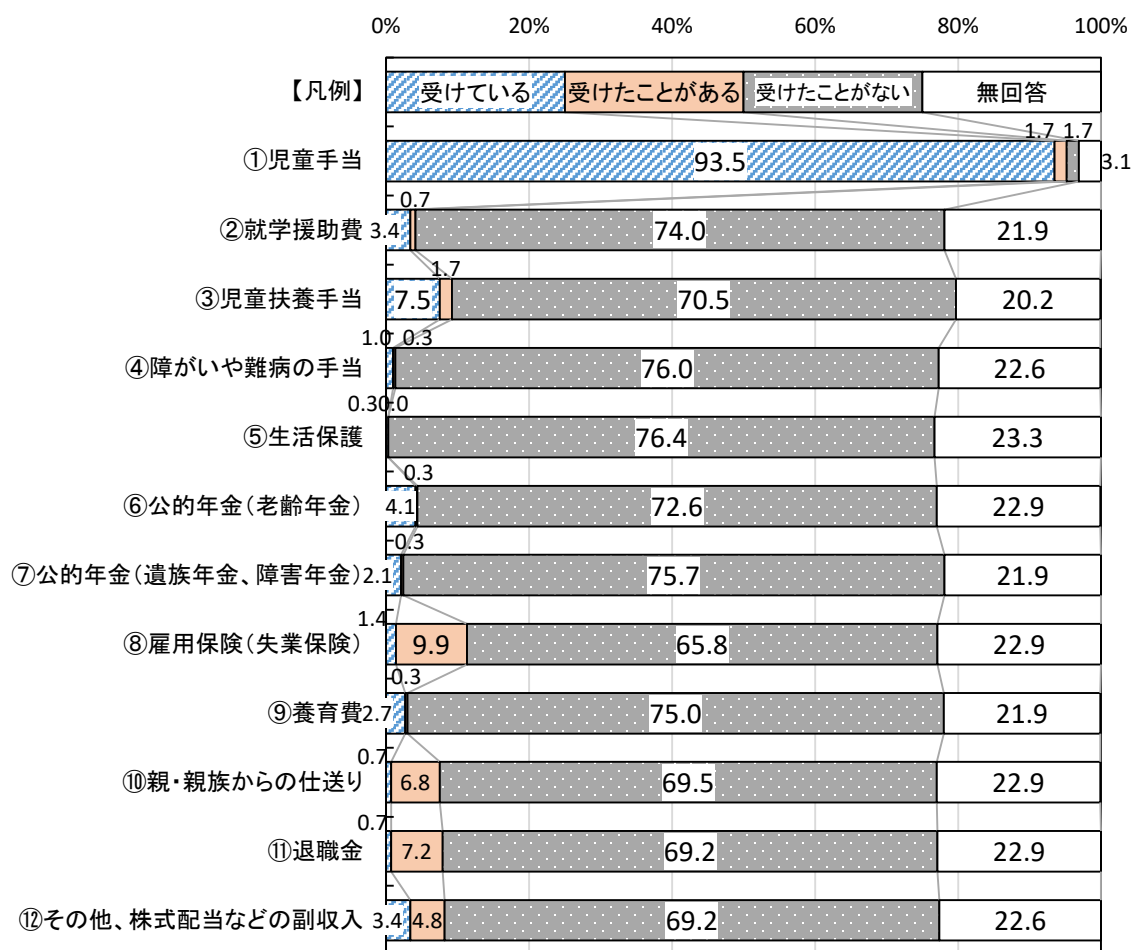
受けたことがある手当としては、『⑧雇用保険（失業保険）』が9.9%、『⑪退職金』が7.2%、『⑩親・親族からの仕送り』が6.8%となっている他は、いずれも5%未満となっている。

表1-22 受けている手当や援助等

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	受けている	受けたことがある	受けたことがない	無回答
①児童手当	292 100.0	273 93.5	5 1.7	5 1.7	9 3.1
②就学援助費	292 100.0	10 3.4	2 0.7	216 74.0	64 21.9
③児童扶養手当	292 100.0	22 7.5	5 1.7	206 70.5	59 20.2
④障がいや難病の手当	292 100.0	3 1.0	1 0.3	222 76.0	66 22.6
⑤生活保護	292 100.0	1 0.3	0 0.0	223 76.4	68 23.3
⑥公的年金（老齢年金）	292 100.0	12 4.1	1 0.3	212 72.6	67 22.9
⑦公的年金（遺族年金、障害年金）	292 100.0	6 2.1	1 0.3	221 75.7	64 21.9
⑧雇用保険（失業保険）	292 100.0	4 1.4	29 9.9	192 65.8	67 22.9
⑨養育費	292 100.0	8 2.7	1 0.3	219 75.0	64 21.9
⑩親・親族からの仕送り	292 100.0	2 0.7	20 6.8	203 69.5	67 22.9
⑪退職金	292 100.0	2 0.7	21 7.2	202 69.2	67 22.9
⑫その他、株式配当などの副収入	292 100.0	10 3.4	14 4.8	202 69.2	66 22.6

図 1-21 受けている手当や援助等



④ 2016 年 1 年間の世帯の収入合計額

(4) 2016 年 1 年間のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)
※収入には、働いて得た給料だけではなく、株式配当や副収入、公的な援助
手当や養育費・仕送りも含めてお答えください。なお、収入の中から税金
や社会保険料を差し引いた後の額でお答えください。

2016 年 1 年間の世帯の収入合計額を尋ねたところ、「350～400 万円未満」と「450～500 万円未満」がともに 11.0%と最も多く、次いで「400～450 万未満」(9.2%)、「300～350 万円未満」(7.5%)となっている。

300 万円以上かつ 500 万円未満でみると、全体の 38.7%となっている。

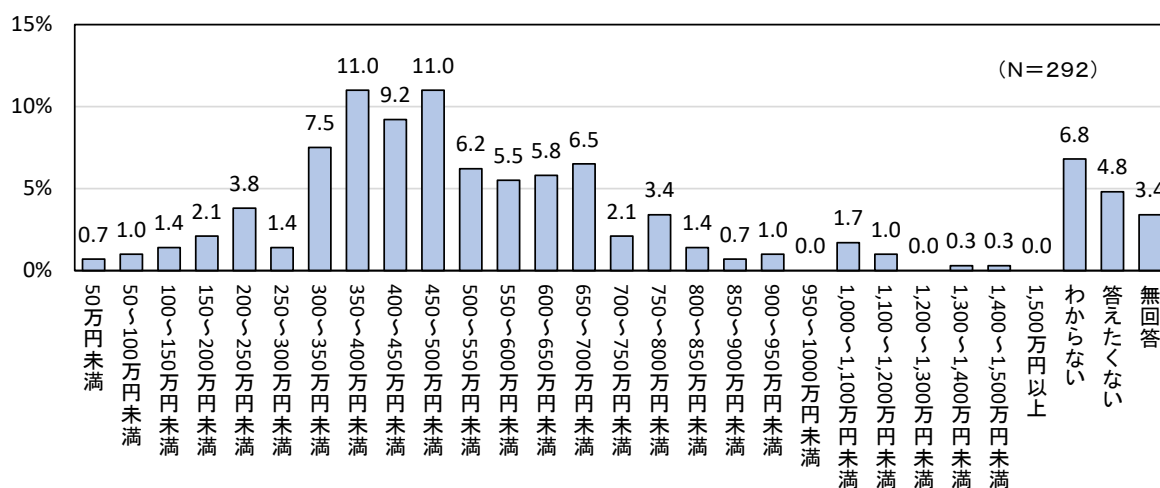
表 1-23 2016 年 1 年間の世帯の収入合計額

(上段：実数) (下段：割合)															
調査数	50万円未満	1500万円未満	1150万円未満	2105万円未満	2250万円未満	3205万円未満	3350万円未満	4305万円未満	4450万円未満	5405万円未満	5550万円未満	6505万円未満	6650万円未満	7605万円未満	7750万円未満
292 100.0	2 0.7	3 1.0	4 1.4	6 2.1	11 3.8	4 1.4	22 7.5	32 11.0	27 9.2	32 11.0	18 6.2	16 5.5	17 5.8	19 6.5	6 2.1

8700万円未満	8850万円未満	9800万円未満	9950万円未満	未19満, 500万円	未11満, 100万円	未11満, 210万円	未11満, 320万円	未11満, 430万円	未11満, 540万円	未11満, 750万円	未21満, 070万円	未22満, 200万円	未22満, 520万円	未22満, 750万円	未32満, 070万円
10 3.4	4 1.4	2 0.7	3 1.0	0 0.0	5 1.7	3 1.0	0 0.0	1 0.3	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

以上, 000万円	わからない	答えたくない	無回答
0 0.0	20 6.8	14 4.8	10 3.4

図 1-22 2016 年 1 年間の世帯の収入合計額



⑤ 2016 年 1 年間の家計の収支状況

問 10 あなたの世帯の家計の収支状況についておたずねします。

(1) 2016 年 1 年間のあなたの世帯の家計の状況について教えてください。

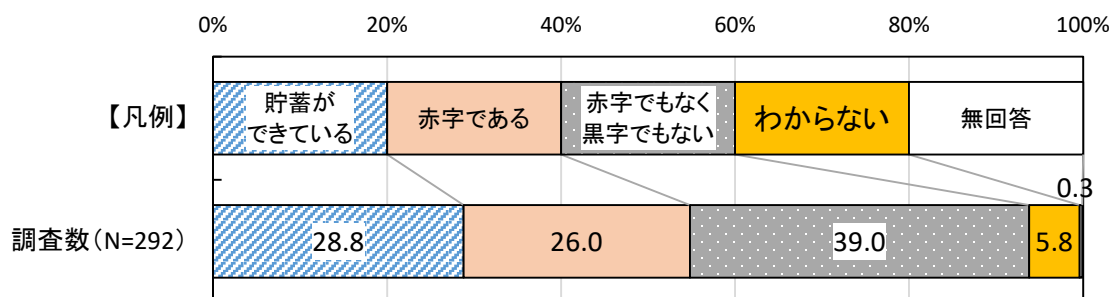
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

2016 年 1 年間の家計の収支状況を尋ねたところ、「赤字でもなく黒字でもない」が 39.0%と最も多く、「貯蓄ができています」は 28.8%、「赤字である」は 26.0%となっている。

表 1-24 2016 年 1 年間の家計の収支状況

調査数	貯蓄が できて	赤字 である	赤字でも なく黒字 でもない	わから ない	無回 答
292	84	76	114	17	1
100.0	28.8	26.0	39.0	5.8	0.3

図 1-23 2016 年 1 年間の家計の収支状況



⑥ 赤字の場合の対処方法

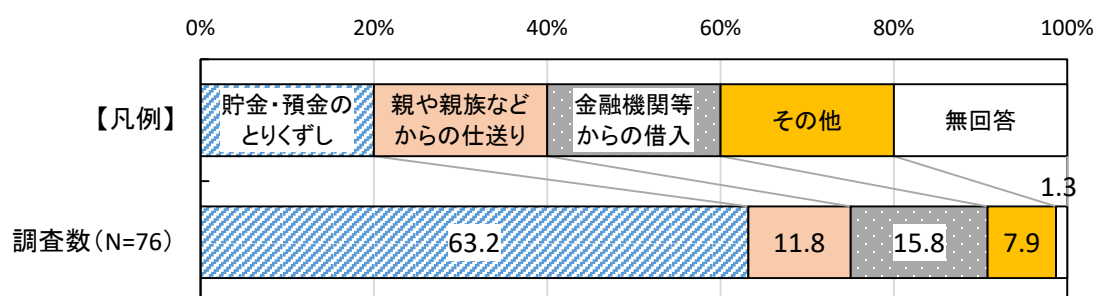
(2) 問 10 (1) で「2. 赤字である」と答えた方におたずねします。
 赤字の場合はどのようにしていますか。
 (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

家計の収支状況が赤字であると答えた 76 人にその対処方法を尋ねたところ、「貯金・預金のとりくずし」が 63.2%と最も多く、以下「金融機関等からの借入」(15.8%)、「親や親族などからの仕送り」(11.8%) となっている。

表 1-25 赤字の場合の対処方法

調査数	(上段：実数) (下段：割合)				
	と貯金・ く・預金の の	か親や らの親 族の 仕送 りな ど	ら金 の融 機 借 入 関 等 か	そ の 他	無 回 答
76	48	9	12	6	1
100.0	63.2	11.8	15.8	7.9	1.3

図 1-24 赤字の場合の対処方法



⑦ 子どもの将来のための貯蓄の有無

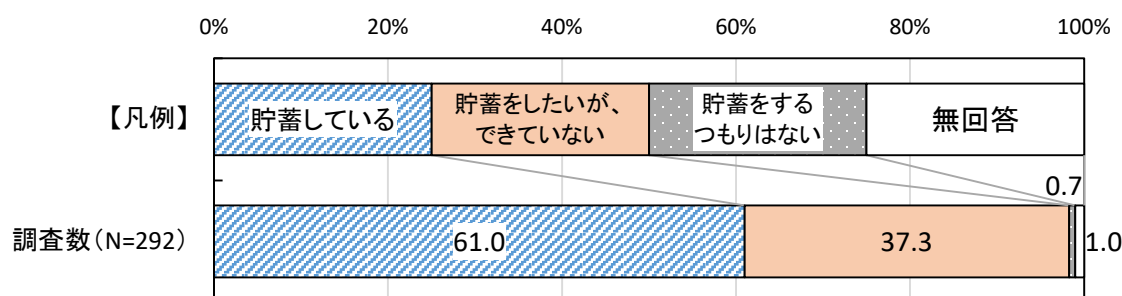
(3) お子さんの将来のため貯蓄をしていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

子どもの将来のための貯蓄の有無について尋ねたところ、「貯蓄している」が61.0%と「貯蓄をしたいが、できていない」(37.3%)を上回っている。

表 1-26 子どもの将来のための貯蓄の有無

調査数	貯蓄している	で貯蓄をしたいが、 できていない	は貯蓄をするつもり	無回答
292	178	109	2	3
100.0	61.0	37.3	0.7	1.0

図 1-25 子どもの将来のための貯蓄の有無



⑧ ここ１年間の経済的理由による日常生活への影響

問 11 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね１年の間でお考えください。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

ここ１年間の経済的理由による日常生活への影響を尋ねたところ、「冷暖房の使用を控えた」が12.7%と最も多く、以下「国民年金の支払いが滞った」(8.9%)、「国民健康保険料の支払いが滞った」(8.2%) などとなっている。

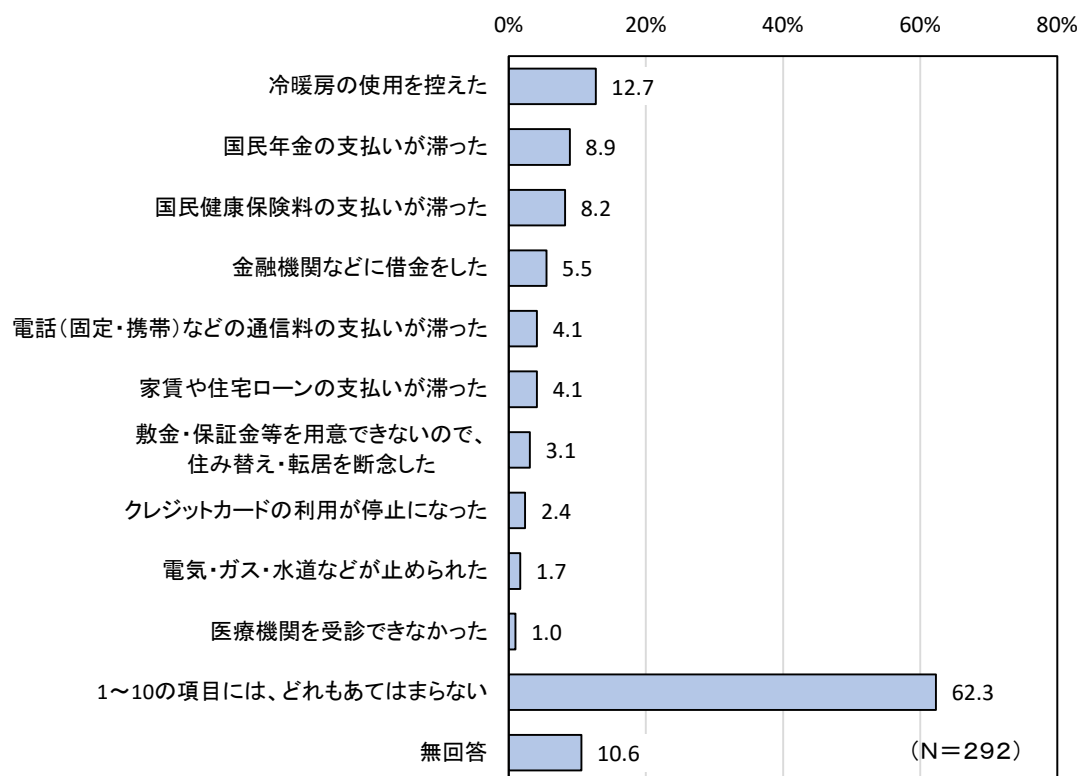
一方、「1～10の項目には、どれもあてはまらない」は62.3%となっている。

表１－27 ここ１年間の経済的理由による日常生活への影響

調査数	電気・ガス・水道などが止められた	医療機関を受診できなかった	国民健康保険料の支払いが滞った	国民年金の支払いが滞った	金融機関などに借金をした	クレジットカードの利用が停止になった	電話(固定・携帯)などの通信料の支払いが滞った	家賃や住宅ローンの支払いが滞った	冷暖房の使用を控えた	敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した	どれも1～10の項目には、あてはまらない	無回答
292	5	3	24	26	16	7	12	12	37	9	182	31
100.0	1.7	1.0	8.2	8.9	5.5	2.4	4.1	4.1	12.7	3.1	62.3	10.6

(上段：実数)
(下段：割合)

図１－26 ここ１年間の経済的理由による日常生活への影響



(4) 子どもについて

① 子どもの出生時の体重

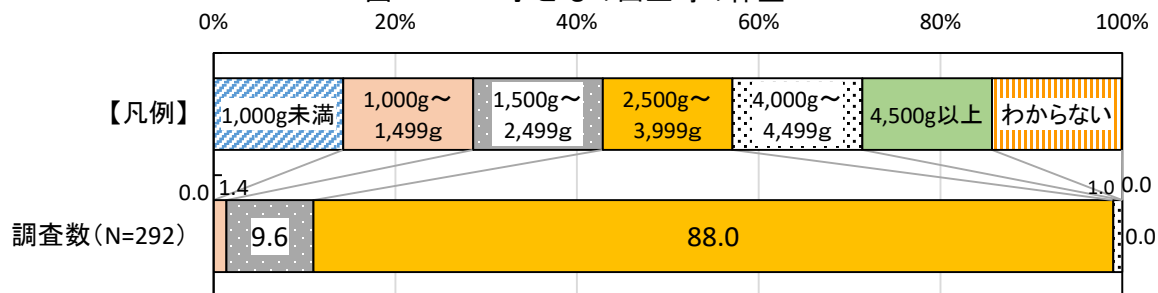
問 12 お子さんの出生時の体重を教えてください。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

子どもの出生時の体重を尋ねたところ、「2,500 g～3,999 g」が 88.0%と最も多く、以下「1,500 g～2499 g」(9.6%) などとなっている。

表 1-28 子どもの出生時の体重

調査数	(上段：実数) (下段：割合)						わからない
	1,000g未満	1,000g～1,499g	1,500g～2,499g	2,500g～3,999g	4,000g～4,499g	4,500g以上	
292 100.0	0 0.0	4 1.4	28 9.6	257 88.0	3 1.0	0 0.0	0 0.0

図 1-27 子どもの出生時の体重



② 子どもの出生時の身長

問 13 お子さんの出生時の身長を教えてください。

(①か②のいずれか該当する方で、あてはまる番号1つに○をつけてください)

子どもの出生時の身長を尋ねたところ、男子では「49.0 cm～50.2 cm」が25.0%と最も多く、次いで「47.4 cm～48.9 cm」(22.3%)、「50.3 cm～51.5 cm」(19.6%) などとなっている。

女子では「48.5 cm～50.0 cm」が31.9%と最も多く、以下「47.0 cm～48.4 cm」(19.4%) などとなっている。

表 1-29 子どもの出生時の身長【男子】

調査数	(上段：実数) (下段：割合)									無回答
	43.9cm以下	44.0cm～45.9cm	46.0cm～47.3cm	47.4cm～48.9cm	49.0cm～50.2cm	50.3cm～51.5cm	51.6cm～52.6cm	52.7cm以上	わからない	
148 100.0	3 2.0	13 8.8	10 6.8	33 22.3	37 25.0	29 19.6	8 5.4	2 1.4	8 5.4	5 3.4

図 1-28 子どもの出生時の身長【男子】

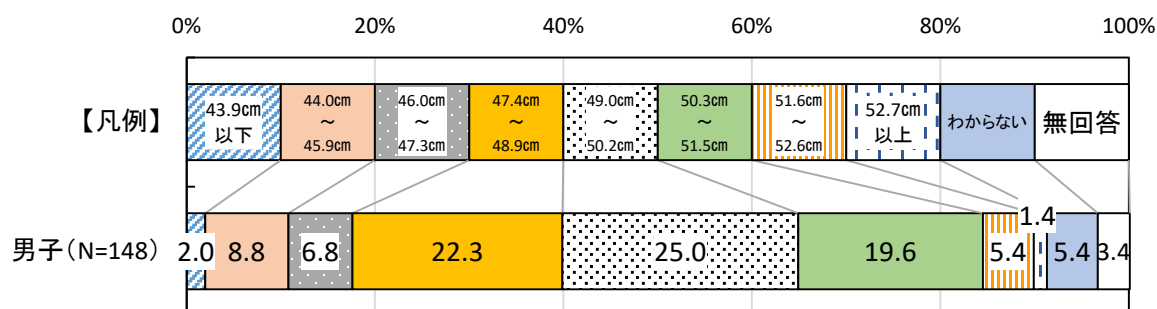
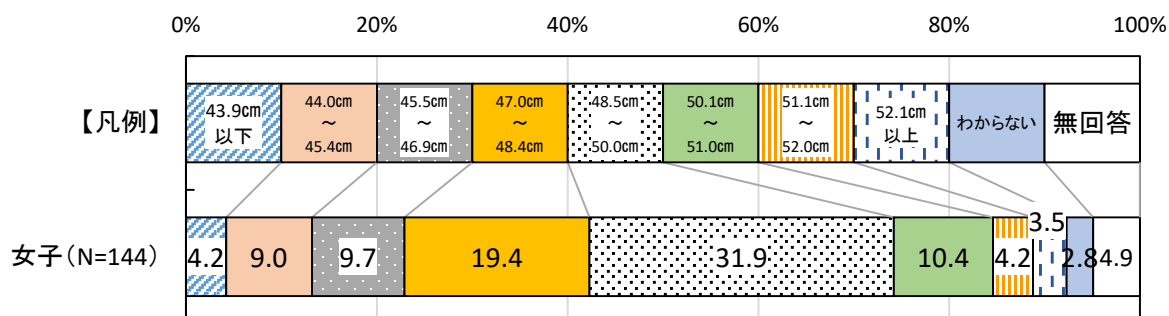


表 1-30 子どもの出生時の身長【女子】

調査数	(上段：実数) (下段：割合)									無回答
	43.9cm以下	44.0cm～45.9cm	46.0cm～47.3cm	47.4cm～48.9cm	49.0cm～50.2cm	50.3cm～51.5cm	51.6cm～52.6cm	52.7cm以上	わからない	
144 100.0	6 4.2	13 9.0	14 9.7	28 19.4	46 31.9	15 10.4	6 4.2	5 3.5	4 2.8	7 4.9

図 1-29 子どもの出生時の身長【女子】



③ 子どもの現在の体重

問 14 お子さんの現在の体重を教えてください。
(①か②のいずれか該当する方で、あてはまる番号1つに○をつけてください)

子どもの現在の体重を尋ねたところ、男子では「20.37 kg～22.19 kg」が29.1%と最も多く、次いで「18.63 kg～20.36 kg」(26.4%)、「17.17 kg～18.62 kg」(13.5%)、「24.34 kg以上」(11.5%) などとなっている。

女子では「20.01 kg～21.91 kg」が27.8%と最も多く、以下「18.27 kg～20.00 kg」(24.3%)、「16.84 kg～18.26 kg」(19.4%) などとなっている。

表 1-31 子どもの現在の体重【男子】

(上段：実数)
(下段：割合)

調査数	1 5 0 2 kg 以下	1 1 6 5 0 0 1 3 kg kg)	1 1 7 6 0 0 6 2 kg kg)	1 1 8 7 0 0 6 1 2 7 kg kg)	2 1 0 8 3 6 6 3 kg kg)	2 2 2 0 1 3 9 7 kg kg)	2 2 4 2 3 2 3 0 kg kg)	2 4 3 4 kg 以上	わからない	無回答
148 100.0	2 1.4	2 1.4	9 6.1	20 13.5	39 26.4	43 29.1	12 8.1	17 11.5	2 1.4	2 1.4

図 1-30 子どもの現在の体重【男子】

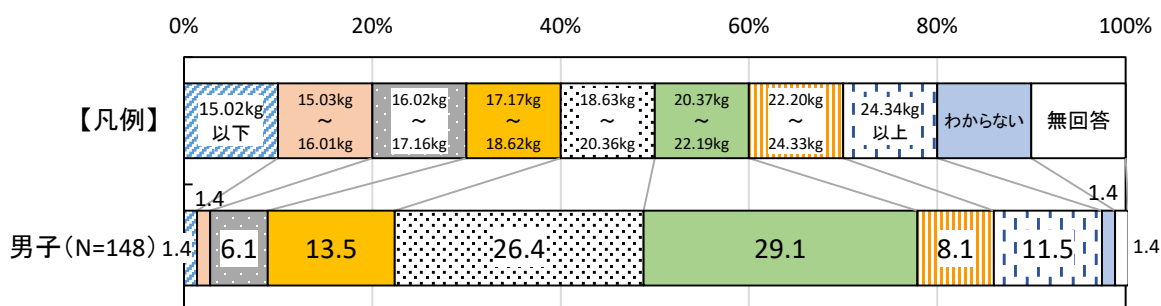
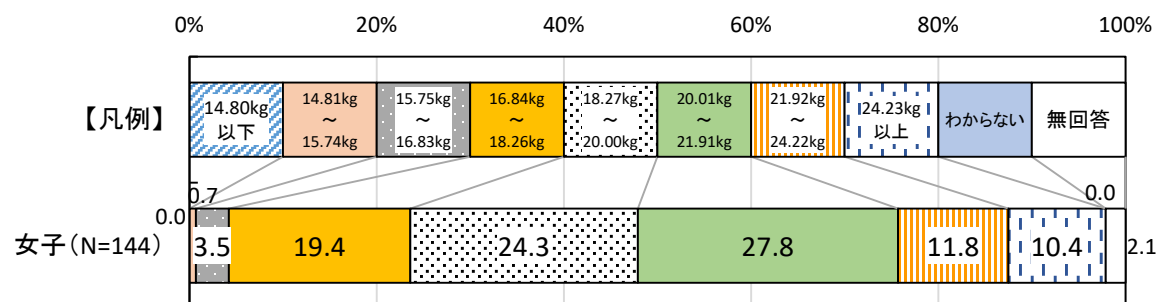


表 1-32 子どもの現在の体重【女子】

(上段：実数)
(下段：割合)

調査数	1 4 8 0 kg 以下	1 1 5 4 7 8 4 1 kg kg)	1 1 6 5 8 7 3 5 kg kg)	1 1 8 6 2 8 6 4 kg kg)	2 1 0 8 0 2 0 7 kg kg)	2 2 1 0 9 0 1 1 kg kg)	2 2 4 1 2 9 2 2 kg kg)	2 4 2 3 kg 以上	わからない	無回答
144 100.0	0 0.0	1 0.7	5 3.5	28 19.4	35 24.3	40 27.8	17 11.8	15 10.4	0 0.0	3 2.1

図 1-31 子どもの現在の体重【女子】



④ 子どもの現在の身長

問 15 お子さんの現在の身長を教えてください。
(①か②のいずれか該当する方で、あてはまる番号1つに○をつけてください)

子どもの現在の身長を尋ねたところ、男子では「111.3 cm～114.3 cm」が24.3%と最も多く、以下「114.4 cm～117.1 cm」(17.6%)、「120.0 cm以上」(14.9%)、「108.4 cm～111.2 cm」、「117.2 cm～119.9 cm」(ともに12.8%) などとなっている。

女子では「107.6 cm～110.5 cm」が21.5%と最も多く、次いで「110.6 cm～113.4 cm」(20.1%)、「113.5 cm～115.9 cm」(18.8%)、「118.3 cm以上」(18.1%) などとなっている。

表 1-33 子どもの現在の身長【男子】

調査数	1 0 3 . 2 cm 以下	1 1 0 0 5 3 . 7 3 cm cm)	1 1 0 0 8 5 . 3 8 cm cm)	1 1 1 0 1 8 . 2 4 cm cm)	1 1 1 1 4 1 . 3 3 cm cm)	1 1 1 1 7 4 . 1 4 cm cm)	1 1 1 1 9 7 . 9 2 cm cm)	1 2 0 . 0 cm 以上	わ か ら な い	無 回 答
148 100.0	1 0.7	3 2.0	12 8.1	19 12.8	36 24.3	26 17.6	19 12.8	22 14.9	5 3.4	5 3.4

図 1-32 子どもの現在の身長【男子】

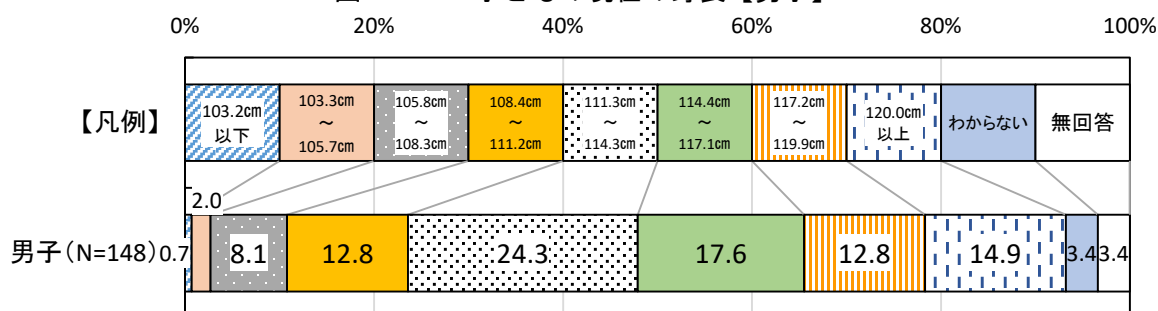
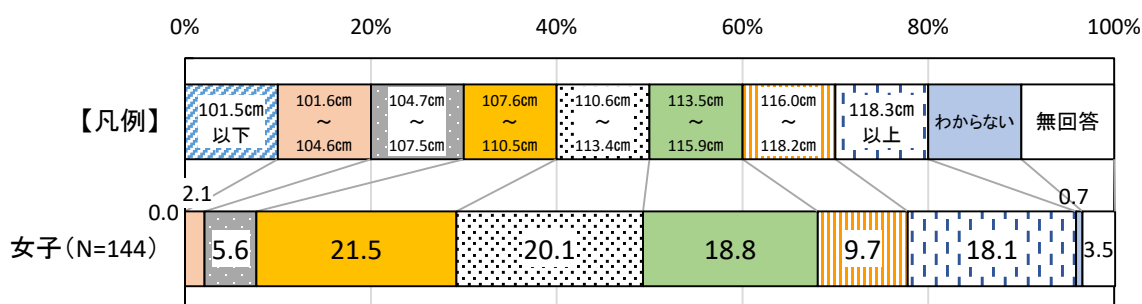


表 1-34 子どもの現在の身長【女子】

表 1-34 子どもの現在の身長【女子】											(上段：実数)
											(下段：割合)
調 査 数	1 0 1 . 5 cm 以下	1 1 0 0 4 1 . 6 6 cm cm)	1 1 0 0 7 4 . 5 7 cm cm)	1 1 1 0 0 7 . 5 6 cm cm)	1 1 1 1 3 0 . 4 6 cm cm)	1 1 1 1 5 3 . 9 5 cm cm)	1 1 1 1 8 6 . 2 0 cm cm)	1 1 8 . 3 cm 以上	わ か ら な い	無 回 答	
144 100.0	0 0.0	3 2.1	8 5.6	31 21.5	29 20.1	27 18.8	14 9.7	26 18.1	1 0.7	5 3.5	

図 1-33 子どもの現在の身長【女子】



⑤ 子どもの起床時間

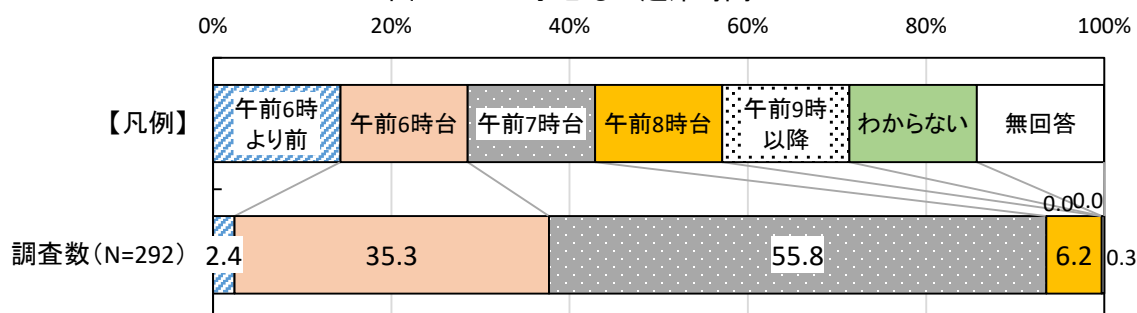
問 16 お子さんは、ふだん朝何時に起きていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

子どもの起床時間を尋ねたところ、「午前7時台」が55.8%と最も多く、半数以上となっている。以下「午前6時台」(35.3%) などとなっている。

表 1-35 子どもの起床時間

調査数	午前6時より前	午前6時台	午前7時台	午前8時台	午前9時以降	わからない	無回答
292	7	103	163	18	0	0	1
100.0	2.4	35.3	55.8	6.2	0.0	0.0	0.3

図 1-34 子どもの起床時間



⑥ 子どもの就寝時間

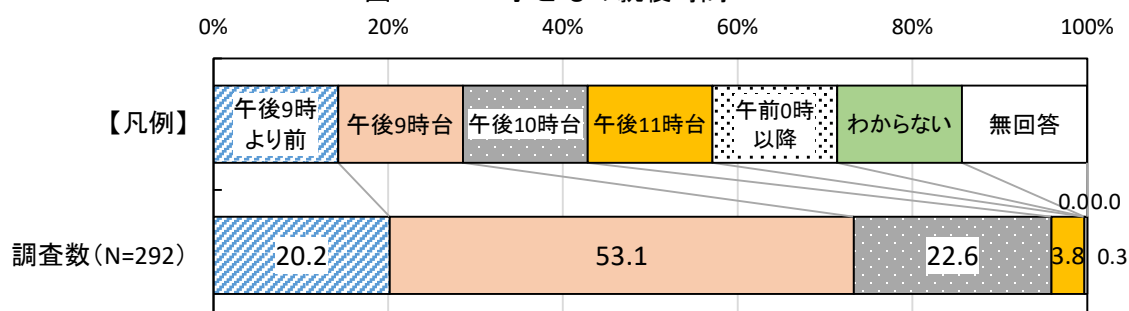
問 17 お子さんは、ふだん夜何時に寝ていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

子どもの就寝時間を尋ねたところ、「午後9時台」が53.1%と最も多く、半数以上となっている。以下「午後10時台」(22.6%)、「午後9時より前」(20.2%) などとなっている。

表 1-36 子どもの就寝時間

調査数	午後9時より前	午後9時台	午後10時台	午後11時台	午後0時以降	わからない	無回答
292	59	155	66	11	0	0	1
100.0	20.2	53.1	22.6	3.8	0.0	0.0	0.3

図 1-35 子どもの就寝時間



⑦ 朝食の摂取状況

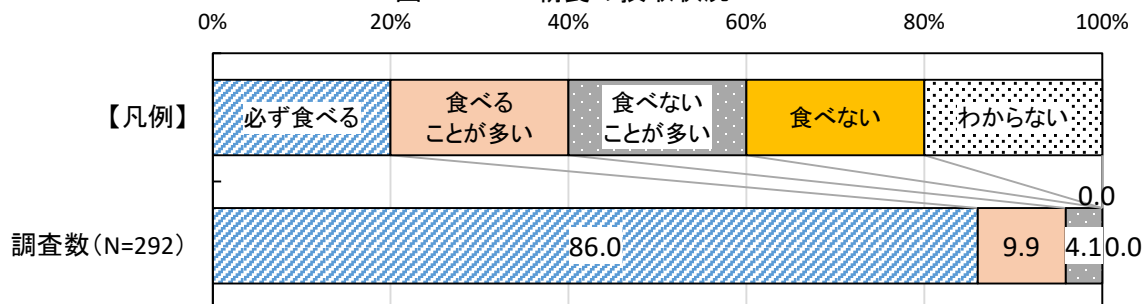
問 18 お子さんは、毎日朝ご飯を食べますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

毎日朝食を食べるかを尋ねたところ、「必ず食べる」が 86.0%を占めている。
一方、「食べない」と回答した人はいなかった。

表 1-37 朝食の摂取状況

調査数	必ず食べる	多食 い べる こ と が	が食 べ ない こ と	食 べ ない	わ か ら ない
292	251	29	12	0	0
100.0	86.0	9.9	4.1	0.0	0.0

図 1-36 朝食の摂取状況



⑧ 毎日は朝食を食べない理由

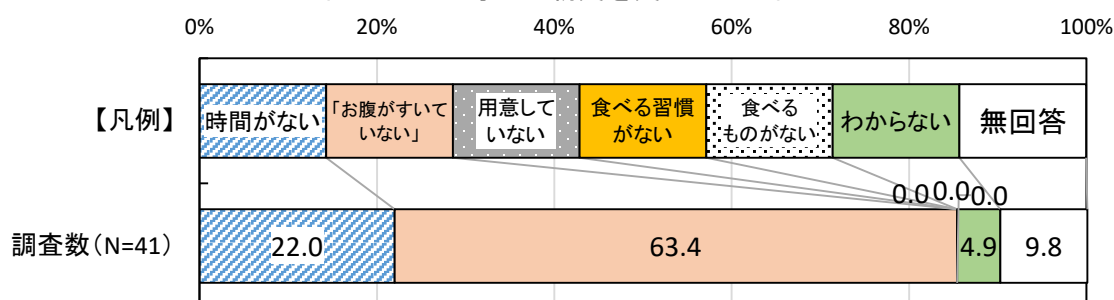
問 19 問 18 で「1. 必ず食べる」以外を選択された方にお伺いします。お子さんが朝ご飯を食べない理由は何ですか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

毎日朝食を「必ず食べる」以外を回答した 41 名に、毎日は食べない理由を尋ねたところ、「子どもが『お腹がすいていない』と言う」が 63.4%と最も多く、以下「時間がない」(22.0%) などとなっている。

表 1-38 毎日は朝食を食べない理由

調査数	時間 が ない	な腹 子 が ど い が う い お	い用 意 し て い な	な食 い る 習 慣 が	な食 い る も の が	わ か ら ない	無 回 答
41	9	26	0	0	0	2	4
100.0	22.0	63.4	0.0	0.0	0.0	4.9	9.8

図 1-37 毎日は朝食を食べない理由



⑨ 子どもが家の大人と一緒に朝食を食べる頻度

問 20 お子さんは、おうちの大人の人とどのくらい一緒に朝ご飯を食べていますか。

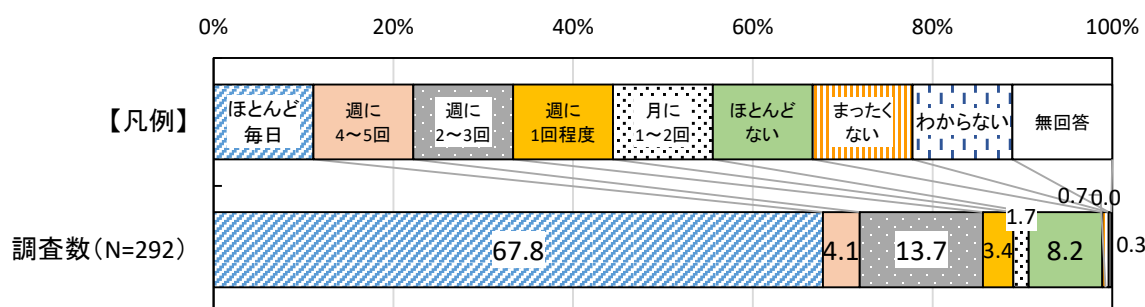
子どもが家の大人と一緒に朝食を食べる頻度を尋ねたところ、「ほとんど毎日」が 67.8%と最も多く、以下「週に 2～3 回」(13.7%) などとなっている。

一方、「ほとんどない」は 8.2%と 10%未満である。

表 1-39 子どもが家の大人と一緒に朝食を食べる頻度

調査数	ほとんど毎日	週に 4～5 回	週に 2～3 回	週に 1 回程度	月に 1～2 回	ほとんどない	まったくない	わからない	無回答
292	198	12	40	10	5	24	2	0	1
100.0	67.8	4.1	13.7	3.4	1.7	8.2	0.7	0.0	0.3

図 1-38 子どもが家の大人と一緒に朝食を食べる頻度



⑩ 夕食の摂取状況

問 21 お子さんは、毎日夜ご飯を食べますか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください。)

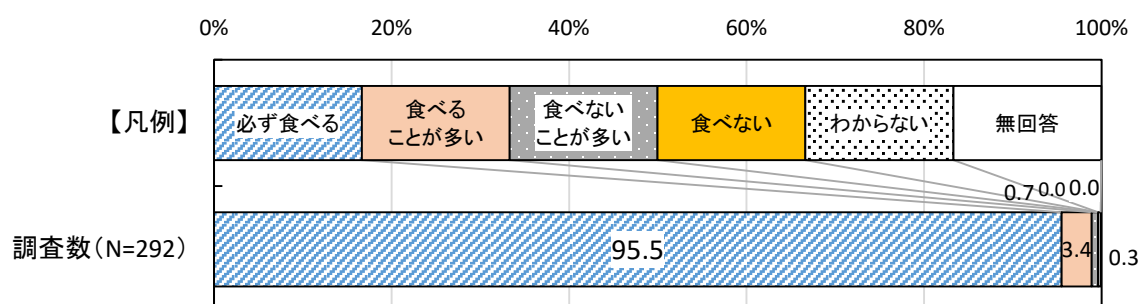
毎日夕食を食べるか尋ねたところ、「必ず食べる」が 95.5%を占めている。

一方、「食べない」と回答した人はいなかった。

表 1-40 夕食の摂取状況

調査数	必ず食べる	多食 いる ことが	が食 べない ことが多い	食 べない	わ からない	無 回答
292	279	10	2	0	0	1
100.0	95.5	3.4	0.7	0.0	0.0	0.3

図 1-39 夕食の摂取状況



⑪ 毎日は夕食を食べない理由

問 22 問 21 で「1. 必ず食べる」以外を選択された方にお伺いします。お子さんが夜ご飯を食べない理由は何ですか。

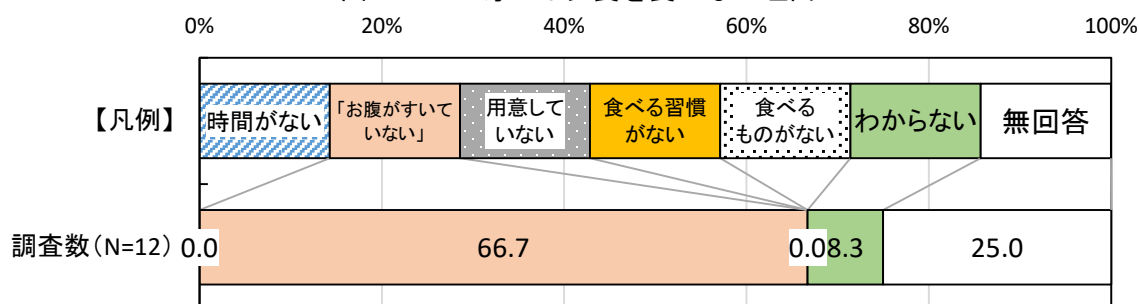
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

毎日は夕食を「必ず食べる」以外を選んだ回答者は 12 名と少ないため、参考程度にとどめる。

表 1-41 毎日は夕食を食べない理由

調査数	時間がない	な腹子 いがども 「すとい 言ういお	い用意 して いな	な食 い べ る 習 慣 が	な食 い べ る も の が	わ か ら な い	無 回 答
12	0	8	0	0	0	1	3
100.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	8.3	25.0

図 1-40 毎日は夕食を食べない理由



⑫ 子どもが家の大人と一緒に夕食を食べる頻度

問 23 お子さんは、おうちの大人の人とどのくらい一緒に夜ご飯を食べていますか。

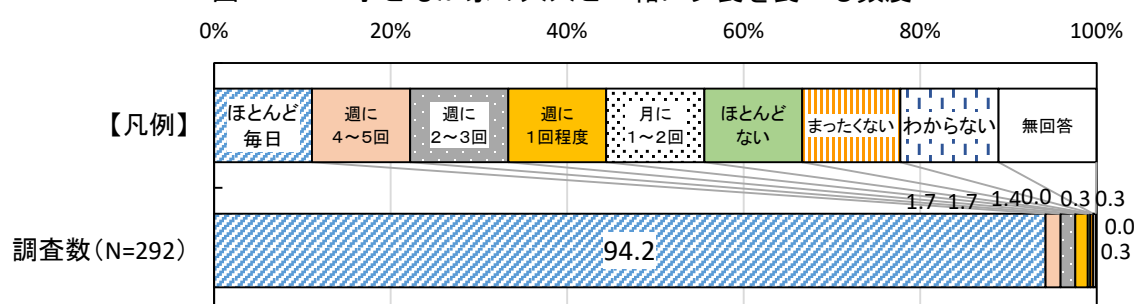
子どもが家の大人と一緒に夕食を食べる頻度を尋ねたところ、「ほとんど毎日」が 94.2%を占めている。

一方、「ほとんどない」、「まったくない」はともに 0.3%とごく僅かとなっている。

表 1-42 子どもが家の大人と一緒に夕食を食べる頻度

調査数	ほとんど毎日	週に 4～5 回	週に 2～3 回	週に 1 回程度	月に 1～2 回	ほとんどない	まったくない	わからない	無回答
292	275	5	5	4	0	1	1	0	1
100.0	94.2	1.7	1.7	1.4	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3

図 1-41 子どもが家の大人と一緒に夕食を食べる頻度



⑬ 毎日の入浴状況（シャワーのみも含む）

問 24 お子さんは、毎日お風呂（シャワーのみの場合も含む）に入りますか。
（あてはまる番号1つに○をつけてください）

毎日の入浴状況（シャワーのみも含む）を尋ねたところ、「ほとんど毎日」が94.9%を占めている。

一方、「週に1回程度」、「入らない」と回答した人はいなかった。

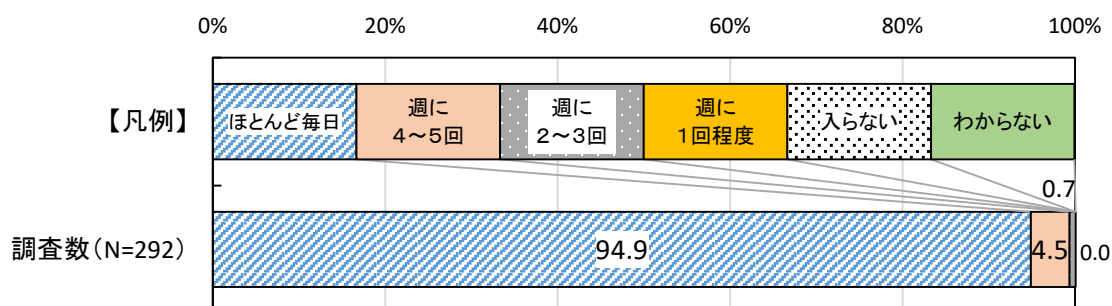
表 1-43 毎日の入浴状況（シャワーのみも含む）

（上段：実数）

（下段：割合）

調査数	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	入らない	わからない
292	277	13	2	0	0	0
100.0	94.9	4.5	0.7	0.0	0.0	0.0

図 1-42 毎日の入浴状況（シャワーのみも含む）



⑭ 子どもが1日にテレビやDVDを見たり、ゲームなどをしている時間

問 25 お子さんが1日にテレビやDVDを見たり、ゲームなどをしている時間はどれくらいありますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

子どもが1日にテレビやDVDを見たり、ゲームなどをしている時間を尋ねたところ、「1時間～2時間未満」が38.7%と最も多く、次いで「2時間～3時間未満」(34.2%)、「3時間以上」(18.5%) などとなっている。

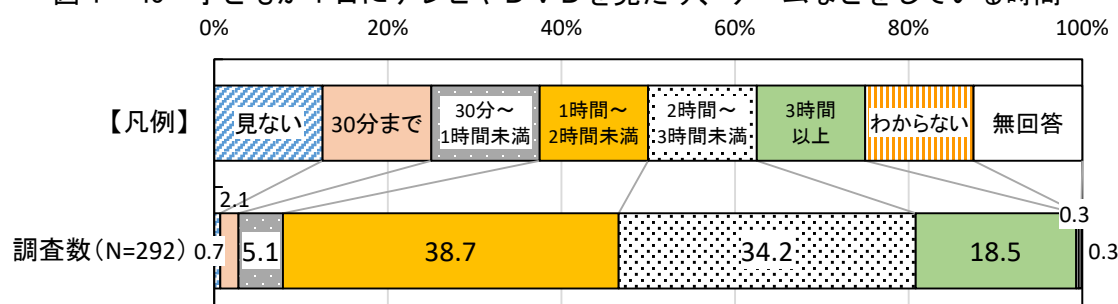
表 1-44 子どもが1日にテレビやDVDを見たり、ゲームなどをしている時間

（上段：実数）

（下段：割合）

調査数	見ない	30分まで	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間以上	わからない	無回答
292	2	6	15	113	100	54	1	1
100.0	0.7	2.1	5.1	38.7	34.2	18.5	0.3	0.3

図 1-43 子どもが1日にテレビやDVDを見たり、ゲームなどをしている時間



⑮ 歯磨き習慣の有無

問 26 お子さんは歯磨きの習慣がありますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

歯磨き習慣の有無を尋ねたところ、「ある」が97.6%を占めている。

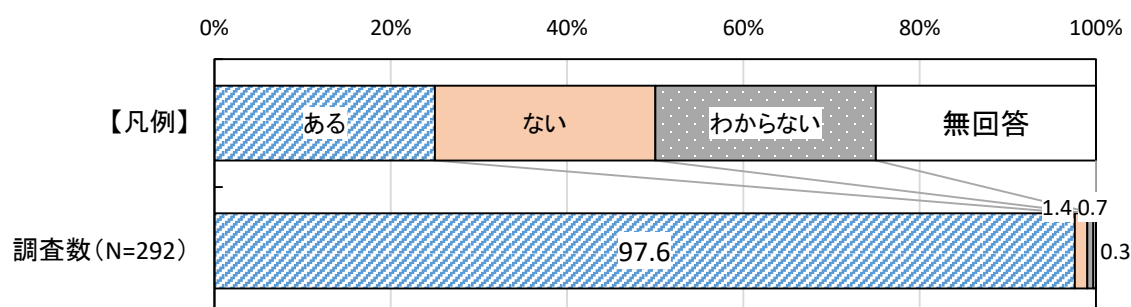
表 1-45 歯磨き習慣の有無

(上段：実数)

(下段：割合)

調査数	ある	ない	わからない	無回答
292	285	4	2	1
100.0	97.6	1.4	0.7	0.3

図 1-44 歯磨き習慣の有無



⑯ 保護者による子どもの歯磨きの仕上げ磨きの有無

問 27 保護者の方が、お子さんの歯磨きの仕上げ磨きをしますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

保護者による子どもの歯磨きの仕上げ磨きを尋ねたところ、「する」が84.9%を占めている。

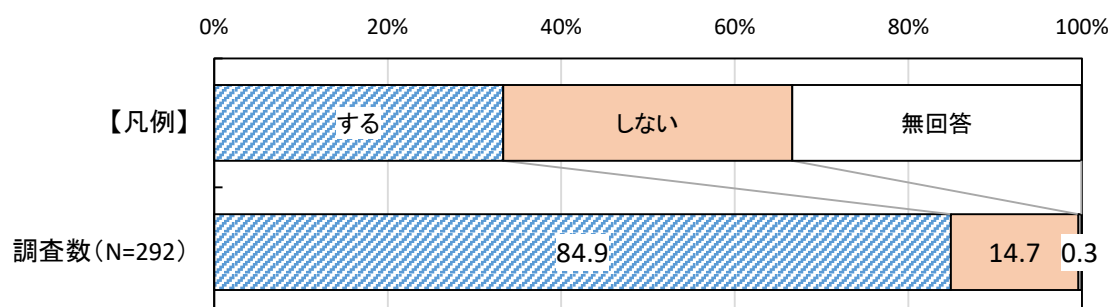
表 1-46 保護者による子どもの歯磨きの仕上げ磨きの有無

(上段：実数)

(下段：割合)

調査数	する	しない	無回答
292	248	43	1
100.0	84.9	14.7	0.3

図 1-45 保護者による子どもの歯磨きの仕上げ磨きの有無



⑰ MR（麻しん（はしか）、風しん混合）ワクチン１期の接種の状況

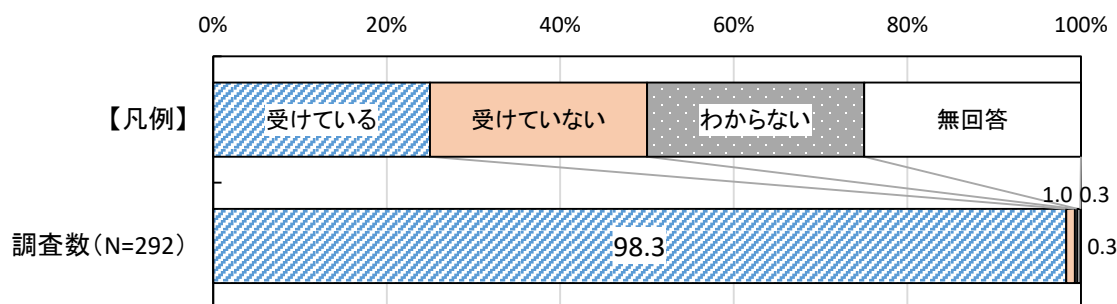
問 28 お子さんはMR（麻しん（はしか）、風しん混合）ワクチン１期（１歳～２歳の間に接種）を受けていますか。
（あてはまる番号１つに○をつけてください）

MR（麻しん（はしか）、風しん混合）ワクチン１期の接種の状況を尋ねたところ、「受けている」が98.3%を占めている。

表 1-47 MR（麻しん（はしか）、風しん混合）ワクチン１期の接種の状況

調査数	(上段：実数) (下段：割合)			
	受けている	受けていない	わからない	無回答
292	287	3	1	1
100.0	98.3	1.0	0.3	0.3

図 1-46 MR（麻しん（はしか）、風しん混合）ワクチン１期の接種の状況



⑱ 療育手帳や身体障害者、精神障害者保健福祉手帳の所持状況

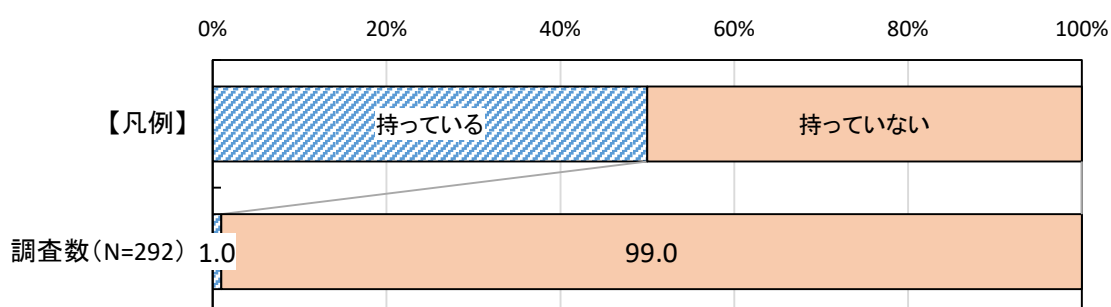
問 29 お子さんは、療育手帳や身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

療育手帳や身体障害者、精神障害者保健福祉手帳の所持状況を尋ねたところ、「持っていない」が99.0%を占めている。

表 1-48 療育手帳や身体障害者、精神障害者保健福祉手帳の所持状況

調査数	(上段：実数) (下段：割合)	
	持っている	持っていない
292	3	289
100.0	1.0	99.0

図 1-47 療育手帳や身体障害者、精神障害者保健福祉手帳の所持状況



⑬ ここ1年間での経済的な理由による子どもへの影響

問 30 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね1年の間でお考えください。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

ここ1年間での経済的な理由による子どもへの影響を尋ねたところ、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が12.7%と最も多く、次いで「子どもを習い事に通わせることができなかった」(10.6%)、「子どもに新しく服や靴を買うことができなかった」「子どもを学習塾に通わせることができなかった（通信制の幼児教育教材を含む）」（ともに6.2%）などとなっている。

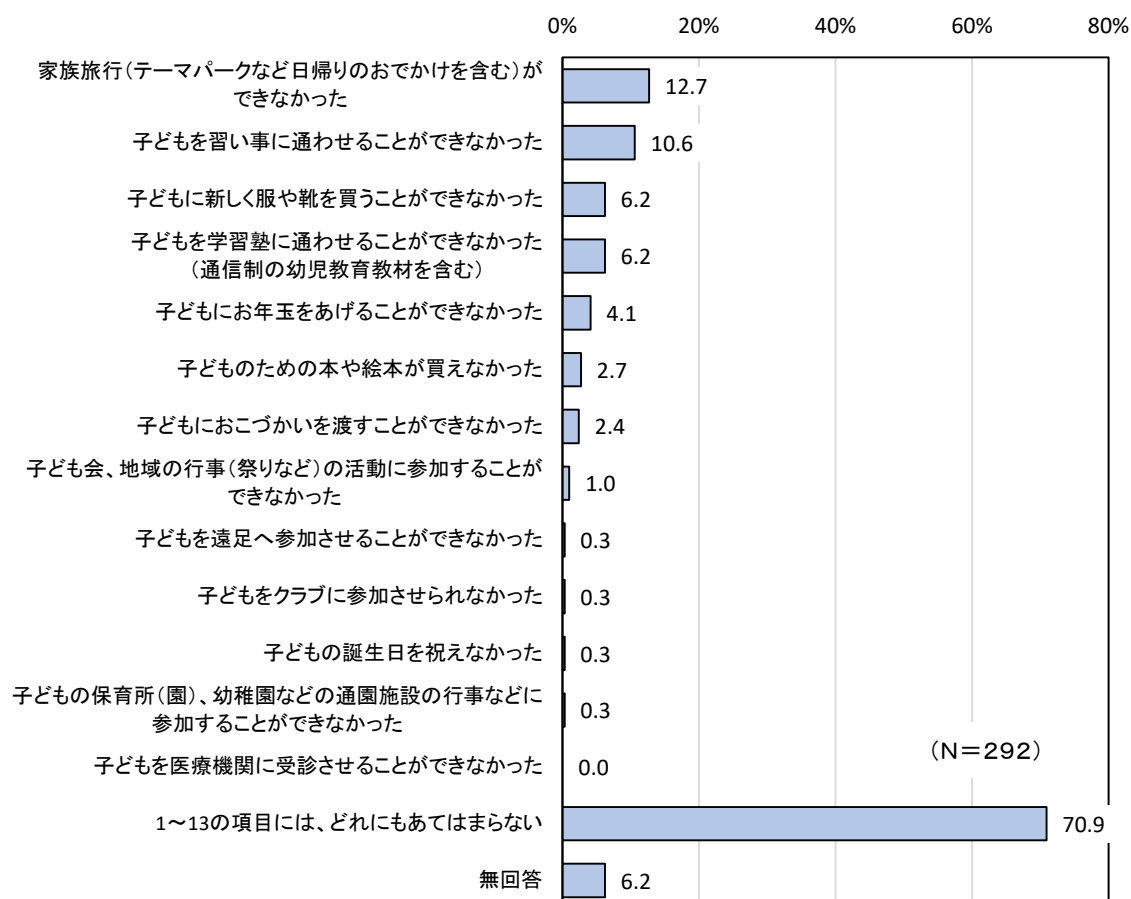
一方、「1～13の項目には、どれにもあてはまらない」は70.9%となっている。

表 1-49 ここ1年間での経済的な理由による子どもへの影響

(上段：実数)
(下段：割合)

調査数	子どもを医療機関に受診させることができなかった	子どものための本や絵本が買えなかった	子どもにおこづかいを渡すことができなかった	子どもに新しく服や靴を買うことができなかった	子どもを遠足へ参加させることができなかった	子どもを習い事に通わせることができなかった	子どもをクラブに参加させられなかった	教育教材を含む（通信制の幼児教育教材を含む）	子どもの誕生日を祝えなかった	子どもをお年玉をあげることができなかった	子どもの通園施設（園）、幼稚園などの通園施設の行事などに参加することができなかった	子ども会、地域の行事（祭りなど）の活動に参加することができなかった	家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった	1～13の項目には、どれにもあてはまらない	無回答
292 100.0	0 0.0	8 2.7	7 2.4	18 6.2	1 0.3	31 10.6	1 0.3	18 6.2	1 0.3	12 4.1	1 0.3	3 1.0	37 12.7	207 70.9	18 6.2

図 1-48 ここ1年間での経済的な理由による子どもへの影響



② 世帯内での教育状況

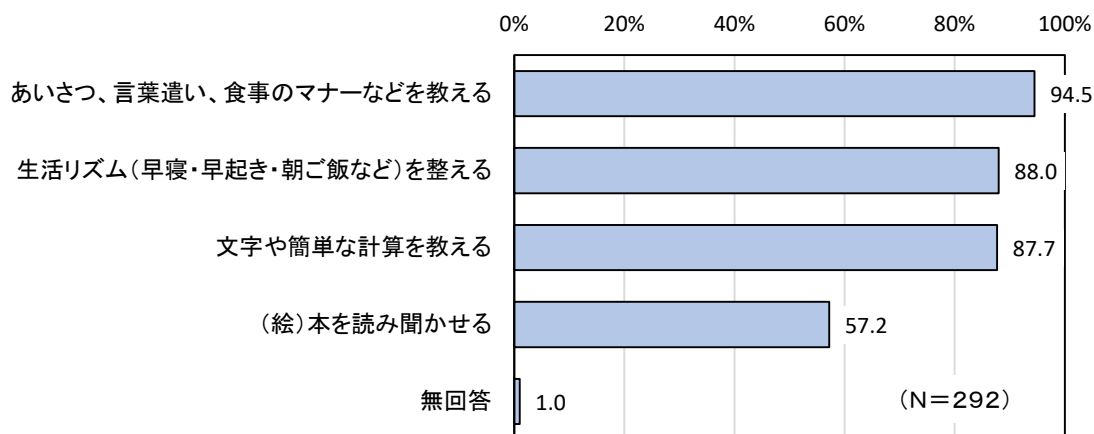
問 31 あなたの世帯では、お子さんに次のことをしていますか。(おおむね1年の間でお考えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

世帯内での教育状況を尋ねたところ、「あいさつ、言葉遣い、食事のマナーなどを教える」が94.5%と最も多く、次いで「生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯など)を整える」(88.0%)、「文字や簡単な計算を教える」(87.7%)といずれも80%以上となっている。一方、「(絵)本を読み聞かせる」は57.2%と他の項目に比べてやや少なくなっている。

表 1-50 世帯内での教育状況

調査数	飯・寝・生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯など)を整える	文字や簡単な計算を教える	あいさつ、言葉遣い、食事のマナーなどを教える	か(絵)本を読み聞かせる	無回答
292	257	256	276	167	3
100.0	88.0	87.7	94.5	57.2	1.0

図 1-49 世帯内での教育状況



② 子どもへの愛情・接し方

1) 子どもをかわいいと思うか

問 32 あなたとお子さんとの関係について、次の項目で最も近いものを選んでください。

(1) あなたは、お子さんをかわいいと思いますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

子どもをかわいいと思うか尋ねたところ、「とてもかわいい」が 82.9%と最も多く、「かわいい」(17.1%) を合わせると、すべての回答者が『かわいい』と回答している。

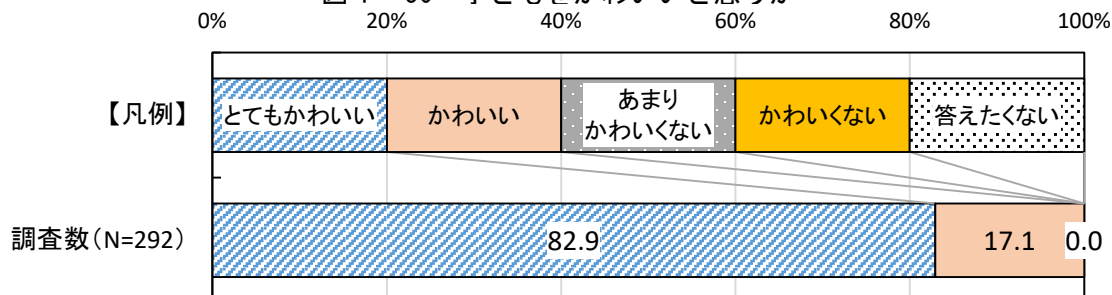
表 1-51 子どもをかわいいと思うか

(上段：実数)

(下段：割合)

調査数	とてもかわいい	かわいい	あまりかわいくない	かわいくない	答えたくない
292	242	50	0	0	0
100.0	82.9	17.1	0.0	0.0	0.0

図 1-50 子どもをかわいいと思うか



2) 子どもとの会話状況

(2) あなたは、お子さんとよく会話をしますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

子どもとの会話状況について尋ねたところ、「よくする」が 75.3%と最も多く、「する」(23.6%) を合わせた『会話をする』人は 99.0%を占めている。

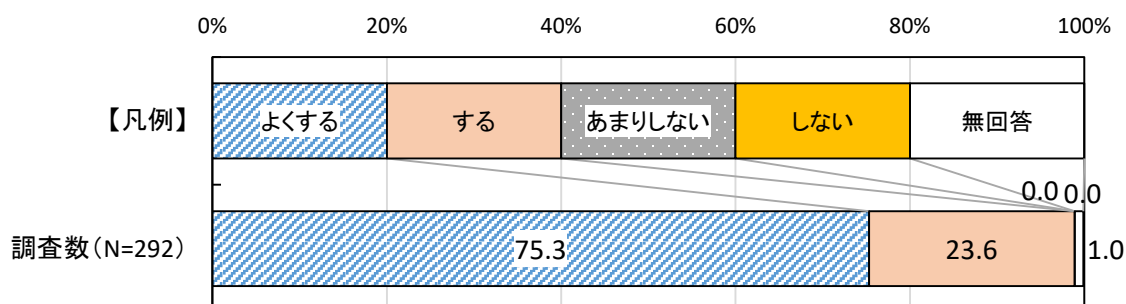
表 1-52 子どもとの会話状況

(上段：実数)

(下段：割合)

調査数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
292	220	69	0	0	3
100.0	75.3	23.6	0.0	0.0	1.0

図 1-51 子どもとの会話状況



3) 平日や休日に子どもの相手をする時間（1日あたりの平均）

（3）あなたがお子さんと一緒に何かしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。
（平日、休日それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください）

子どもの相手をする時間（1日あたりの平均）を尋ねたところ、平日では「1時間～2時間未満」が26.7%と最も多く、以下「2時間～3時間未満」（18.5%）、「30分～1時間未満」（17.5%）、「4時間以上」（17.1%）などとなっている。

休日では「10時間以上」が21.2%と最も多く、以下「3時間～4時間未満」、 「4時間～6時間未満」（ともに15.4%）などとなっている。

表1-53 子どもの相手をする時間【平日】（1日あたりの平均）

調査数								
	15分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間～6時間未満	6時間以上	無回答
292	1	10	51	78	54	35	50	13
100.0	0.3	3.4	17.5	26.7	18.5	12.0	17.1	4.5

図1-52 子どもの相手をする時間【平日】（1日あたりの平均）

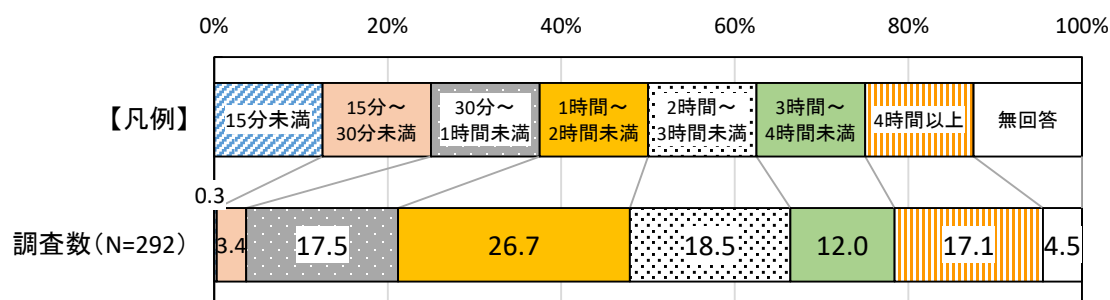
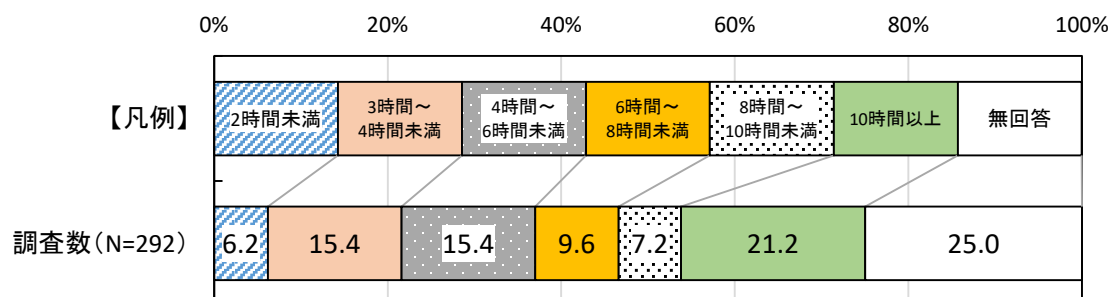


表1-54 子どもの相手をする時間【休日】（1日あたりの平均）

調査数							
	2時間未満	3時間～4時間未満	4時間～6時間未満	6時間～8時間未満	8時間～10時間未満	10時間以上	無回答
292	18	45	45	28	21	62	73
100.0	6.2	15.4	15.4	9.6	7.2	21.2	25.0

図1-53 子どもの相手をする時間【休日】（1日あたりの平均）



② 子どもへの対応

問 33 あなたの世帯では、お子さんに次の①～⑦のようなことをすることがありますか。（それぞれ1～4のあてはまる番号1つに○をつけてください）

世帯での子どもへの対応について尋ねたところ、「まったくない」の割合は「①夜間に子どもだけ残して外出する」（95.9%）及び「⑥子どものしつけのために、屋外に締め出す」（89.4%）が他の項目に比べて多くなっている。

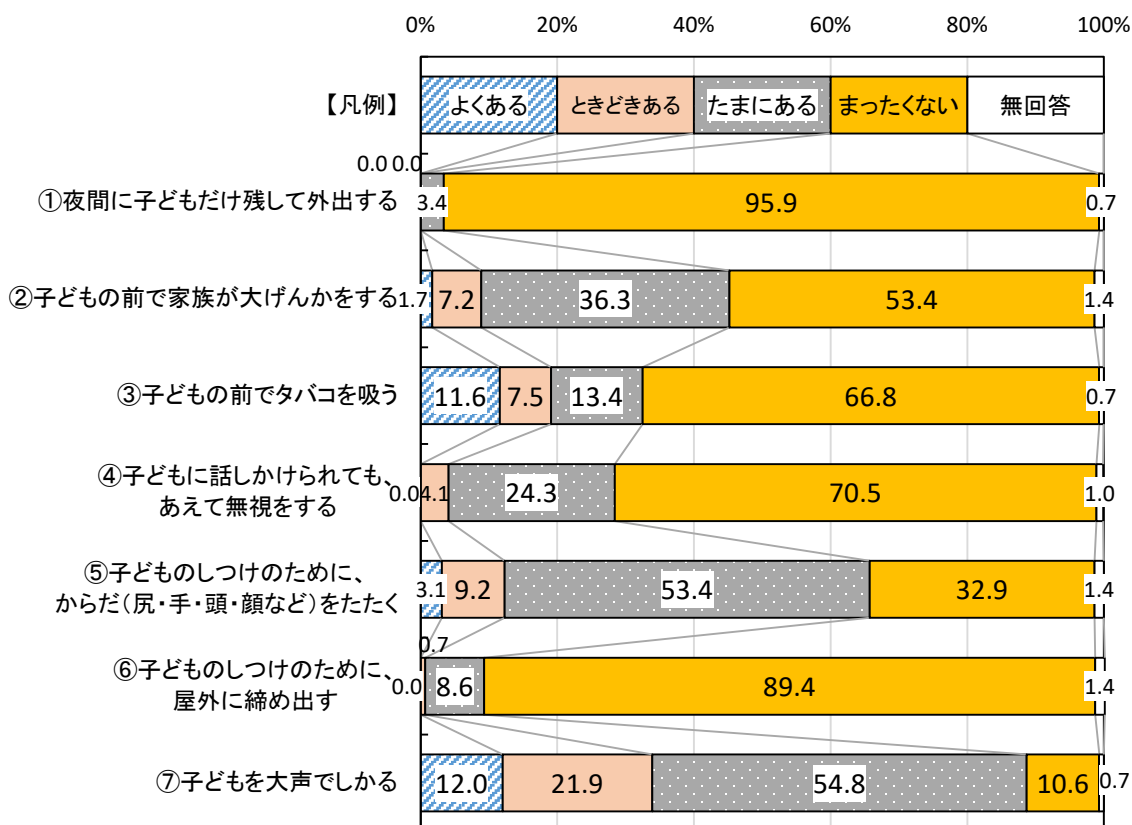
一方、「よくある」「ときどきある」「たまにある」を合わせた『ある』の割合は、「⑤子どものしつけのために、からだ（尻・手・頭・顔など）をたたく」（65.7%）、「⑦子どもを大声でしかる」（88.7%）と他の項目に比べて多い。

表 1-55 子どもへの対応

	調査数	よくある	ときどきある	たまにある	まったくない	無回答
①夜間に子どもだけ残して外出する	292 100.0	0 0.0	0 0.0	10 3.4	280 95.9	2 0.7
②子どもの前で家族が大げんかをする	292 100.0	5 1.7	21 7.2	106 36.3	156 53.4	4 1.4
③子どもの前でタバコを吸う	292 100.0	34 11.6	22 7.5	39 13.4	195 66.8	2 0.7
④子どもに話しかけられても、あえて無視をする	292 100.0	0 0.0	12 4.1	71 24.3	206 70.5	3 1.0
⑤子どものしつけのために、からだ（尻・手・頭・顔など）をたたく	292 100.0	9 3.1	27 9.2	156 53.4	96 32.9	4 1.4
⑥子どものしつけのために、屋外に締め出す	292 100.0	0 0.0	2 0.7	25 8.6	261 89.4	4 1.4
⑦子どもを大声でしかる	292 100.0	35 12.0	64 21.9	160 54.8	31 10.6	2 0.7

（上段：実数）
（下段：割合）

図 1-54 子どもへの対応



② 子どもの進学に関する希望

問 34 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

子どもの進学に関する希望を尋ねたところ、「大学・短期大学」が50.3%と最も多く、以下「高校」(19.5%)、「専門学校・高等専門学校」(11.0%)などとなっている。

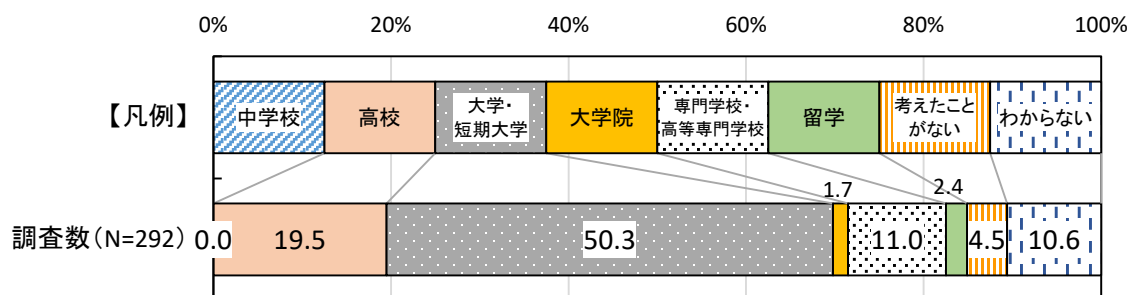
表 1-56 子どもの進学に関する希望

調査数	中学校	高校	大学・短期大学	大学院	専門学校・高等専門学校	留学	考えたことがない	わからない
292	0	57	147	5	32	7	13	31
100.0	0.0	19.5	50.3	1.7	11.0	2.4	4.5	10.6

(上段：実数)

(下段：割合)

図 1-55 子どもの進学に関する希望



(5) 保護者本人について

① 初めて親となった年齢

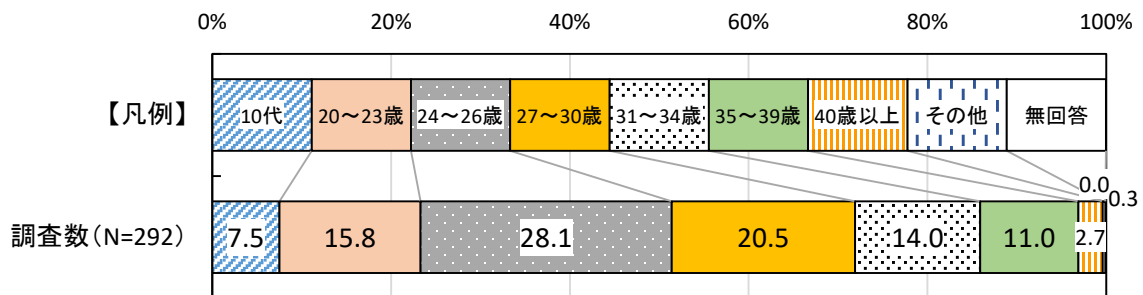
問 35 初めて親となった年齢はいくつですか（実子以外も含みます）。
（あてはまる番号1つに○をつけてください）

初めて親となった年齢を尋ねたところ、「24～26 歳」が 28.1%と最も多く、以下「27～30 歳」（20.5%）、「20～23 歳」（15.8%）などとなっており、『20 代』では 64.4%となっている。

表 1－57 初めて親となった年齢

調 査 数	(上段：実数) (下段：割合)								
	1 0 代	2 0 ～ 2 3 歳	2 4 ～ 2 6 歳	2 7 ～ 3 0 歳	3 1 ～ 3 4 歳	3 5 ～ 3 9 歳	4 0 歳 以 上	そ の 他	無 回 答
292	22	46	82	60	41	32	8	0	1
100.0	7.5	15.8	28.1	20.5	14.0	11.0	2.7	0.0	0.3

図 1－56 初めて親となった年齢



② 自分を支えて、手伝ってくれる人の有無

問 36 次の①～⑦について、おうちの方を含め（子どもは除き）、あなたを支えてくれて、手伝ってくれている人はいますか。
（それぞれ、1～3のあてはまる番号1つに○をつけてください）

自分を支えて、手伝ってくれる人の有無を尋ねたところ、「いる」はいずれの項目においても70%以上となっており、特に「①心配ごとや悩みごとを親身に聞いてくれる人」は91.1%を占めている。

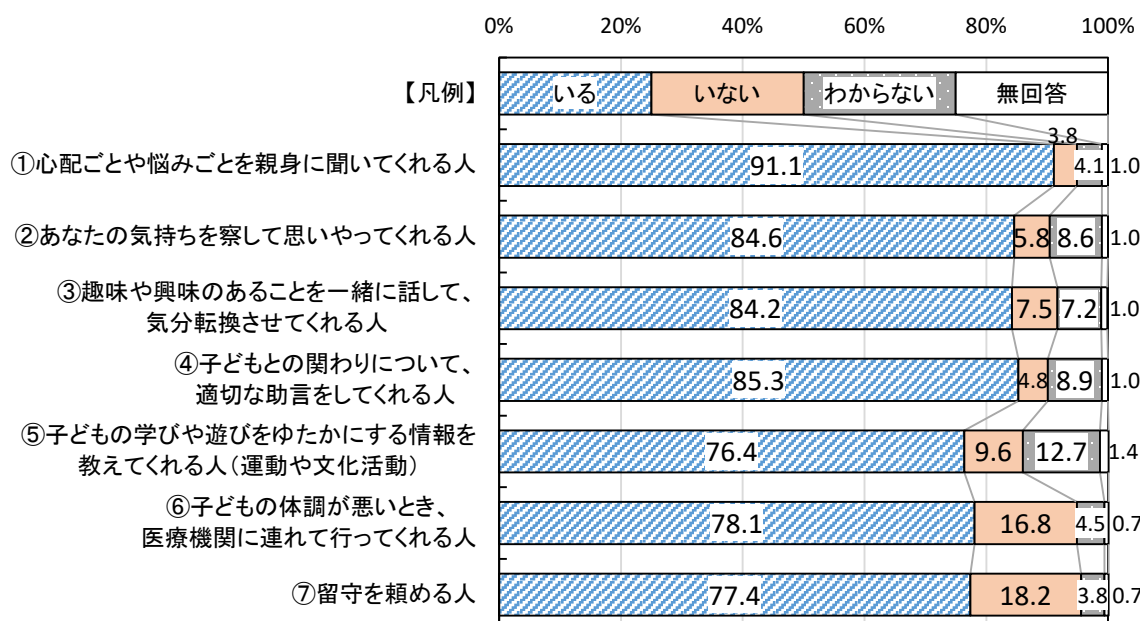
一方、「いない」は『⑥子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人』（16.8%）、『⑦留守を頼める人』（18.2%）において、他の項目と比べやや多くなっている。

表 1-58 自分を支えて、手伝ってくれる人の有無

（上段：実数）
（下段：割合）

	調査数	いる	いない	わからない	無回答
①心配ごとや悩みごとを親身に聞いてくれる人	292	266	11	12	3
	100.0	91.1	3.8	4.1	1.0
②あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	292	247	17	25	3
	100.0	84.6	5.8	8.6	1.0
③趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	292	246	22	21	3
	100.0	84.2	7.5	7.2	1.0
④子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	292	249	14	26	3
	100.0	85.3	4.8	8.9	1.0
⑤子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）	292	223	28	37	4
	100.0	76.4	9.6	12.7	1.4
⑥子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	292	228	49	13	2
	100.0	78.1	16.8	4.5	0.7
⑦留守を頼める人	292	226	53	11	2
	100.0	77.4	18.2	3.8	0.7

図 1-57 自分を支えて、手伝ってくれる人の有無



③ 困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先

問 37 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先を尋ねたところ、「配偶者・パートナー」が79.8%と最も多く、僅差で「自分の親」(79.1%)が続いており、以下「近隣に住む知人や友人」(45.5%)、「きょうだい・その他の親戚」(40.8%)などとなっている。

一方、「相談できる相手がいない」と回答した人はいなかった。

表 1-59 困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先

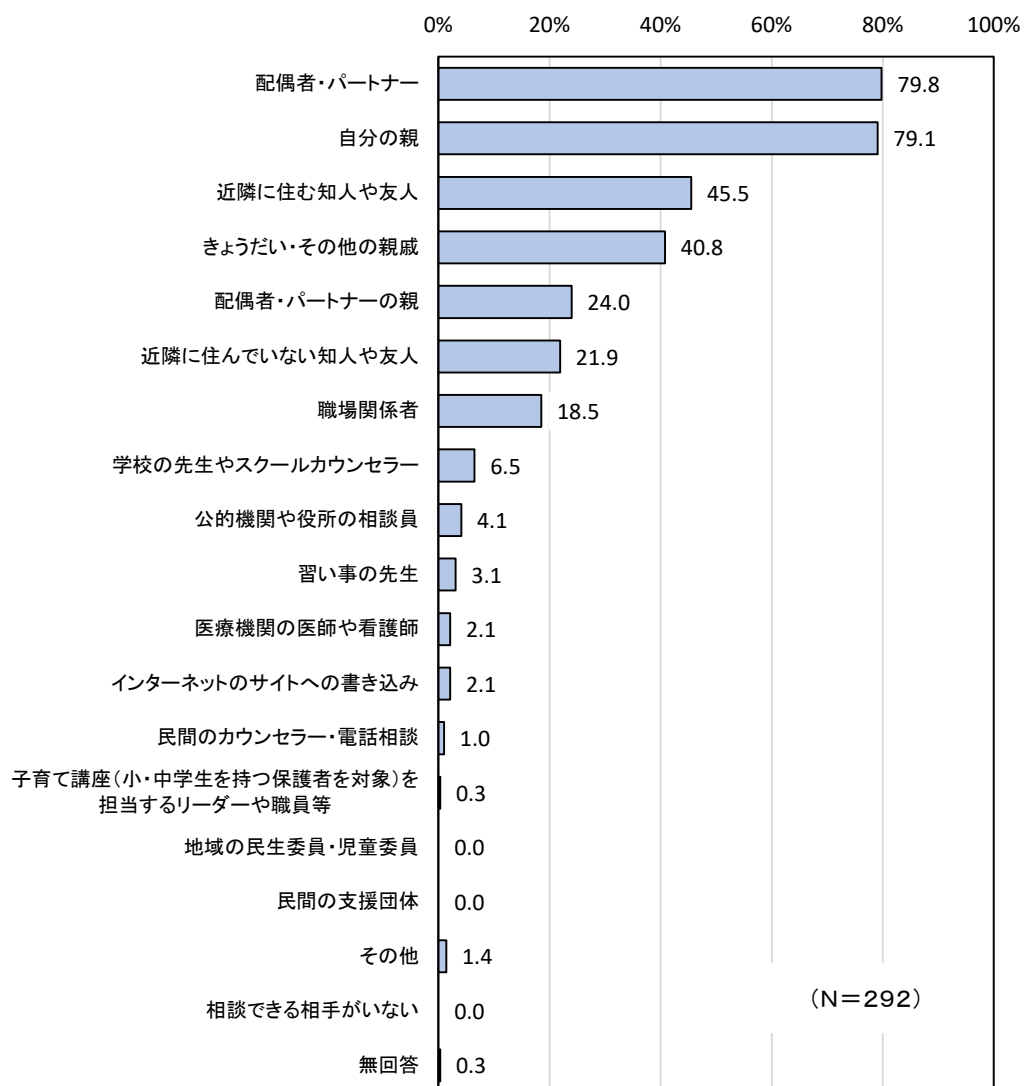
(上段：実数)

(下段：割合)

調査数	配偶者・パートナー	自分の親	配偶者・パートナーの親	きょうだい・その他の親戚	近隣に住む知人や友人	友人 近隣に住んでいない知人や	職場関係者	学校の先生やスクールカウンセラー	子育て講座(小・中学生を 持つ保護者を対象)を担当する リーダーや職員等
292	233	231	70	119	133	64	54	19	1
100.0	79.8	79.1	24.0	40.8	45.5	21.9	18.5	6.5	0.3

公的機関や役所の相談員	習い事の先生	地域の民生委員・児童委員	民間の支援団体	民間のカウンセラー・電話相談	医療機関の医師や看護師	インターネットのサイトへの書き込み	その他	相談できる相手がいない	無回答
12	9	0	0	3	6	6	4	0	1
4.1	3.1	0.0	0.0	1.0	2.1	2.1	1.4	0.0	0.3

図 1－58 困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先



④ 心の状態について

1) 生活を楽しんでいるか

問 38 あなたの心の状態についておたずねします。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください)

(1) 生活を楽しんでいますか。(仕事や家事、育児など)

生活を楽しんでいるか尋ねたところ、「楽しんでいる」が54.5%と最も多く、「とても楽しんでいる」(23.6%)を合わせた『楽しんでいる』人は78.1%となっている。

一方、「あまり楽しんでいない」(10.3%)と「楽しんでいない」(1.0%)を合わせた『楽しんでいない』人は11.3%となっている。

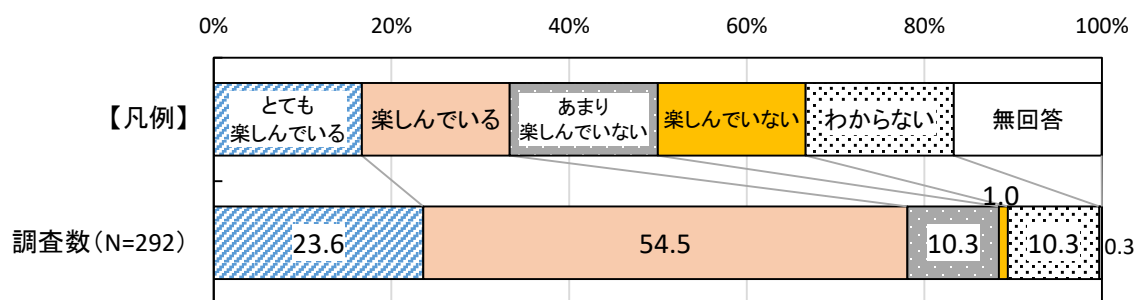
表 1-60 生活を楽しんでいるか

(上段：実数)

(下段：割合)

調査数	とても楽しんでいる	楽しんでいる	あまり楽しんでいない	楽しんでいない	わからない	無回答
292	69	159	30	3	30	1
100.0	23.6	54.5	10.3	1.0	10.3	0.3

図 1-59 生活を楽しんでいるか



2) 将来への希望を持っているか

(2) 将来に対して希望を持っていますか。

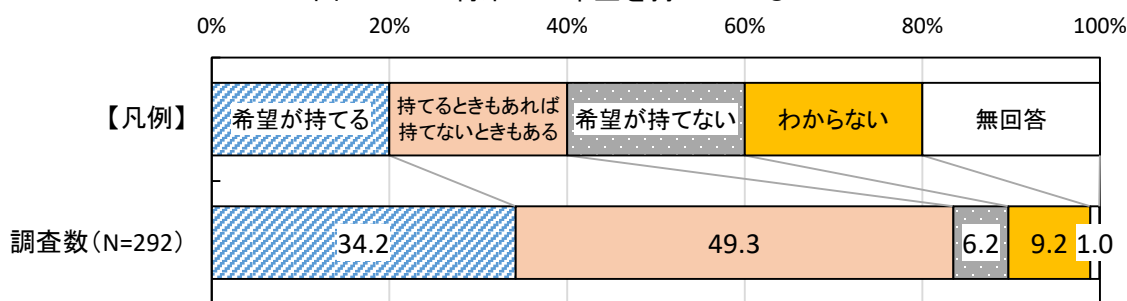
将来への希望を持っているか尋ねたところ、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が49.3%と最も多く、以下「希望が持てる」(34.2%)となっている。

一方、「希望が持てない」は6.2%となっている。

表1-61 将来への希望を持っているか

調査数	(上段：実数) (下段：割合)				
	希望が持てる	いも希望が持てる ときもあれば、持てない	希望が持てない	わからない	無回答
292	100	144	18	27	3
100.0	34.2	49.3	6.2	9.2	1.0

図1-60 将来への希望を持っているか



3) ストレスを発散できるものの有無

(3) ストレスを発散できるものがありますか。

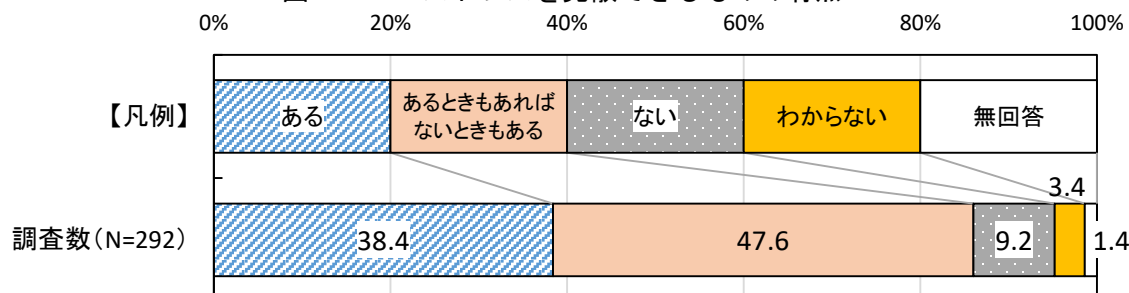
ストレスを発散できるものがあるか尋ねたところ、「あるときもあれば、ないときもある」が47.6%と最も多く、以下「ある」(38.4%) などとなっている。

一方、「ない」は9.2%となっている。

表1-62 ストレスを発散できるものの有無

調査数	(上段：実数) (下段：割合)				
	ある	あばある ないときもあ れ	ない	わからない	無回答
292	112	139	27	10	4
100.0	38.4	47.6	9.2	3.4	1.4

図1-61 ストレスを発散できるものの有無



4) 自分が幸せだと思うか

(4) あなたは、ご自分が幸せだと思いますか。

自分が幸せだと思うか尋ねたところ、「幸せだと思う」が55.8%と最も多く、「とても幸せだと思う」(29.8%)を合わせた『幸せ』と思う人は85.6%となっている。

一方、「あまり幸せだと思わない」(5.5%)と「幸せだと思わない」(1.4%)を合わせた『幸せと思わない』人は6.9%となっている。

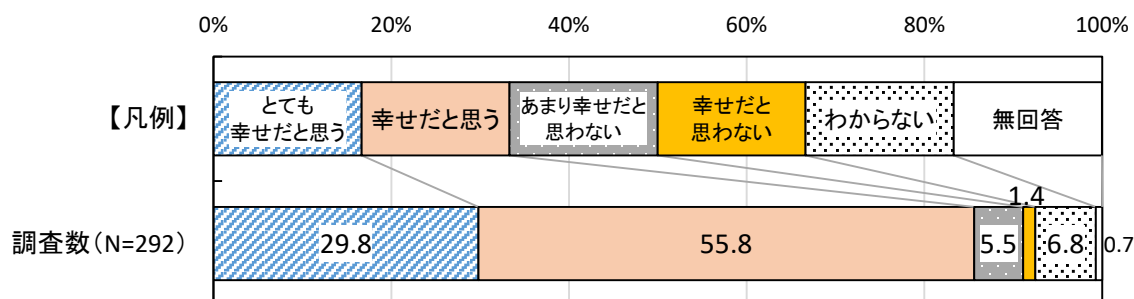
表 1-63 自分が幸せだと思うか

(上段：実数)

(下段：割合)

調査数	とても 幸せだ と思う	幸 せだ と 思 う	あ ま り 幸 せ だ と 思 わ な い	い 幸 せ だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
292	87	163	16	4	20	2
100.0	29.8	55.8	5.5	1.4	6.8	0.7

図 1-62 自分が幸せだと思うか



⑤ 自分の体や気持ちで気になること

問 39 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

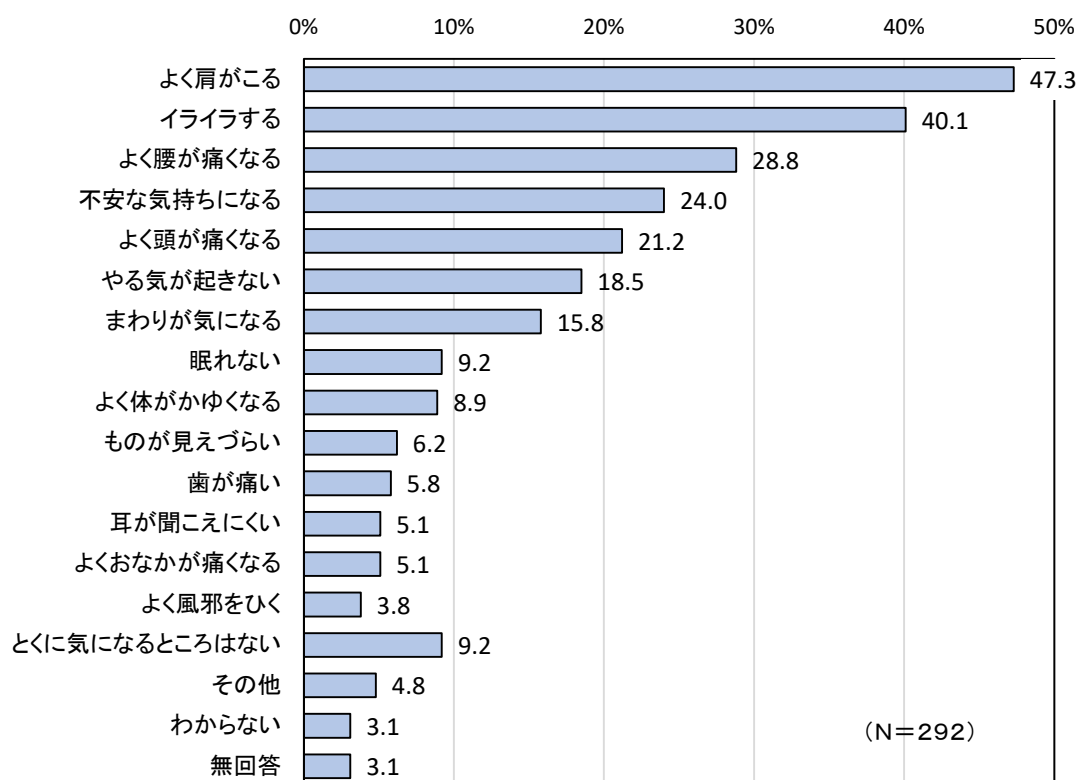
自分の体や気持ちで気になることを尋ねたところ、「よく肩がこる」が47.3%と最も多く、以下「イライラする」(40.1%)、「よく腰が痛くなる」(28.8%)、「不安な気持ちになる」(24.0%)、「よく頭が痛くなる」(21.2%) などとなっている。

一方、「とくに気になるところはない」は9.2%となっている。

表 1－64 自分の体や気持ちで気になること

		(上段：実数)		(下段：割合)							
調査数											
292	27	62	17	70	18	15	15	11			
100.0	9.2	21.2	5.8	24.0	6.2	5.1	5.1	3.8			
かよく	まわり	やる	イライ	よく	よく	とと	その	わか	無回		
ゆく	りが	気が	ライル	肩が	よく	とと	他	らな	答		
体	が	起き	する	こる	腰が	ころ		い			
なる	気	ない			痛く	は					
	に				なる	気					
	な					に					
						な					
26	46	54	117	138	84	27	14	9	9		
8.9	15.8	18.5	40.1	47.3	28.8	9.2	4.8	3.1	3.1		

図 1－63 自分の体や気持ちで気になること



⑥ 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと

問 40 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

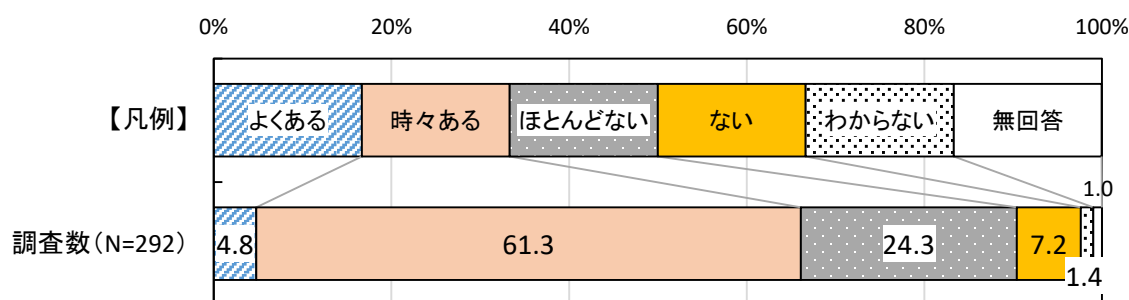
不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがあるか尋ねたところ、「時々ある」が61.3%と最も多く、「よくある」(4.8%)を合わせた『ある』は66.1%となっている。

一方、「ほとんどない」(24.3%)と「ない」(7.2%)を合わせた『ない』人は31.5%となっている。

表 1-65 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと

調査数	(上段：実数) (下段：割合)					
	よくある	時々ある	ほとんどない	ない	わからない	無回答
292	14	179	71	21	4	3
100.0	4.8	61.3	24.3	7.2	1.4	1.0

図 1-64 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと



⑦ 定期的な健康診断受診の有無

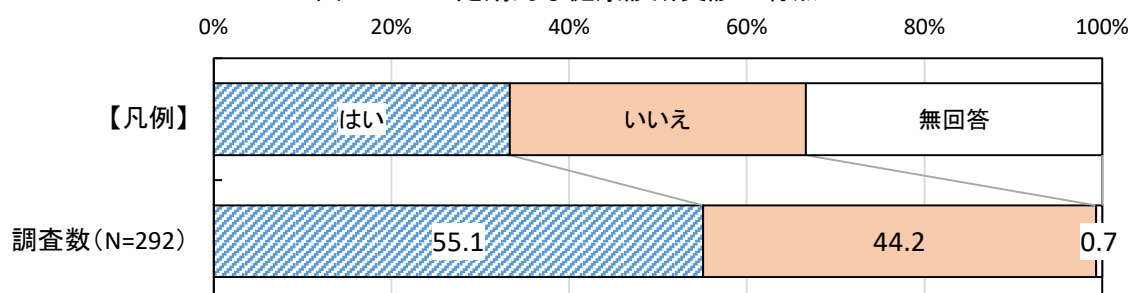
問 41 あなたは、定期的に健康診断を受けていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

定期的な健康診断受診の有無を尋ねたところ、「はい」が55.1%と「いいえ」(44.2%)をやや上回っている。

表 1-66 定期的な健康診断受診の有無

調査数	(上段：実数) (下段：割合)		
	はい	いいえ	無回答
292	161	129	2
100.0	55.1	44.2	0.7

図 1-65 定期的な健康診断受診の有無



⑧ 自分自身について

問 42 次の①～⑤について、おたずねします。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

自分自身について①～⑤の質問項目について尋ねたところ、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『思う』は、「②はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける」で74.0%と他の項目に比べて多くなっている。

一方、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』は、「③人の集まりの中では、うまくふるまえない」(63.3%)、「④私は自分から友だちを作るのがうまい」(64.0%)、「⑤人生で起きる問題の多くは自分では解決できない」(67.4%)と他の項目に比べて多くなっている。

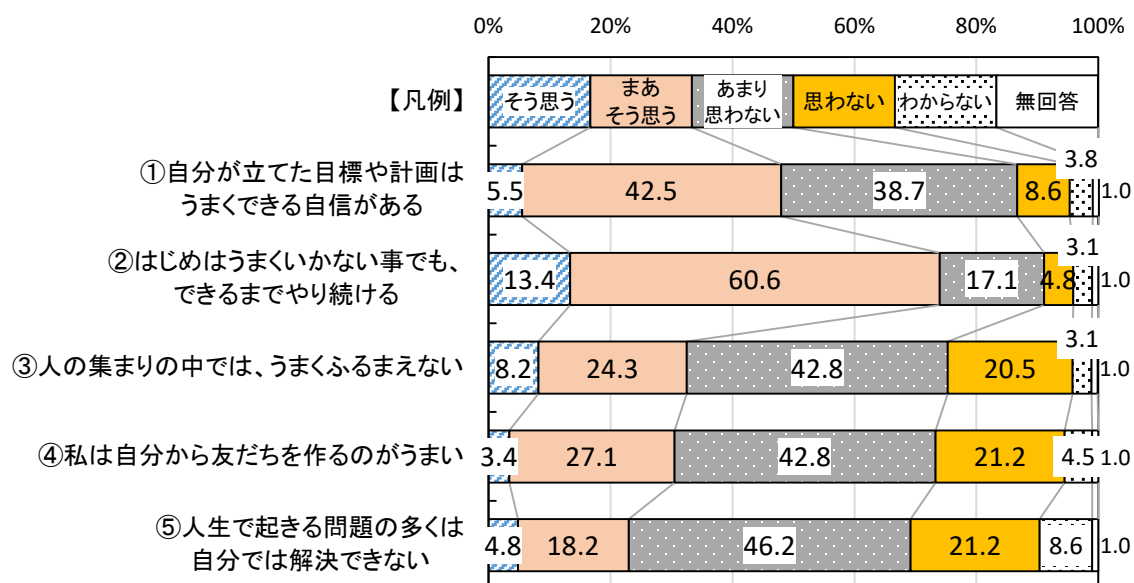
表 1-67 自分自身について

	調査数	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	無回答
①自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある	292	16	124	113	25	11	3
	100.0	5.5	42.5	38.7	8.6	3.8	1.0
②はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける	292	39	177	50	14	9	3
	100.0	13.4	60.6	17.1	4.8	3.1	1.0
③人の集まりの中では、うまくふるまえない	292	24	71	125	60	9	3
	100.0	8.2	24.3	42.8	20.5	3.1	1.0
④私は自分から友だちを作るのがうまい	292	10	79	125	62	13	3
	100.0	3.4	27.1	42.8	21.2	4.5	1.0
⑤人生で起きる問題の多くは自分では解決できない	292	14	53	135	62	25	3
	100.0	4.8	18.2	46.2	21.2	8.6	1.0

(上段：実数)

(下段：割合)

図 1-66 自分自身について (N=292)



⑨ 地域との関わりについて

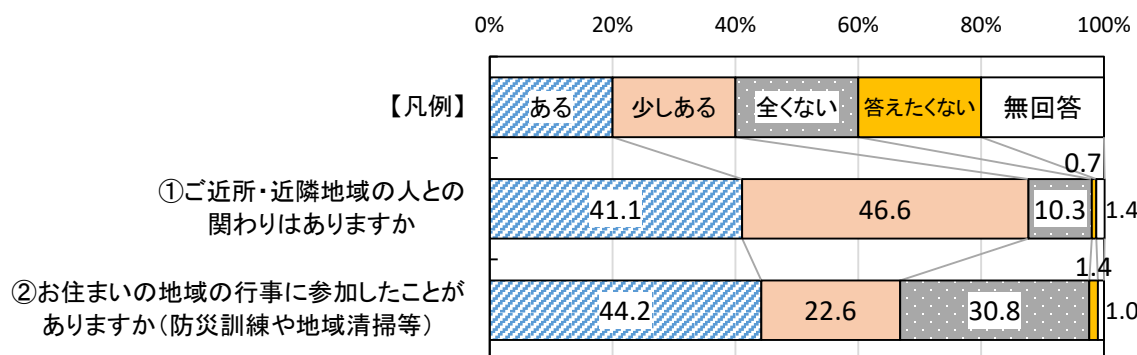
問 44 あなたの世帯の地域との関わりについておたずねします。
(それぞれ、1～4のあてはまる番号1つに○をつけてください)

地域との関わりを尋ねたところ、「ある」と「少しある」を合わせた『ある』が、「①ご近所・近隣地域の人との関わり」では87.7%であるのに対し、「②お住まいの地域の行事に参加したことがある（防災訓練や地域清掃等）」は66.8%と約21ポイント少なくなっている。

表 1－68 地域との関わりについて

	調査数	ある	少しある	全くない	答えたくない	無回答
①ご近所・近隣地域の人との関わりはありますか	292	120	136	30	2	4
	100.0	41.1	46.6	10.3	0.7	1.4
②お住まいの地域の行事に参加したことがありますか（防災訓練や地域清掃等）	292	129	66	90	4	3
	100.0	44.2	22.6	30.8	1.4	1.0

図 1－67 地域との関わりについて（N=292）



(6) 機関・団体などの認知度

問 45 あなたは、次の機関・団体、人を知っていますか？
(それぞれ、1～3のあてはまる番号1つに○をつけてください)

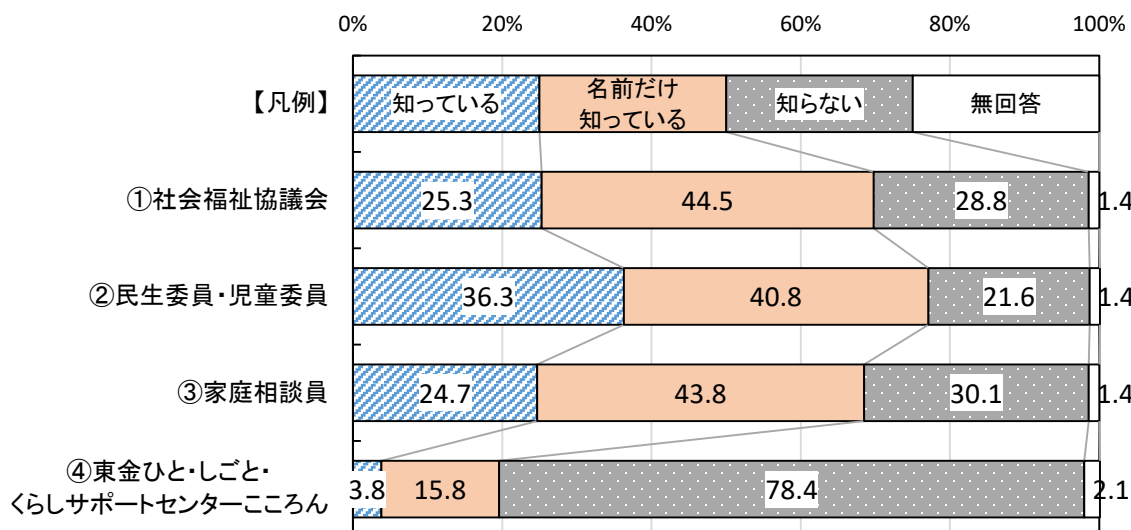
機関・団体などの認知度について、「知っている」と「名前だけ知っている」を合わせた『知っている』割合は、「①社会福祉協議会」(69.8%)、「②民生委員・児童委員」(77.1%)、「③家庭相談員」(68.5%)と60%割以上となっている。

一方、「④東金ひと・しごと・暮らしサポートセンターこころん」は19.6%と認知度は他の機関・団体に比べて低くなっている。

表 1-69 機関・団体などの認知度

	調 査 数	知 っ て い る	名 称 だ け 知 っ て い る	(上段：実数) (下段：割合)	
				知 ら な い	無 回 答
①社会福祉協議会	292 100.0	74 25.3	130 44.5	84 28.8	4 1.4
②民生委員・児童委員	292 100.0	106 36.3	119 40.8	63 21.6	4 1.4
③家庭相談員	292 100.0	72 24.7	128 43.8	88 30.1	4 1.4
④東金ひと・しごと・暮らし サポートセンターこころん	292 100.0	11 3.8	46 15.8	229 78.4	6 2.1

図 1-68 機関・団体などの認知度 (N=292)



2 小学5年生・中学2年生アンケート結果

(1) 回答者属性

① 世帯構成

世帯構成をみると、小学5年生、中学2年生ともに「お母さん」が95%以上と最も多く、以下「お父さん」、「兄弟・姉妹」などとなっており、大きな違いはみられない。

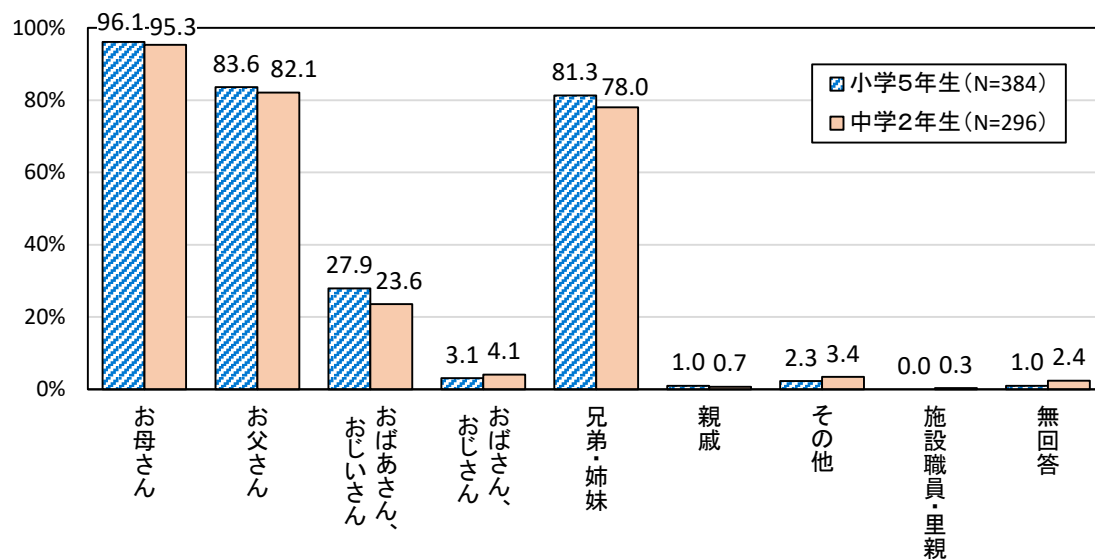
表2-1 世帯構成

	調査数	お母さん	お父さん	おばあさん、 おじいさん	おばさん、 おじさん	兄弟・姉妹	親戚	その他	施設職員・里親	無回答
小学5年生	384	369	321	107	12	312	4	9	0	4
	100.0	96.1	83.6	27.9	3.1	81.3	1.0	2.3	0.0	1.0
中学2年生	296	282	243	70	12	231	2	10	1	7
	100.0	95.3	82.1	23.6	4.1	78.0	0.7	3.4	0.3	2.4

(上段：実数)

(下段：割合)

図2-1 世帯構成



② 居住地区

居住地区をみると、小学5年生、中学2年生ともに「東金地区」が40%以上と最も多くなっている。

小学5年生では「正気地区」が中学2年生より約12ポイント上回っている。

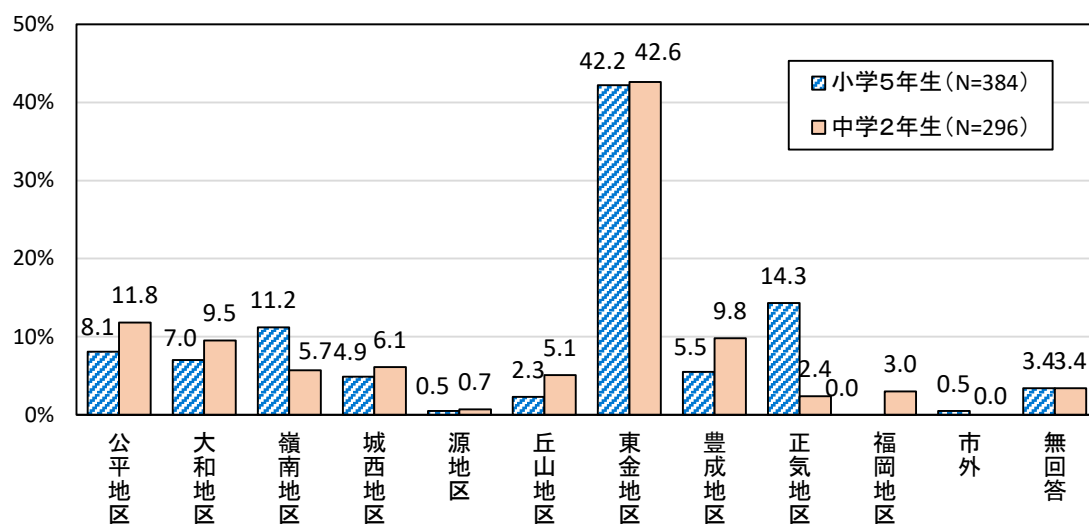
表2-2 居住地区

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	公平地区	大和地区	嶺南地区	城西地区	源地区	丘山地区	東金地区	豊成地区	正気地区	福岡地区	市外	無回答
小学5年生	384	31	27	43	19	2	9	162	21	55	0	2	13
	100.0	8.1	7.0	11.2	4.9	0.5	2.3	42.2	5.5	14.3	0.0	0.5	3.4
中学2年生	296	35	28	17	18	2	15	126	29	7	9	0	10
	100.0	11.8	9.5	5.7	6.1	0.7	5.1	42.6	9.8	2.4	3.0	0.0	3.4

図2-2 居住地区



(2) 普段の生活

① 起床時刻の習慣

問2 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時刻に起きていますか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

起床時刻の習慣を尋ねたところ、小学5年生、中学2年生ともにほぼ同じ時刻に「起きている」が7割近くと最も多くなっている。

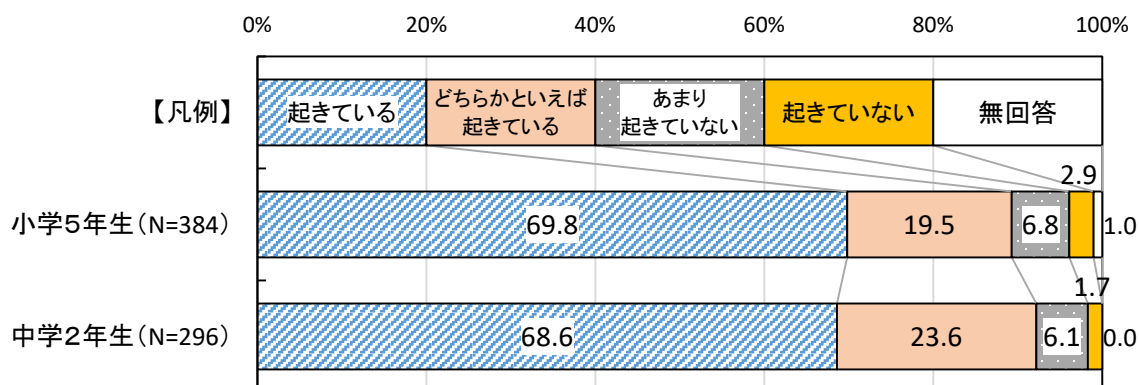
表2-3 起床時刻の習慣

（上段：実数）

（下段：割合）

	調査数	起きている	どちらかといえば、起きている	あまり起きていない	起きていない	無回答
小学5年生	384	268	75	26	11	4
	100.0	69.8	19.5	6.8	2.9	1.0
中学2年生	296	203	70	18	5	0
	100.0	68.6	23.6	6.1	1.7	0.0

図2-3 起床時刻の習慣



② 就寝時刻

問3 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時に寝ていますか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

普段の就寝時刻を尋ねたところ、小学5年生では、「午後9時～9時59分」が45.6%と最も多く、以下「午後10時～10時59分」（25.5%）などとなっており、午後11時以前までに就寝する割合は80%以上となっている。

中学2年生では、「午後10時～10時59分」が31.4%と最も多く、次いで「午後11時～11時59分」（27.4%）などとなっており、午後10時以降に就寝する割合は71.3%となっている。

小学5年生では、午後10時までに就寝する割合は約55%、中学2年生では午後10時以降に就寝する割合が71.3%となっている。

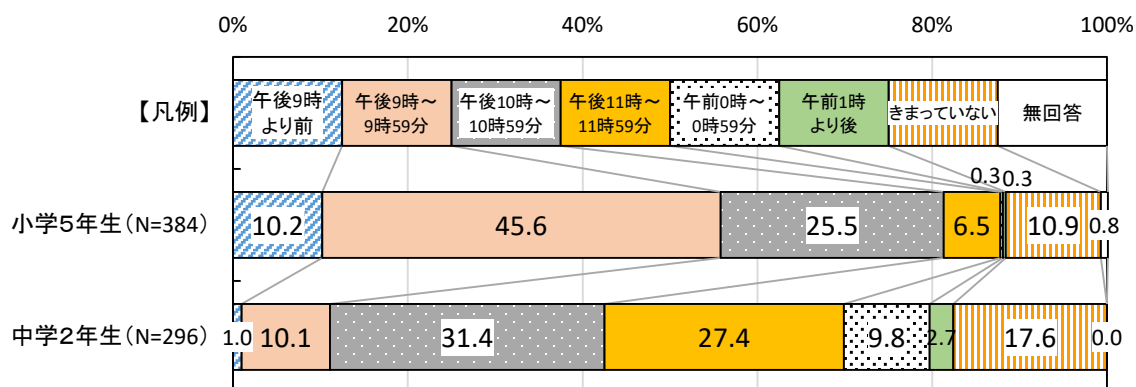
表2-4 就寝時刻

（上段：実数）

（下段：割合）

	調査数	午後9時より前	午後9時59分～9時	午後10時59分～10時	午後11時59分～11時	午前0時59分～0時	午前1時より後	きまっていない	無回答
小学5年生	384	39	175	98	25	1	1	42	3
	100.0	10.2	45.6	25.5	6.5	0.3	0.3	10.9	0.8
中学2年生	296	3	30	93	81	29	8	52	0
	100.0	1.0	10.1	31.4	27.4	9.8	2.7	17.6	0.0

図2-4 就寝時刻



③ 睡眠時間

問4 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時間くらい寝ていますか。（睡眠時間）（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

普段の睡眠時間を尋ねたところ、小学5年生では、「8時間～8時間59分」が41.4%と最も多く、以下「9時間～9時間59分」（20.1%）などとなっており、睡眠時間『8時間以上』が64.1%となっている。

中学2年生では、「7時間～7時間59分」が32.4%と最も多く、以下「6時間～6時間59分」（24.0%）などとなっており、睡眠時間『8時間未満』が65.5%となっている。

小学5年生では中学2年生に比べて睡眠時間が長くなっている。

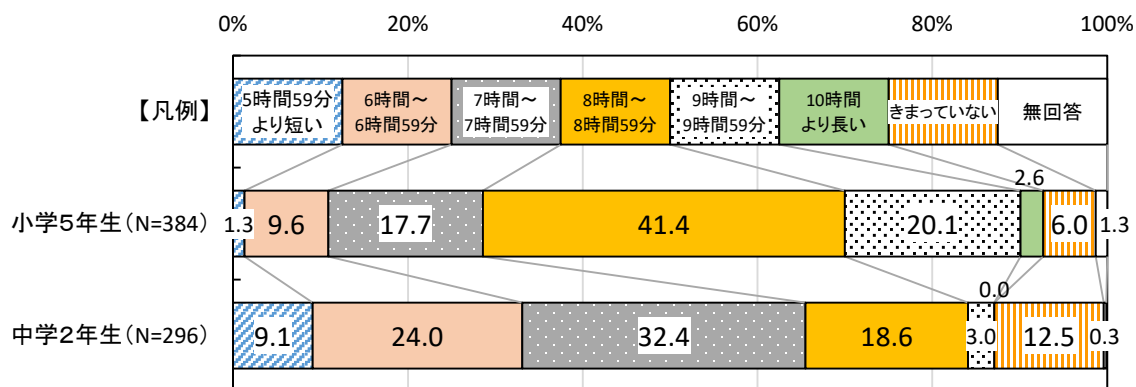
表2-5 睡眠時間

（上段：実数）

（下段：割合）

	調査数	より5時間短い59分	66時間59分	77時間59分	88時間59分	99時間59分	より10時間長い	きまっていない	無回答
小学5年生	384	5	37	68	159	77	10	23	5
	100.0	1.3	9.6	17.7	41.4	20.1	2.6	6.0	1.3
中学2年生	296	27	71	96	55	9	0	37	1
	100.0	9.1	24.0	32.4	18.6	3.0	0.0	12.5	0.3

図2-5 睡眠時間



④ 朝食を食べる頻度

問5 朝食についておたずねします。

(1) あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

朝食を食べる頻度を尋ねたところ、小学5年生、中学2年生ともに、「毎日またはほとんど毎日」が約80%を占めている。

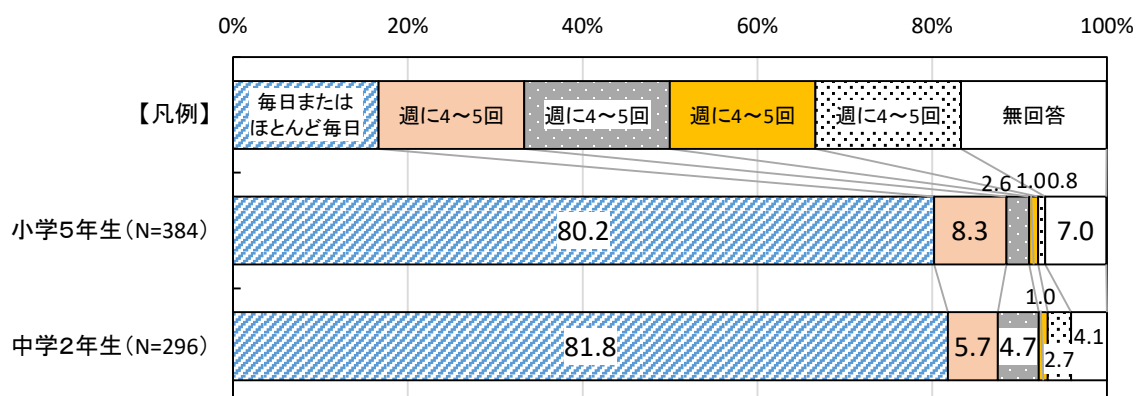
表2-6 朝食を食べる頻度

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	食べない	無回答
小学5年生	384	308	32	10	4	3	27
	100.0	80.2	8.3	2.6	1.0	0.8	7.0
中学2年生	296	242	17	14	3	8	12
	100.0	81.8	5.7	4.7	1.0	2.7	4.1

図2-6 朝食を食べる頻度



⑤ 毎日は朝食を食べない理由

(2) 問5 (1) で「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけなかった方におたずねします。

あなたが朝食を食べない理由は何ですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

朝食を「毎日またはほとんど毎日食べる」以外を選択した 91 人（小学5年生 49 人、中学2年生 42 人）に、朝食を食べない理由を尋ねたところ、小学5年生では、「おなかがすいていない」が 38.8%と最も多く、以下「時間がない」(28.6%) などとなっている。

中学2年生では、「時間がない」が 45.2%と最も多く、以下「おなかがすいていない」(28.6%) などとなっている。

小学5年生では中学2年生より「おなかがすいていない」が約 10 ポイント多く、中学2年生では小学5年生より「時間がない」が約 17 ポイント多くなっている。

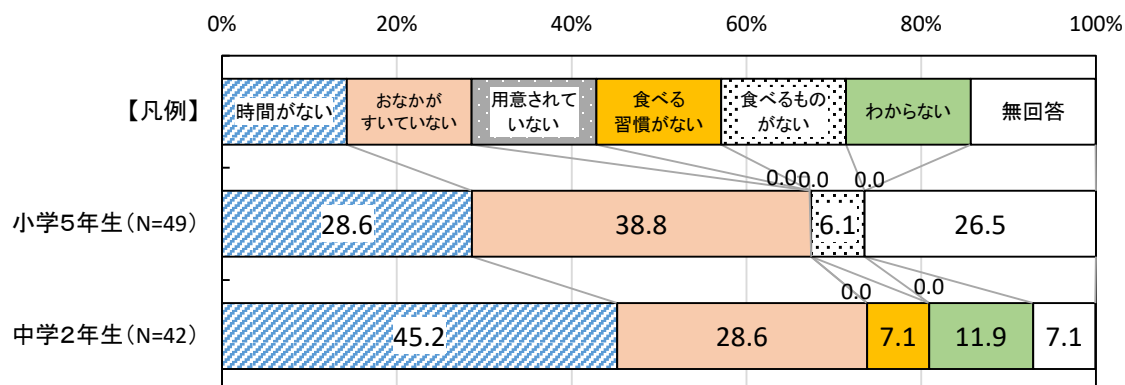
表 2-7 毎日は朝食を食べない理由

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	時間がない	おなかがすいていない	用意されていない	食べる習慣がない	食べるものがない	わからない	無回答
小学5年生	49	14	19	0	0	3	0	13
	100.0	28.6	38.8	0.0	0.0	6.1	0.0	26.5
中学2年生	42	19	12	0	3	0	5	3
	100.0	45.2	28.6	0.0	7.1	0.0	11.9	7.1

図 2-7 毎日は朝食を食べない理由



⑥ 夕食を食べる頻度

問6 夕食についておたずねします。

(1) あなたは、週にどのくらい、夕食を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

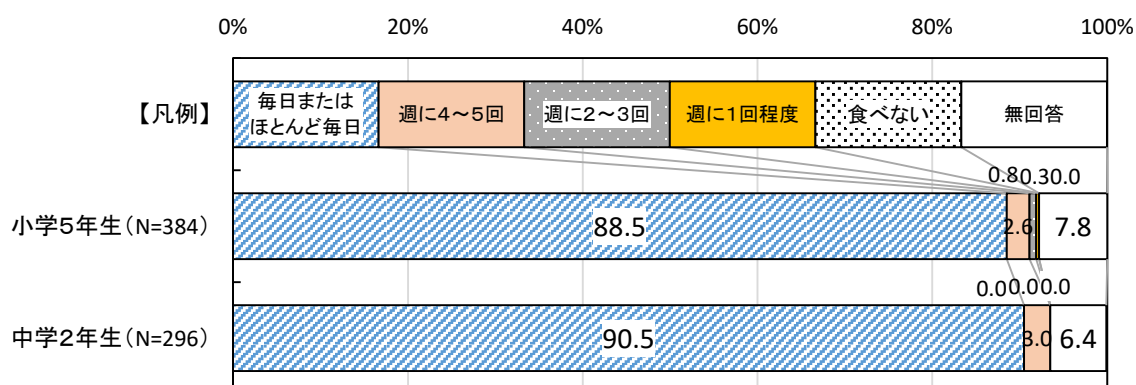
夕食を食べる頻度を尋ねたところ、小学5年生、中学2年生ともに、「毎日またはほとんど毎日」が約90%を占めている。

表2-8 夕食を食べる頻度

	調査数	毎日またはほとんど毎日	週に4〜5回	週に2〜3回	週に1回程度	食べない	無回答
小学5年生	384	340	10	3	1	0	30
	100.0	88.5	2.6	0.8	0.3	0.0	7.8
中学2年生	296	268	9	0	0	0	19
	100.0	90.5	3.0	0.0	0.0	0.0	6.4

(上段：実数)
(下段：割合)

図2-8 夕食を食べる頻度



⑦ 毎日は夕食を食べない理由

(2) 問6(1)で「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけなかった方におたずねします。

あなたが夕食を食べない理由はなんですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

夕食を「毎日またはほとんど毎日食べる」以外を選択したのは23人(小学5年生14人、中学2年生9人)と少ないため参考程度にとどめる。

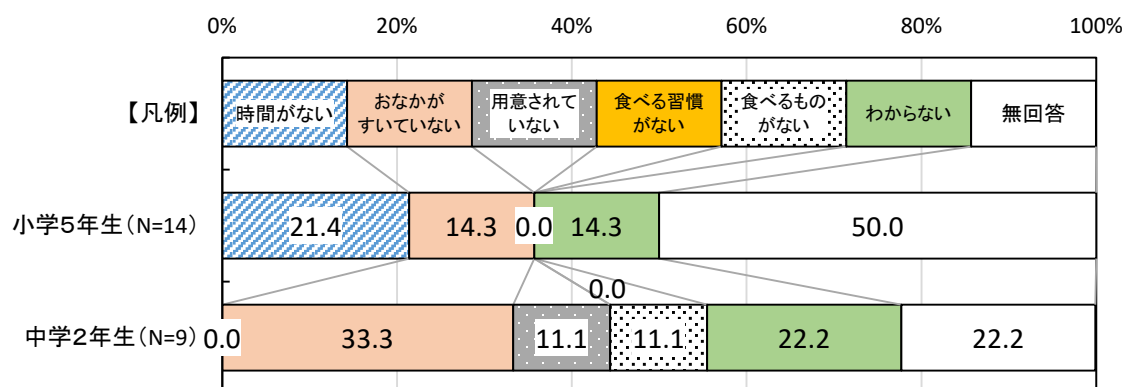
表2-9 毎日は夕食を食べない理由

	調査数	時間がない	すお いな てか が ない	用意 されて いない	食 べる 習 慣 が ない	食 べる も の が ない	わ か ら ない	無 回 答
小学5年生	14	3	2	0	0	0	2	7
	100.0	21.4	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	50.0
中学2年生	9	0	3	1	0	1	2	2
	100.0	0.0	33.3	11.1	0.0	11.1	22.2	22.2

(上段：実数)

(下段：割合)

図2-9 毎日は夕食を食べない理由



⑧ 休日に昼食を食べる頻度

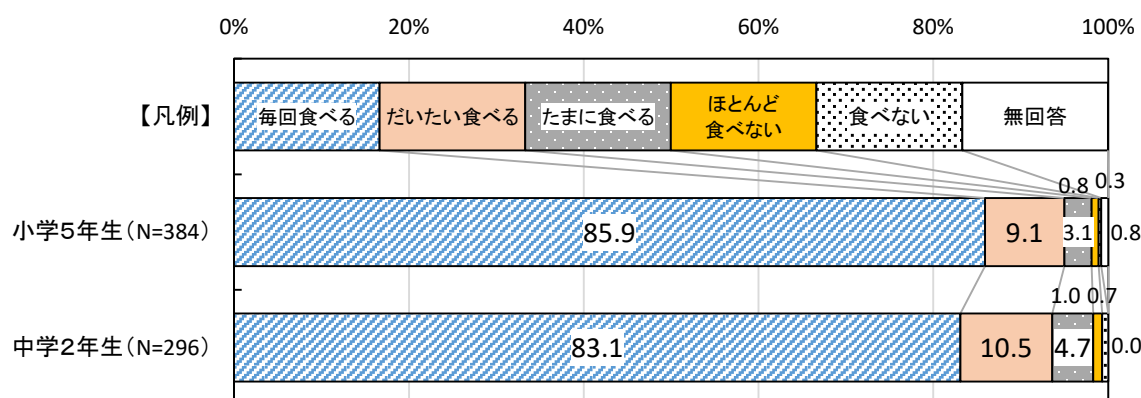
問7 あなたは、学校がお休みの日に昼食を食べますか（夏休みなどの長期のお休みの日も含みます。）（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

休日に昼食を食べる頻度を尋ねたところ、小学5年生、中学2年生ともに、「毎回食べる」が最も多く 80%以上を占めている。

表2-10 休日に昼食を食べる頻度

	調査数	毎回食べる	だいたい食べる	たまに食べる	ほとんど食べない	食べない	無回答
小学5年生	384	330	35	12	3	1	3
	100.0	85.9	9.1	3.1	0.8	0.3	0.8
中学2年生	296	246	31	14	3	2	0
	100.0	83.1	10.5	4.7	1.0	0.7	0.0

図2-10 休日に昼食を食べる頻度



⑨ 入浴（シャワーも含む）の頻度

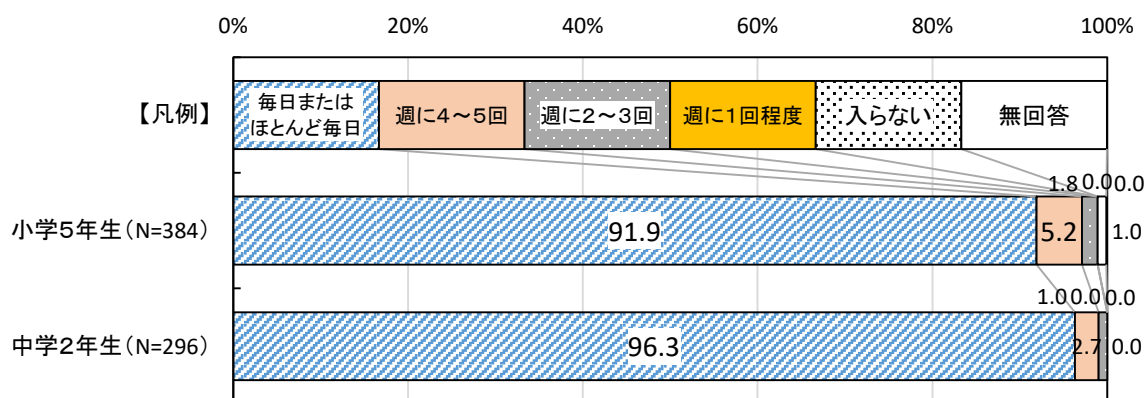
問8 あなたは、週にどのくらい、お風呂（シャワーのみの場合も含む）に入りますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

入浴（シャワーも含む）の頻度を尋ねたところ、小学5年生、中学2年生ともに、「毎日またはほとんど毎日」が最も多く 90%以上を占めている。

表2-11 入浴（シャワーも含む）の頻度

	調査数	毎日またはほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	入らない	無回答
小学5年生	384	353	20	7	0	0	4
	100.0	91.9	5.2	1.8	0.0	0.0	1.0
中学2年生	296	285	8	3	0	0	0
	100.0	96.3	2.7	1.0	0.0	0.0	0.0

図2-11 入浴（シャワーも含む）の頻度



⑩ 学校に遅刻する頻度

問9 あなたは、学校に遅刻することがありますか。

(あてまる番号1つに○をつけてください。)

学校に遅刻する頻度を尋ねたところ、小学5年生、中学2年生ともに、「遅刻はしない」が70%以上と最も多くなっている。

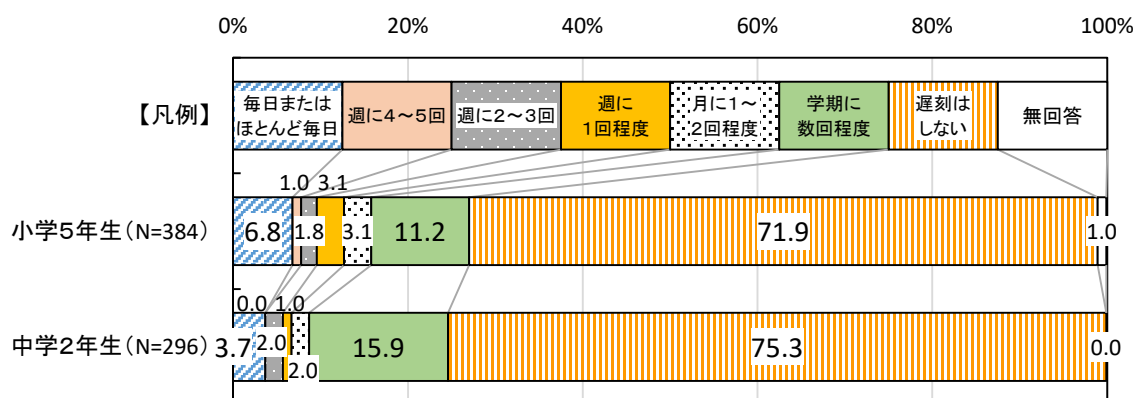
表2-12 学校に遅刻する頻度

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	毎日またはほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回程度	学期に数回程度	遅刻はしない	無回答
小学5年生	384	26	4	7	12	12	43	276	4
	100.0	6.8	1.0	1.8	3.1	3.1	11.2	71.9	1.0
中学2年生	296	11	0	6	3	6	47	223	0
	100.0	3.7	0.0	2.0	1.0	2.0	15.9	75.3	0.0

図2-12 学校に遅刻する頻度



⑪ 家族（大人）との過ごす頻度

問 10 あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。（①～⑩について教えてください。）（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

家族（大人）との過ごす頻度を尋ねたところ、小学5年生では、「ほとんど毎日」が『①おうちの大人の人と一緒に朝食を食べている』（43.8%）、『②おうちの大人の人と一緒に夕食を食べている』（86.2%）、『③おうちの大人の人に朝、起こしてもらおう』（45.1%）、『⑥おうちの大人の人と学校でのできごとについて話す』（49.0%）がいずれも4割以上と他の項目に比べて多くなっている。特に、『②おうちの大人の人と一緒に夕食を食べている』は86.2%と突出している。

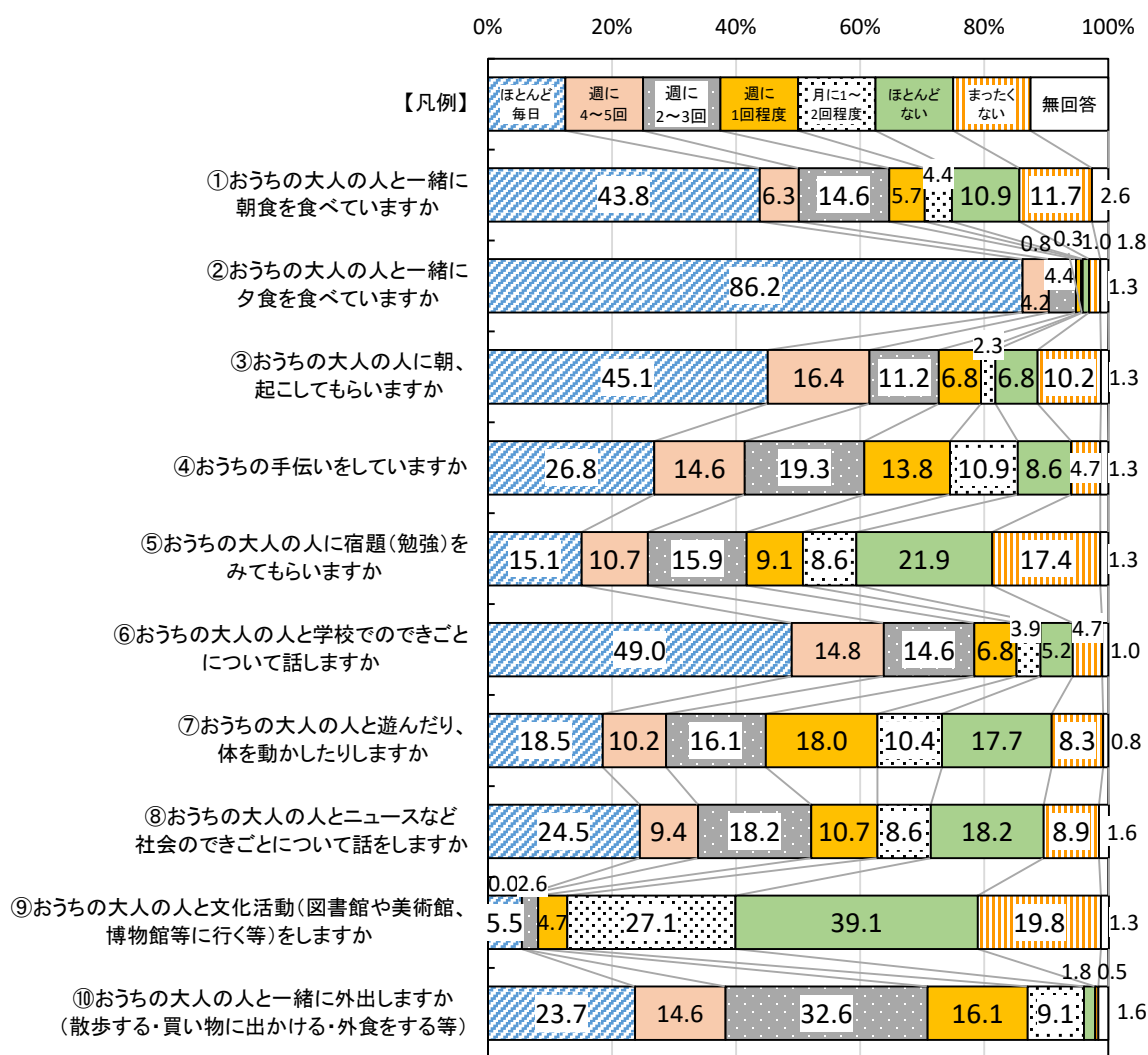
一方、「まったくない」は『⑤おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらう』（17.4%）、『⑨おうちの大人の人と文化活動（図書館や美術館、博物館等に行く等）をする』（19.8%）で他の項目に比べて多くなっている。

表2-13 家族（大人）との過ごす頻度【小学5年生】

（上段：実数）
（下段：割合）

	調査数	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月1～2回程度	ほとんどない	まったくない	無回答
①おうちの大人の人と一緒に朝食を食べていますか	384 100.0	168 43.8	24 6.3	56 14.6	22 5.7	17 4.4	42 10.9	45 11.7	10 2.6
②おうちの大人の人と一緒に夕食を食べていますか	384 100.0	331 86.2	16 4.2	17 4.4	3 0.8	1 0.3	4 1.0	7 1.8	5 1.3
③おうちの大人の人に朝、起こしてもらいますか	384 100.0	173 45.1	63 16.4	43 11.2	26 6.8	9 2.3	26 6.8	39 10.2	5 1.3
④おうちの手伝いをしていますか	384 100.0	103 26.8	56 14.6	74 19.3	53 13.8	42 10.9	33 8.6	18 4.7	5 1.3
⑤おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらいますか	384 100.0	58 15.1	41 10.7	61 15.9	35 9.1	33 8.6	84 21.9	67 17.4	5 1.3
⑥おうちの大人の人と学校でのできごとについて話しますか	384 100.0	188 49.0	57 14.8	56 14.6	26 6.8	15 3.9	20 5.2	18 4.7	4 1.0
⑦おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか	384 100.0	71 18.5	39 10.2	62 16.1	69 18.0	40 10.4	68 17.7	32 8.3	3 0.8
⑧おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話をしますか	384 100.0	94 24.5	36 9.4	70 18.2	41 10.7	33 8.6	70 18.2	34 8.9	6 1.6
⑨おうちの大人の人と文化活動（図書館や美術館、博物館等に行くなど）をしますか	384 100.0	21 5.5	0 0.0	10 2.6	18 4.7	104 27.1	150 39.1	76 19.8	5 1.3
⑩おうちの大人の人と一緒に外出しますか（散歩する・買い物に出かける・外食をする等）	384 100.0	91 23.7	56 14.6	125 32.6	62 16.1	35 9.1	7 1.8	2 0.5	6 1.6

図 2-13 家族（大人）との過ごす頻度【小学 5 年生】（N=384）



中学 2 年生では、「ほとんど毎日」が、『②おうちの大人の人と一緒に夕食を食べている』（74.0%）、『③おうちの大人の人に朝、起こしてもらおう』（33.1%）、『⑥おうちの大人の人と学校でのできごとについて話す』（35.8%）が 30%以上と他の項目に比べて多くなっている。特に、『②おうちの大人の人と一緒に夕食を食べている』は 74.0%と突出している。

一方、「まったくない」は『⑤おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらおう』（51.4%）、『⑦おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしている』（30.7%）、『⑨おうちの大人の人と文化活動（図書館や美術館、博物館等に行く等）をする』（42.6%）で他の項目に比べて多くなっており。

「ほとんど毎日」が中学 2 年生では、小学 5 年生に比べてすべての項目において少なくなっている。

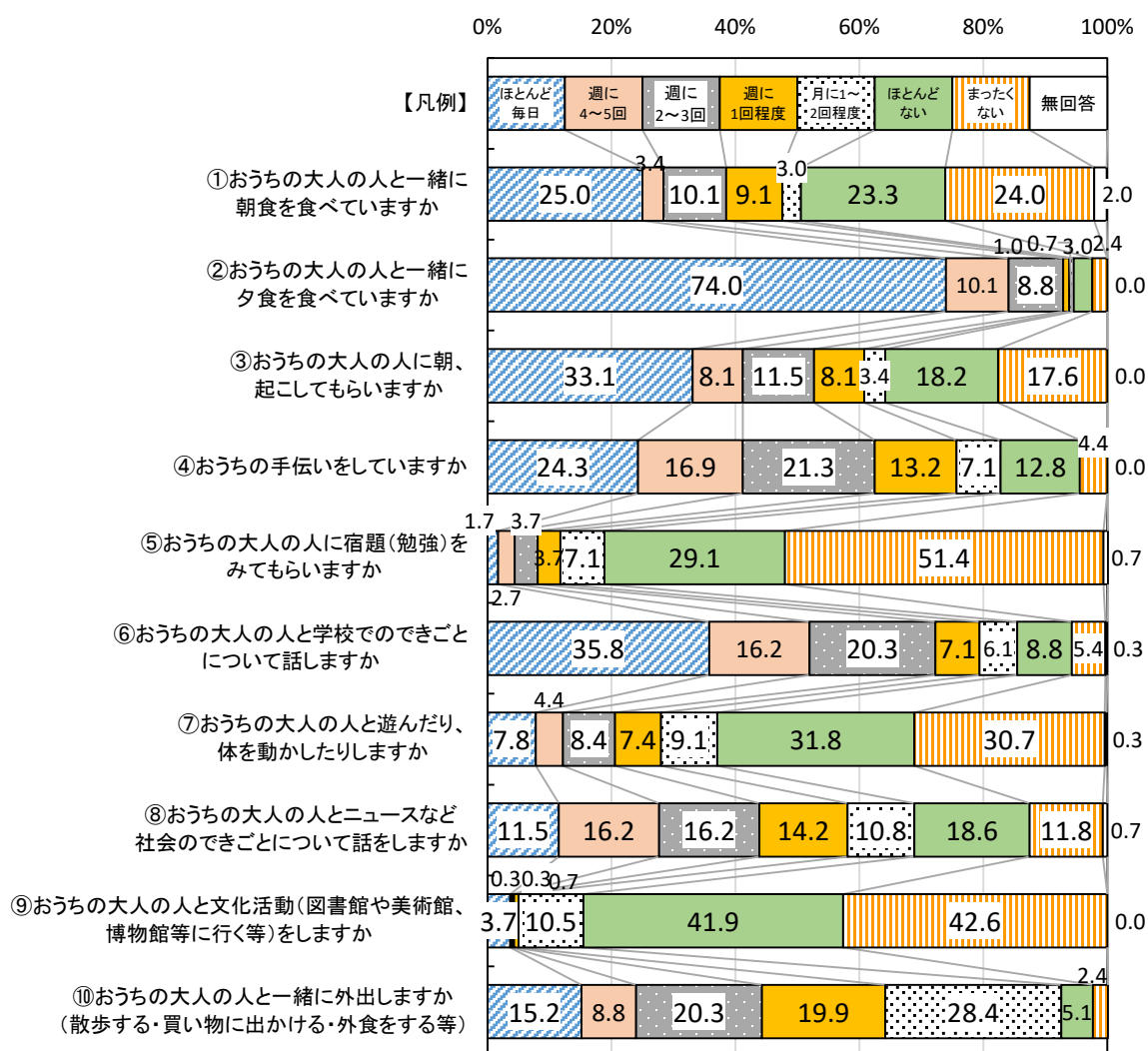
表2-14 家族（大人）との過ごす頻度【中学2年生】

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月1～2回程度	ほとんどない	まったくない	無回答
①おうちの大人の人と一緒に朝食を食べていますか	296	74	10	30	27	9	69	71	6
	100.0	25.0	3.4	10.1	9.1	3.0	23.3	24.0	2.0
②おうちの大人の人と一緒に夕食を食べていますか	296	219	30	26	3	2	9	7	0
	100.0	74.0	10.1	8.8	1.0	0.7	3.0	2.4	0.0
③おうちの大人の人に朝、起こしてもらいますか	296	98	24	34	24	10	54	52	0
	100.0	33.1	8.1	11.5	8.1	3.4	18.2	17.6	0.0
④おうちの手伝いをしていますか	296	72	50	63	39	21	38	13	0
	100.0	24.3	16.9	21.3	13.2	7.1	12.8	4.4	0.0
⑤おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらいますか	296	5	8	11	11	21	86	152	2
	100.0	1.7	2.7	3.7	3.7	7.1	29.1	51.4	0.7
⑥おうちの大人の人と学校でのできごとについて話しますか	296	106	48	60	21	18	26	16	1
	100.0	35.8	16.2	20.3	7.1	6.1	8.8	5.4	0.3
⑦おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか	296	23	13	25	22	27	94	91	1
	100.0	7.8	4.4	8.4	7.4	9.1	31.8	30.7	0.3
⑧おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話しますか	296	34	48	48	42	32	55	35	2
	100.0	11.5	16.2	16.2	14.2	10.8	18.6	11.8	0.7
⑨おうちの大人の人と文化活動（図書館や美術館、博物館等に行くなど）をしますか	296	11	1	1	2	31	124	126	0
	100.0	3.7	0.3	0.3	0.7	10.5	41.9	42.6	0.0
⑩おうちの大人の人と一緒に外出しますか（散歩する・買い物に出かける・外食をする等）	296	45	26	60	59	84	15	7	0
	100.0	15.2	8.8	20.3	19.9	28.4	5.1	2.4	0.0

図2-14 家族（大人）との過ごす頻度【中学2年生】(N=296)



⑫ 毎日の生活で楽しいと思うこと

問 11 あなたは、毎日の生活でどのようなときに楽しいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

毎日の生活で楽しいと思うことを尋ねたところ、小学5年生では、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が86.5%と最も多く、以下「おうちの人と一緒に過ごしているとき」(74.2%)、「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」(62.5%) などとなっている。

中学2年生では、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が86.1%と最も多くなっており、以下「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」(54.7%)、「ひとりで過ごしているとき」(51.0%) などとなっている。

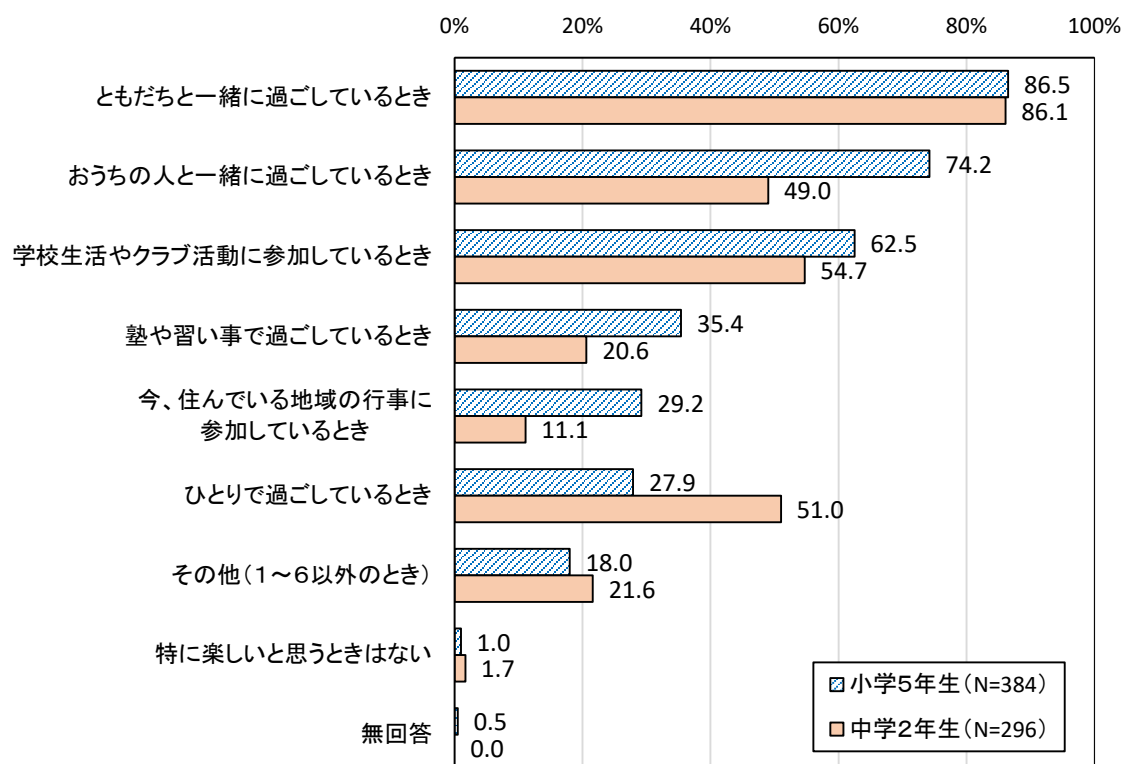
中学2年生では「ひとりで過ごしているとき」のみで小学5年生よりも多くなっている。

表 2-15 毎日の生活で楽しいと思うこと

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	おうちの人と一緒に 過ごしているとき	ともだちと一緒に 過ごしているとき	学校生活やクラブ活動に 参加しているとき	ひとりで 過ごしているとき	今、住んでいる地域の行事に 参加しているとき	塾や習い事で 過ごしているとき	その他(1～6以外のとき)	特に楽しい と思うときは ない	無回答
小学5年生	384	285	332	240	107	112	136	69	4	2
	100.0	74.2	86.5	62.5	27.9	29.2	35.4	18.0	1.0	0.5
中学2年生	296	145	255	162	151	33	61	64	5	0
	100.0	49.0	86.1	54.7	51.0	11.1	20.6	21.6	1.7	0.0

図 2-15 毎日の生活で楽しいと思うこと



⑬ 平日の放課後に一緒に過ごす人

問 12 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

平日の放課後に一緒に過ごす人を尋ねたところ、小学5年生では、「おうちの大人の人（お母さん、お父さん、おばあちゃん、おじいちゃん等）」が81.0%と最も多く、以下「兄弟・姉妹」（60.2%）、「学校のおともだち」（37.5%）などとなっている。

中学2年生では、「おうちの大人の人（お母さん、お父さん、おばあちゃん、おじいちゃん等）」が66.9%と最も多くなっている。以下「クラブ活動、部活の仲間」（52.0%）、「兄弟・姉妹」（51.7%）などとなっている。

「クラブ活動、部活の仲間」では中学2年生は、小学5年生の3倍近く多くなっているが、部活への参加が多くなっているためと考えられる。

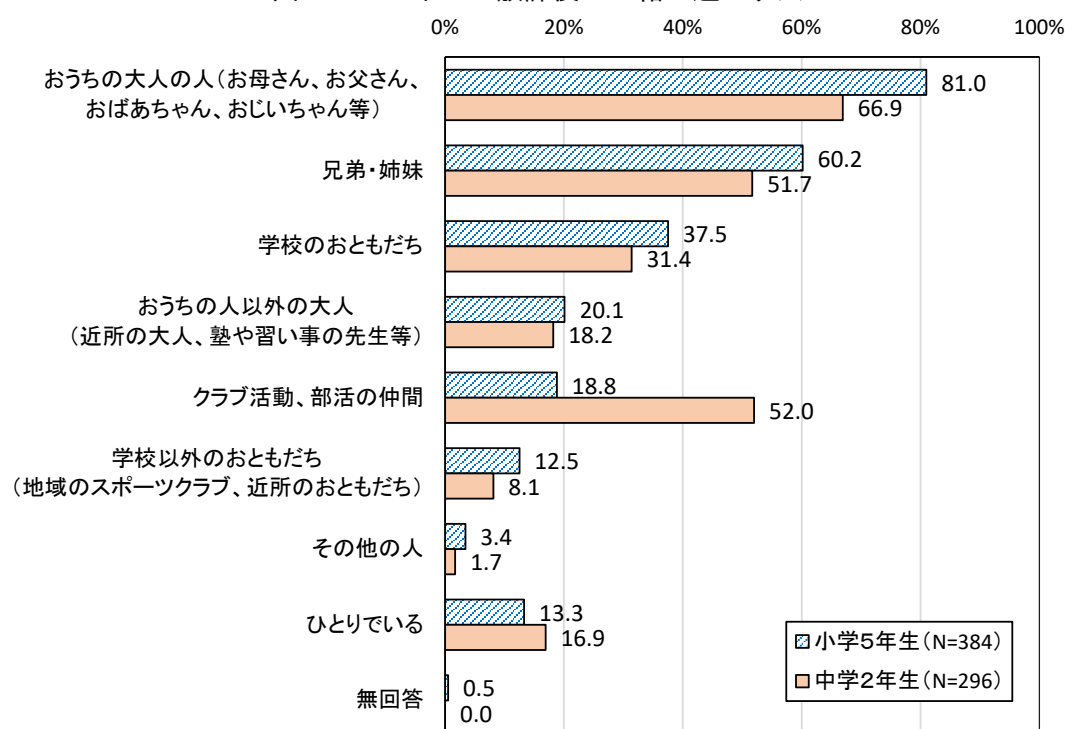
一方、「おうちの大人の人（お母さん、お父さん、おばあちゃん、おじいちゃん等）」では小学5年生が中学2年生を約14ポイント上回っている。

表 2-16 平日の放課後に一緒に過ごす人

（上段：実数）
（下段：割合）

（学校・割合）										
	調査数	おうちの大人の 人（お母さん、 お父さん、おばあ ちゃん等）	兄弟・姉妹	おうちの人の 以外の大人（近 所の大人、塾や 習い事の先生 等）	学校のおとも だち	クラブ活動、 部活の仲間	学校以外の おともだち（地 域のスポーツ クラブ、近所 のおともだち 等）	その他の人	ひとり でいる	無 回 答
小学5年生	384 100.0	311 81.0	231 60.2	77 20.1	144 37.5	72 18.8	48 12.5	13 3.4	51 13.3	0.5
中学2年生	296 100.0	198 66.9	153 51.7	54 18.2	93 31.4	154 52.0	24 8.1	5 1.7	50 16.9	0.0

図 2-16 平日の放課後に一緒に過ごす人



⑭ 平日の放課後に過ごす場所

問 13 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

平日の放課後に過ごす場所を尋ねたところ、小学5年生では、「自分の家」が93.2%と最も多く、以下「習い事」（34.1%）、「学校（クラブ活動・部活など）」（27.1%）、「ともだちの家」（22.1%）、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」、「公園・広場」（ともに17.2%）などとなっている。

中学2年生では、「自分の家」が87.5%と最も多く、以下「学校（クラブ活動・部活など）」（51.4%）、「塾」（28.7%）などとなっている。

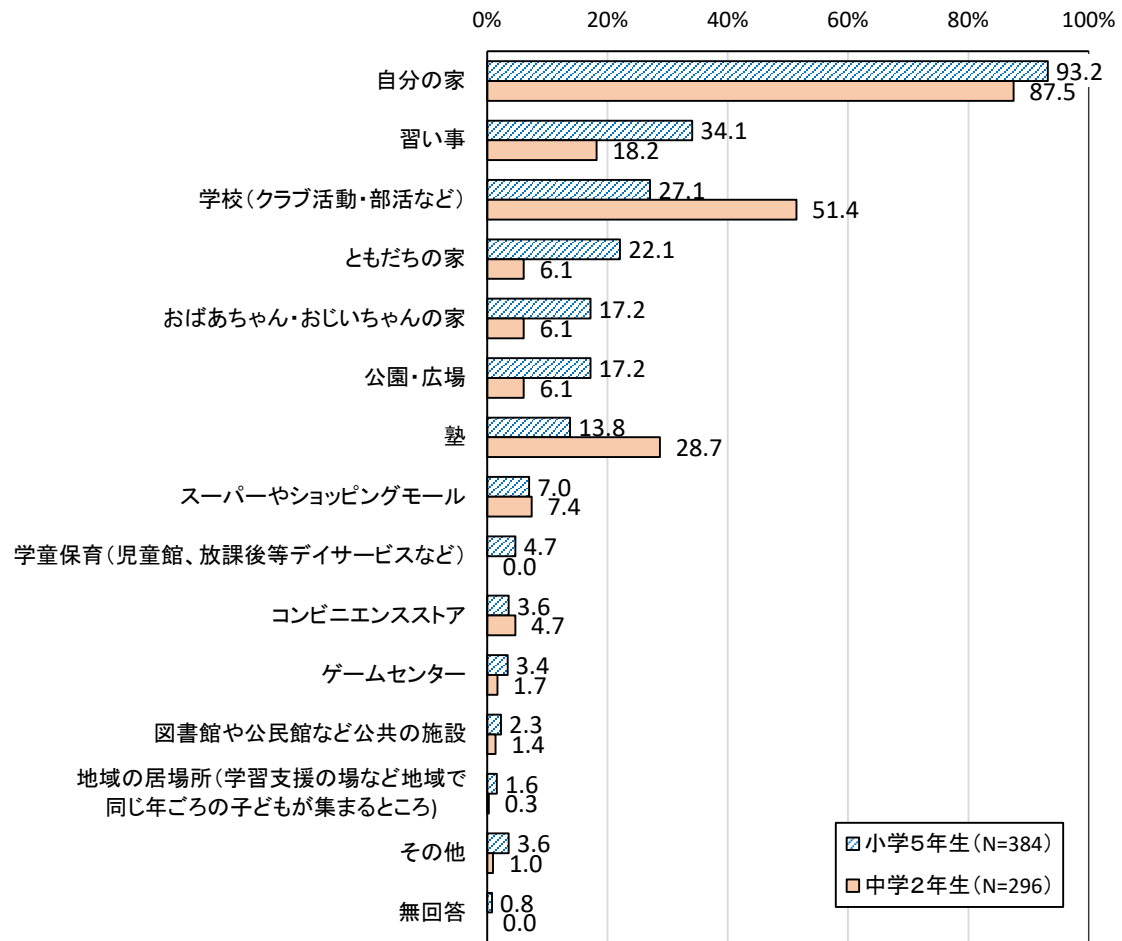
小学5年生では中学2年生に比べて「習い事」、「ともだちの家」、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」、「公園・広場」が多く、中学2年生では小学5年生に比べて「学校（クラブ活動・部活など）」、「塾」が多くなっている。

表 2-17 平日の放課後に過ごす場所

(上段：実数) (下段：割合)								
	調 査 数	自 分 の 家	お お じ い ち ゃ ん の 家	と も だ ち の 家	塾	習 い 事	学 校 ・ 部 活 な ど	公 園 ・ 広 場
小学5年生	384 100.0	358 93.2	66 17.2	85 22.1	53 13.8	131 34.1	104 27.1	66 17.2
中学2年生	296 100.0	259 87.5	18 6.1	18 6.1	85 28.7	54 18.2	152 51.4	18 6.1

	ス ー パ ー や シ ョ ッ ピ ン グ	コ ン ビ ニ エ ン ス ト ア	ゲ ー ム セ ン タ ー	図 書 館 や 公 民 館 な ど の 施 設	地 域 の 居 場 所 （ 学 習 支 援 の 場 な ど 地 域 で 同 じ 年 ご ろ の 子 ど も が 集 ま る と こ ろ ）	学 童 保 育 （ 児 童 館 、 放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス な ど ）	そ の 他	無 回 答
小学5年生	27 7.0	14 3.6	13 3.4	9 2.3	6 1.6	18 4.7	14 3.6	3 0.8
中学2年生	22 7.4	14 4.7	5 1.7	4 1.4	1 0.3	0 0.0	3 1.0	0 0.0

図 2-17 平日の放課後に過ごす場所



⑮ 授業時間以外の1日あたりの勉強時間

問 14 あなたは、学校のある日、授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾などの時間も含まれます。）
（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

授業時間以外の1日あたりの勉強時間を尋ねたところ、小学5年生では、「30分以上、1時間より少ない」が33.3%と最も多く、以下「30分より少ない」、「1時間以上、2時間より少ない」（ともに22.9%）などとなっており、「まったくしない」も含めた『1時間より少ない』は60.4%となっている。

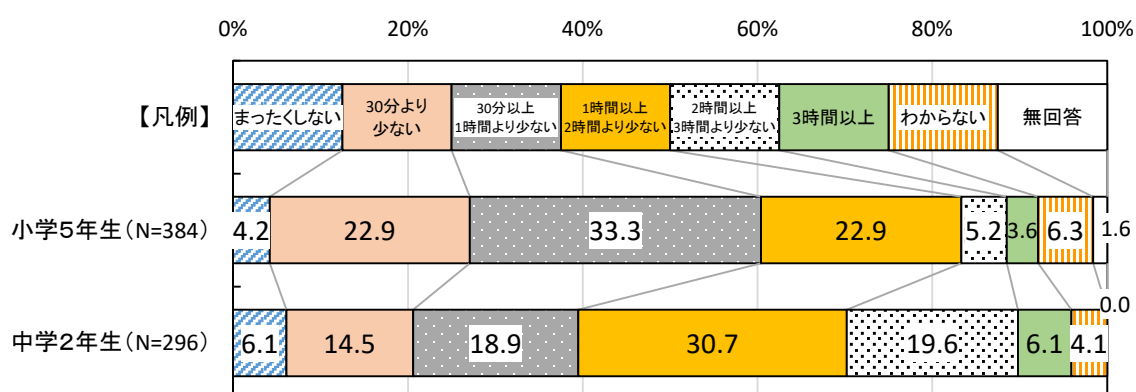
中学2年生では、「1時間以上、2時間より少ない」が30.7%と最も多く、以下「2時間以上、3時間より少ない」（19.6%）、「30分以上、1時間より少ない」（18.9%）などとなっている。『1時間以上』勉強する割合は56.4%となっている。

一日あたりの勉強時間は小学5年生より中学2年生の方が長くなっている。

表 2-18 授業時間以外の1日あたりの勉強時間

	調査数	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	わからない	無回答
小学5年生	384	16	88	128	88	20	14	24	6
	100.0	4.2	22.9	33.3	22.9	5.2	3.6	6.3	1.6
中学2年生	296	18	43	56	91	58	18	12	0
	100.0	6.1	14.5	18.9	30.7	19.6	6.1	4.1	0.0

図 2-18 授業時間以外の1日あたりの勉強時間



⑯ 放課後に通っている学習塾や習い事

問 15 放課後に学習塾や家庭教師、文化・スポーツ教室等に通っていますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

放課後に学習塾や習い事をしているかを尋ねたところ、小学5年生では、「スポーツ」が40.4%と最も多く、以下「絵画、音楽、習字等の習い事」(20.8%)、「学習塾、進学塾」(20.6%)、「英会話、そろばん等の習い事」(16.7%) などとなっている。

一方、「学習塾等、習い事はしていない」は23.2%となっている。

中学2年生では、「学習塾、進学塾」が49.3%と最も多く、以下「スポーツ」(21.6%)、「絵画、音楽、習字等の習い事」(16.2%) などとなっている。

一方、「学習塾等、習い事はしていない」は28.0%となっている。

小学校5年生では中学2年生に比べて「スポーツ」で約2倍、「英会話、そろばん等の習い事」で約3倍多くなっており、中学2年生では「学習塾、進学塾」が小学5年生の約2.5倍多くなっている。

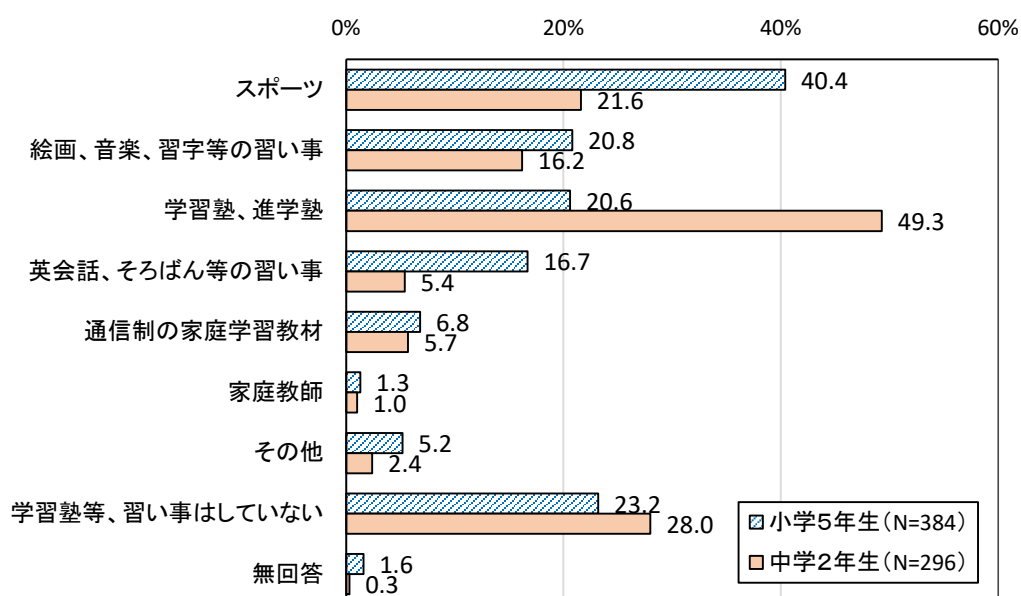
表 2-19 放課後に通っている学習塾や習い事

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	学習塾、進学塾	家庭教師	通信制の家庭学習教材	英会話、そろばん等の習い事	絵画、音楽、習字等の習い事	スポーツ	その他	学習塾等、習い事はしていない	無回答
小学5年生	384	79	5	26	64	80	155	20	89	6
	100.0	20.6	1.3	6.8	16.7	20.8	40.4	5.2	23.2	1.6
中学2年生	296	146	3	17	16	48	64	7	83	1
	100.0	49.3	1.0	5.7	5.4	16.2	21.6	2.4	28.0	0.3

図 2-19 放課後に通っている学習塾や習い事



⑰ 学習塾等に通っていて良かったと思うこと

問 16 放課後に塾などに通ったり、習い事をしたりしている人にお聞きします。
 学習塾 等に通っていて、良かったと思うことはありますか。
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

放課後に塾などに通ったり、習い事をしたりしている 501 人（小学 5 年生 289 人、中学 2 年生 212 人）に学習塾等に通っていて良かったと思うことを尋ねたところ、小学 5 年生では、「体力や技術、知識が身についた」が 68.5%と最も多く、以下「ともだちができた」(42.6%)、「学校の授業がよくわかるようになった」(31.8%) などとなっている。

一方、「特にない」は 4.8%となっている。

中学 2 年生では、「学校の授業がよくわかるようになった」が 54.2%と最も多く、以下「体力や技術、知識が身についた」(44.3%)、「ともだちができた」(24.1%)、「学校の成績があがった」(22.5%) などとなっている。

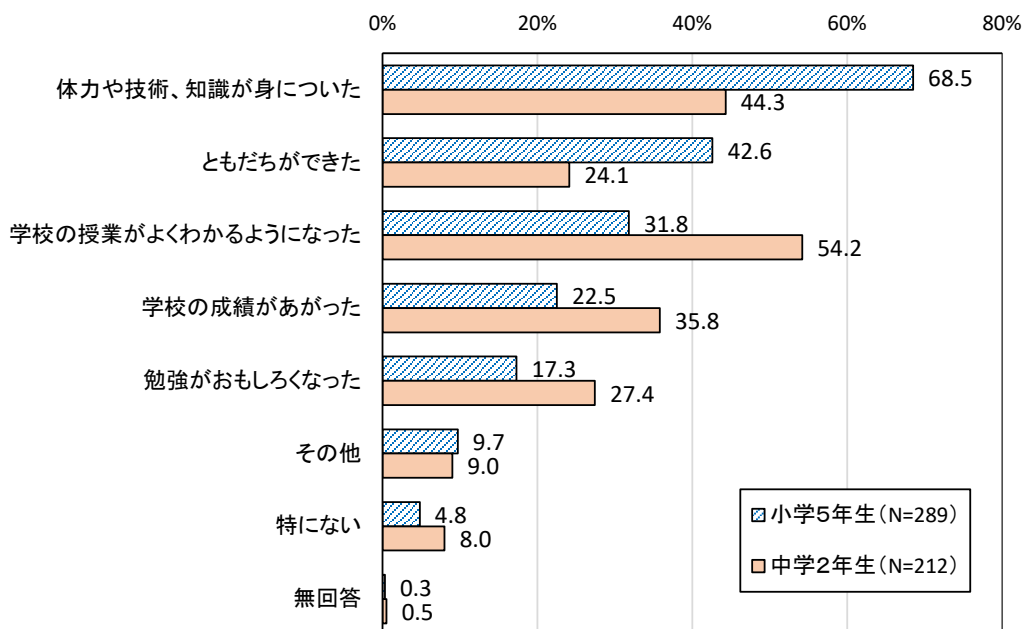
一方、「特にない」は 8.0%となっている。

小学校 5 年生では「体力や技術、知識が身についた」で約 24 ポイント、「ともだちができた」で約 18 ポイント、中学 2 年生を上回っており、中学 2 年生では「学校の授業がよくわかるようになった」、「学校の成績があがった」、「勉強がおもしろくなった」など勉強に関することが小学 5 年生より約 10 ポイント以上多くなっている。

表 2-20 学習塾等に通っていて良かったと思うこと

	調査数	(上段：実数) (下段：割合)							
		わ学校 の授 業が よ く な っ た	お勉 強が ろ く な っ た	あ学校 の成 績が	とも だ ち が で き た	知体 力 が 身 に つ い た	そ の 他	特 に な い	無 回 答
小学 5 年生	289	92	50	65	123	198	28	14	1
	100.0	31.8	17.3	22.5	42.6	68.5	9.7	4.8	0.3
中学 2 年生	212	115	58	76	51	94	19	17	1
	100.0	54.2	27.4	35.8	24.1	44.3	9.0	8.0	0.5

図 2-20 学習塾等に通っていて良かったと思うこと



⑱ 学習塾等に通っていない理由

問 17 放課後に塾などに通ったり、習い事をしていない人にお聞きします。

学習塾等に通っていない理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

放課後に塾などに通ったり、習い事をしていない172人(小学5年生89人、中学2年生83人)に通っていない理由を尋ねたところ、小学5年生では、「行きたくない」が22.5%と最も多く、次いで「自由な時間が少なくなる」、「学校の部活などで忙しい」(ともに19.1%)などとなっている。

一方、「特に理由はない」は36.0%となっている。

中学2年生では、「学校の部活などで忙しい」が24.1%と最も多く、以下「行きたくない」、「自由な時間が少なくなる」(ともに21.7%)、「通いたい、親に月謝などの負担をかけられない」(20.5%)などとなっている。

一方、「特に理由はない」は36.1%となっている。

中学2年生では「通いたい、親に月謝などの負担をかけられない」が小学5年生より約8ポイント多くなっている。

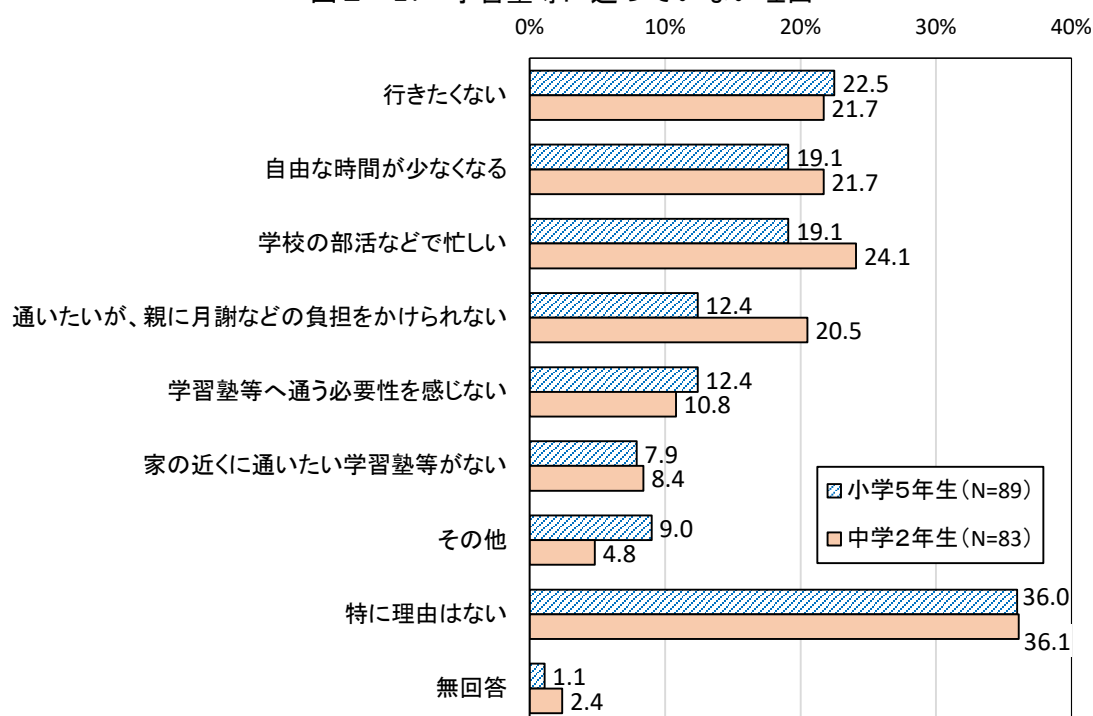
表2-21 学習塾等に通っていない理由

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	塾家の近くに 通いたい学習 塾等がない	自由な時間 が少なくなる	通のいた 負担を、か けられ月謝 ない	学校の部 活などで忙 しい	学習塾等へ 通う必要 性を感 じない	行きた くない	その他	特に理 由は ない	無回 答
小学5年生	89	7	17	11	17	11	20	8	32	1
	100.0	7.9	19.1	12.4	19.1	12.4	22.5	9.0	36.0	1.1
中学2年生	83	7	18	17	20	9	18	4	30	2
	100.0	8.4	21.7	20.5	24.1	10.8	21.7	4.8	36.1	2.4

図2-21 学習塾等に通っていない理由



⑬ 学校の授業内容の理解度

問 18 学校で勉強する内容について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください。)

学校の授業内容の理解度を尋ねたところ、小学5年生では、「だいたいわかる」が 60.4%と最も多く、「よくわかる」(24.5%)を合わせた『わかる』は 84.9%となっている。

一方、「あまりわからない」(9.4%)、「ほとんどわからない」(2.1%)を合わせた『わからない(理解できていない)』は 11.5%となっている。

中学2年生では、「だいたいわかる」が 56.4%と最も多く、「よくわかる」(13.9%)を合わせた『わかる』は 70.3%となっている。

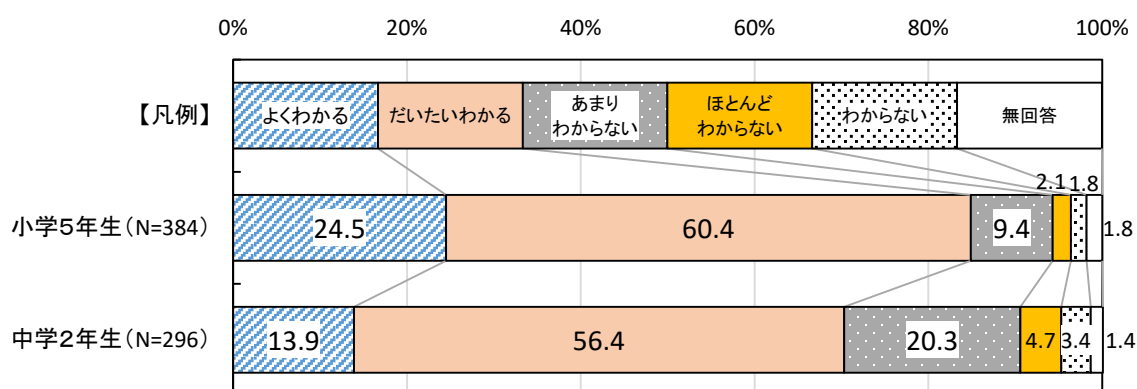
一方、「あまりわからない」(20.3%)、「ほとんどわからない」(4.7%)を合わせた『わからない(理解できていない)』は 25.0%となっている。

中学2年生では小学5年生より『わからない(理解できていない)』は約 13 ポイント多くなっている。

表 2-22 学校の授業内容の理解度

	調査数	よくわかる	だいたいわかる	あまりわからない	ほとんどわからない	わからない	無回答
小学5年生	384	94	232	36	8	7	7
	100.0	24.5	60.4	9.4	2.1	1.8	1.8
中学2年生	296	41	167	60	14	10	4
	100.0	13.9	56.4	20.3	4.7	3.4	1.4

図 2-22 学校の授業内容の理解度



⑳ 学校の授業時間以外での1日あたりの読書時間

問 19 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書を行いますか。（教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。）
（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

学校の授業時間以外での1日あたりの読書時間を尋ねたところ、小学5年生では「30分より少ない」が38.3%と最も多く、以下「30分以上、1時間より少ない」（22.1%）などとなっており、『1時間未満』が60.4%となっている。

一方、「まったくしない」は22.4%となっている。

中学2年生では、「30分より少ない」が34.8%と最も多く、以下「30分以上、1時間より少ない」（13.2%）となっており、『1時間未満』が48.0%となっている。

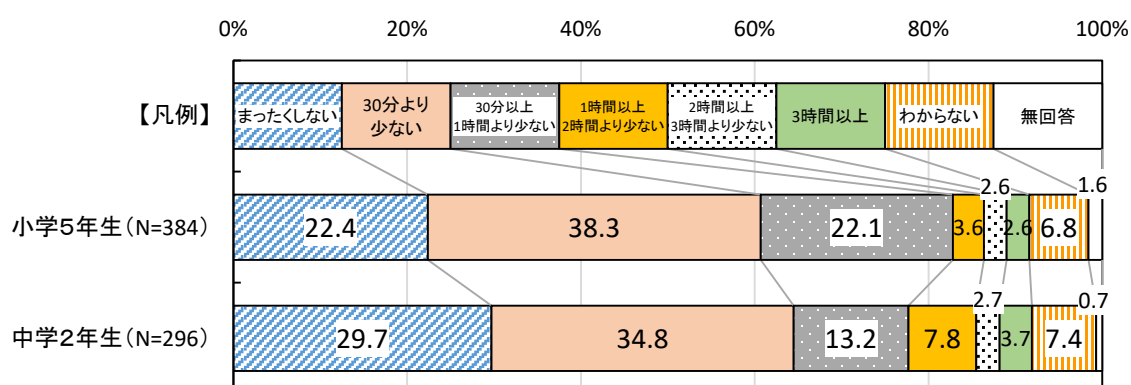
一方、「まったくしない」は29.7%となっている。

中学2年生では小学5年生より読書時間は減少している。

表 2-23 学校の授業時間以外での1日あたりの読書時間

	調査数	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間より少ない、2時間より少ない	2時間より少ない、3時間より少ない	3時間以上	わからない	無回答
小学5年生	384	86	147	85	14	10	10	26	6
	100.0	22.4	38.3	22.1	3.6	2.6	2.6	6.8	1.6
中学2年生	296	88	103	39	23	8	11	22	2
	100.0	29.7	34.8	13.2	7.8	2.7	3.7	7.4	0.7

図 2-23 学校の授業時間以外での1日あたりの読書時間



② 毎月のおこづかい金額

問 20 おこづかいについておたずねします。

(1) あなたは、毎月、いくらおこづかいをもらっていますか。

(時々もらう場合は、1 か月のおおよその平均の金額に○をつけてください。)

毎月のおこづかい金額を尋ねたところ、小学5年生では、「500～999 円」が 19.0%と最も多く、以下「1,000～1,499 円」(15.4%)、「500 円より少ない」(10.7%) などとなっており、『1,500 円未満』が 45.1%となっている。

一方、「もらってない」は 37.0%となっている。

中学2年生では、「2,000～2,499 円」が 16.2%と最も多く、以下「1,000～1,499 円」(14.5%)、「3,000～3,499 円」(10.8%) などとなっており、『1,000～3,500 未満』が 49.3%となっている。

一方、「もらってない」は 33.4%となっている。

中学2年生では小学5年生より毎月のおこづかい金額は多い。

表 2-24 毎月のおこづかい金額

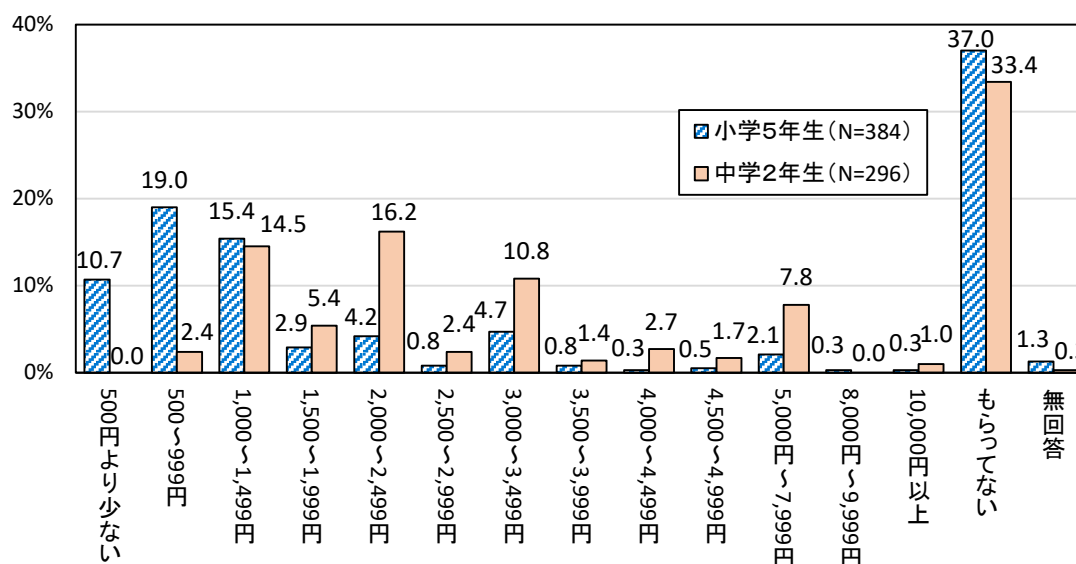
(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	500 円より少ない	500～999 円	1,000～1,499 円	1,500～1,999 円	2,000～2,499 円	2,500～2,999 円	3,000～3,499 円	3,500～3,999 円	4,000～4,499 円	4,500～4,999 円	5,000 円以上	もらってない	無回答
小学5年生	384	41	73	59	11	16	3	18						
	100.0	10.7	19.0	15.4	2.9	4.2	0.8	4.7						
中学2年生	296	0	7	43	16	48	7	32						
	100.0	0.0	2.4	14.5	5.4	16.2	2.4	10.8						

	3,500～3,999 円	4,000～4,499 円	4,500～4,999 円	5,000～5,499 円	5,500～5,999 円	6,000～6,499 円	6,500～6,999 円	7,000～7,499 円	7,500～7,999 円	8,000～8,499 円	8,500～8,999 円	9,000～9,499 円	9,500～9,999 円	10,000 円以上	もらってない	無回答
小学5年生	3	1	2	8	1	1	142	5								
	0.8	0.3	0.5	2.1	0.3	0.3	37.0	1.3								
中学2年生	4	8	5	23	0	3	99	1								
	1.4	2.7	1.7	7.8	0.0	1.0	33.4	0.3								

図 2-24 毎月のおこづかい金額



② 毎月のおこづかいの充足度

(2) 毎月のおこづかいは、たりていますか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください。)

毎月のおこづかいの充足度を尋ねたところ、小学5年生では、「十分たりている」が46.6%と最も多く、「どちらかと言えば、たりている」(16.7%)を合わせた『たりている』は63.3%となっている。

一方、「ややたりていない」(8.9%)、「まったくたりていない」(4.4%)を合わせた『たりていない』は13.3%となっている。

中学2年生では、「十分たりている」が41.6%と最も多く、「どちらかと言えば、たりている」(14.2%)を合わせた『たりている』は55.8%となっている。

一方、「ややたりていない」(12.5%)、「まったくたりていない」(6.8%)を合わせた『たりていない』は19.3%となっている。

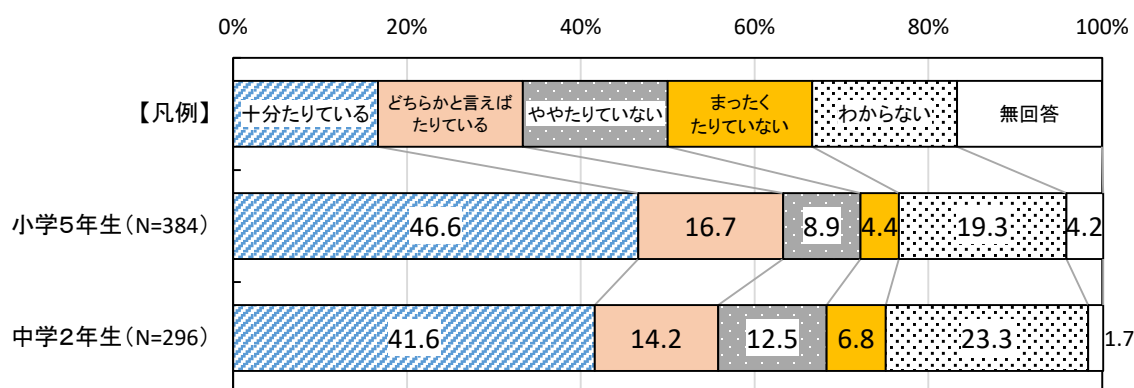
中学2年生では小学5年生に比べて、毎月のおこづかいが不足していると感じている割合がやや多くなっている。

表2-25 毎月のおこづかいの充足度

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	十分たりている	どちらかと言えば、たりている	ややたりていない	まったくたりていない	わからない	無回答
小学5年生	384	179	64	34	17	74	16
	100.0	46.6	16.7	8.9	4.4	19.3	4.2
中学2年生	296	123	42	37	20	69	5
	100.0	41.6	14.2	12.5	6.8	23.3	1.7

図2-25 毎月のおこづかいの充足度



②③ 毎月のおこづかいの使用用途

(3) 毎月のおこづかいは、何に使っていますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

毎月のおこづかいの使用用途を尋ねたところ、小学5年生では、「貯金」が33.3%と最も多く、以下「ともだちとの遊び」(30.2%)、「食べ物や飲み物」(27.1%)、「本」(18.5%)などとなっている。

中学2年生では、「ともだちとの遊び」が47.6%と最も多く、以下「食べ物や飲み物」(36.8%)、「貯金」(32.4%)、「本」(27.4%)、「学校で使う必要なもの」(19.9%)などとなっている。

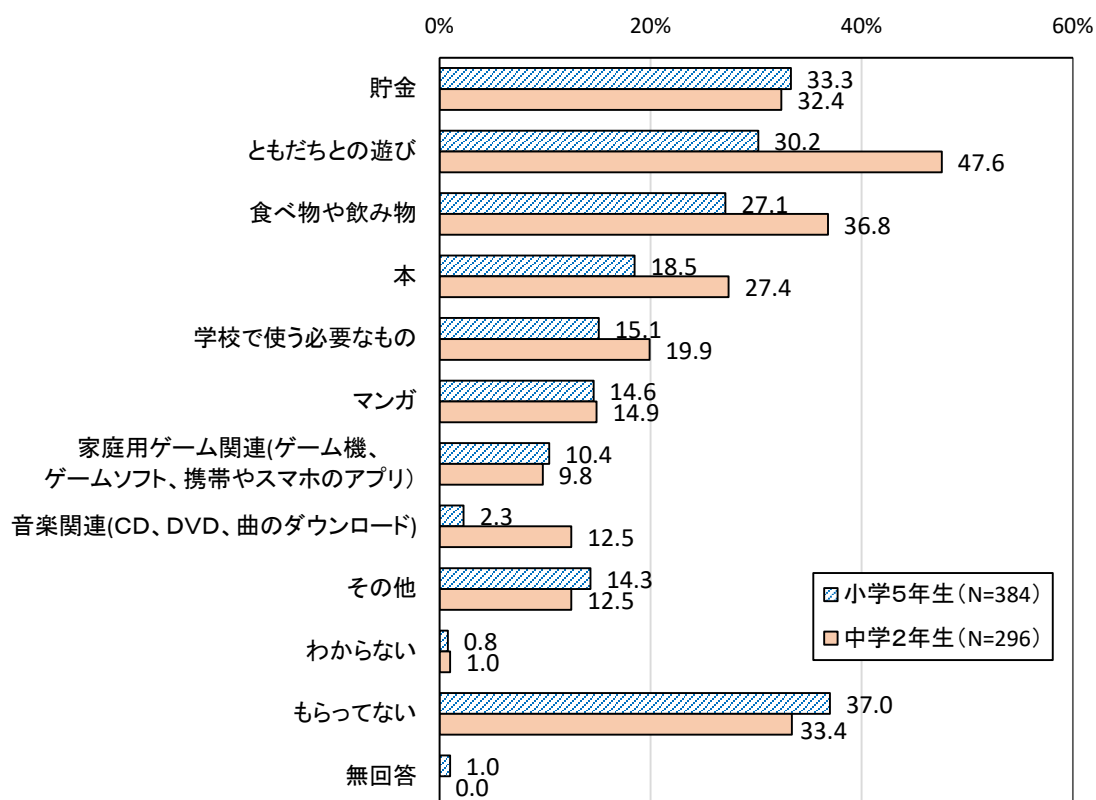
「貯金」及び「家庭用ゲーム関連(ゲーム機、ゲームソフト、携帯やスマホのアプリ)」を除く項目における割合は、中学2年生が小学5年生より多くなっており、特に「ともだちとの遊び」では約17ポイント、「食べ物や飲み物」、「音楽関連(CD、DVD、曲のダウンロード)」では約10ポイント上回っている。

表2-26 毎月のおこづかいの使用用途

	調査数	ともだちとの遊び	学校で使う必要なもの	本	マンガ	食べ物や飲み物	家庭用ゲーム機、ゲームソフト、携帯やスマホのアプリ	貯金	D、音楽関連(CD、DVD、曲のダウンロード)	その他	わからない	もらってない	無回答
小学5年生	384	116	58	71	56	104	40	128	9	55	3	142	4
	100.0	30.2	15.1	18.5	14.6	27.1	10.4	33.3	2.3	14.3	0.8	37.0	1.0
中学2年生	296	141	59	81	44	109	29	96	37	37	3	99	0
	100.0	47.6	19.9	27.4	14.9	36.8	9.8	32.4	12.5	12.5	1.0	33.4	0.0

(上段：実数)
(下段：割合)

図2-26 毎月のおこづかいの使用用途



②4 所持しているものや使用できるもの

問 21 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

所持しているものや使用できるものを尋ねたところ、小学5年生では、「自転車」が88.3%と最も多く、次いで「ゲーム機」(84.1%)、「運動用具（ボール・ラケットなど）」(77.1%)、「テレビ」(76.8%) などとなっている。

一方「あてはまるものはない」は0.3%とごく僅かである。

中学2年生では、「自転車」が94.9%と最も多く、次いで「スマートフォン・タブレット機器（通話等アプリ（ライン）やFacebook などできるもの）」(89.9%)、「本（学校の教科書やマンガはのぞく）」(85.5%)、「子ども部屋（ひとり部屋や兄弟といっしょに使っている部屋など）」(81.4%) などとなっている。

一方「あてはまるものはない」は0.3%とごく僅かである。

「ゲーム機」、「運動用具（ボール・ラケットなど）」、「習い事などの道具（ピアノなど）」は小学5年生が中学2年生より多く、特に「習い事などの道具（ピアノなど）」では約12ポイント多くなっている。

上記を除く項目においては、中学2年生が小学5年生より多く、特に「スマートフォン・タブレット機器（通話等アプリ（ライン）やFacebook などできるもの）」では約34ポイントの差がみられる。

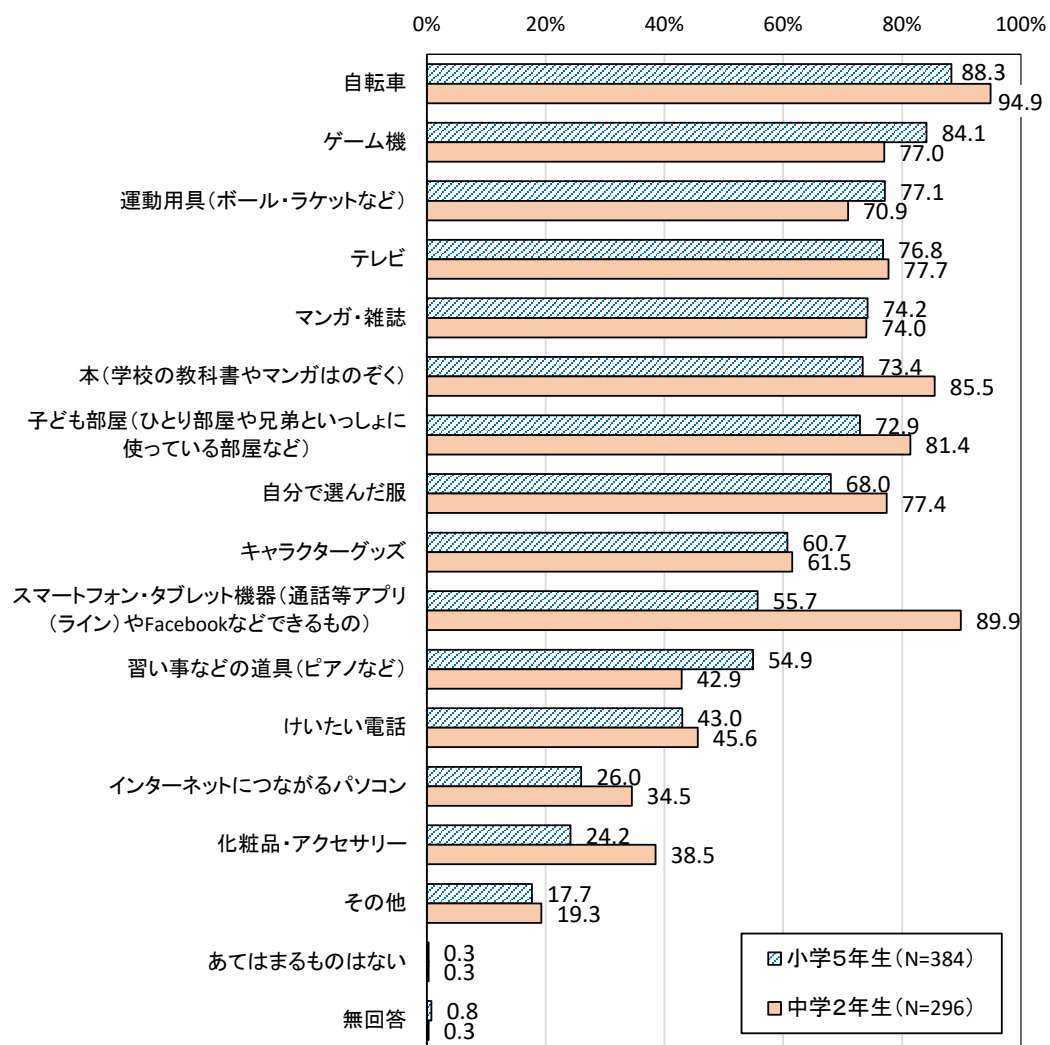
表2-27 所持しているものや使用できるもの

（上段：実数）
（下段：割合）

	調査数	本（学校の教科書やマンガはのぞく）	マンガ・雑誌	子ども部屋（ひとり部屋や兄弟といっしょに使っている部屋など）	インターネットにつながるパソコン	運動用具（ボール・ラケットなど）	ゲーム機	自転車	テレビ
小学5年生	384 100.0	282 73.4	285 74.2	280 72.9	100 26.0	296 77.1	323 84.1	339 88.3	295 76.8
中学2年生	296 100.0	253 85.5	219 74.0	241 81.4	102 34.5	210 70.9	228 77.0	281 94.9	230 77.7

	けいたい電話	F（通話等アプリ（ライン）やタブレット機器などできるもの）	化粧品・アクセサリ	習い事などの道具（ピアノなど）	自分で選んだ服	キャラクターグッズ	その他	あてはまるものはない	無回答
小学5年生	165 43.0	214 55.7	93 24.2	211 54.9	261 68.0	233 60.7	68 17.7	1 0.3	3 0.8
中学2年生	135 45.6	266 89.9	114 38.5	127 42.9	229 77.4	182 61.5	57 19.3	1 0.3	1 0.3

図 2-27 所持しているものや使用できるもの



②⑤ 嫌なことや悩んでいること

問 22 今、あなたは、いやなことや悩んでいることはありますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

嫌なことや悩んでいることを尋ねたところ、小学5年生では、「ともだちのこと」が18.8%と最も多く、以下「学校や勉強のこと」(16.9%)、「自分のこと(外見や体型など)」(12.8%)、「好きな人のこと」(10.4%) などとなっている。

一方、「いやなことや悩んでいることはない」は45.8%と半数近くとなっている。

中学2年生では、「進学・進路のこと」が40.2%と最も多く、以下「学校や勉強のこと」(34.8%)、「自分のこと(外見や体型など)」、「クラブ活動や部活のこと」(ともに14.9%) などとなっている。

一方、「いやなことや悩んでいることはない」は25.0%となっている。

「いやなことや悩んでいることはない」は中学2年生では小学5年生よりも約21ポイント少なくなっており、中学生になると悩みが多くなることがわかる。

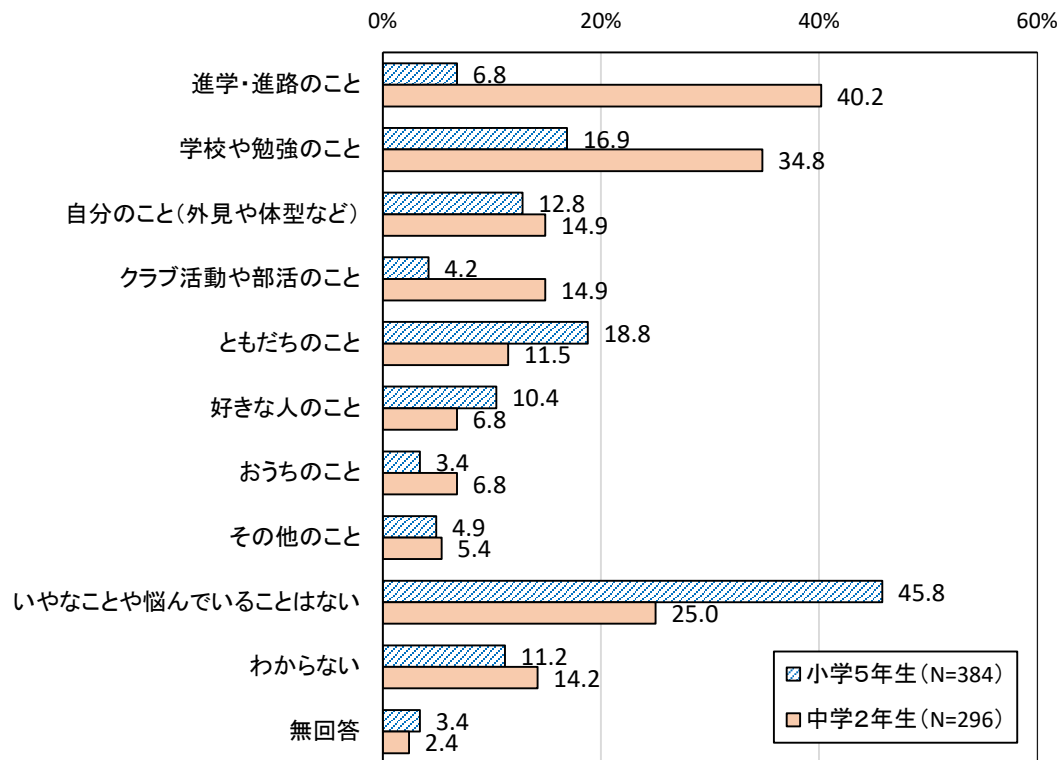
小学5年生では中学2年生に比べて「ともだちのこと」や「好きな人のこと」など対人関係で悩みが多いが、中学2年生では「学校や勉強のこと」や「進学・進路のこと」など勉強や進学についての悩みが多くなっている。

表 2-28 嫌なことや悩んでいること

	調査数	おうちのこと	学校や勉強のこと	クラブ活動や部活のこと	自分のこと(外見や体型など)	ともだちのこと	好きな人のこと	進学・進路のこと	その他のこと	いやなことや悩んでいることはない	わからない	無回答
小学5年生	384	13	65	16	49	72	40	26	19	176	43	13
	100.0	3.4	16.9	4.2	12.8	18.8	10.4	6.8	4.9	45.8	11.2	3.4
中学2年生	296	20	103	44	44	34	20	119	16	74	42	7
	100.0	6.8	34.8	14.9	14.9	11.5	6.8	40.2	5.4	25.0	14.2	2.4

(上段：実数)
(下段：割合)

図 2-28 嫌なことや悩んでいること



②⑥ 悩みなどの相談相手

問23 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

相談相手については、小学5年生では「親」が69.8%と最も多く、以下「学校のともだち」(44.8%)、「担任の先生や他のクラスの先生」(25.5%)などとなっている。

一方、「だれにも相談できない・したくない」は8.6%となっている。

中学2年生では「学校のともだち」が55.7%と最も多く、以下「親」(53.0%)、「担任の先生や他のクラスの先生」(22.0%)などとなっている。

一方、「だれにも相談できない・したくない」は9.5%となっている。

小学5年生の約70%は「親」に、中学2年生では半数以上が「親」または「学校のともだち」に相談している。また、「だれにも相談できない・したくない」は小学5年生、中学2年生ともに10%近くみられ、悩みを誰にも話せず不安を感じていると考えられる。

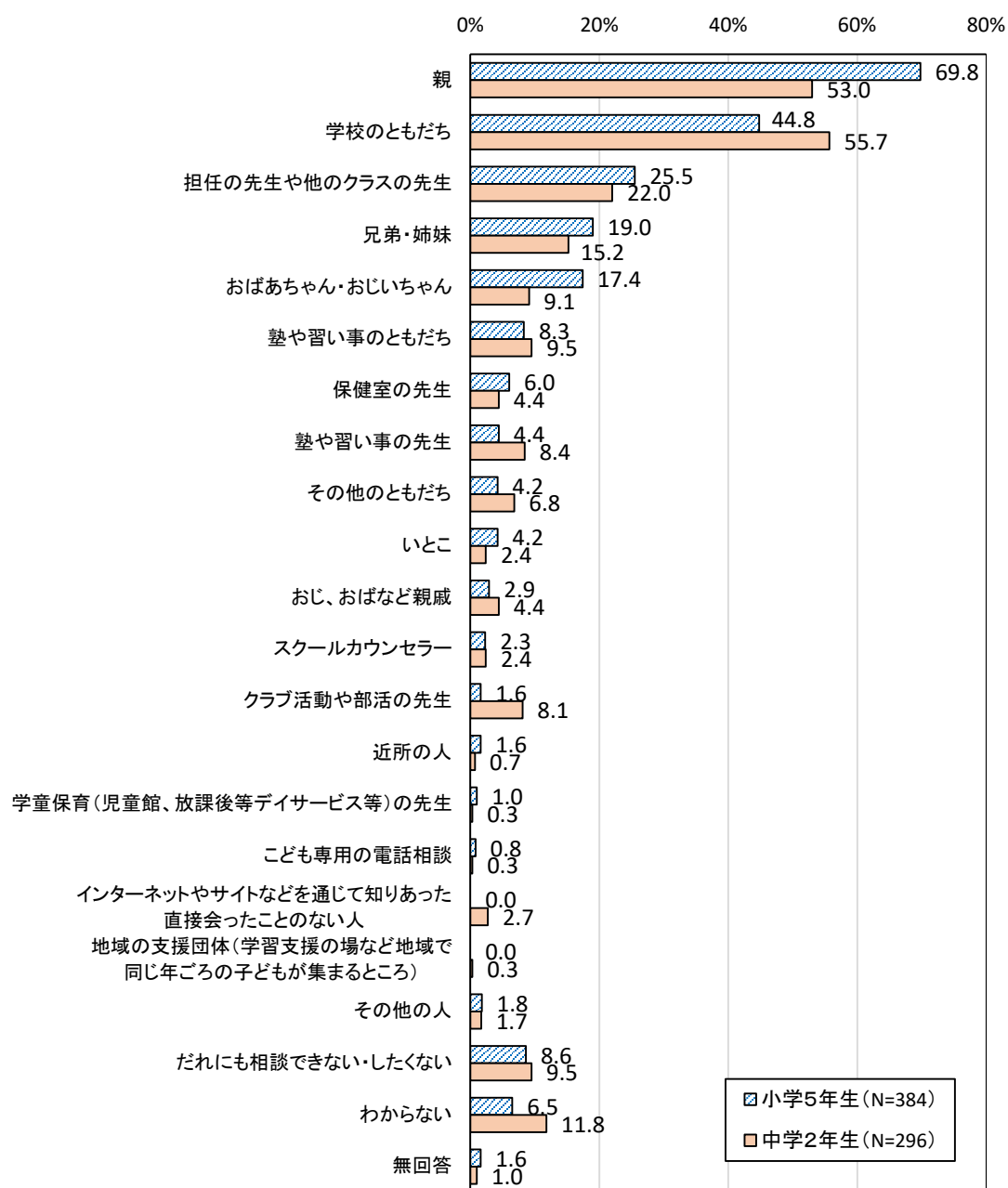
表2-29 悩みなどの相談相手

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	親	兄弟・姉妹	おばあちゃん・おじいちゃん	親戚、おばなど	学校のともだち	塾や習い事のともだち	その他のともだち	いとこ	担任の先生や他のクラスの先生	保健室の先生	クラブ活動や部の先生
小学5年生	384 100.0	268 69.8	73 19.0	67 17.4	11 2.9	172 44.8	32 8.3	16 4.2	16 4.2	98 25.5	23 6.0	6 1.6
中学2年生	296 100.0	157 53.0	45 15.2	27 9.1	13 4.4	165 55.7	28 9.5	20 6.8	7 2.4	65 22.0	13 4.4	24 8.1

	スクールカウンセラー	塾や習い事の先生	学童保育(児童館、放課後等デイサービス等)の先生	こども専用の電話相談	インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	近所の人	地域などの支援団体(学習支援の子どもが集まるところ)の人	その他の人	だれにも相談できない・したくない	わからない	無回答
小学5年生	9 2.3	17 4.4	4 1.0	3 0.8	0 0.0	6 1.6	0 0.0	7 1.8	33 8.6	25 6.5	6 1.6
中学2年生	7 2.4	25 8.4	1 0.3	1 0.3	8 2.7	2 0.7	1 0.3	5 1.7	28 9.5	35 11.8	3 1.0

図 2-29 悩みなどの相談相手



②⑦ あなたに親身になってくれる人

問 24 あなたに次の①～⑧のことをしてくれる人はだれですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

あなたに親身になってくれる人を尋ねたところ、小学5年生では、すべての項目において「お母さん」が60%以上と最も多く、特に『⑧あなたのことをとても大切にしてくれる』は91.1%を占めている。また、どの項目でも「お父さん」、「おじいちゃん・おばあちゃん」など家族が多くなっている。

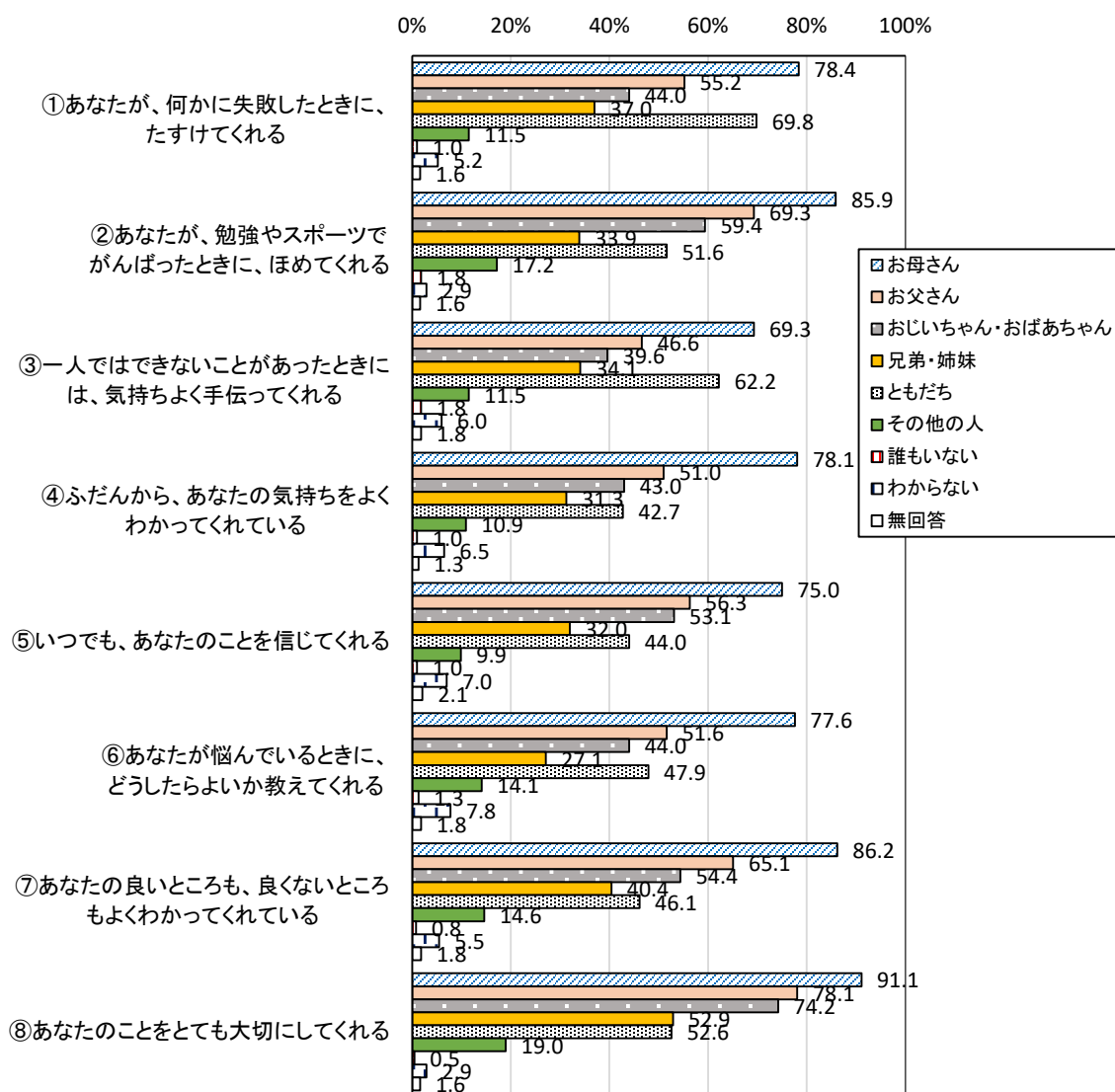
一方、『①あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる』及び『③一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる』では「ともだち」が60%以上と多くなっている。

表 2-30 あなたに親身になってくれる人【小学5年生】

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	お母さん	お父さん	おじいちゃん・おばあちゃん	兄弟・姉妹	ともだち	その他の人	誰もいない	わからない	無回答
①あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる	384 100.0	301 78.4	212 55.2	169 44.0	142 37.0	268 69.8	44 11.5	4 1.0	20 5.2	6 1.6
②あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる	384 100.0	330 85.9	266 69.3	228 59.4	130 33.9	198 51.6	66 17.2	7 1.8	11 2.9	6 1.6
③一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる	384 100.0	266 69.3	179 46.6	152 39.6	131 34.1	239 62.2	44 11.5	7 1.8	23 6.0	7 1.8
④ふだんから、あなたの気持ちをよくわかってきている	384 100.0	300 78.1	196 51.0	165 43.0	120 31.3	164 42.7	42 10.9	4 1.0	25 6.5	5 1.3
⑤いつでも、あなたのことを信じてくれる	384 100.0	288 75.0	216 56.3	204 53.1	123 32.0	169 44.0	38 9.9	4 1.0	27 7.0	8 2.1
⑥あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる	384 100.0	298 77.6	198 51.6	169 44.0	104 27.1	184 47.9	54 14.1	5 1.3	30 7.8	7 1.8
⑦あなたの良いところも、良くないところもよくわかってきている	384 100.0	331 86.2	250 65.1	209 54.4	155 40.4	177 46.1	56 14.6	3 0.8	21 5.5	7 1.8
⑧あなたのことをとても大切にしてくれる	384 100.0	350 91.1	300 78.1	285 74.2	203 52.9	202 52.6	73 19.0	2 0.5	11 2.9	6 1.6

図 2-30 あなたに親身になってくれる人【小学5年生】(N=384)



中学2年生では、『①あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる』、『③一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる』では「ともだち」が70%以上と最も多く、それ以外の項目では「お母さん」が最も多くなっている。

中学2年生では小学5年生より「ともだち」がやや増加し、「お母さん」、「お父さん」、「おじいちゃん・おばあちゃん」など家族が減少している。

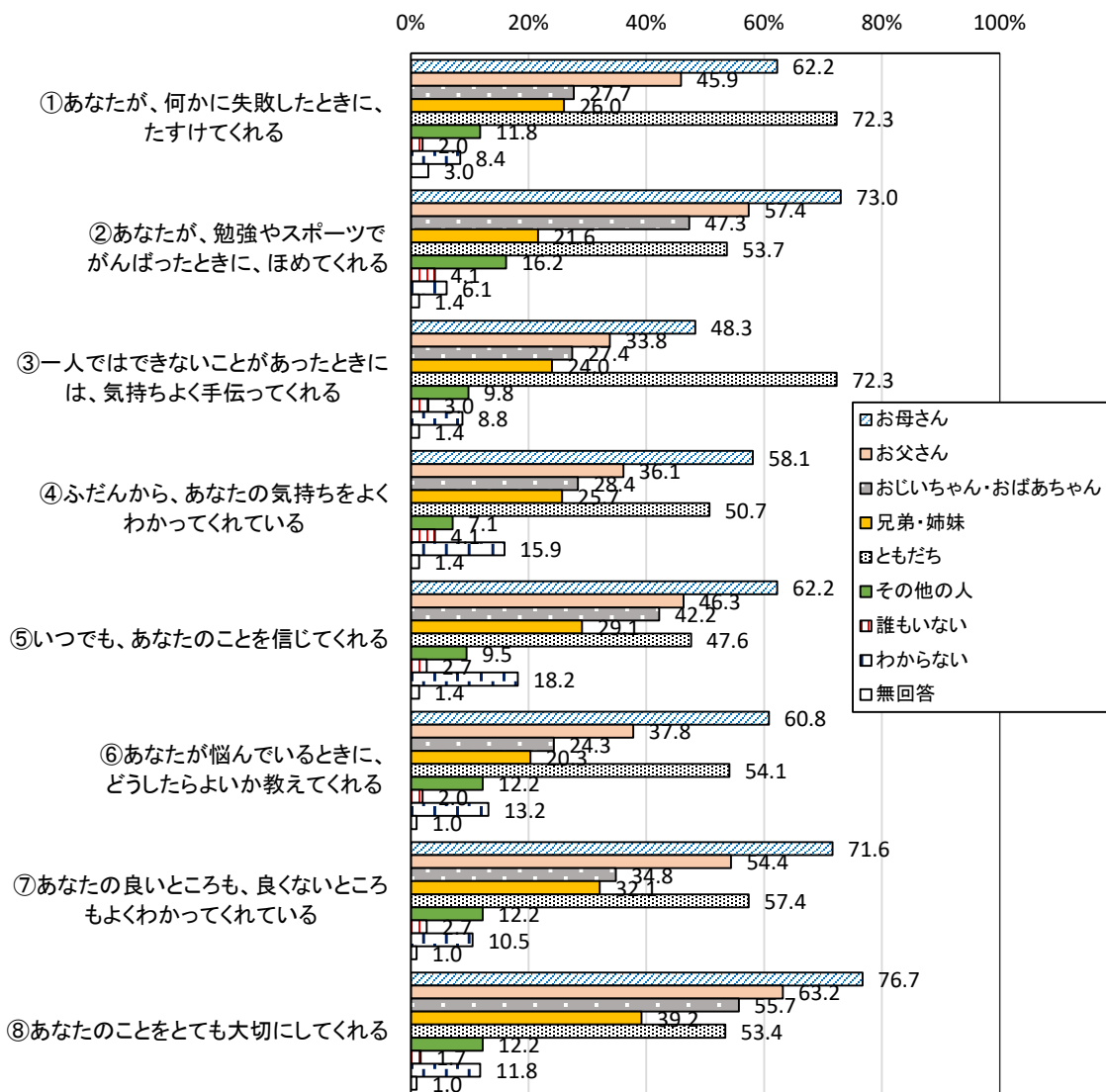
表2-31 あなたに親身になってくれる人【中学2年生】

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	お母さん	お父さん	おじいちゃん・おばあちゃん	兄弟・姉妹	ともだち	その他の人	誰もいない	わからない	無回答
①あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる	296 100.0	184 62.2	136 45.9	82 27.7	77 26.0	214 72.3	35 11.8	6 2.0	25 8.4	9 3.0
②あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる	296 100.0	216 73.0	170 57.4	140 47.3	64 21.6	159 53.7	48 16.2	12 4.1	18 6.1	4 1.4
③一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる	296 100.0	143 48.3	100 33.8	81 27.4	71 24.0	214 72.3	29 9.8	9 3.0	26 8.8	4 1.4
④ふだんから、あなたの気持ちをよくわかってきている	296 100.0	172 58.1	107 36.1	84 28.4	76 25.7	150 50.7	21 7.1	12 4.1	47 15.9	4 1.4
⑤いつでも、あなたのことを信じてくれる	296 100.0	184 62.2	137 46.3	125 42.2	86 29.1	141 47.6	28 9.5	8 2.7	54 18.2	4 1.4
⑥あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる	296 100.0	180 60.8	112 37.8	72 24.3	60 20.3	160 54.1	36 12.2	6 2.0	39 13.2	3 1.0
⑦あなたの良いところも、良くないところもよくわかってきている	296 100.0	212 71.6	161 54.4	103 34.8	95 32.1	170 57.4	36 12.2	8 2.7	31 10.5	3 1.0
⑧あなたのことをとても大切にしてくれる	296 100.0	227 76.7	187 63.2	165 55.7	116 39.2	158 53.4	36 12.2	5 1.7	35 11.8	3 1.0

図 2-31 あなたに親身になってくれる人【中学2年生】(N=296)



㊸ 自分の体や気持ちで気になること

問 25 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

自分の体や気持ちで気になることを尋ねたところ、小学5年生では、「イライラする」27.6%と最も多く、以下「やる気が起きない」(20.8%)、「不安な気持ちになる」(18.0%)などとなっている。

一方、「特に気になるところはない」は30.5%となっている。

中学2年生では、「やる気が起きない」32.1%と最も多く、以下「イライラする」(21.6%)、「不安な気持ちになる」(19.3%)などとなっている。

一方、「特に気になるところはない」は28.0%となっている。

中学2年生では小学5年生よりも「やる気が起きない」が約11ポイント多くなっている。

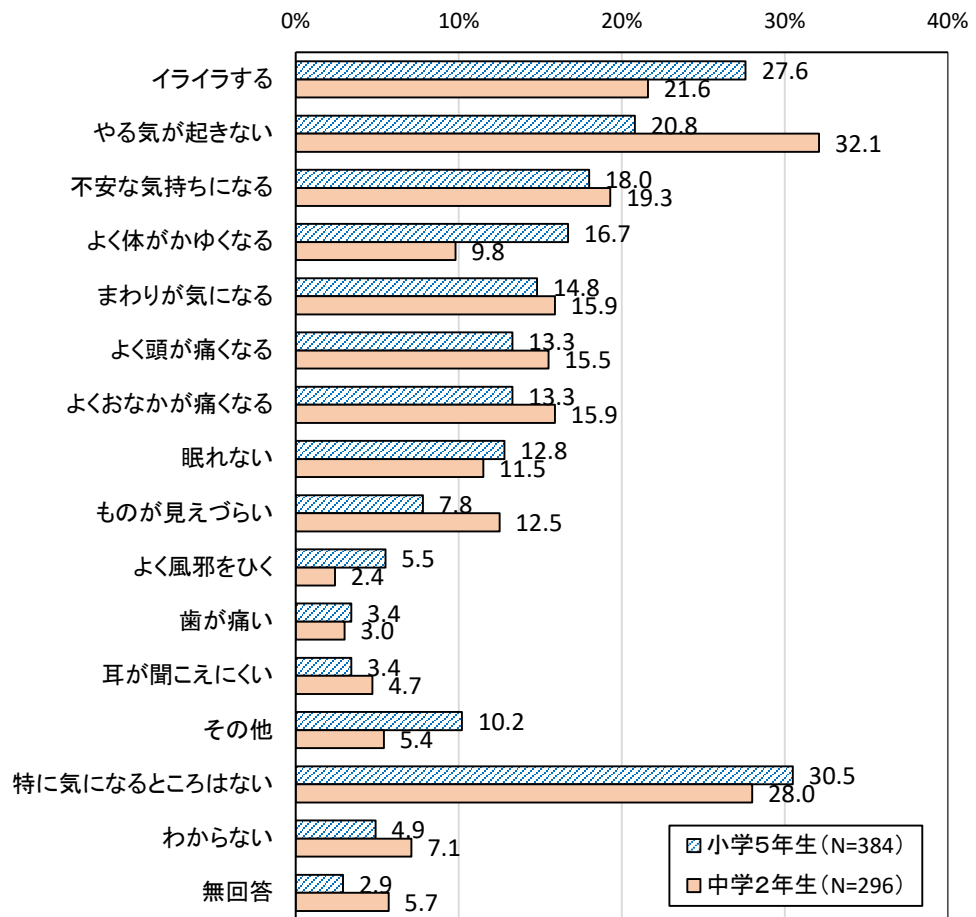
表2-32 自分の体や気持ちで気になること

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	眠れない	よく頭が痛くなる	歯が痛い	不安な気持ちになる	ものが見えづらい	耳が聞こえにくい	よくおなか痛くなる	よく風邪をひく
小学5年生	384 100.0	49 12.8	51 13.3	13 3.4	69 18.0	30 7.8	13 3.4	51 13.3	21 5.5
中学2年生	296 100.0	34 11.5	46 15.5	9 3.0	57 19.3	37 12.5	14 4.7	47 15.9	7 2.4

	よく体がかゆくなる	まわりが気になる	やる気が起きない	イライラする	その他	特に気になるところはない	わからない	無回答
小学5年生	64 16.7	57 14.8	80 20.8	106 27.6	39 10.2	117 30.5	19 4.9	11 2.9
中学2年生	29 9.8	47 15.9	95 32.1	64 21.6	16 5.4	83 28.0	21 7.1	17 5.7

図 2-32 自分の体や気持ちで気になること



(3) 普段考えていること

① 自分自身について

1) 自分に自信がある

問26 あなたがふだん考えていることについて、次の(1)～(6)について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

(1) 自分に自信がある

自分に自信があるかを尋ねたところ、小学5年生では、「どちらかというところある」が37.5%と最も多く、「ある」(22.9%)を合わせた『ある』は60.4%となっている。

一方、「どちらかというところない」(28.4%)、「ない」(8.1%)を合わせた『ない』は36.5%となっている。

中学2年生では、「どちらかというところない」が37.5%と最も多く、「ない」(23.3%)を合わせた『ない』は60.8%となっている。

一方、「ある」(9.1%)、「どちらかというところある」(28.4%)を合わせた『ある』は37.5%となっている。

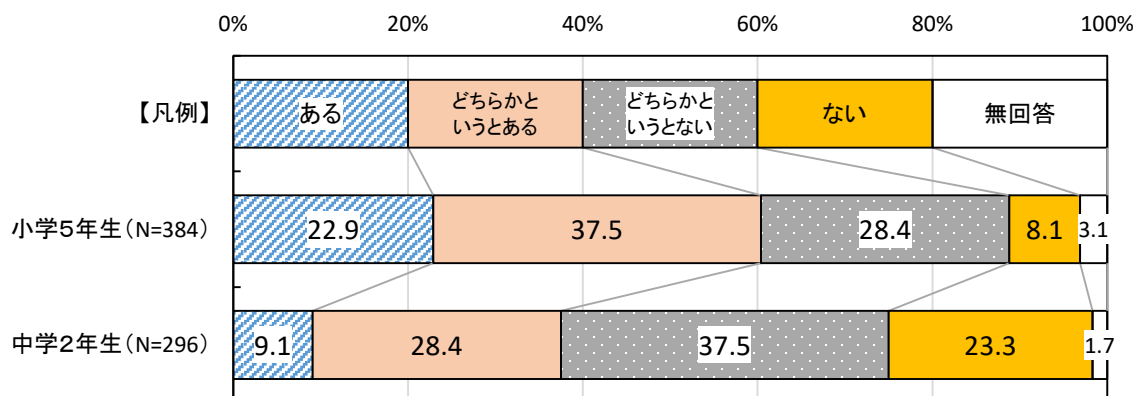
自分に自信が『ある』は、小学5年生に比べて中学2年生では約24ポイント少なくなっている。

表2-33 自分に自信がある

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	ある	どちらか ところある	どちらか ところない	ない	無回答
小学5年生	384	88	144	109	31	12
	100.0	22.9	37.5	28.4	8.1	3.1
中学2年生	296	27	84	111	69	5
	100.0	9.1	28.4	37.5	23.3	1.7

図2-33 自分に自信がある



2) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

(2) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

自分の考えをはっきり相手に伝えることができるかを尋ねたところ、小学5年生では、「どちらかというとできる」が40.1%と最も多く、「できる」(25.5%)を合わせた『できる』は65.6%となっている。

一方、「どちらかというとできない」(25.5%)、「できない」(5.7%)を合わせた『できない』は31.2%となっている。

中学2年生では、「どちらかというとできる」が36.5%と最も多く、「できる」(24.0%)を合わせた『できる』は60.5%となっている。

一方、「どちらかというとできない」(30.1%)、「できない」(7.8%)を合わせた『できない』は37.9%となっている。

自分の考えをはっきり相手に伝えることが『できる』は、小学5年生に比べて中学2年生ではやや少なくなっている。

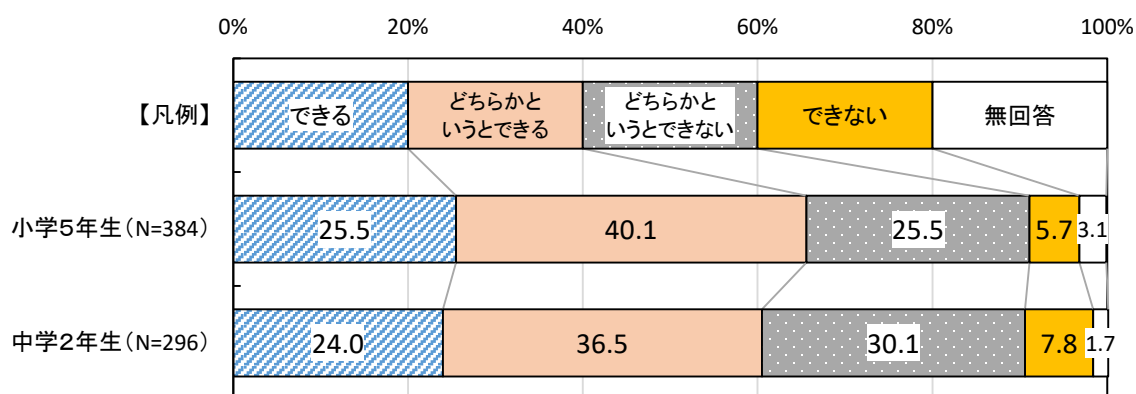
表2-34 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	できる	どちらか とできる	どちら とできない	できない	無回答
小学5年生	384	98	154	98	22	12
	100.0	25.5	40.1	25.5	5.7	3.1
中学2年生	296	71	108	89	23	5
	100.0	24.0	36.5	30.1	7.8	1.7

図2-34 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる



3) 大人は信用できる

(3) 大人は信用できる

大人は信用できるかを尋ねたところ、小学5年生では、「どちらかというと思う」が41.4%と最も多く、「そう思う」(37.8%)を合わせた『そう思う』は79.2%となっている。

一方、「どちらかというと思わない」(11.7%)、「そう思わない」(5.5%)を合わせた『思わない』は17.2%となっている。

中学2年生では、「どちらかというと思う」が46.6%と最も多く、「そう思う」(14.5%)を合わせた『そう思う』は61.1%となっている。

一方、「どちらかというと思わない」(24.0%)、「そう思わない」(13.2%)を合わせた『思わない』は37.2%となっている。

大人は信用『できる』は、小学5年生に比べて中学2年生では約18ポイント少なくなっており、中学生になると大人への不信感を持つ割合が増える傾向がみられる。

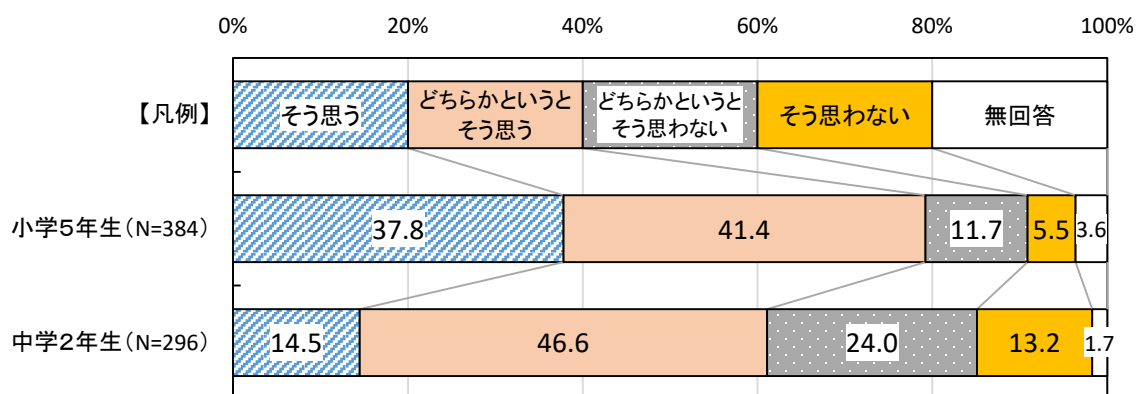
表2-35 大人は信用できる

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない	無回答
小学5年生	384	145	159	45	21	14
	100.0	37.8	41.4	11.7	5.5	3.6
中学2年生	296	43	138	71	39	5
	100.0	14.5	46.6	24.0	13.2	1.7

図2-35 大人は信用できる



4) 自分の将来の夢や目標を持っている

(4) 自分の将来の夢や目標を持っている

自分の将来の夢や目標を持っているかを尋ねたところ、小学5年生では、「持っている」が62.5%と最も多く、「どちらかというを持っている」(15.9%)を合わせた『持っている』は78.4%となっている。

一方、「どちらかというと持っていない」(12.0%)、「持っていない」(6.5%)を合わせた『持っていない』は18.5%となっている。

中学2年生では、「持っている」が42.9%と最も多く、「どちらかというを持っている」(24.3%)を合わせた『持っている』は67.2%となっている。

一方、「どちらかというと持っていない」(16.2%)、「持っていない」(14.9%)を合わせた『持っていない』は31.1%となっている。

自分の将来の夢や目標を『持っている』は、小学5年生に比べて中学2年生では約11ポイント少なくなっている。

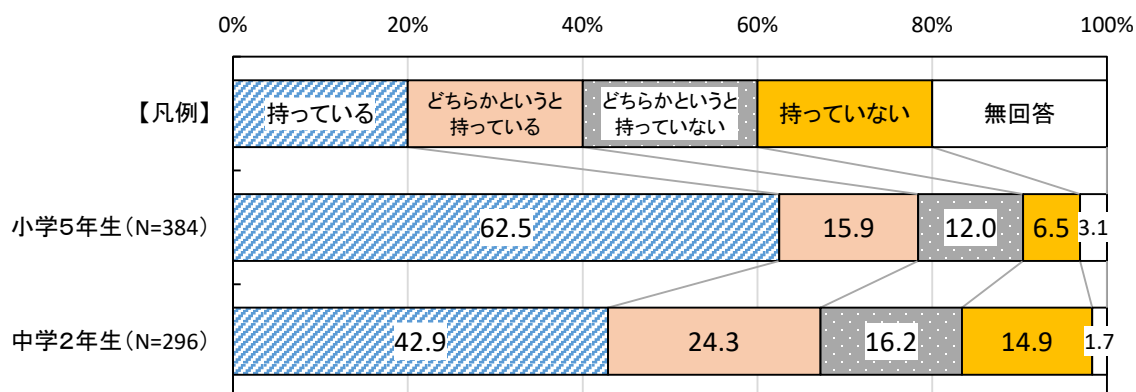
表2-36 自分の将来の夢や目標を持っている

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	持っている	とどちらかというを持っている	とどちらかというと持っていない	持っていない	無回答
小学5年生	384	240	61	46	25	12
	100.0	62.5	15.9	12.0	6.5	3.1
中学2年生	296	127	72	48	44	5
	100.0	42.9	24.3	16.2	14.9	1.7

図2-36 自分の将来の夢や目標を持っている



5) 将来のためにも、今、頑張りたいと思う

(5) 将来のためにも、今、頑張りたいと思う

将来のためにも、今、頑張りたいと思うかを尋ねたところ、小学5年生では、「そう思う」が59.4%と最も多く、「どちらかというと思う」(26.0%)を合わせた『思う』は85.4%となっている。

一方、「どちらかというと思わない」(8.3%)、「そう思わない」(3.1%)を合わせた『思わない』は11.4%となっている。

中学2年生では、「そう思う」が56.8%と最も多く、「どちらかというと思う」(31.8%)を合わせた『思う』は88.6%となっている。

一方、「どちらかというと思わない」(6.8%)、「そう思わない」(3.0%)を合わせた『思わない』は9.8%となっている。

将来のためにも、今、頑張りたいと『思う』は、小学5年生に比べて中学2年生でやや多くなっている。

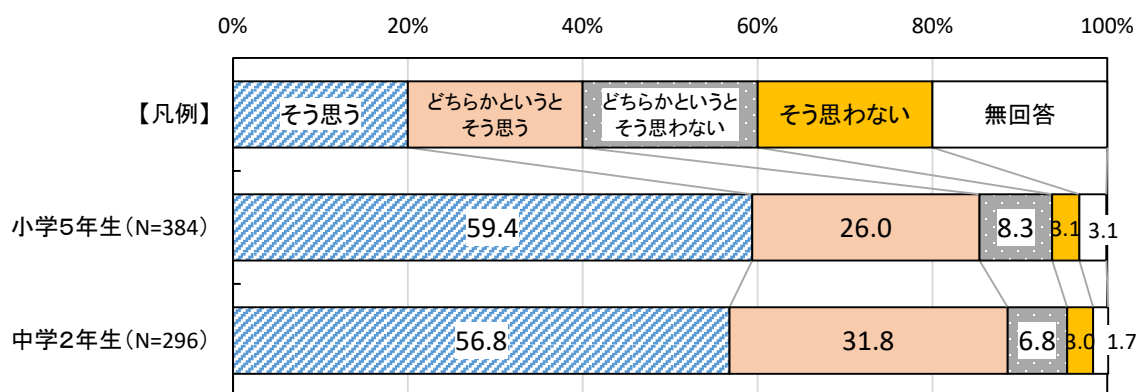
表2-37 将来のためにも、今、頑張りたいと思う

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない	無回答
小学5年生	384	228	100	32	12	12
	100.0	59.4	26.0	8.3	3.1	3.1
中学2年生	296	168	94	20	9	5
	100.0	56.8	31.8	6.8	3.0	1.7

図2-37 将来のためにも、今、頑張りたいと思う



6) 将来、働きたいと思う

(6) 将来、働きたいと思う

将来、働きたいと思うかを尋ねたところ、小学5年生では、「そう思う」が80.5%と最も多く、「どちらかというと思う」(12.5%)を合わせた『思う』は93.0%となっている。

一方、「どちらかというと思わない」(2.3%)、「そう思わない」(1.3%)を合わせた『思わない』は3.6%となっている。

中学2年生では、「そう思う」が89.5%と最も多く、「どちらかというと思う」(6.1%)を合わせた『思う』は95.6%となっている。

一方、「どちらかというと思わない」(0.7%)、「そう思わない」(1.7%)を合わせた『思わない』は2.4%となっている。

将来、働きたいと『思う』は、小学5年生、中学2年生ともに90%以上を占めている。

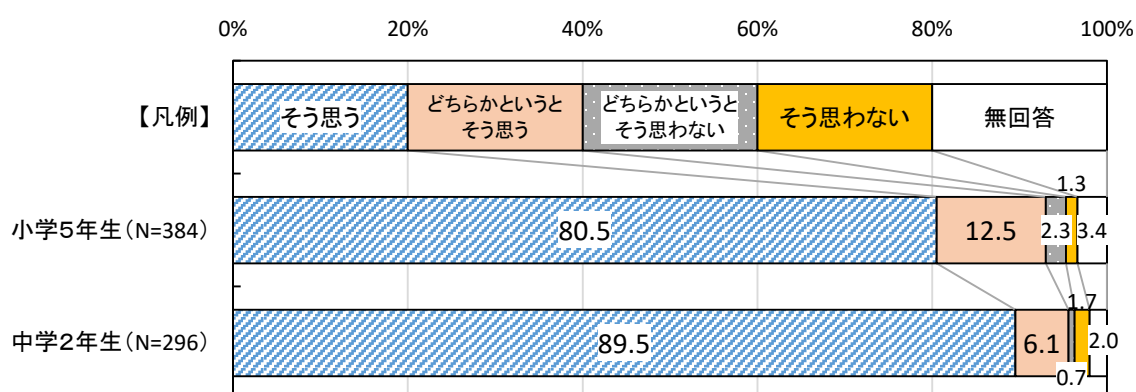
表2-38 将来、働きたいと思う

	調査数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない	無回答
小学5年生	384	309	48	9	5	13
	100.0	80.5	12.5	2.3	1.3	3.4
中学2年生	296	265	18	2	5	6
	100.0	89.5	6.1	0.7	1.7	2.0

(上段：実数)

(下段：割合)

図2-38 将来、働きたいと思う



②希望進路

問 27 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください。)

将来どの学校まで行きたいか尋ねたところ、小学5年生では、「大学・短期大学」が34.6%と最も多く、以下「高校」(18.2%)、「専門学校(美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など)」(17.4%) などとなっている。

中学2年生では、「大学・短期大学」が41.2%と最も多く、以下「専門学校(美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など)」(20.3%)、「高校」(15.9%) などとなっている。

「大学・短期大学」では小学5年生に比べて中学2年生がやや多くなっている。

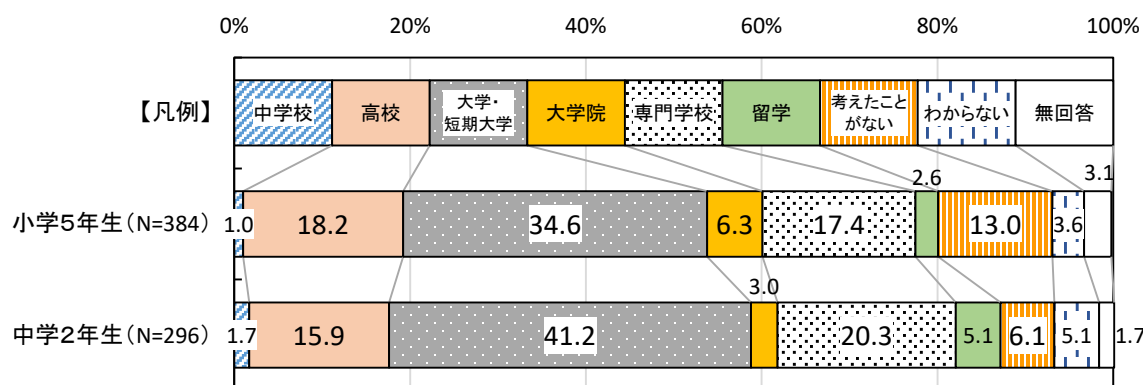
一方、「考えたことがない」では中学2年生に比べて小学5年生はやや多くなっている。

表 2-39 希望進路

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	中学校	高校	大学・短期大学	大学院	専門学校(美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など)	留学	考えたことがない	わからない	無回答
小学5年生	384	4	70	133	24	67	10	50	14	12
	100.0	1.0	18.2	34.6	6.3	17.4	2.6	13.0	3.6	3.1
中学2年生	296	5	47	122	9	60	15	18	15	5
	100.0	1.7	15.9	41.2	3.0	20.3	5.1	6.1	5.1	1.7

図 2-39 希望進路



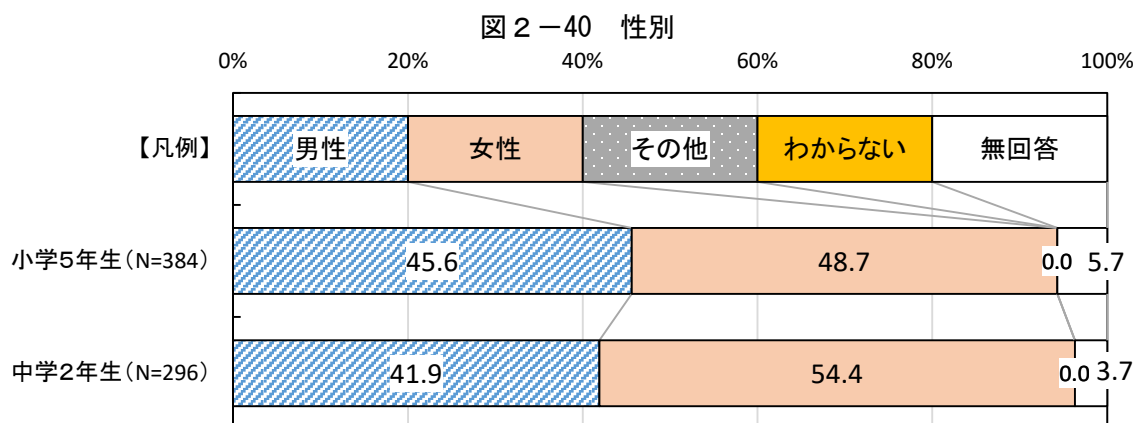
(4) あなた自身について

① 性別

問 28 あなたの性別を教えてください。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください。)

性別は、小学5年生では「男性」(175人、45.6%)「女性」(187人、48.7%)となっている。

中学2年生では、「男性」(124人、41.9%)「女性」(161人、54.4%)と、小学5年生、中学2年生ともに「女性」がやや多くなっている。



② 身長・体重

問 29 現在のあなたの身長と体重について、近いものをそれぞれえらんでください。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください。)

身長を尋ねたところ、小学5年生では、「145cm～149.9cm」が25.8%と最も多く、次いで「140cm～144.9cm」(25.5%)、「150cm～154.9cm」(18.2%)などとなっている。

中学2年生では、「155cm～159.9cm」が23.3%と最も多く、次いで「160cm～164.9cm」(23.0%)、「150cm～154.9cm」(18.9%)などとなっている。

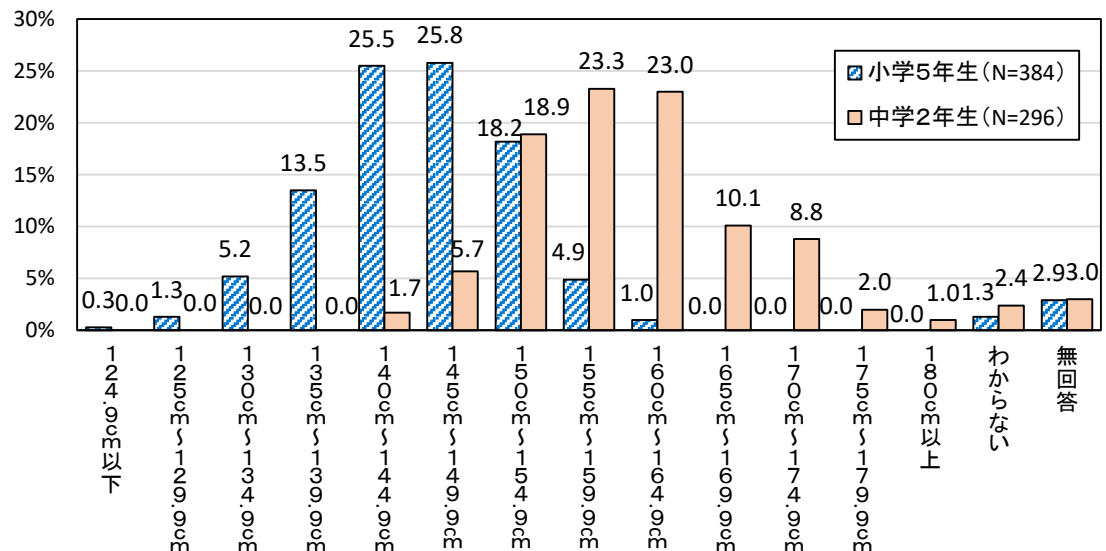
小学5年生では『150cm未満』が71.6%、中学2年生では『150cm以上』が87.1%となっている。

表 2-41 身長

(上段：実数)
(下段：割合)

(単位：割合)																	
	調査数	以下	112	112	113	113	114	114	115	115	116	116	117	117	118	わからない	無回答
		4	9	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9	4	0		
		9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	c		
		c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	m		
		m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	以上		
小学5年生	384	1	5	20	52	98	99	70	19	4	0	0	0	0	0	5	11
	100.0	0.3	1.3	5.2	13.5	25.5	25.8	18.2	4.9	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.9	
中学2年生	296	0	0	0	0	5	17	56	69	68	30	26	6	3	7	9	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	5.7	18.9	23.3	23.0	10.1	8.8	2.0	1.0	2.4	3.0	

図 2-41 身長



多く、以下「145 cm～149.9 cm」(22.9%)、「150 cm～154.9 cm」(16.6%) などとなっている。小学5年生女子では、「145 cm～149.9 cm」が29.9%と最も多く、以下「140 cm～144.9 cm」(22.5%)、「150 cm～154.9 cm」(21.9%) などとなってい。

中学2年生男子では、「160 cm～164.9 cm」が23.4%と最も多く、以下「165 cm～169.9 cm」、「170 cm～174.9 cm」(ともに19.4%) などとなっている。中学2年生女子では、「155 cm～159.9 cm」が29.8%と最も多く、次いで「150 cm～154.9 cm」(28.6%)、「160 cm～164.9 cm」(24.2%) などとなっている。

小学5年生では男子より女子の方が身長が高いが、中学2年生では女子より男子の方が身長が高くなっている。

表 2-42 身長【小学5年生男女別・中学2年生男女別】

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	以下	124.9以下	125.0～129.9	130.0～134.9	135.0～139.9	140.0～144.9	145.0～149.9	150.0～154.9	155.0～159.9	160.0～164.9	165.0～169.9	170.0～174.9	175.0～179.9	180.0以上	わからない	無回答
男子	小学5年生	175	1	2	11	26	56	40	29	5	2	0	0	0	0	3	0
		100.0	0.6	1.1	6.3	14.9	32.0	22.9	16.6	2.9	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0
女子	中学2年生	124	0	0	0	0	0	2	9	20	29	24	24	6	3	6	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	7.3	16.1	23.4	19.4	19.4	4.8	2.4	4.8	0.8
男子	小学5年生	187	0	2	8	20	42	56	41	14	2	0	0	0	0	2	0
		100.0	0.0	1.1	4.3	10.7	22.5	29.9	21.9	7.5	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
女子	中学2年生	161	0	0	0	0	5	15	46	48	39	5	1	0	0	1	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	9.3	28.6	29.8	24.2	3.1	0.6	0.0	0.0	0.6	0.6

体重を尋ねたところ、小学5年生では、「30kg～34.9kg」が25.8%と最も多く、次いで「35kg～39.9kg」(23.4%)、「40kg～44.9kg」(19.8%) などとなっている。

中学2年生では、「45kg～49.9kg」が23.0%と最も多く、以下「50kg～54.9kg」(18.9%)、「40kg～44.9kg」(15.9%) などとなっている。

小学5年生では『45.0kg未満』が80.7%、中学2年生では『45.0kg以上』が68.6%となっている。

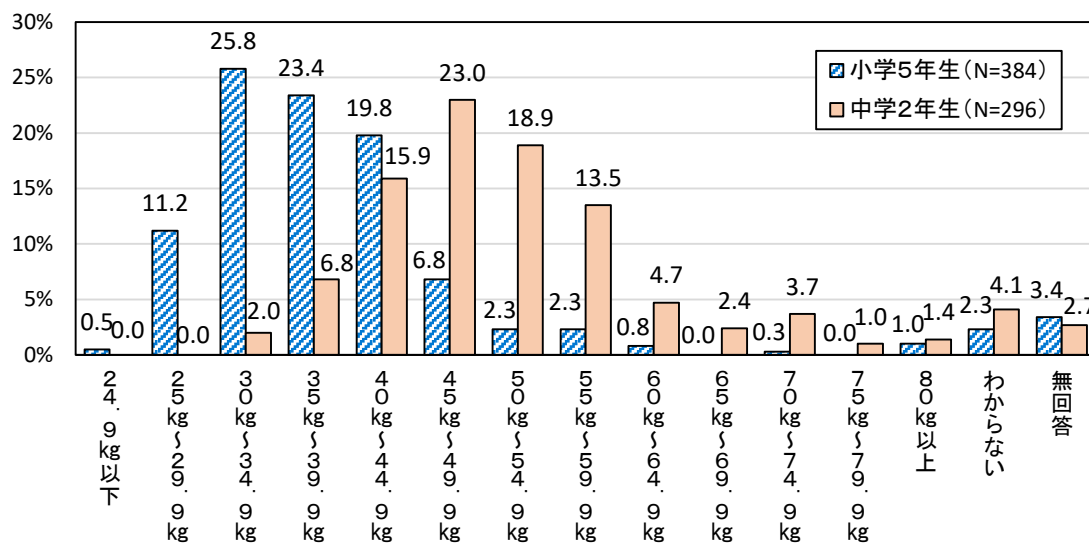
表2-43 体重

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	24.9kg以下	25.0kg～29.9kg	30.0kg～34.9kg	35.0kg～39.9kg	40.0kg～44.9kg	45.0kg～49.9kg	50.0kg～54.9kg	55.0kg～59.9kg	60.0kg～64.9kg	65.0kg～69.9kg	70.0kg～74.9kg	75.0kg～79.9kg	80.0kg以上	わからない	無回答
小学5年生	384	2	43	99	90	76	26	9	9	3	0	1	0	4	9	13
	100.0	0.5	11.2	25.8	23.4	19.8	6.8	2.3	2.3	0.8	0.0	0.3	0.0	1.0	2.3	3.4
中学2年生	296	0	0	6	20	47	68	56	40	14	7	11	3	4	12	8
	100.0	0.0	0.0	2.0	6.8	15.9	23.0	18.9	13.5	4.7	2.4	3.7	1.0	1.4	4.1	2.7

図2-42 体重



小学5年生男子では、「30kg～34.9kg」が29.1%と最も多く、以下「35kg～39.9kg」(22.3%)、「40kg～44.9kg」(14.9%)などとなっている。小学5年生女子では、「35kg～39.9kg」が27.3%と最も多く、次いで「40kg～44.9kg」(26.2%)、「30kg～34.9kg」(23.0%)などとなっている。

中学2年生男子では、「55kg～59.9kg」が21.0%と最も多く、次いで「45kg～49.9kg」(19.4%)、「50kg～54.9kg」(18.5%)などとなっている。中学2年生女子では、「45kg～49.9kg」が27.3%と最も多く、以下「50kg～54.9kg」(19.9%)、「40kg～44.9kg」(17.4%)などとなっている。

身長同様に小学5年生では男子より女子の方が体重が重い、中学2年生では女子より男子の方が体重が重くなっている。

表2-44 体重【小学5年生男女別・中学2年生男女別】

(上段：実数)

(下段：割合)

		調査数	以下49kg	22.9kg	33.9kg	33.9kg	44.9kg	44.9kg	55.9kg	55.9kg	66.9kg	66.9kg	77.9kg	77.9kg	80kg以上	わからない	無回答
男子	小学5年生	175 100.0	1 0.6	21 12.0	51 29.1	39 22.3	26 14.9	11 6.3	8 4.6	6 3.4	3 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 1.7	5 2.9	1 0.6
	中学2年生	124 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.8	5 4.0	18 14.5	24 19.4	23 18.5	26 21.0	6 4.8	3 2.4	7 5.6	2 1.6	4 3.2	5 4.0	0 0.0
女子	小学5年生	187 100.0	1 0.5	19 10.2	43 23.0	51 27.3	49 26.2	14 7.5	1 0.5	3 1.6	0 0.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	1 0.5	3 1.6	1 0.5
	中学2年生	161 100.0	0 0.0	0 0.0	5 3.1	15 9.3	28 17.4	44 27.3	32 19.9	13 8.1	8 5.0	4 2.5	4 2.5	0 0.0	0 0.0	7 4.3	1 0.6

3 小学5年生・中学2年生保護者アンケート結果

(1) 回答者属性

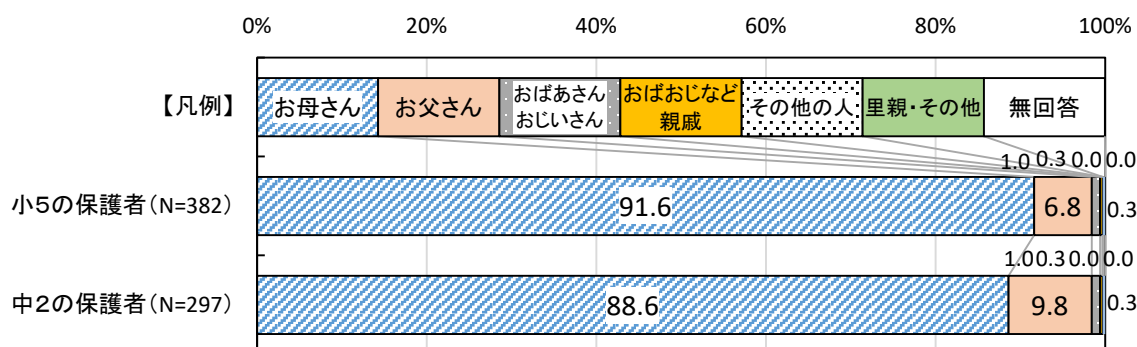
① 調査票記入者

調査票記入者をみると、「小学5年生の保護者」（以下、小5の保護者）、「中学2年生の保護者」（以下、中2の保護者）ともに「お母さん」が最も多く約90%を占めている。

表3-1 調査票記入者

	調査数	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	親戚、おば、おじなど	その他の人	里親・その他	無回答
小学5年生の保護者	382	350	26	4	1	0	0	1
	100.0	91.6	6.8	1.0	0.3	0.0	0.0	0.3
中学2年生の保護者	297	263	29	3	1	0	0	1
	100.0	88.6	9.8	1.0	0.3	0.0	0.0	0.3

図3-1 調査票記入者



② 世帯人数

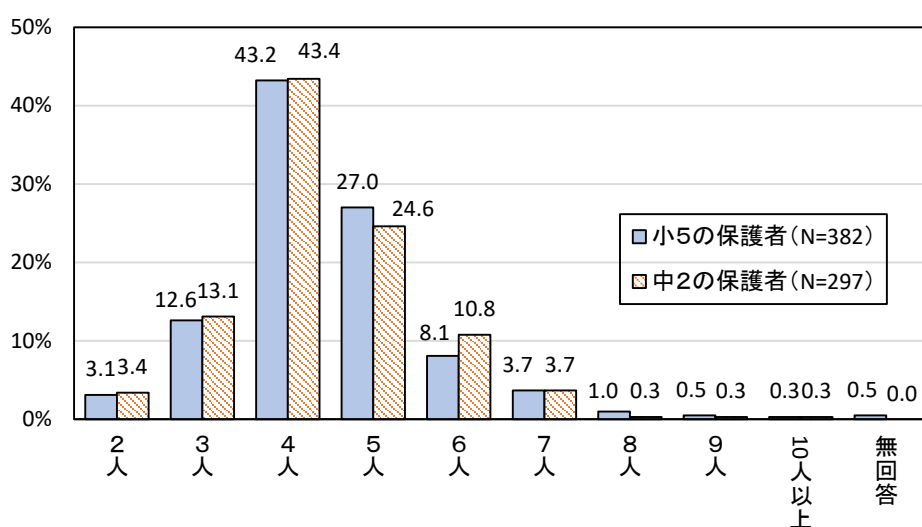
世帯人数をみると、小5の保護者、中2の保護者ともに「4人」が40%以上と最も多く、以下「5人」、「3人」となっており、比べてみても大きな違いはみられない。

表3-2 世帯人数

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答
小学5年生の保護者	382	12	48	165	103	31	14	4	2	1	2
	100.0	3.1	12.6	43.2	27.0	8.1	3.7	1.0	0.5	0.3	0.5
中学2年生の保護者	297	10	39	129	73	32	11	1	1	1	0
	100.0	3.4	13.1	43.4	24.6	10.8	3.7	0.3	0.3	0.3	0.0

図3-2 世帯人数



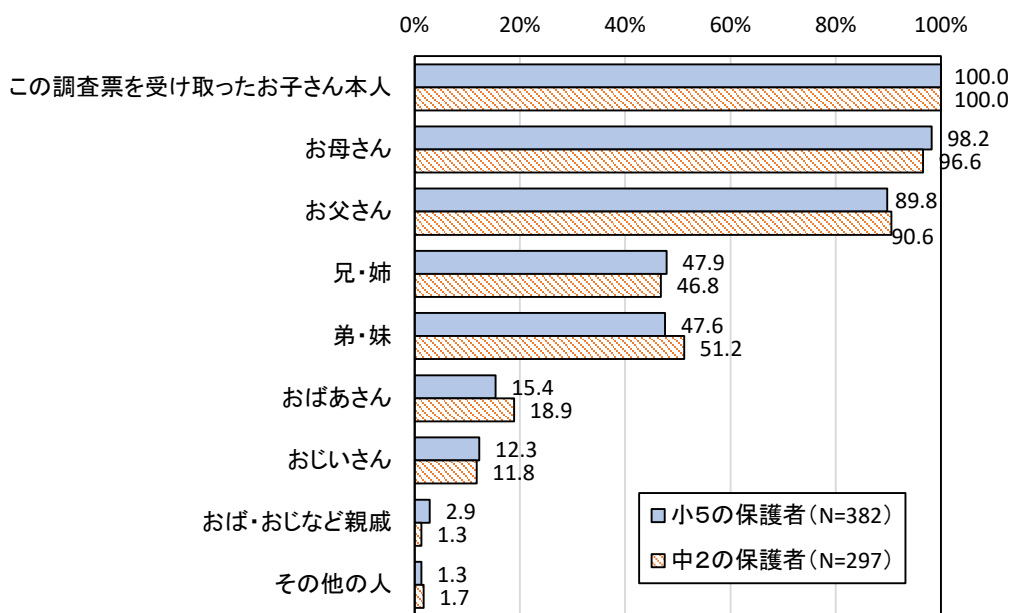
③ 世帯構成

世帯構成をみると、小5の保護者、中2の保護者ともに「お母さん」が95%以上と最も多く、「お父さん」が約90%、以下「兄・姉」、「弟・妹」などとなっており、比べてみても大きな違いはみられない。

表 3－3 世帯構成

	調査数	取った調査票をお子さん本人受け人	お母さん	お父さん	兄・姉	弟・妹	おばさん	おじさん	おば・おじなど親戚	その他の人
小学5年生の保護者	382	382	375	343	183	182	59	47	11	5
	100.0	100.0	98.2	89.8	47.9	47.6	15.4	12.3	2.9	1.3
中学2年生の保護者	297	297	287	269	139	152	56	35	4	5
	100.0	100.0	96.6	90.6	46.8	51.2	18.9	11.8	1.3	1.7

図 3－3 世帯構成



世帯人数別に家族構成をみると、小5の保護者、中2の保護者ともに世帯人数が5人以下では、子どもと親のみの核家族が多いが、6人や7人の世帯では祖父母の割合が高くなっており、三世帯同居が多くなっている。

表3-4 世帯構成×世帯人数【小5の保護者】

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	取この調査票を 受けたお 子さん を 受け 本 人	お母さん	お父さん	兄・姉	弟・妹	おばあさん	おじいさん	おば・おじなど 親戚	その他の人
全体	382 100.0	382 100.0	375 98.2	343 89.8	183 47.9	182 47.6	59 15.4	47 12.3	11 2.9	5 1.3
2人	12 100.0	12 100.0	11 91.7	7 58.3	5 41.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3
3人	48 100.0	48 100.0	45 93.8	36 75.0	10 20.8	6 12.5	3 6.3	1 2.1	0 0.0	0 0.0
4人	165 100.0	165 100.0	163 98.8	152 92.1	72 43.6	82 49.7	14 8.5	11 6.7	0 0.0	0 0.0
5人	103 100.0	103 100.0	102 99.0	101 98.1	63 61.2	56 54.4	14 13.6	11 10.7	2 1.9	1 1.0
6人	31 100.0	31 100.0	31 100.0	27 87.1	19 61.3	21 67.7	14 45.2	10 32.3	2 6.5	1 3.2
7人	14 100.0	14 100.0	14 100.0	13 92.9	9 64.3	9 64.3	7 50.0	8 57.1	3 21.4	2 14.3
8人	4 100.0	4 100.0	4 100.0	4 100.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0
9人	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
10人以上	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0
無回答	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0

表3-5 世帯構成×世帯人数【中2の保護者】

(上段：実数)
(下段：割合)

	全体	取この調査票を 受けたお 子さん を 受け 本 人	お母さん	お父さん	兄・姉	弟・妹	おばあさん	おじいさん	おば・おじなど 親戚	その他の人
全体	297 100.0	297 100.0	287 96.6	269 90.6	139 46.8	152 51.2	56 18.9	35 11.8	4 1.3	5 1.7
2人	10 100.0	10 100.0	10 100.0	4 40.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
3人	39 100.0	39 100.0	38 97.4	33 84.6	4 10.3	5 12.8	2 5.1	1 2.6	0 0.0	0 0.0
4人	129 100.0	129 100.0	122 94.6	120 93.0	52 40.3	66 51.2	15 11.6	5 3.9	0 0.0	0 0.0
5人	73 100.0	73 100.0	72 98.6	69 94.5	50 68.5	49 67.1	14 19.2	8 11.0	0 0.0	1 1.4
6人	32 100.0	32 100.0	32 100.0	30 93.8	21 65.6	21 65.6	14 43.8	12 37.5	1 3.1	0 0.0
7人	11 100.0	11 100.0	11 100.0	11 100.0	10 90.9	7 63.6	9 81.8	7 63.6	1 9.1	2 18.2
8人	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
9人	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0
10人以上	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0

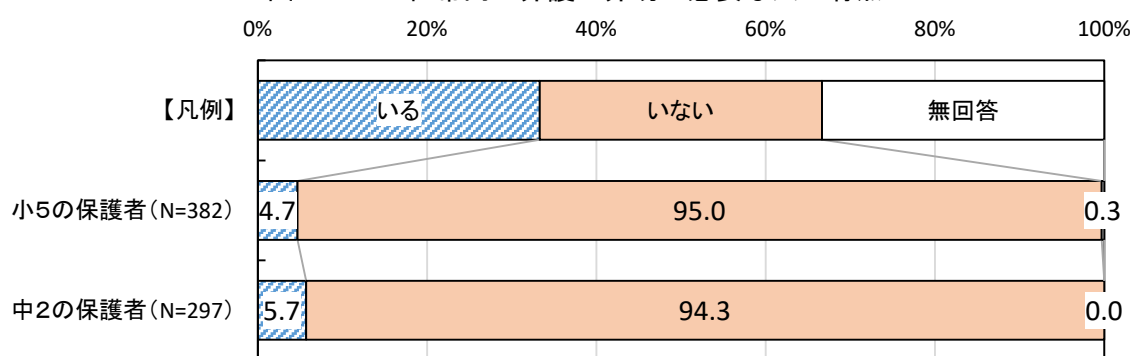
④ 世帯内の介護・介助が必要な人の有無

世帯内の介護・介助が必要な人の有無をみると、小5の保護者、中2の保護者ともに「いない」が90%以上を占めている。

表3-6 世帯内の介護・介助が必要な人の有無

	(上段：実数) (下段：割合)			
	調査数	いる	いない	無回答
小学5年生の保護者	382	18	363	1
	100.0	4.7	95.0	0.3
中学2年生の保護者	297	17	280	0
	100.0	5.7	94.3	0.0

図3-4 世帯内の介護・介助が必要な人の有無



⑤ 小学校入学前の子どもの人数

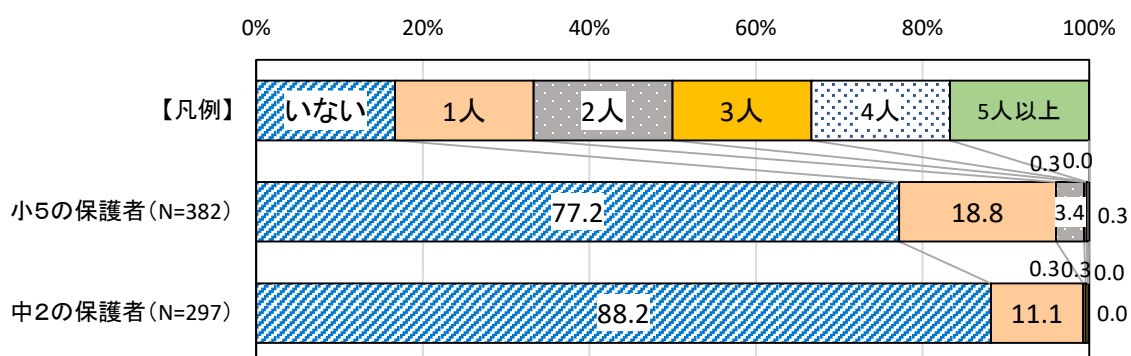
小学校入学前の子どもの人数を尋ねたところ、小5の保護者、中2の保護者ともに「いない」が70%以上と最も多く、以下「1人」などとなっている。

小5の保護者では中2の保護者と比べて「1人」がやや多く、逆に中2の保護者では「いない」が約11ポイント多くなっている。

表3-7 小学校入学前の子どもの人数

	(上段：実数) (下段：割合)					
	いない	1人	2人	3人	4人	5人以上
小学5年生の保護者	295	72	13	1	0	1
	77.2	18.8	3.4	0.3	0.0	0.3
中学2年生の保護者	262	33	1	1	0	0
	88.2	11.1	0.3	0.3	0.0	0.0

図3-5 小学校入学前の子どもの人数



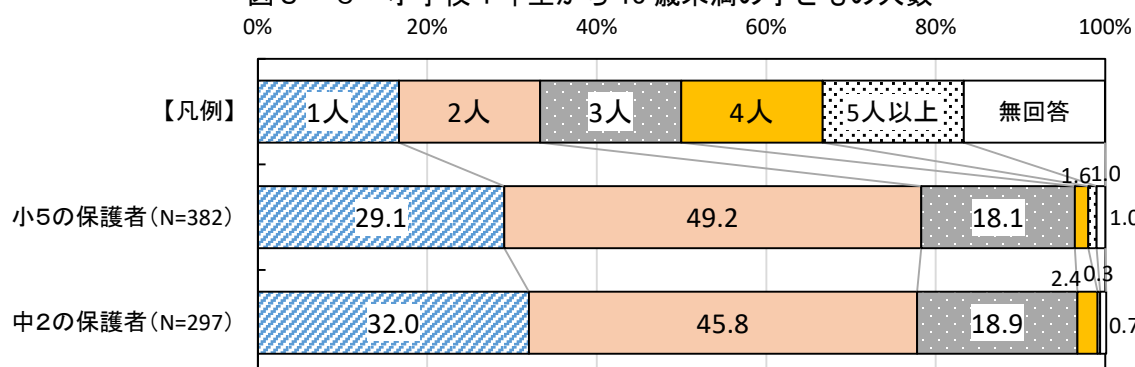
⑥ 小学校1年生から18歳未満の子どもの人数

小学校1年生から18歳未満の子どもの人数を尋ねたところ、「2人」が小5の保護者で49.2%、中2の保護者で45.8%と最も多くなっている。以下「1人」、「3人」などとなっており、比べてみても大きな違いはみられない。

表3-8 小学校1年生から18歳未満の子どもの人数

	調査数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
小学5年生の保護者	382	111	188	69	6	4	4
	100.0	29.1	49.2	18.1	1.6	1.0	1.0
中学2年生の保護者	297	95	136	56	7	1	2
	100.0	32.0	45.8	18.9	2.4	0.3	0.7

図3-6 小学校1年生から18歳未満の子どもの人数



⑦ 18歳以上の子どもの人数

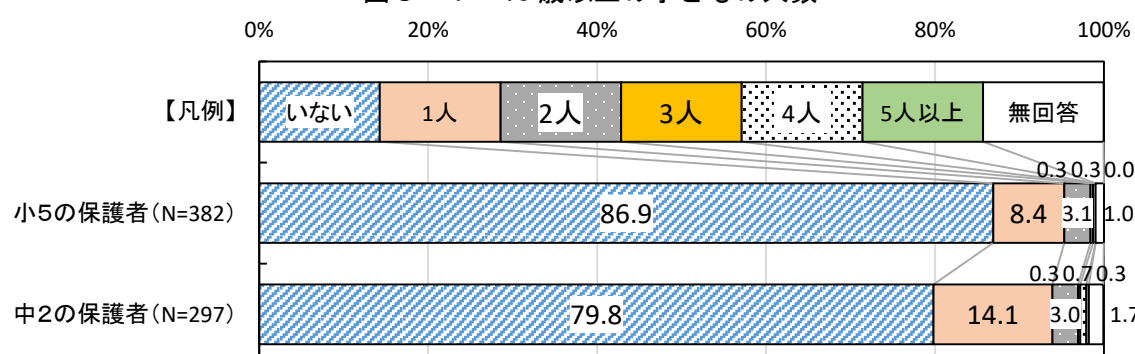
18歳以上の子どもの人数を尋ねたところ、「いない」が小5の保護者で86.9%、中2の保護者で79.8%と最も多くなっており、以下「1人」、「2人」などとなっている。

小5の保護者では中2の保護者と比べて「いない」がやや多く、中2保護者では「1人」がやや多くなっている。

表3-9 18歳以上の子どもの人数

	調査数	いない	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
小学5年生の保護者	382	332	32	12	1	1	0	4
	100.0	86.9	8.4	3.1	0.3	0.3	0.0	1.0
中学2年生の保護者	297	237	42	9	1	2	1	5
	100.0	79.8	14.1	3.0	0.3	0.7	0.3	1.7

図3-7 18歳以上の子どもの人数



世帯内にいる子どもの類型をみると、小5の保護者、中2の保護者ともに小学1年～18歳未満の子どもは本人以外にいて、他の子どもはいない世帯（類型No.8）が50.5%で最も多くなっている。以下小学1年～18歳未満の子どもは本人のみの世帯（類型No.6）で小5の保護者で16.8%、中2の保護者で18.9%などとなっている。

表3-10 学齢区分による世帯内にいる子どもの類型【小5の保護者】(N=382)

類型No.	小学校入学前の 子どもがいる	小学1年～18歳未 満の子どもがもう 1人以上いる	18歳以上の子ども がいる	回答数	構成比
1	いる	いない	いる	5	1.3%
2	いる	いない	いない	27	7.1%
3	いる	いる	いる	5	1.3%
4	いる	いる	いない	47	12.3%
5	いない	いない	いる	14	3.7%
6	いない	いない	いない	64	16.8%
7	いない	いる	いる	20	5.2%
8	いない	いる	いない	193	50.5%
9	いずれかが無回答			7	1.8%
			計	382	100%

表3-11 学齢区分による世帯内にいる子どもの類型【中2の保護者】(N=297)

類型No.	小学校入学前の 子どもがいる	小学1年～18歳未 満の子どもがもう 1人以上いる	18歳以上の子ども がいる	回答数	構成比
1	いる	いない	いる	0	0.0%
2	いる	いない	いない	4	1.3%
3	いる	いる	いる	2	0.7%
4	いる	いる	いない	26	8.8%
5	いない	いない	いる	34	11.4%
6	いない	いない	いない	56	18.9%
7	いない	いる	いる	18	6.1%
8	いない	いる	いない	150	50.5%
9	いずれかが無回答			7	2.4%
			計	297	100%

⑧ 居住地区

居住地区をみると、小5の保護者、中2の保護者ともに「東金地区」が約40%と最も多くなっている。

小5の保護者では、「正気地区」が中2の保護者に比べて約12ポイント多くなっている。

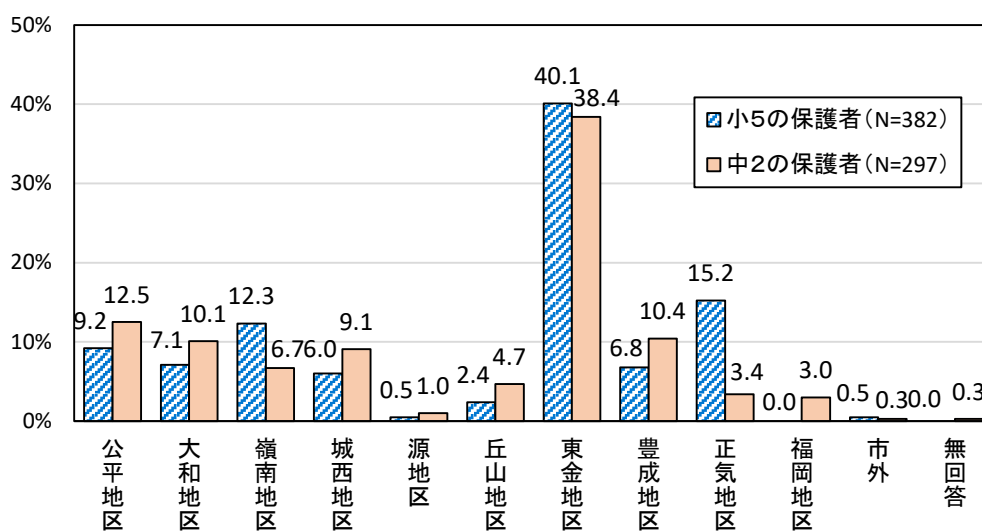
表3-12 居住地区

	調査数	公平地区	大和地区	嶺南地区	城西地区	源地区	丘山地区	東金地区	豊成地区	正気地区	福岡地区	市外	無回答
小学5年生の保護者	382	35	27	47	23	2	9	153	26	58	0	2	0
	100.0	9.2	7.1	12.3	6.0	0.5	2.4	40.1	6.8	15.2	0.0	0.5	0.0
中学2年生の保護者	297	37	30	20	27	3	14	114	31	10	9	1	1
	100.0	12.5	10.1	6.7	9.1	1.0	4.7	38.4	10.4	3.4	3.0	0.3	0.3

(上段：実数)

(下段：割合)

図3-8 居住地区



⑨ 居住形態

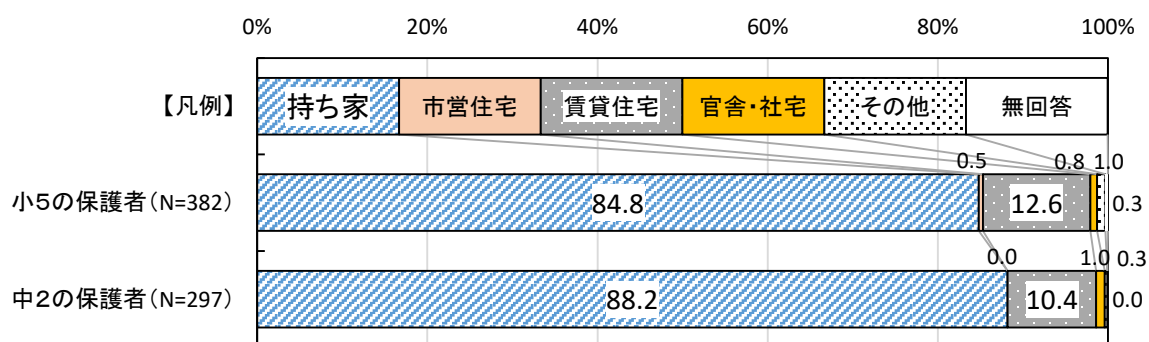
居住形態をみると、小5の保護者、中2の保護者ともに「持ち家」が80%以上となっている。

表3-13 居住形態

	調査数	親・きょうだいの 持ち家（あなたの 名義を含む）	市営の住宅	民間の賃貸住宅	官舎・社宅	その他	無回答
小学5年生の保護者	382	324	2	48	3	4	1
	100.0	84.8	0.5	12.6	0.8	1.0	0.3
中学2年生の保護者	297	262	0	31	3	1	0
	100.0	88.2	0.0	10.4	1.0	0.3	0.0

（上段：実数）
（下段：割合）

図3-9 居住形態



⑩ 居住年数

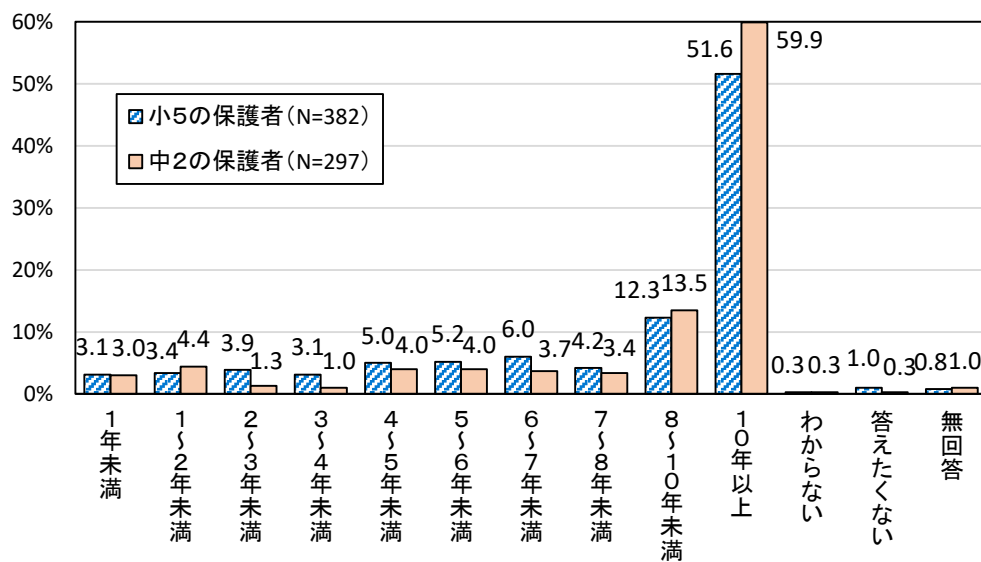
居住年数をみると、「10年以上」が小5の保護者で51.6%、中2の保護者で59.9%と最も多く、以下「8～10年未満」などとなっており、比べてみても大きな違いはみられない。

表3-14 居住年数

	調査数	(上段：実数) (下段：割合)						
		1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	
小学5年生の保護者	382 100.0	12 3.1	13 3.4	15 3.9	12 3.1	19 5.0	20 5.2	
中学2年生の保護者	297 100.0	9 3.0	13 4.4	4 1.3	3 1.0	12 4.0	12 4.0	

		6～7年未満	7～8年未満	8～10年未満	10年以上	わからない	答えたくない	無回答
小学5年生の保護者	23 6.0	16 4.2	47 12.3	197 51.6	1 0.3	4 1.0	3 0.8	
中学2年生の保護者	11 3.7	10 3.4	40 13.5	178 59.9	1 0.3	1 0.3	3 1.0	

図3-10 居住年数



(2) 保護者の状況

① 父親の就業状況

問5 お子さんの保護者の方の、現在の就業状況についておたずねします。
※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

問5-1 (1) 問3②で世帯員に「3. お父さん」と答えた方に伺います。
お父さんはお仕事をされていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

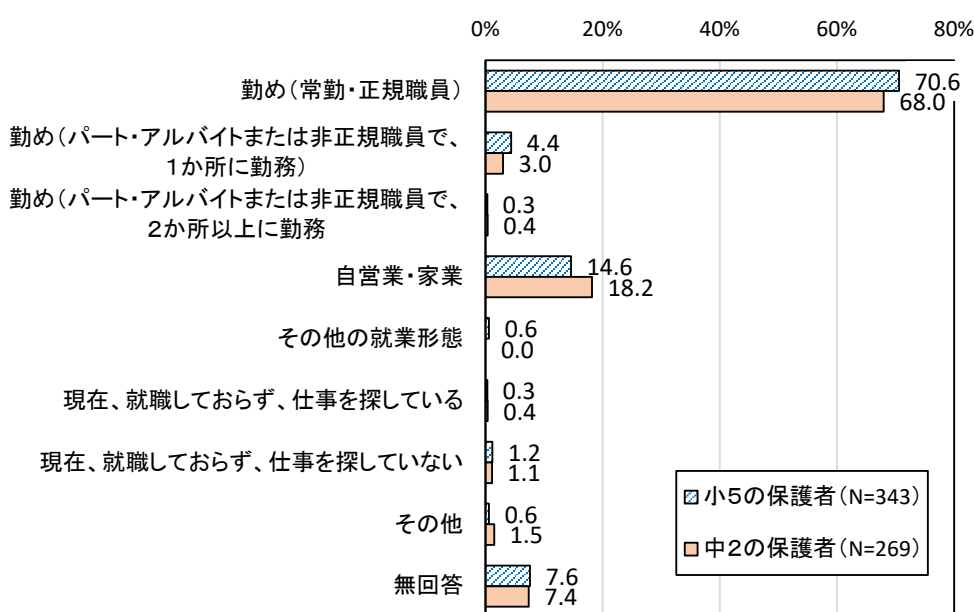
世帯に父親がいると回答した人(小5の保護者 343人、中2の保護者 269人)に、父親の就業状況を尋ねたところ、小5の保護者では、「勤め(常勤・正規職員)」が70.6%と最も多く、以下「自営業・家業」(14.6%)などとなっており、父親の約80%は就業している。

中2の保護者では、「勤め(常勤・正規職員)」が68.0%と最も多く、以下「自営業・家業」(18.2%)などとなっており、小5の保護者・中2の保護者ともに父親の約90%が就業している。

表3-15 就業状況【父親】

	調査数	勤め (常勤・正規職員)	1か所または 非正規職員で、 1か所に勤務	2か所または 非正規職員で、 2か所以上に勤務	自営業・家業	その他の就業形態	現在、就職しておらず、 仕事を探している	現在、就職しておらず、 仕事を探していない	その他	無回答
小学5年生の保護者	343	242	15	1	50	2	1	4	2	26
	100.0	70.6	4.4	0.3	14.6	0.6	0.3	1.2	0.6	7.6
中学2年生の保護者	269	183	8	1	49	0	1	3	4	20
	100.0	68.0	3.0	0.4	18.2	0.0	0.4	1.1	1.5	7.4

図3-11 就業状況【父親】



② 父親が無職で求職していない理由

問5-1(2) 問5-1(1)で「7. 現在、就職しておらず、仕事を探していない」と答えた方に伺います。その理由について教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

父親が無職で求職していない理由は、小5の保護者で4件、中2の保護者で3件と少ないため、参考程度にとどめる。

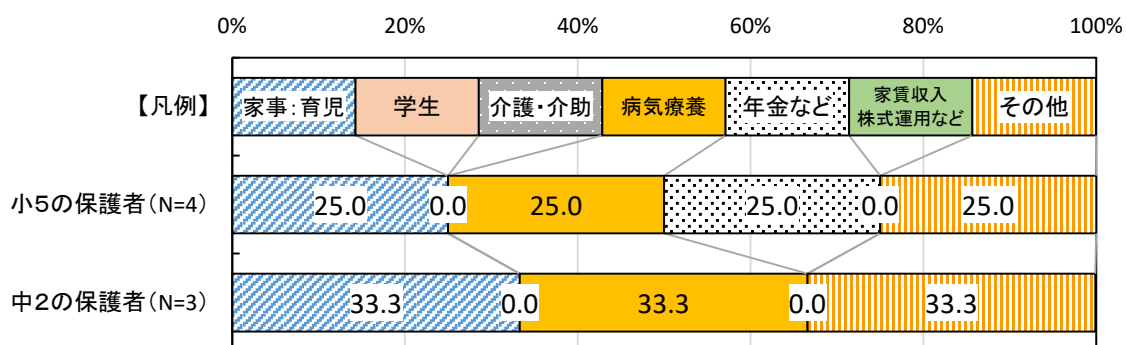
表3-16 父親が無職で求職していない理由

	調査数	家事や育児に専念	学生	介護や おうちの人の 介助	病気療養	年金など	株家賃 運用収入、 など	その他
小学5年生の保護者	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
中学2年生の保護者	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3

(上段：実数)

(下段：割合)

図3-12 父親が無職で求職していない理由



③ 母親の就業状況

問5－2（1）問3②で世帯員に「2.お母さん」と答えた方に伺います。
 お母さんはお仕事をされていますか。
 （あてはまる番号1つに○をつけてください）

世帯に母親がいると回答した人（小5の保護者 375 人、中2の保護者 287 人）に母親の就業状況を尋ねたところ、小5の保護者では、「勤め（パート・アルバイトまたは非正規職員で、1か所に勤務）」が41.6%と最も多く、以下「勤め（常勤・正規職員）」（29.3%）などとなっており、母親の約80%が就業している。

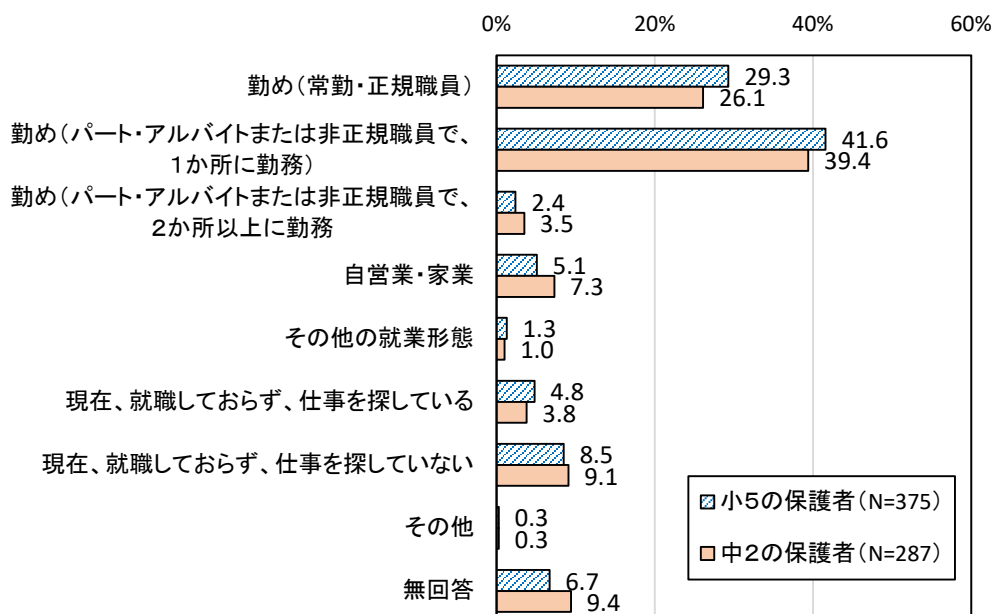
中2の保護者では、「勤め（パート・アルバイトまたは非正規職員で、1か所に勤務）」が39.4%と最も多く、以下「勤め（常勤・正規職員）」（26.1%）などとなっており、母親の80%近くが就業している。

一方、「現在、就職しておらず、仕事を探していない」と「現在、就職しておらず、仕事を探している」を合わせた『現在、就職していない』人は小5の保護者では13.3%、中2の保護者では12.9%となっている。

表3－17 就業状況【母親】

	調査数	勤め（常勤・正規職員）	1か所またはパート・アルバイトで、1か所に勤務	2か所またはパート・アルバイトで、2か所に勤務	自営業・家業	その他の就業形態	現在、就職しておらず、仕事を探している	現在、就職しておらず、仕事を探していない	その他	無回答
小学5年生の保護者	375	110	156	9	19	5	18	32	1	25
	100.0	29.3	41.6	2.4	5.1	1.3	4.8	8.5	0.3	6.7
中学2年生の保護者	287	75	113	10	21	3	11	26	1	27
	100.0	26.1	39.4	3.5	7.3	1.0	3.8	9.1	0.3	9.4

図3－13 就業状況【母親】



④ 母親が無職で求職していない理由

問5-2(2) 問5-2(1)で「7. 現在、就職しておらず、仕事を探していない」と答えた方に伺います。その理由について教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

現在、就職しておらず、求職していない母親 58 人（小5の保護者 32 人、中2の保護者 26 人）に求職していない理由を尋ねたところ、小5の保護者では、「家事や育児に専念」が 81.3%と最も多く、以下「うちの人の介護や介助」、「病氣療養」（ともに 6.3%）などとなっている。

中2の保護者では、「家事や育児に専念」が 73.1%と最も多く、以下「病氣療養」(23.1%)、「うちの人の介護や介助」(3.8%) などとなっている。

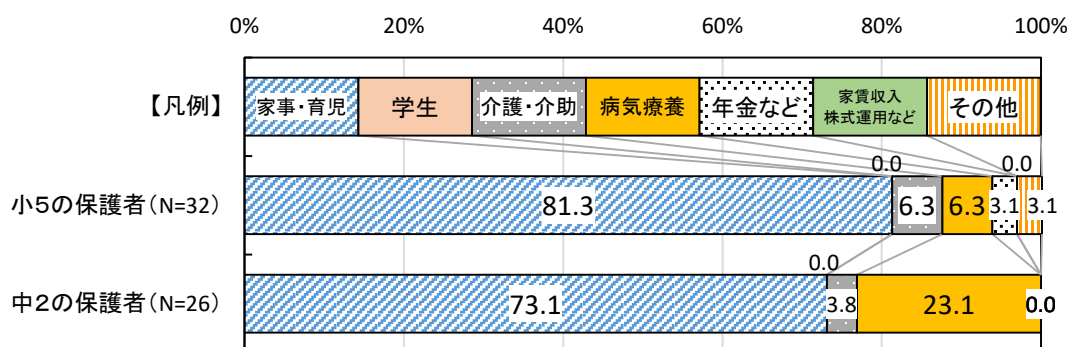
「家事や育児に専念」では小5の保護者が中2の保護者に比べて約 8 ポイント多く、「病氣療養」では中2の保護者が小5の保護者の 4 倍近くとなっている。

表 3-18 母親が無職で求職していない理由

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	家事や育児に専念	学生	介護や介助 うちの人の	病氣療養	年金など	株家賃 運用収入 など	その他
小学5年生の保護者	32	26	0	2	2	1	0	1
	100.0	81.3	0.0	6.3	6.3	3.1	0.0	3.1
中学2年生の保護者	26	19	0	1	6	0	0	0
	100.0	73.1	0.0	3.8	23.1	0.0	0.0	0.0

図 3-14 母親が無職で求職していない理由



⑤ 両親の最終学歴

問6 お子さんのお母さんとお父さんの最後に通った学校を教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

母親の最終学歴を尋ねたところ、小5の保護者では、「高専、短大、専門学校等卒業」が41.1%と最も多く、以下「高等学校卒業」(36.5%)、「大学卒業」(10.4%) などとなっている。

中2の保護者では、「高等学校卒業」が45.3%と最も多く、以下「高専、短大、専門学校等卒業」(36.6%)、「大学卒業」(8.4%) などとなっている。

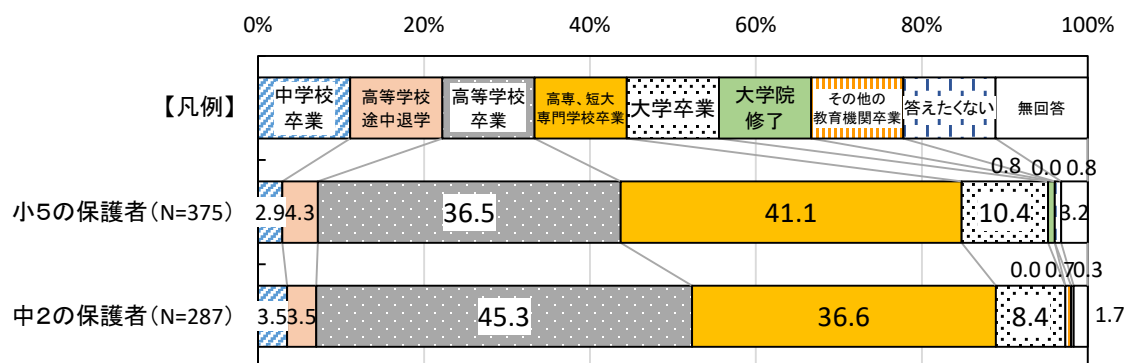
最終学歴が「高専、短大、専門学校等卒業」以上の割合は、小5の保護者が中2の保護者に比べてやや多くなっている。

表3-19 母親の最終学歴

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	中学校卒業	高等学校途中退学	高等学校卒業	高専、短大、専門学校等卒業	大学卒業	大学院修了	卒業その他の教育機関	答えたくない	無回答
小学5年生の保護者	375	11	16	137	154	39	3	0	3	12
	100.0	2.9	4.3	36.5	41.1	10.4	0.8	0.0	0.8	3.2
中学2年生の保護者	287	10	10	130	105	24	0	2	1	5
	100.0	3.5	3.5	45.3	36.6	8.4	0.0	0.7	0.3	1.7

図3-15 母親の最終学歴



父親の最終学歴を尋ねたところ、小5の保護者では、「高等学校卒業」が35.3%と最も多く、以下「大学卒業」(28.9%)、「高専、短大、専門学校等卒業」(18.7%) などとなっている。

中2の保護者では、「高等学校卒業」が39.4%と最も多く、以下「大学卒業」(25.3%)、「高専、短大、専門学校等卒業」(14.1%) などとなっている。

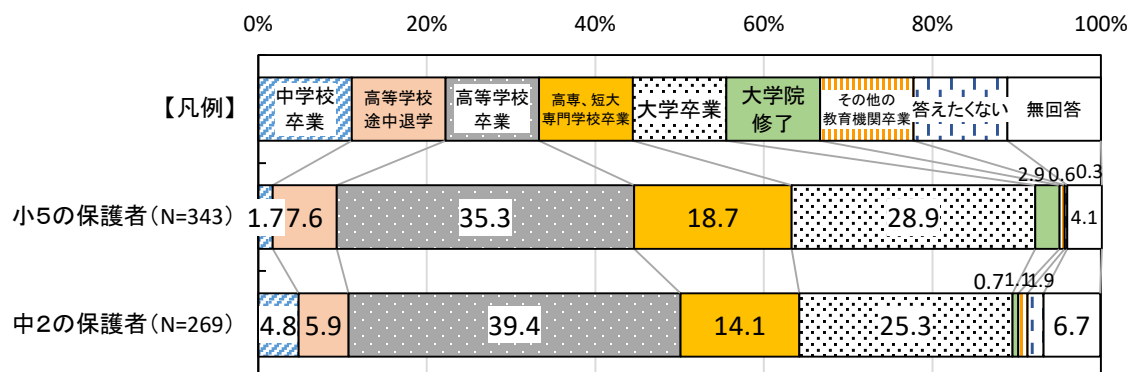
最終学歴が「高専、短大、専門学校等卒業」以上の割合は、小5の保護者が中2の保護者に比べて10ポイント近く多くなっている。

表3-20 父親の最終学歴

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	中学校卒業	高等学校途中退学	高等学校卒業	高専、短大、専門学校等卒業	大学卒業	大学院修了	卒業その他の教育機関	答えたくない	無回答
小学5年生の保護者	343	6	26	121	64	99	10	2	1	14
	100.0	1.7	7.6	35.3	18.7	28.9	2.9	0.6	0.3	4.1
中学2年生の保護者	269	13	16	106	38	68	2	3	5	18
	100.0	4.8	5.9	39.4	14.1	25.3	0.7	1.1	1.9	6.7

図3-16 父親の最終学歴



⑥ 保護者が家にいることが多い時間帯

問7 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、最も多い時間帯を選んでください。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)
 ※保護者の方には、おばあさん・おじいさん、おば・おじなどの親戚を含みます。
 ※自宅が仕事の場合は、お仕事が終わる時間帯を選んでください。

保護者が家にいることが多い時間帯を尋ねたところ、小5の保護者では、「お子さんの学校や塾・習い事からの帰宅時間には家にいる」が59.9%と最も多く、以下「お子さんの夕食時間には家にいる」(30.9%) などとなっている。

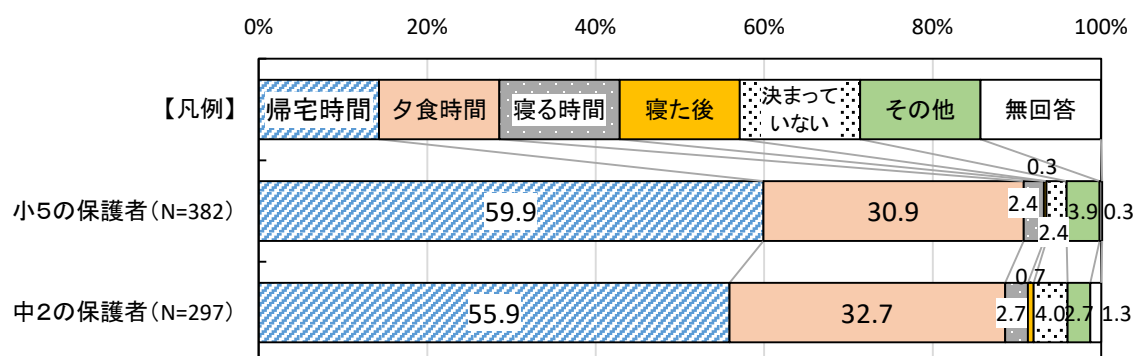
中2の保護者では、「お子さんの学校や塾・習い事からの帰宅時間には家にいる」が55.9%と最も多く、以下「お子さんの夕食時間には家にいる」(32.7%) などとなっている。

小5の保護者と中2の保護者に大きな違いはみられない。

表3-21 保護者が家にいることが多い時間帯

	調査数	に習お はい子 家事に 家さん にの らの 学 校 や 塾 ・	はお 家子 にさん の 夕 食 時 間 に	はお 家子 にさん の 寝 る 時 間 に	帰お つ子 てさん くが る寝 た 後 に	が保 決護 ま者 つの て方 いの な帰 宅宅 時時 間間	その他	無回答
小学5年生の保護者	382	229	118	9	1	9	15	1
	100.0	59.9	30.9	2.4	0.3	2.4	3.9	0.3
中学2年生の保護者	297	166	97	8	2	12	8	4
	100.0	55.9	32.7	2.7	0.7	4.0	2.7	1.3

図3-17 保護者が家にいることが多い時間帯



⑦ 学校が終わってから、主に子どもと過ごす時間が長い人

問8 学校が終わってから、主にお子さんと過ごす時間が長いのはどなたですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

学校が終わってから、主に子どもと過ごす時間が長い人を尋ねたところ、小5の保護者では、「お母さん」が80.6%と最も多く、以下「弟・妹」(29.8%)、「兄・姉」(22.5%)、「おばあさん」(19.4%) などとなっている。

一方、「お子さんがひとりである」は1.8%となっている。

中2の保護者では、「お母さん」が77.1%と最も多く、以下「弟・妹」(33.3%)、「兄・姉」(23.9%)、「お父さん」(17.5%) などとなっている。

一方、「お子さんがひとりである」は2.4%となっている。

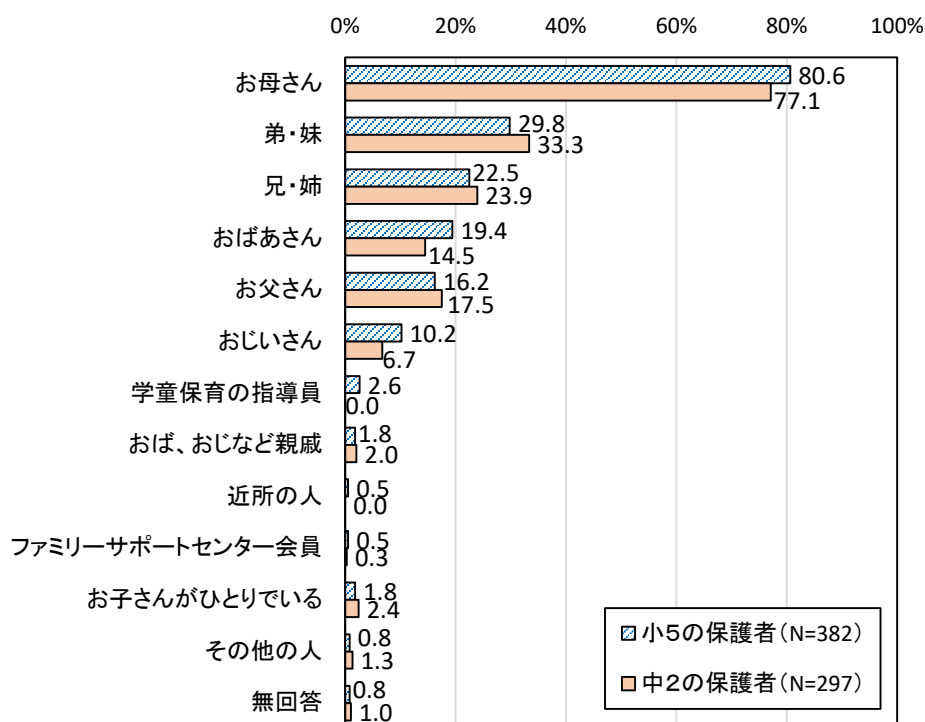
小5の保護者と中2の保護者に大きな違いはみられない。

表3-22 学校が終わってから、主に子どもと過ごす時間が長い人

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	兄・姉	弟・妹	おば、おじなど親戚	近所の人	学童保育の指導員	ファミリーサポート会員	お子さんがひとりである	その他の人	無回答
小学5年生の保護者	382	308	62	74	39	86	114	7	2	10	2	7	3	3
	100.0	80.6	16.2	19.4	10.2	22.5	29.8	1.8	0.5	2.6	0.5	1.8	0.8	0.8
中学2年生の保護者	297	229	52	43	20	71	99	6	0	0	1	7	4	3
	100.0	77.1	17.5	14.5	6.7	23.9	33.3	2.0	0.0	0.0	0.3	2.4	1.3	1.0

図3-18 学校が終わってから、主に子どもと過ごす時間が長い人



(3) 世帯の経済状況

① 世帯で収入のある人数

問9 あなたの世帯の収入状況についておたずねします。

(1) あなたの世帯で収入のある方の人数を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

世帯で収入のある人数を尋ねたところ、小5の保護者では、「2人」が66.5%と最も多く、以下「1人」(22.3%)、「3人」(8.4%) などとなっている。

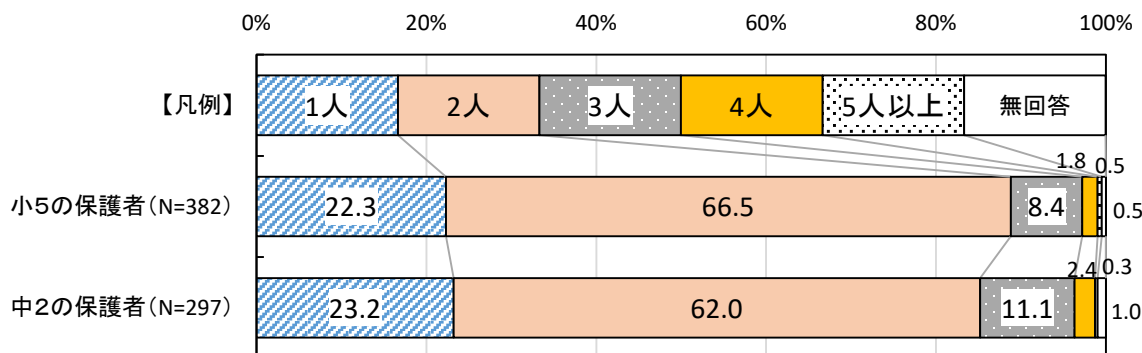
中2の保護者では、「2人」が62.0%と最も多く、以下「1人」(23.2%)、「3人」(11.1%) などとなっている。

小5の保護者と中2の保護者に大きな違いはみられない。

表3-23 世帯で収入のある人数

	調査数	(上段：実数) (下段：割合)					
		1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
小学5年生の保護者	382	85	254	32	7	2	2
	100.0	22.3	66.5	8.4	1.8	0.5	0.5
中学2年生の保護者	297	69	184	33	7	1	3
	100.0	23.2	62.0	11.1	2.4	0.3	1.0

図3-19 世帯で収入のある人数



② 主に生計を支えている人

(2) あなたの世帯で主に生計を支えている方はどなたですか。(お子さんからみた続柄で、あてはまる番号1つに○をつけてください)

主に生計を支えている人を尋ねたところ、小5の保護者、中2の保護者ともに「お父さん」が約80%を占めており、比べてみても大きな違いはみられない。

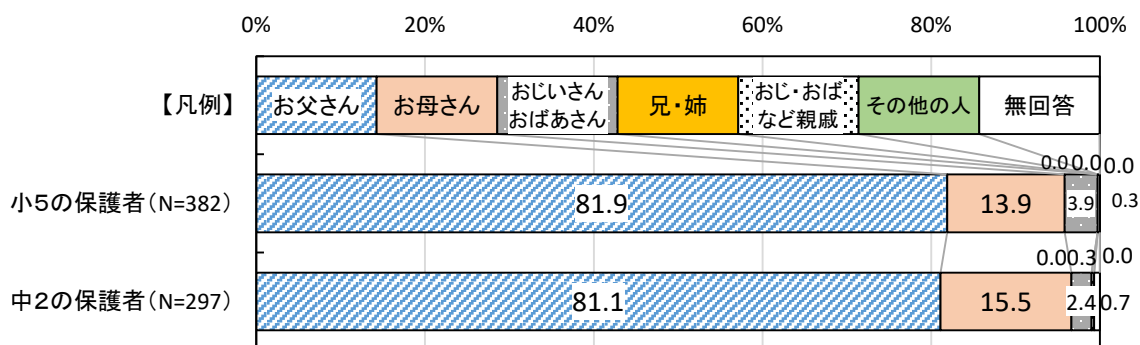
表3-24 主に生計を支えている人

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	お父さん	お母さん	おじ おば あいさん、	兄・姉	親戚・おばなど	その他の人	無回答
小学5年生の保護者	382	313	53	15	0	0	0	1
	100.0	81.9	13.9	3.9	0.0	0.0	0.0	0.3
中学2年生の保護者	297	241	46	7	0	1	0	2
	100.0	81.1	15.5	2.4	0.0	0.3	0.0	0.7

図3-20 主に生計を支えている人



③ 受けている手当や援助等

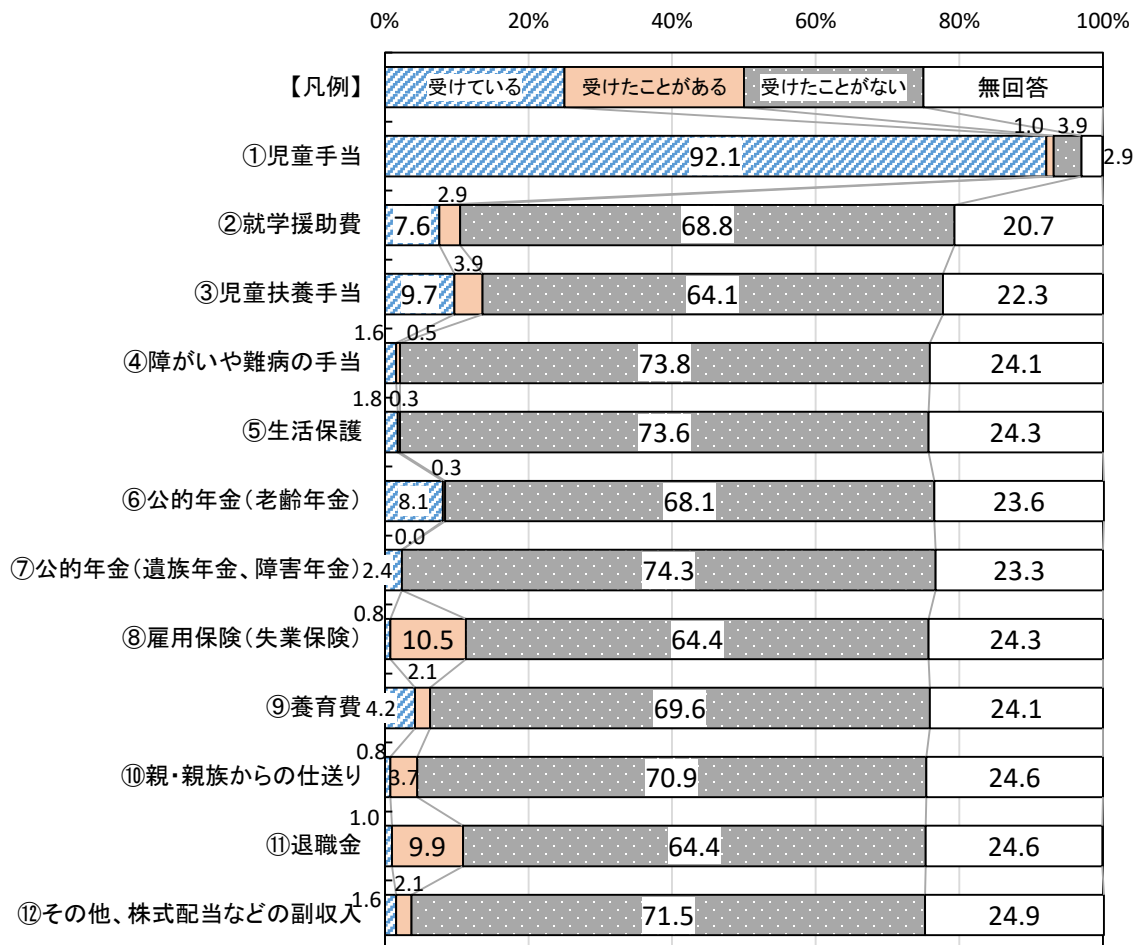
(3) あなたの世帯では以下の手当や援助等を受けていますか。
 (①～⑫の項目について、それぞれ1～3のあてはまる番号1つに○をつけてください)

受けている手当や援助等を尋ねたところ、小5の保護者では「①児童手当」を受けている人が92.1%を占めている。その他の手当や補助等では「受けたことがない」人が60%以上となっている。受けたことがある手当としては、「⑧雇用保険(失業保険)」が10.5%、「⑪退職金」が9.9%で、それ以外の項目は5.0%未満となっている。

表3-25 受けている手当や援助等【小5の保護者】

(上段：実数) (下段：割合)					
	調査数	受けている	受けたがある	受けたがない	無回答
①児童手当	382 100.0	352 92.1	4 1.0	15 3.9	11 2.9
②就学援助費	382 100.0	29 7.6	11 2.9	263 68.8	79 20.7
③児童扶養手当	382 100.0	37 9.7	15 3.9	245 64.1	85 22.3
④障がいや難病の手当	382 100.0	6 1.6	2 0.5	282 73.8	92 24.1
⑤生活保護	382 100.0	7 1.8	1 0.3	281 73.6	93 24.3
⑥公的年金(老齢年金)	382 100.0	31 8.1	1 0.3	260 68.1	90 23.6
⑦公的年金(遺族年金、障害年金)	382 100.0	9 2.4	0 0.0	284 74.3	89 23.3
⑧雇用保険(失業保険)	382 100.0	3 0.8	40 10.5	246 64.4	93 24.3
⑨養育費	382 100.0	16 4.2	8 2.1	266 69.6	92 24.1
⑩親・親族からの仕送り	382 100.0	3 0.8	14 3.7	271 70.9	94 24.6
⑪退職金	382 100.0	4 1.0	38 9.9	246 64.4	94 24.6
⑫その他、株式配当などの副収入	382 100.0	6 1.6	8 2.1	273 71.5	95 24.9

図3-21 受けている手当や援助等【小5の保護者】(N=382)



中２の保護者では、「①児童手当」を受けている人が 90.9%を占めている。その他の手当や補助等では「受けたことがない」人がほぼ 60%以上となっている。受けたことがある手当としては、「⑧雇用保険（失業保険）」が 11.8%、「⑪退職金」が 10.1%で、それ以外の項目は、いずれも 10%未満となっている。

小５の保護者と中２の保護者に大きな違いはみられない。

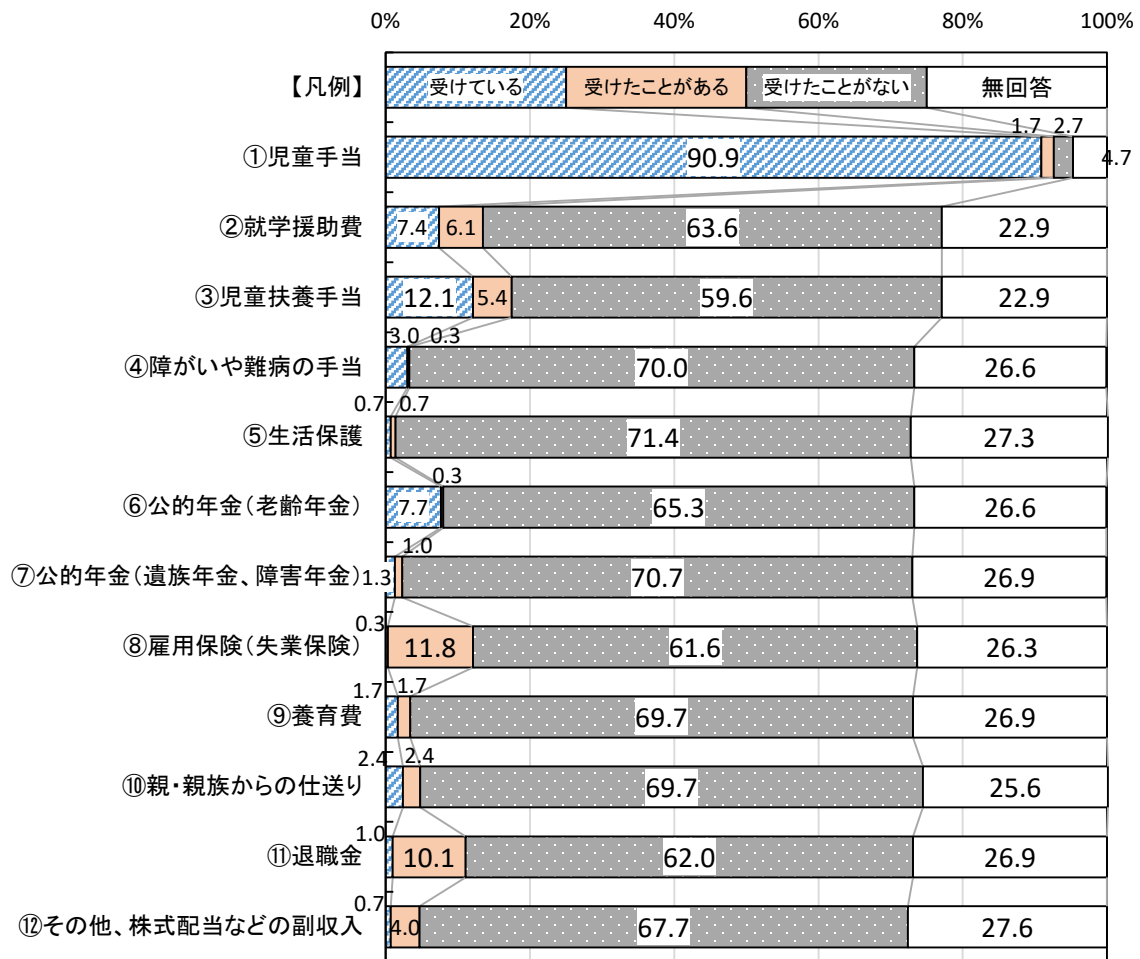
表３－26 受けている手当や援助等【中２の保護者】

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	受けている	受けたことがある	受けたことがない	無回答
①児童手当	297 100.0	270 90.9	5 1.7	8 2.7	14 4.7
②就学援助費	297 100.0	22 7.4	18 6.1	189 63.6	68 22.9
③児童扶養手当	297 100.0	36 12.1	16 5.4	177 59.6	68 22.9
④障がいや難病の手当	297 100.0	9 3.0	1 0.3	208 70.0	79 26.6
⑤生活保護	297 100.0	2 0.7	2 0.7	212 71.4	81 27.3
⑥公的年金（老齢年金）	297 100.0	23 7.7	1 0.3	194 65.3	79 26.6
⑦公的年金（遺族年金、障害年金）	297 100.0	4 1.3	3 1.0	210 70.7	80 26.9
⑧雇用保険（失業保険）	297 100.0	1 0.3	35 11.8	183 61.6	78 26.3
⑨養育費	297 100.0	5 1.7	5 1.7	207 69.7	80 26.9
⑩親・親族からの仕送り	297 100.0	7 2.4	7 2.4	207 69.7	76 25.6
⑪退職金	297 100.0	3 1.0	30 10.1	184 62.0	80 26.9
⑫その他、株式配当などの副収入	297 100.0	2 0.7	12 4.0	201 67.7	82 27.6

図3-22 受けている手当や援助等【中2の保護者】(N=297)



④ 2016 年 1 年間の世帯の収入合計額

(4) 2016 年 1 年間のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)
※収入には、働いて得た給料だけではなく、株式配当や副収入、公的な援助手当や養育費・仕送りも含めてお答えください。なお、収入の中から税金や社会保険料を差し引いた後の額でお答えください。

2016 年 1 年間の世帯の収入合計額を尋ねたところ、小5の保護者では、「400～450 万円未満」が 8.1%と最も多く、次いで「450～500 万円未満」(7.6%)、「500～550 万円未満」(6.5%)、「600～650 万円未満」(6.0%) などとなっており、『400～650 万円未満』が 33.2%となっている。

中2の保護者では、「550～600 万円未満」が 7.7%と最も多く、次いで「450～500 万円未満」(7.4%)、「300～350 万円未満」、「350～400 万円未満」、「650～700 万円未満」(いずれも 5.7%) などとなっており、『400～650 万円未満』が 27.9%となっている。

表 3-27 2016 年 1 年間の世帯の収入合計額

表 3-27 2016 年 1 年間の世帯の収入合計額

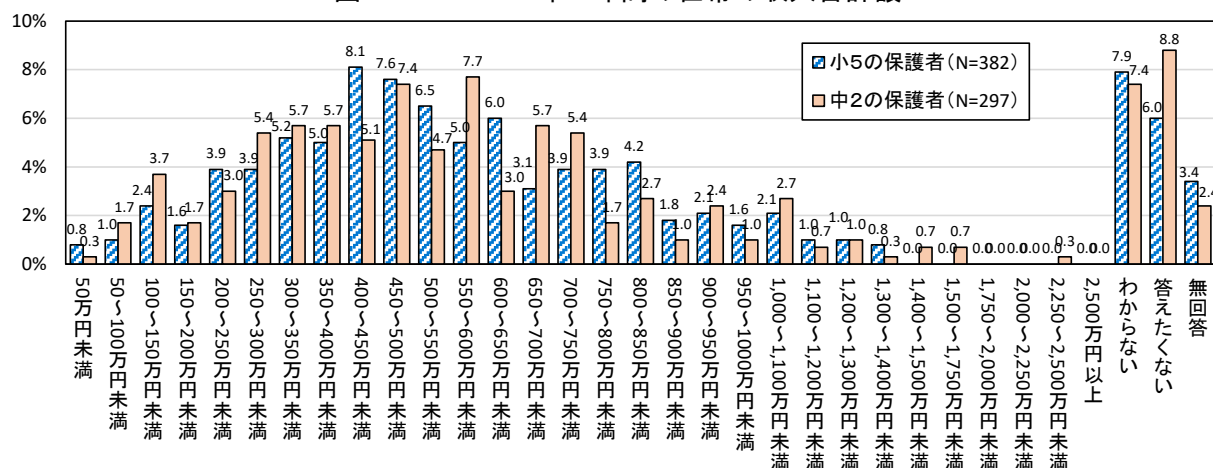
(上段：実数)
(下段：割合)

	全 体	5 0 万 円 未 満	1 5 0 0 万 円 未 満	1 1 5 0 万 円 未 満	2 1 0 5 万 円 未 満	2 2 5 0 万 円 未 満	3 2 0 5 万 円 未 満	3 3 5 0 万 円 未 満	4 3 0 5 万 円 未 満	4 4 5 0 万 円 未 満	5 4 0 5 万 円 未 満	5 5 5 0 万 円 未 満	6 5 0 5 万 円 未 満
小学5年生の保護者	382 100.0	3 0.8	4 1.0	9 2.4	6 1.6	15 3.9	15 3.9	20 5.2	19 5.0	31 8.1	29 7.6	25 6.5	19 5.0
中学2年生の保護者	297 100.0	1 0.3	5 1.7	11 3.7	5 1.7	9 3.0	16 5.4	17 5.7	17 5.7	15 5.1	22 7.4	14 4.7	23 7.7

	6 6 5 0 0 0 万 円 未 満	7 6 0 5 0 0 万 円 未 満	7 7 5 0 0 0 万 円 未 満	8 7 0 5 0 0 万 円 未 満	8 8 5 0 0 0 万 円 未 満	9 8 0 5 0 0 万 円 未 満	9 9 5 0 0 0 万 円 未 満	1 9 0 5 0 0 万 円 未 満	1 1 1 0 0 0 万 円 未 満	1 1 2 1 0 0 万 円 未 満	1 1 3 2 0 0 万 円 未 満	1 1 4 3 0 0 万 円 未 満	1 1 5 4 0 0 万 円 未 満
小学5年生の保護者	23 6.0	12 3.1	15 3.9	15 3.9	16 4.2	7 1.8	8 2.1	6 1.6	8 2.1	4 1.0	4 1.0	3 0.8	0 0.0
中学2年生の保護者	9 3.0	17 5.7	16 5.4	5 1.7	8 2.7	3 1.0	7 2.4	3 1.0	8 2.7	2 0.7	3 1.0	1 0.3	2 0.7

	1 1 7 5 5 0 0 0 万 円 未 満	2 1 0 7 0 5 0 0 万 円 未 満	2 2 0 0 5 0 0 0 万 円 未 満	2 2 5 2 0 5 0 0 万 円 未 満	2 2 7 5 5 0 0 0 万 円 未 満	3 2 0 7 0 5 0 0 万 円 未 満	3 0 0 0 万 円 以 上	わ か ら な い	答 え た く な い	無 回 答
小学5年生の保護者	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	30 7.9	23 6.0	13 3.4
中学2年生の保護者	2 0.7	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	22 7.4	26 8.8	7 2.4

図 3-23 2016 年 1 年間の世帯の収入合計額



⑤ 2016 年 1 年間の家計の収支状況

問 10 あなたの世帯の家計の収支状況についておたずねします。

(2) 2016 年 1 年間のあなたの世帯の家計の状況について教えてください。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

2016 年 1 年間の家計の収支状況を尋ねたところ、小 5 の保護者では、「赤字でもなく黒字でもない」が 40.1%と最も多く、以下「貯蓄ができています」(29.6%)、「赤字である」(21.7%) となっている。

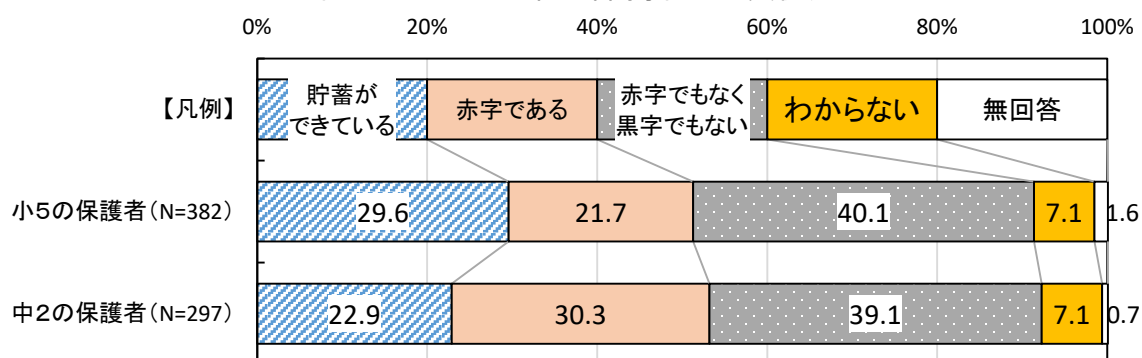
中 2 の保護者では、「赤字でもなく黒字でもない」が 39.1%と最も多く、以下「赤字である」(30.3%)、「貯蓄ができています」(22.9%) となっている。

「貯蓄ができています」では小 5 の保護者が中 2 の保護者に比べて多く、「赤字である」では中 2 の保護者が小 5 の保護者より多くなっている。

表 3-28 2016 年 1 年間家計の収支状況

	調査数	貯蓄が できてい る	赤字 である	赤字でもなく 黒字でもない	わから ない	無回 答
小学 5 年生の保護者	382	113	83	153	27	6
	100.0	29.6	21.7	40.1	7.1	1.6
中学 2 年生の保護者	297	68	90	116	21	2
	100.0	22.9	30.3	39.1	7.1	0.7

図 3-24 2016 年 1 年間家計の収支状況



⑥ 赤字の場合の対処方法

(2) 問 10 (1) で「2. 赤字である」と答えた方におたずねします。

赤字の場合はどのようにしていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

家計の収支状況が赤字であると答えた 173 人（小学 5 年生保護者 83 人、中学 2 年生保護者 90 人）にその対処方法を尋ねたところ、小 5 の保護者では、「貯金・預金のとりくずし」が 66.3%と最も多く、以下「金融機関等からの借入」（19.3%）、「親や親族などからの仕送り」（7.2%）となっている。

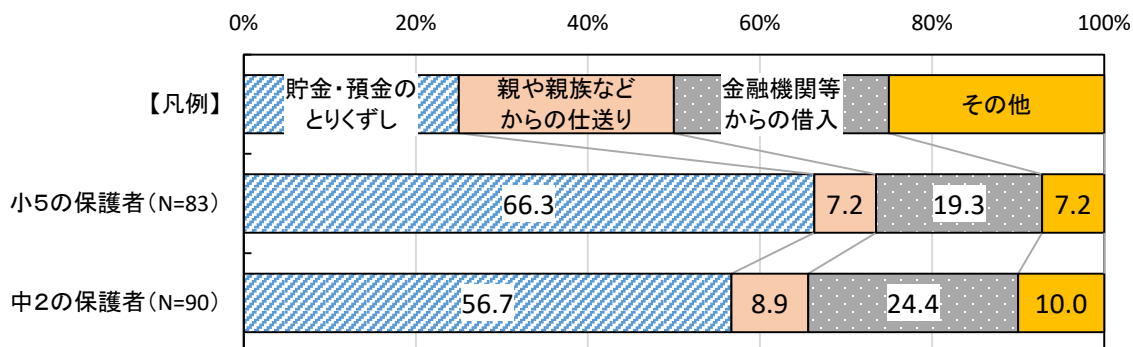
中 2 の保護者では、「貯金・預金のとりくずし」が 56.7%と最も多く、以下「金融機関等からの借入」（24.4%）、「親や親族などからの仕送り」（8.9%）となっている。

「貯金・預金のとりくずし」では小 5 の保護者が中 2 の保護者に比べて約 10 ポイント多く、「金融機関等からの借入」では中 2 の保護者が小 5 の保護者よりやや多くなっている。

表 3－29 赤字の場合の対処方法

	調査数	(上段：実数)				その他
		く貯 ず金 し・ 預 金 の と り	の親 仕 や 送 親 族 な ど か ら	借 金 入 融 機 関 等 か ら の		
小学 5 年生の保護者	83	55	6	16	6	
	100.0	66.3	7.2	19.3	7.2	
中学 2 年生の保護者	90	51	8	22	9	
	100.0	56.7	8.9	24.4	10.0	

図 3－25 赤字の場合の対処方法



⑦ 子どもの将来のための貯蓄

(3) お子さんの将来のため貯蓄をしていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

子どもの将来のための貯蓄について尋ねたところ、小5の保護者では、「貯蓄している」が62.0%と「貯蓄をしたいが、できていない」(36.4%)を上回っている。

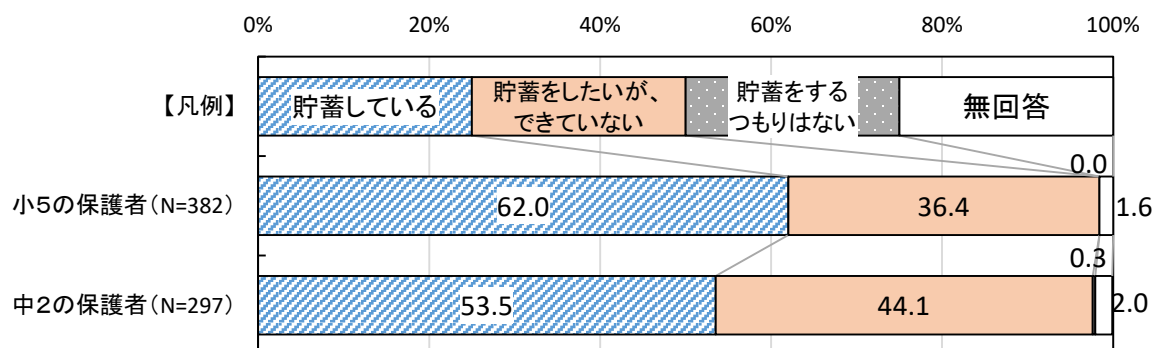
中2の保護者では、「貯蓄している」が53.5%と「貯蓄をしたいが、できていない」(44.1%)をやや上回っている。

「貯蓄している」では小5の保護者が中2の保護者に比べて多く、「貯蓄をしたいが、できていない」では中2の保護者が小5の保護者より多くなっている。

表3-30 子どもの将来のための貯蓄

	調査数	貯蓄している	貯蓄をしたいが、できていない	は貯蓄をするつもり	無回答
小学5年生の保護者	382	237	139	0	6
	100.0	62.0	36.4	0.0	1.6
中学2年生の保護者	297	159	131	1	6
	100.0	53.5	44.1	0.3	2.0

図3-26 子どもの将来のための貯蓄



⑧ ここ1年間での経済的理由による日常生活への影響

問 11 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね1年の間でお考えください。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

ここ1年間での経済的理由による日常生活への影響について尋ねたところ、小5の保護者では、「冷暖房の使用を控えた」が13.9%と最も多く、以下「国民健康保険料の支払いが滞った」(9.2%)、「国民年金の支払いが滞った」(7.6%) などとなっている。

一方、「1～10の項目には、どれもあてはまらない」は62.6%となっている。

中2の保護者では、「冷暖房の使用を控えた」が15.5%と最も多く、以下「国民年金の支払いが滞った」(10.4%)、「金融機関などに借金をした」(8.8%)、「国民健康保険料の支払いが滞った」(8.1%) などとなっている。

一方、「1～10の項目には、どれもあてはまらない」は61.6%となっている。

小5の保護者と中2の保護者に大きな違いはみられない。

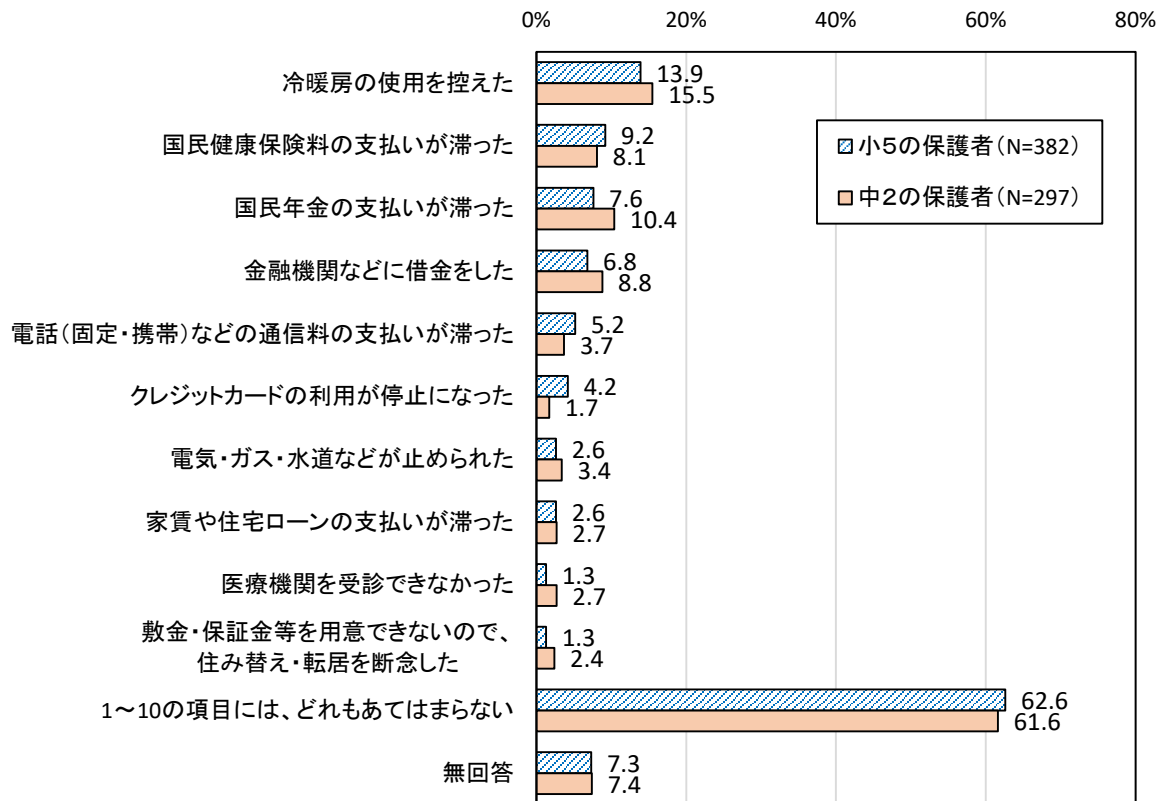
表3-31 ここ1年間での経済的理由による日常生活への影響

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	電気・ガス・水道などが止めた	医療機関を受診できなかった	滞った国民健康保険料の支払いが	滞った国民年金の支払いが	金融機関などに借金をした	クレジットカードの利用が停止になった	電話の支払い(固定・携帯)が滞った	滞った家賃や住宅ローンの支払いが	冷暖房の使用を控えた	念のため、住み替え・転居を断じた	数金・保証金等を用意できなかった	あてはまらない項目には、どれも	無回答
小学5年生の保護者	382	10	5	35	29	26	16	20	10	53	5	239	28	
	100.0	2.6	1.3	9.2	7.6	6.8	4.2	5.2	2.6	13.9	1.3	62.6	7.3	
中学2年生の保護者	297	10	8	24	31	26	5	11	8	46	7	183	22	
	100.0	3.4	2.7	8.1	10.4	8.8	1.7	3.7	2.7	15.5	2.4	61.6	7.4	

図3-27 ここ1年間での経済的理由による日常生活への影響



(4) 子どもについて

① 療育手帳や身体障害者、精神障害者保健福祉手帳の所持状況

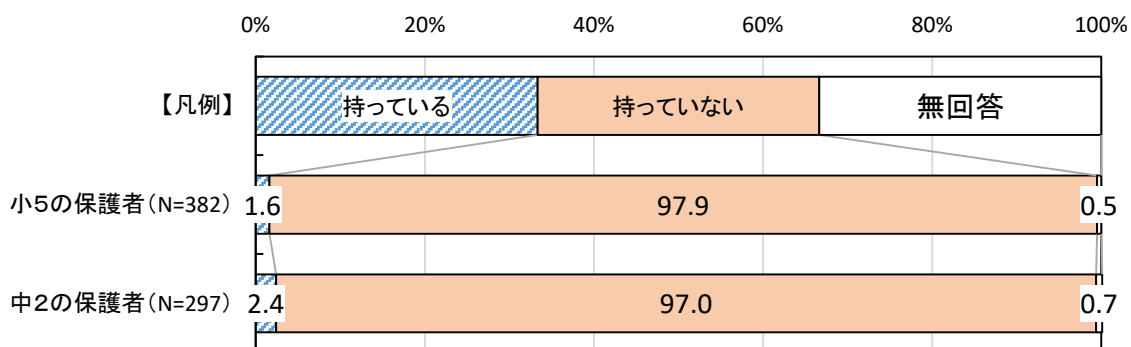
問 12 お子さんは、療育手帳や身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

子どもの療育手帳や身体障害者、精神障害者保健福祉手帳の所持状況を尋ねたところ、小5の保護者、中2の保護者ともに、「持っていない」が97%以上を占めている。

表 3－32 子どもの療育手帳や身体障害者、精神障害者保健福祉手帳の所持状況

	(上段：実数)		(下段：割合)	
	調査数	持っている	持っていない	無回答
小学5年生の保護者	382	6	374	2
	100.0	1.6	97.9	0.5
中学2年生の保護者	297	7	288	2
	100.0	2.4	97.0	0.7

図 3－28 子どもの療育手帳や身体障害者、精神障害者保健福祉手帳の所持状況



② ここ1年間での経済的な理由による子どもへの影響

問13 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(おおむね1年の間でお考えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください)

ここ1年間での経済的な理由による子どもへの影響を尋ねたところ、小5の保護者では、「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった」が14.9%と最も多く、以下「子どもを習い事に通わせることができなかった」(8.9%)、「子どもを学習塾に通わせることができなかった」(8.4%)、「子どもにおこづかいを渡すことができなかった」(7.9%) などとなっている。

一方、「1～13の項目には、どれにもあてはまらない」は68.3%となっている。

中2の保護者では、「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった」が18.2%と最も多く、次いで「子どもを学習塾に通わせることができなかった」(16.2%)、「子どもを習い事に通わせることができなかった」(11.4%)、「子どもにおこづかいを渡すことができなかった」(10.1%) などとなっている。

一方、「1～13の項目には、どれにもあてはまらない」は65.0%となっている。

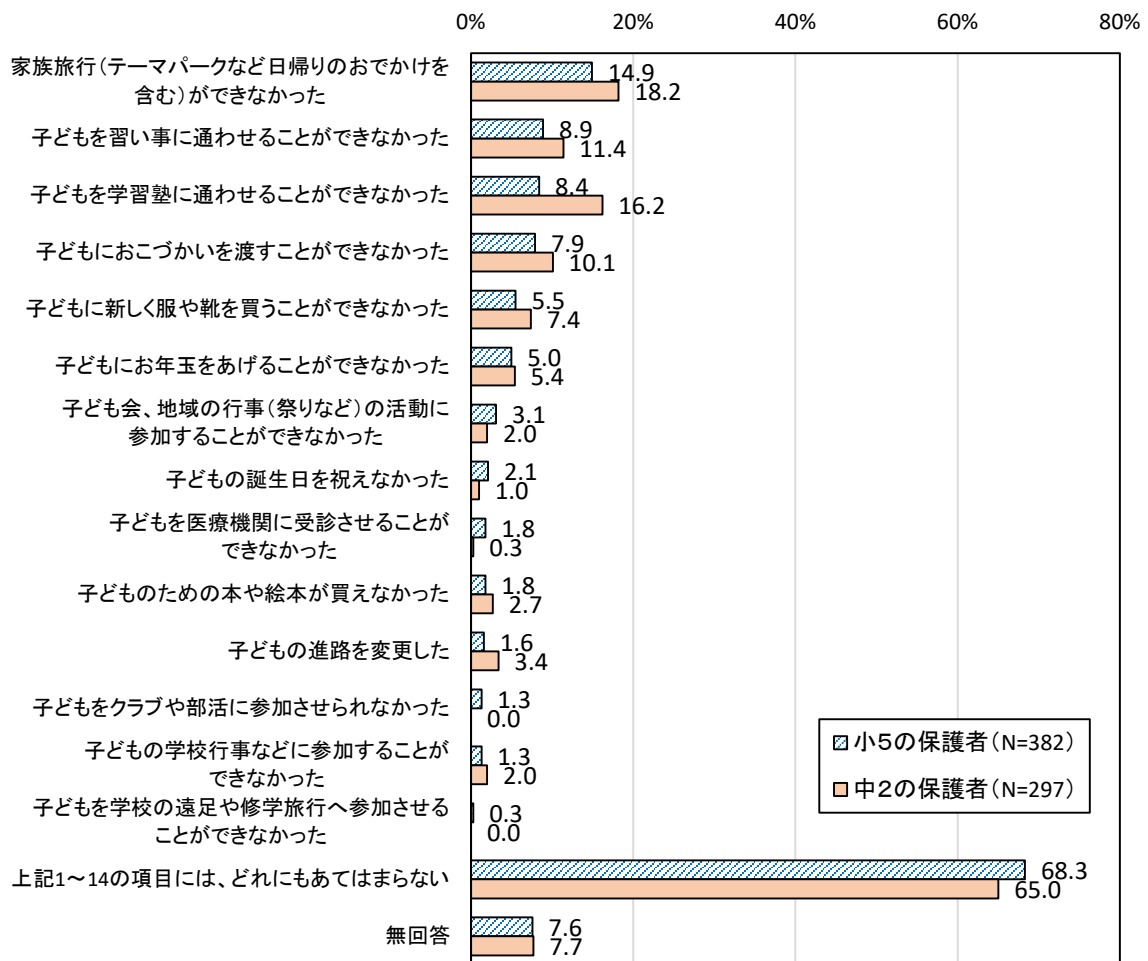
「子どもを学習塾に通わせることができなかった」は、中2の保護者が小5の保護者の約2倍となっている。

表3-33 ここ1年間での経済的な理由による子どもへの影響

		(上段：実数) (下段：割合)							
	調査数	子どもを医療機関に受診させることができなかった	子どもの進路を変更した	子どものための本や絵本が買えなかった	子どもがおこづかいを渡すことができなかった	子どもが新しく服や靴を買った	子どもが学校での遠足や修学旅行に参加できなかった	子どもが習い事に通わせることができなかった	子どもを学習塾に通わせることができなかった
小学5年生の保護者	382 100.0	7 1.8	6 1.6	7 1.8	30 7.9	21 5.5	1 0.3	34 8.9	5 1.3
中学2年生の保護者	297 100.0	1 0.3	10 3.4	8 2.7	30 10.1	22 7.4	0 0.0	34 11.4	0 0.0

	子どもを学習塾に通わせることができなかった	子どもの誕生日を祝えなかった	子どもがお年玉をあげることができなかった	子どもの学校行事などに参加できなかった	子どもが地域の行事(祭りなど)に参加できなかった	家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった	上記1～4の項目には、どれにもあてはまらない	無回答
小学5年生の保護者	32 8.4	8 2.1	19 5.0	5 1.3	12 3.1	57 14.9	261 68.3	29 7.6
中学2年生の保護者	48 16.2	3 1.0	16 5.4	6 2.0	6 2.0	54 18.2	193 65.0	23 7.7

図3-29 ここ1年間での経済的な理由による子どもへの影響



③ 子どもとの関係

1) 子どもを信頼している

問 14 あなたとお子さんとの関係について、次の項目で最も近いものを選んでください。

(1) あなたは、お子さんを信頼していますか。

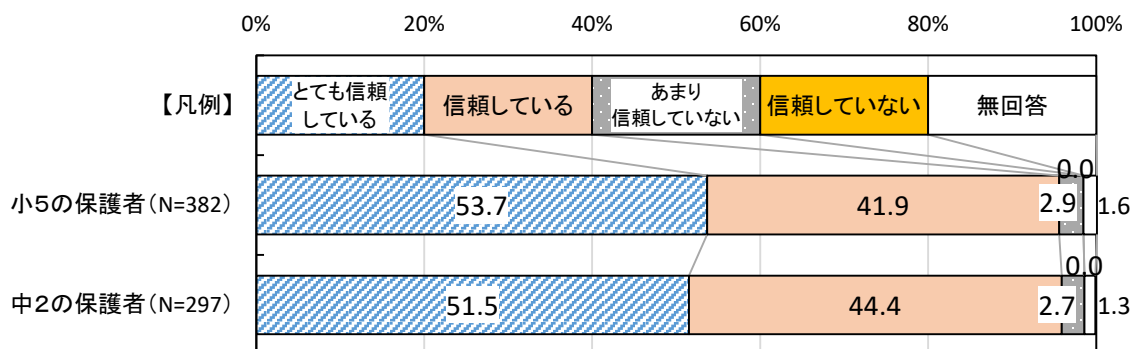
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください。)

子どもを信頼しているか尋ねたところ、小5の保護者では、「とても信頼している」が53.7%と最も多く、「信頼している」(41.9%)を合わせた『信頼している』は95.6%となっており、中2の保護者でも『信頼している』は95.9%を占めている。

表 3-34 子どもを信頼している

	調査数	とても信頼している	信頼している	あまり信頼していない	信頼していない	無回答
小学5年生の保護者	382	205	160	11	0	6
	100.0	53.7	41.9	2.9	0.0	1.6
中学2年生の保護者	297	153	132	8	0	4
	100.0	51.5	44.4	2.7	0.0	1.3

図 3-30 子どもを信頼している



2) 子どもとの会話

(2) あなたは、お子さんとよく会話しますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

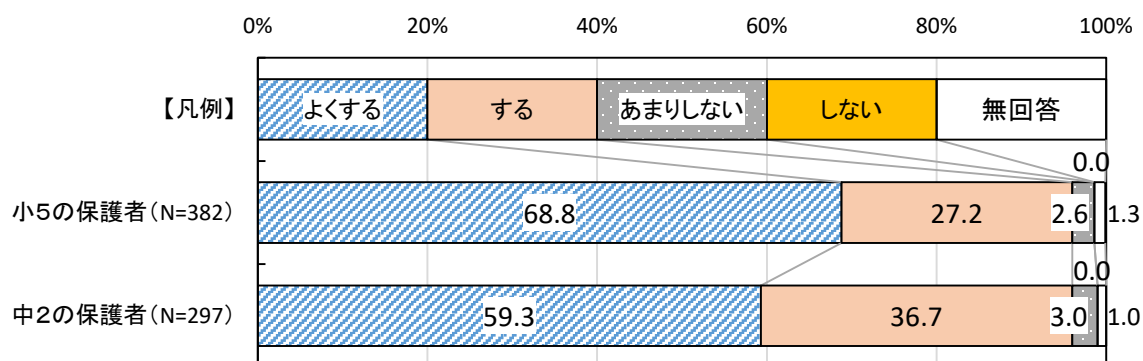
子どもとの会話を尋ねたところ、小5の保護者では、「よくする」が68.8%と最も多く、「する」(27.2%)を合わせた『会話をする』人は96.0%となっており、中2の保護者でも『会話をする』人は96.0%を占めている。

表3-35 子どもとの会話

	調査数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
小学5年生の保護者	382	263	104	10	0	5
	100.0	68.8	27.2	2.6	0.0	1.3
中学2年生の保護者	297	176	109	9	0	3
	100.0	59.3	36.7	3.0	0.0	1.0

(上段：実数)
(下段：割合)

図3-31 子どもとの会話



3) 子どもの相手をする時間（1日あたりの平均）

（3）あなたがお子さんと一緒に何かしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。
（平日、休日それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください）

【平日】

平日の子どもの相手をする時間（1日あたりの平均）を尋ねたところ、小5の保護者では、「1時間～2時間未満」が23.8%と最も多く、以下「30分～1時間未満」（19.4%）、「2時間～3時間未満」（15.7%）などとなっており、『2時間未満』が53.6%、『2時間以上』が41.4%となっている。

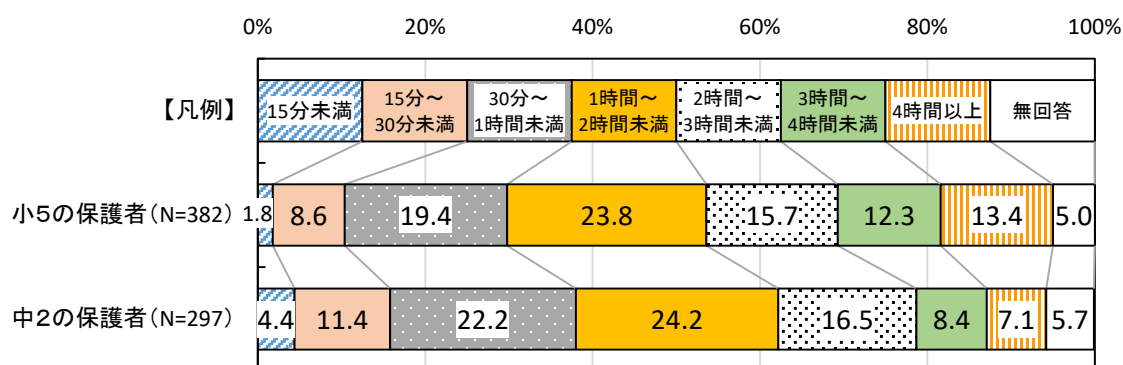
中2の保護者では、「1時間～2時間未満」が24.2%と最も多く、以下「30分～1時間未満」（22.2%）、「2時間～3時間未満」（16.5%）などとなっており、『2時間未満』が62.2%、『2時間以上』が32.0%となっている。

小5の保護者に比べて中2の保護者は子どもの相手をする平均時間は短くなっている。

表3-36 子どもの相手をする時間【平日】（1日あたりの平均）

	調査数	15分未満	15分～30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上	無回答
小学5年生の保護者	382	7	33	74	91	60	47	51	19
	100.0	1.8	8.6	19.4	23.8	15.7	12.3	13.4	5.0
中学2年生の保護者	297	13	34	66	72	49	25	21	17
	100.0	4.4	11.4	22.2	24.2	16.5	8.4	7.1	5.7

図3-32 子どもの相手をする時間【平日】（1日あたりの平均）



【休日】

休日の子どもの相手をする時間（１日あたりの平均）を尋ねたところ、小５の保護者では、「10 時間以上」が 17.8%と最も多く、次いで「2 時間～4 時間未満」（17.0%）などとなっており、『6 時間未満』が 39.5%、『6 時間以上』が 36.4%となっている。

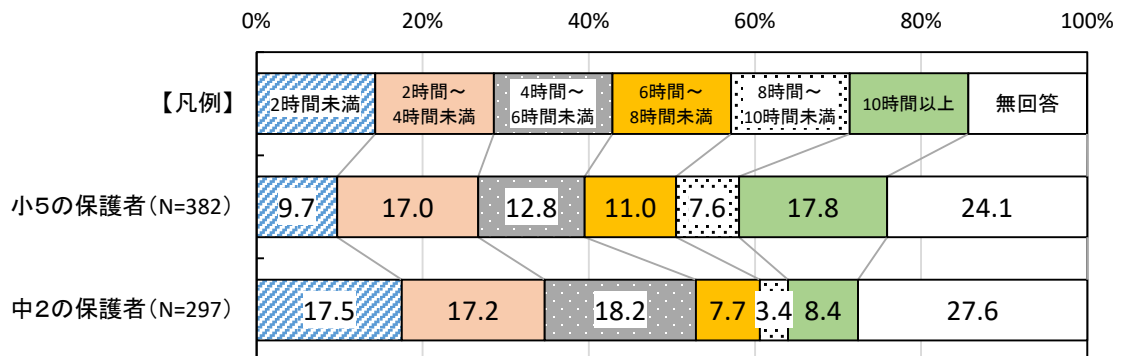
中２の保護者では、「4 時間～6 時間未満」が 18.2%と最も多く、次いで「2 時間未満」（17.5%）、「3 時間～4 時間未満」（17.2%）などとなっており、『6 時間未満』が 52.9%、『6 時間以上』が 19.5%となっている。

小５の保護者に比べて中２の保護者は子どもの相手をする時間は短くなっている。

表 3-37 子どもの相手をする時間【休日】（１日あたりの平均）

	調査数	(上段：実数)						無回答
		2 時間未満	3 時間～4 時間未満	4 時間～6 時間未満	6 時間～8 時間未満	8 時間～10 時間未満	10 時間以上	
小学 5 年生の保護者	382	37	65	49	42	29	68	92
	100.0	9.7	17.0	12.8	11.0	7.6	17.8	24.1
中学 2 年生の保護者	297	52	51	54	23	10	25	82
	100.0	17.5	17.2	18.2	7.7	3.4	8.4	27.6

図 3-33 子どもの相手をする時間【休日】（１日あたりの平均）



4) 子どもの将来への期待

(4) あなたは、お子さんの将来に期待していますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

子どもの将来への期待を尋ねたところ、小5の保護者では、「期待している」が61.0%と最も多く、「とても期待している」(23.6%)を合わせた『期待している』は84.6%となっている。

一方、「あまり期待していない」(12.6%)、「期待していない」(0.8%)を合わせた『期待していない』は13.4%となっている。

中2の保護者では、「期待している」が62.3%と最も多く、「とても期待している」(20.5%)を合わせた『期待している』は82.8%となっている。

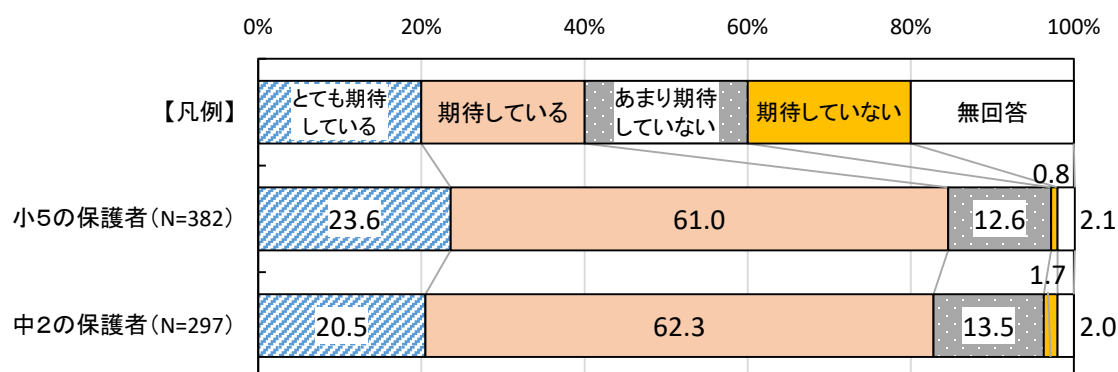
一方、「あまり期待していない」(13.5%)、「期待していない」(1.7%)を合わせた『期待していない』は15.2%となっている。

小5の保護者と中2の保護者は大きな違いはみられない。

表3-38 子どもの将来への期待

	調査数	とても期待している	期待している	あまり期待していない	期待していない	無回答
小学5年生の保護者	382	90	233	48	3	8
	100.0	23.6	61.0	12.6	0.8	2.1
中学2年生の保護者	297	61	185	40	5	6
	100.0	20.5	62.3	13.5	1.7	2.0

図3-34 子どもの将来への期待



④ 子どもの進学についての希望

問 15 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

子どもの進学についての希望を尋ねたところ、小5の保護者では、「大学・短期大学」が54.7%と最も多く、以下「高校」(17.5%)、「専門学校・高等専門学校」(13.6%)などとなっている。

中2の保護者では、「大学・短期大学」が52.9%と最も多く、以下「高校」(22.2%)、「専門学校・高等専門学校」(13.1%)などとなっている。

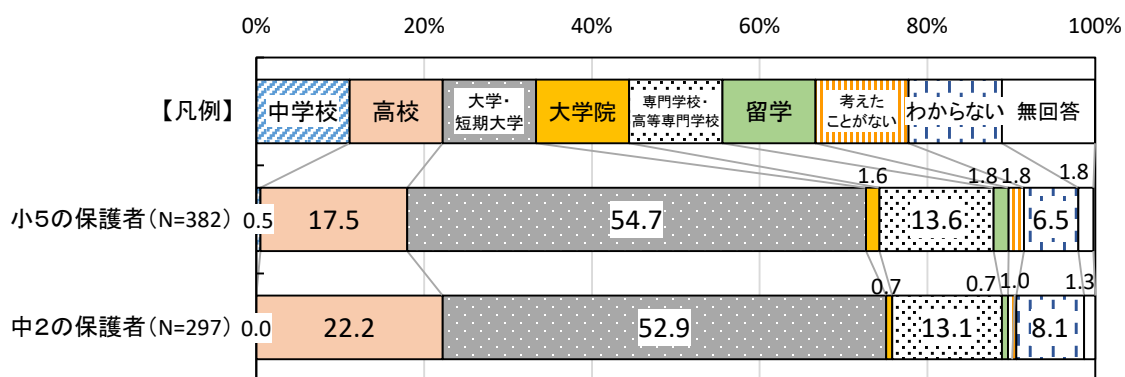
小5の保護者と中2の保護者に大きな違いはみられない。

表3-39 子どもの進学についての希望

		中学校	高校	大学・短期大学	大学院	専門学校・高等専門学校	留学	考えたことがない	わからない	無回答
	調査数									
小学5年生の保護者	382	2	67	209	6	52	7	7	25	7
	100.0	0.5	17.5	54.7	1.6	13.6	1.8	1.8	6.5	1.8
中学2年生の保護者	297	0	66	157	2	39	2	3	24	4
	100.0	0.0	22.2	52.9	0.7	13.1	0.7	1.0	8.1	1.3

(上段：実数)
(下段：割合)

図3-35 子どもの進学についての希望



⑤ 子どもが希望通りの学校へ進学する可能性

問 16 あなたは、お子さんが問 15 の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください。)

子どもが希望通りの学校へ進学する可能性を尋ねたところ、小5の保護者では、「思う」が49.5%と、「思わない」(5.2%)を大きく上回っている。

一方、「わからない」は42.4%となっている。

中2の保護者では、「思う」が57.9%と、「思わない」(6.4%)を大きく上回っている。

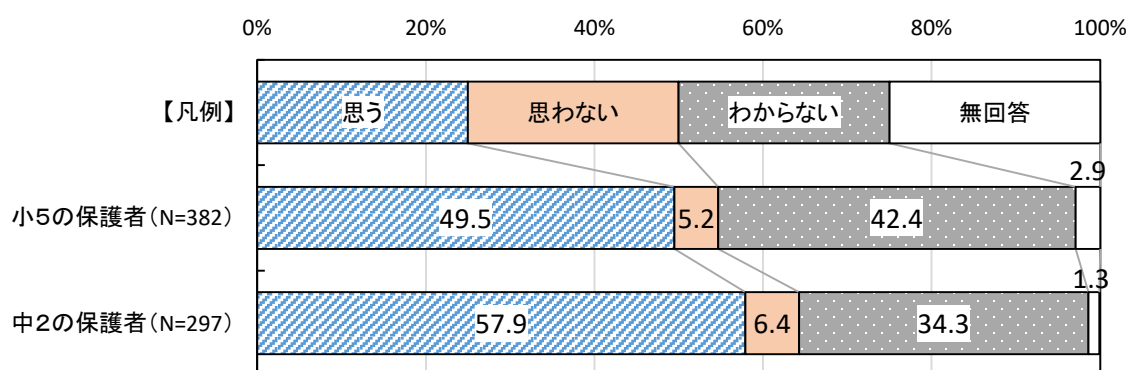
一方、「わからない」は34.3%となっている。

小5の保護者に比べて中2の保護者の方が「思う」は約8ポイント多くなっている。

表 3-40 子どもが希望通りの学校へ進学する可能性

	調査数	思う	思わない	わからない	無回答
小学5年生の保護者	382	189	20	162	11
	100.0	49.5	5.2	42.4	2.9
中学2年生の保護者	297	172	19	102	4
	100.0	57.9	6.4	34.3	1.3

図 3-36 子どもが希望通りの学校へ進学する可能性



⑥ 希望通りの学校へ進学すると思わない理由

問 17 問 16 で「2. 思わない」と答えた方におたずねします。

その理由について教えてください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

子どもが希望通りの学校へ進学すると思わないと答えた 39 人（小学 5 年生保護者 20 人、中学 2 年生保護者 19 人）にその理由を尋ねたところ、小 5 の保護者では、「お子さんの学力から考えて」が 50.0%と最も多く、以下「経済的な余裕がないから」(45.0%)、「お子さんの希望と異なる」(20.0%) となっている。

一方、「特に理由はない」は 10.0%となっている。

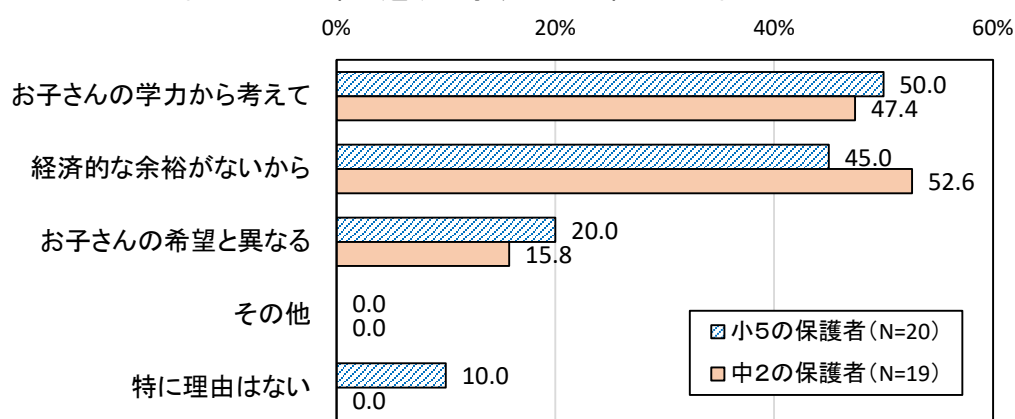
中 2 の保護者では、「経済的な余裕がないから」が 52.6%と最も多く、以下「お子さんの学力から考えて」(47.4%)、「お子さんの希望と異なる」(15.8%) となっている。

「経済的な余裕がないから」は中 2 の保護者で小 5 の保護者よりも約 8 ポイント多くなっている。

表 3-41 希望通り進学すると思わない理由

	調査数	希望と異なる	お子さんの学力から考えて	経済的な余裕がないから	その他	特に理由はない
小学 5 年生の保護者	20	4	10	9	0	2
	100.0	20.0	50.0	45.0	0.0	10.0
中学 2 年生の保護者	19	3	9	10	0	0
	100.0	15.8	47.4	52.6	0.0	0.0

図 3-37 希望通り進学すると思わない理由



⑦ 子どもの通学状況

問 18 お子さんの通学状況について、最も近いもの 1 つに○をつけてください。

子どもの通学状況を尋ねたところ、小 5 の保護者、中 2 の保護者ともに「ほぼ毎日」が 90%以上を占めている。

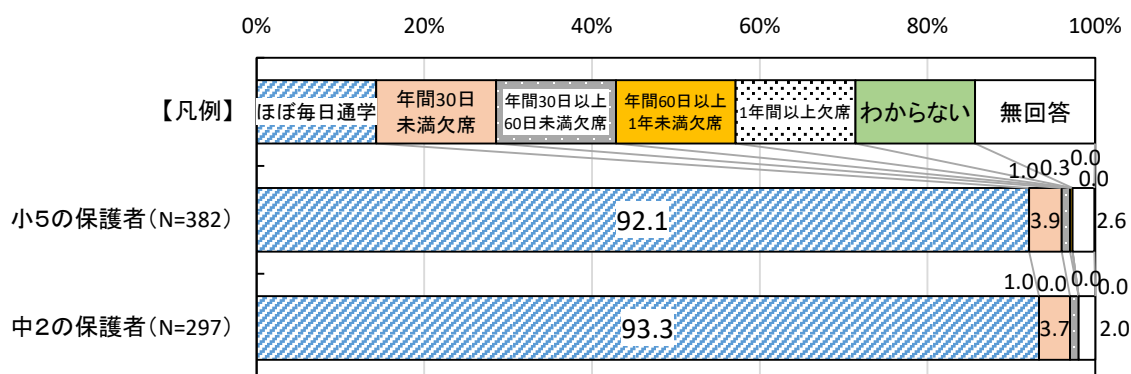
図 3－42 子どもの通学状況

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	ほぼ毎日通っている	欠席は年間 30 日未満である	欠席が年間 30 日以上、60 日未満である	欠席が年間 60 日以上、1 年未満である	欠席が年間 1 年以上継続している	わからない	無回答
小学 5 年生の保護者	382	352	15	4	1	0	0	10
	100.0	92.1	3.9	1.0	0.3	0.0	0.0	2.6
中学 2 年生の保護者	297	277	11	3	0	0	0	6
	100.0	93.3	3.7	1.0	0.0	0.0	0.0	2.0

図 3－38 子どもの通学状況



(5) 保護者本人について

① 初めて親となった年齢

問 19 初めて親となった年齢はいくつですか（実子以外も含みます）。
（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

初めて親となった年齢を尋ねたところ、小5の保護者では、「27～30 歳」が 30.9%と最も多く、以下「24～26 歳」（24.3%）、「20～23 歳」（17.3%）などとなっており、『20 代』で親となった人は 72.5%となっている。

中2の保護者では、「27～30 歳」が 24.9%と最も多く、以下「24～26 歳」（23.6%）、「20～23 歳」（20.5%）などとなっており、『20 代』で親となった人は 69.0%となっている。

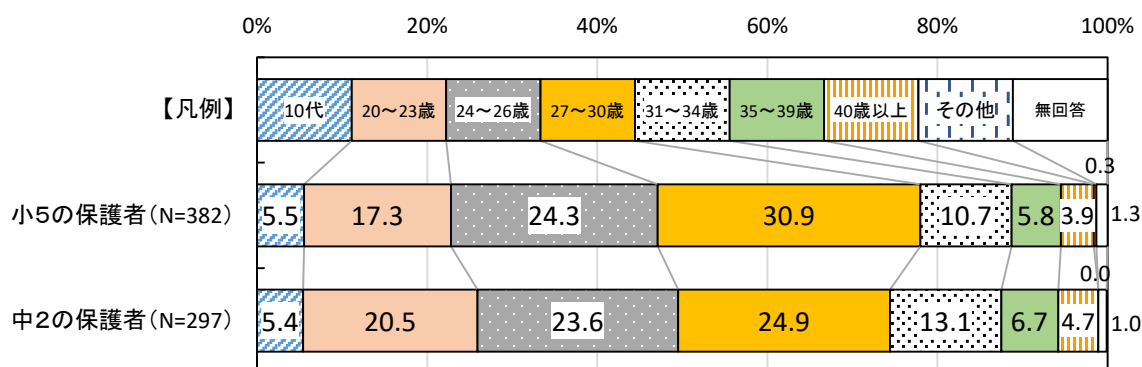
小5の保護者と中2の保護者に大きな違いはみられない。

表 3－43 初めて親となった年齢

（上段：実数）
（下段：割合）

	調査数	10代	20～23歳	24～26歳	27～30歳	31～34歳	35～39歳	40歳以上	その他	無回答
小学5年生の保護者	382	21	66	93	118	41	22	15	1	5
	100.0	5.5	17.3	24.3	30.9	10.7	5.8	3.9	0.3	1.3
中学2年生の保護者	297	16	61	70	74	39	20	14	0	3
	100.0	5.4	20.5	23.6	24.9	13.1	6.7	4.7	0.0	1.0

図 3－39 初めて親となった年齢



② 自分を支えて、手伝ってくれる人の有無

問 20 次の①～⑦について、おうちの方を含め（子どもは除き）、あなたを支えてくれて、手伝ってくれている人はいますか。
（それぞれ、1～3のあてはまる番号1つに○をつけてください）

自分を支えて、手伝ってくれる人の有無を尋ねたところ、小5の保護者では、「いる」はほぼ70%以上となっており、特に「①心配ごとや悩みごとを親身に聞いてくれる人」は86.1%を占めている。

一方、「いない」は「⑥子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」（20.4%）、「⑦留守を頼める人」（22.0%）で他の項目に比べて多くなっている。

表3-44 自分を支えて、手伝ってくれる人【小5の保護者】

	調査数	(上段：実数)				(下段：割合)
		いる	いない	わからない	無回答	
①心配ごとや悩みごとを親身に聞いてくれる人	382	329	23	26	4	
	100.0	86.1	6.0	6.8	1.0	
②あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	382	307	34	37	4	
	100.0	80.4	8.9	9.7	1.0	
③趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	382	307	36	35	4	
	100.0	80.4	9.4	9.2	1.0	
④子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	382	303	21	54	4	
	100.0	79.3	5.5	14.1	1.0	
⑤子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）	382	269	35	74	4	
	100.0	70.4	9.2	19.4	1.0	
⑥子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	382	283	78	17	4	
	100.0	74.1	20.4	4.5	1.0	
⑦留守を頼める人	382	267	84	27	4	
	100.0	69.9	22.0	7.1	1.0	

図3-40 自分を支えて、手伝ってくれる人【小5の保護者】(N=382)

中2の保護者では、「いる」はいずれの項目においても60%以上となっており、特に「①心配ごとや悩みごとを親身に聞いてくれる人」は85.5%を占めている。

一方、「いない」は「⑥子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」(22.2%)、「⑦留守を頼める人」(29.3%)と他の項目に比べて多くなっている。

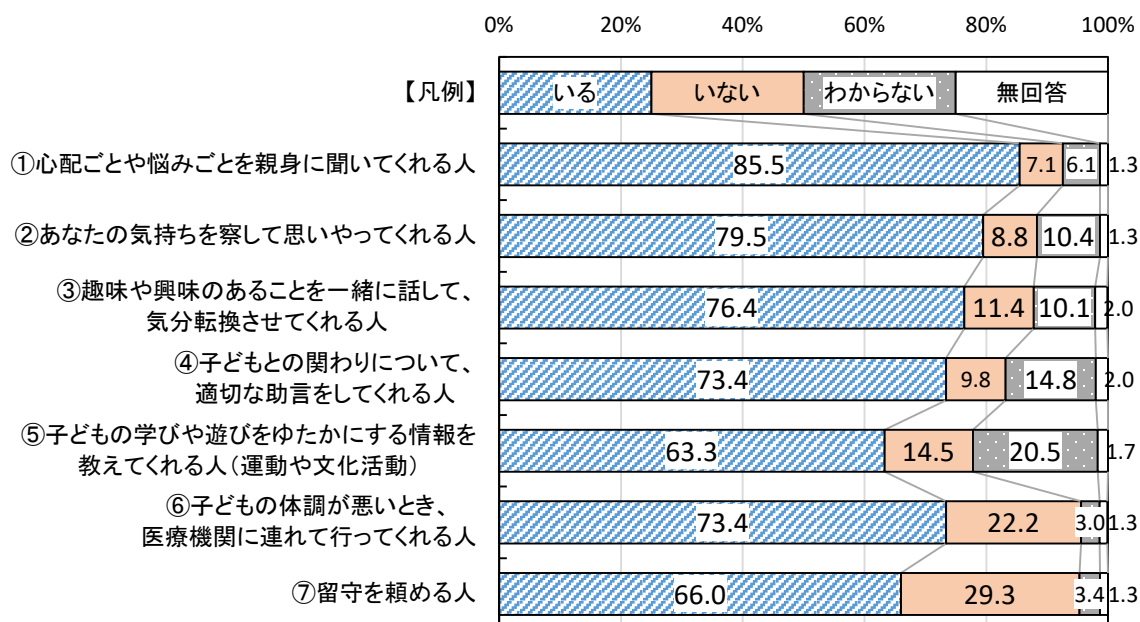
全体的に小5の保護者に比べて中2の保護者は、支えて、手伝ってくれる人が「いない」の割合が概ね多くなっている。

表3-45 自分を支えて、手伝ってくれる人【中2の保護者】

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	いる	いない	わからない	無回答
①心配ごとや悩みごとを親身に聞いてくれる人	297 100.0	254 85.5	21 7.1	18 6.1	4 1.3
②あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	297 100.0	236 79.5	26 8.8	31 10.4	4 1.3
③趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	297 100.0	227 76.4	34 11.4	30 10.1	6 2.0
④子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	297 100.0	218 73.4	29 9.8	44 14.8	6 2.0
⑤子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人(運動や文化活動)	297 100.0	188 63.3	43 14.5	61 20.5	5 1.7
⑥子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	297 100.0	218 73.4	66 22.2	9 3.0	4 1.3
⑦留守を頼める人	297 100.0	196 66.0	87 29.3	10 3.4	4 1.3

図3-41 自分を支えて、手伝ってくれる人【中2の保護者】(N=297)



③ 困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先

問 21 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先を尋ねたところ、小5の保護者では、「自分の親」が69.1%と最も多く、僅差で「配偶者・パートナー」が67.5%となっている。以下「近隣に住む知人や友人」(44.0%)、「きょうだい・その他の親戚」(35.6%)などとなっている。

一方、「相談できる相手がいない」は1.6%となっている。

中2の保護者では、「配偶者・パートナー」が70.7%と最も多く、以下「自分の親」(64.0%)、「きょうだい・その他の親戚」(41.1%)、「近隣に住む知人や友人」(37.4%)などとなっている。

一方、「相談できる相手がいない」は1.3%となっている。

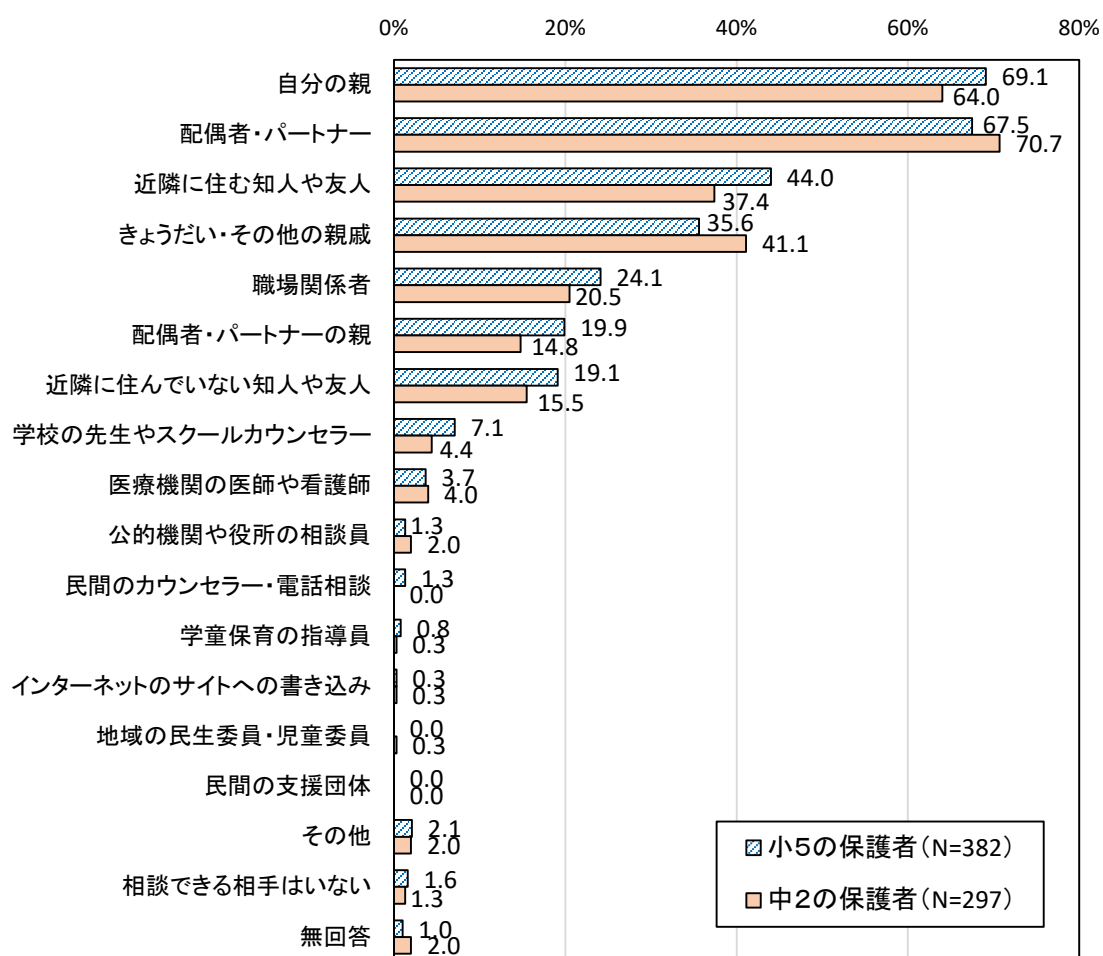
小5の保護者と中2の保護者に大きな違いはみられない。

表3-46 困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先

	調査数	配偶者・パートナー	自分の親	親配偶者・パートナーの	親きょうだい・その他の	近隣に住む知人や友人	近隣に住んでいない知人や友人	職場関係者	カウンスラーやスクール	学公的機関や役所の相談員
小学5年生の保護者	382	258	264	76	136	168	73	92	27	5
	100.0	67.5	69.1	19.9	35.6	44.0	19.1	24.1	7.1	1.3
中学2年生の保護者	297	210	190	44	122	111	46	61	13	6
	100.0	70.7	64.0	14.8	41.1	37.4	15.5	20.5	4.4	2.0

	学童保育の指導員	児童委員・地域の民生委員	民間の支援団体	電話相談のカウンスラー・	医療機関の医師や看護師	インターネットのサイト	その他	相談できる相手はいない	無回答
小学5年生の保護者	3	0	0	5	14	1	8	6	4
	0.8	0.0	0.0	1.3	3.7	0.3	2.1	1.6	1.0
中学2年生の保護者	1	1	0	0	12	1	6	4	6
	0.3	0.3	0.0	0.0	4.0	0.3	2.0	1.3	2.0

図3-42 困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先



④ 心の状態について

1) 生活を楽しんでいるか

問 22 現在のあなたの心の状態についておたずねします。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)
 (1) 生活を楽しんでいますか。(仕事や家事、育児など)

生活を楽しんでいるか尋ねたところ、小5の保護者では、「楽しんでいる」が48.4%と最も多く、「とても楽しんでいる」(18.3%)を合わせた『楽しんでいる』人は66.7%となっている。

一方、「あまり楽しんでいない」(15.2%)と「楽しんでいない」(3.1%)を合わせた『楽しんでいない』人は18.3%となっている。

中2の保護者では、「楽しんでいる」が47.5%と最も多く、「とても楽しんでいる」(16.2%)を合わせた『楽しんでいる』人は63.7%となっている。

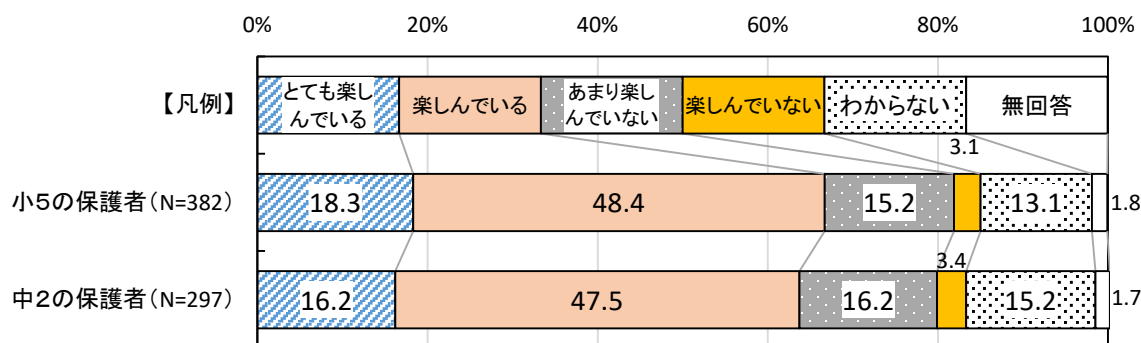
一方、「あまり楽しんでいない」(16.2%)と「楽しんでいない」(3.4%)を合わせた『楽しんでいない』人は19.6%となっている。

小5の保護者と中2の保護者に大きな違いはみられない。

表 3-47 生活を楽しんでいるか

		(上段：実数) (下段：割合)					
	調査数	とても楽しんでいる	楽しんでいる	あまり楽しんでいない	楽しんでいない	わからない	無回答
小学5年生の保護者	382	70	185	58	12	50	7
	100.0	18.3	48.4	15.2	3.1	13.1	1.8
中学2年生の保護者	297	48	141	48	10	45	5
	100.0	16.2	47.5	16.2	3.4	15.2	1.7

図 3-43 生活を楽しんでいるか



2) 将来への希望を持っているか

(2) 将来に対して希望を持っていますか。

将来への希望を持っているか尋ねたところ、小5の保護者では、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が51.8%と最も多く、以下「希望が持てる」(28.5%)となっている。

一方、「希望が持てない」は6.0%となっている。

中2の保護者では、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が54.9%と最も多く、以下「希望が持てる」(25.9%)となっている。

一方、「希望が持てない」は8.1%となっている。

小5の保護者と中2の保護者に大きな違いはみられない。

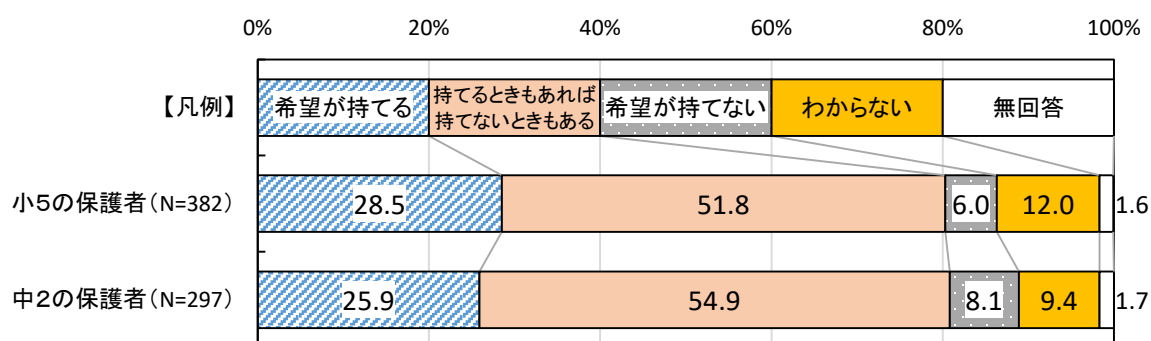
表3-48 将来への希望を持っているか

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	希望が持てる	あれば、希望が持てる ときもある	希望が持てない	わからない	無回答
小学5年生の保護者	382	109	198	23	46	6
	100.0	28.5	51.8	6.0	12.0	1.6
中学2年生の保護者	297	77	163	24	28	5
	100.0	25.9	54.9	8.1	9.4	1.7

図3-44 将来への希望を持っているか



3) ストレスを発散できるものの有無

(3) ストレスを発散できるものがありますか。

ストレスを発散できるものがあるか尋ねたところ、小5の保護者では、「あるときもあれば、ないときもある」が48.2%と最も多く、以下「ある」(36.1%) などとなっている。

一方、「ない」は9.7%となっている。

中2の保護者では、「あるときもあれば、ないときもある」が48.5%と最も多く、以下「ある」(37.4%) などとなっている。

一方、「ない」は8.4%となっている。

小5の保護者と中2の保護者には大きな違いはみられない。

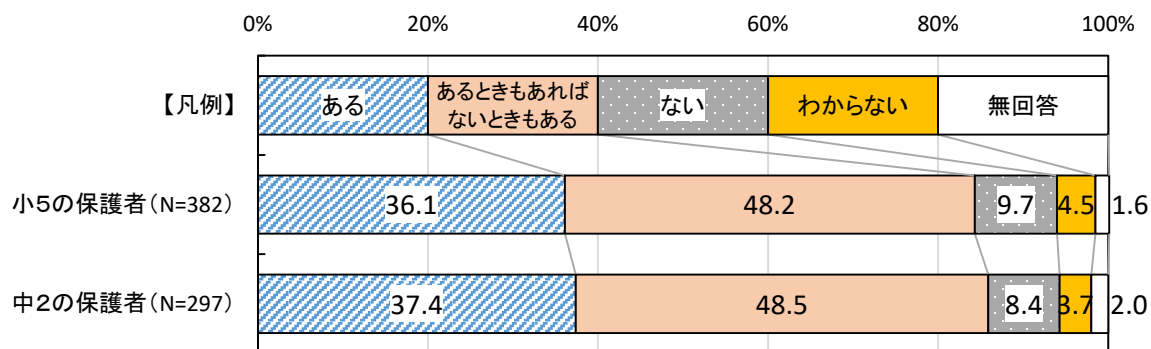
表3-49 ストレスを発散できるものの有無

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	ある	あるときもあれば、 ないときもある	ない	わからない	無回答
小学5年生の保護者	382	138	184	37	17	6
	100.0	36.1	48.2	9.7	4.5	1.6
中学2年生の保護者	297	111	144	25	11	6
	100.0	37.4	48.5	8.4	3.7	2.0

図3-45 ストレスを発散できるものの有無



4) 自分が幸せだと思うか

(4) あなたは、ご自分が幸せだと思いますか。

自分が幸せだと思うか尋ねたところ、小5の保護者では、「幸せだと思う」が51.3%と最も多く、「とても幸せだと思う」(28.5%)を合わせた『幸せだ』と思う人は79.8%となっている。

一方、「あまり幸せだと思わない」(6.8%)と「幸せだと思わない」(2.6%)を合わせた『幸せだと思わない』人は9.4%となっている。

中2の保護者では、「幸せだと思う」が55.9%と最も多く、「とても幸せだと思う」(21.5%)を合わせた『幸せだ』と思う人は77.4%となっている。

一方、「あまり幸せだと思わない」(7.4%)と「幸せだと思わない」(2.0%)を合わせた『幸せだと思わない』人は9.4%となっている。

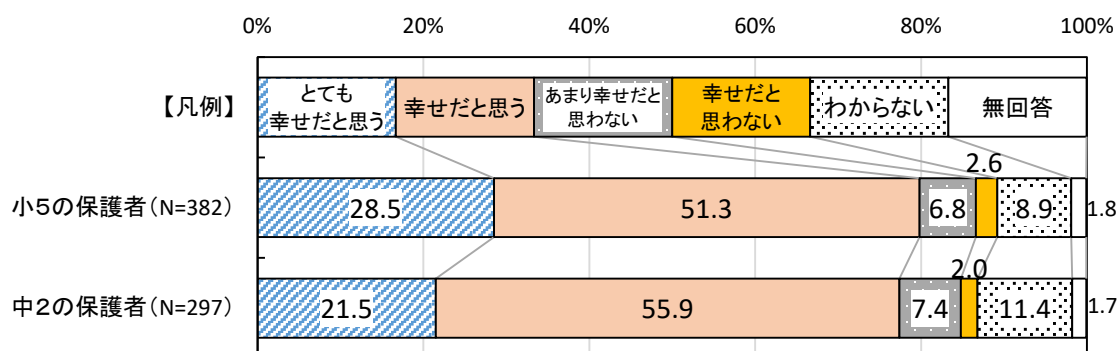
小5の保護者と中2の保護者に大きな違いはみられない。

表3-50 自分が幸せだと思うか

	調査数	とても幸せだと思う	幸せだと思う	あまり幸せだと思わない	幸せだと思わない	わからない	無回答
小学5年生の保護者	382	109	196	26	10	34	7
	100.0	28.5	51.3	6.8	2.6	8.9	1.8
中学2年生の保護者	297	64	166	22	6	34	5
	100.0	21.5	55.9	7.4	2.0	11.4	1.7

(上段：実数)
(下段：割合)

図3-46 自分が幸せだと思うか



⑤ 自分の体や気持ちで気になること

問 23 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

自分の体や気持ちで気になることを尋ねたところ、小5の保護者では、「よく肩がこる」が42.1%と最も多く、以下「イライラする」(36.6%)、「不安な気持ちになる」(25.7%)、「よく腰が痛くなる」(23.3%)、「よく頭が痛くなる」(22.5%) などとなっている。

一方、「特に気になるところはない」は14.4%となっている。

中2の保護者では、「よく肩がこる」が41.8%と最も多く、以下「イライラする」(30.3%)、「よく腰が痛くなる」(30.0%)、「不安な気持ちになる」(23.9%)、「よく頭が痛くなる」(20.5%)、「やる気が起きない」(19.9%) などとなっている。

一方、「特に気になるところはない」は15.2%となっている。

何かしら気になることがある人は、小5の保護者、中2の保護者とも76.7%となっている。「イライラする」は小5の保護者が中2の保護者よりもやや多く、「よく腰が痛くなる」は中2の保護者が小5の保護者よりもやや多くなっている。

表3-51 自分の体や気持ちで気になること

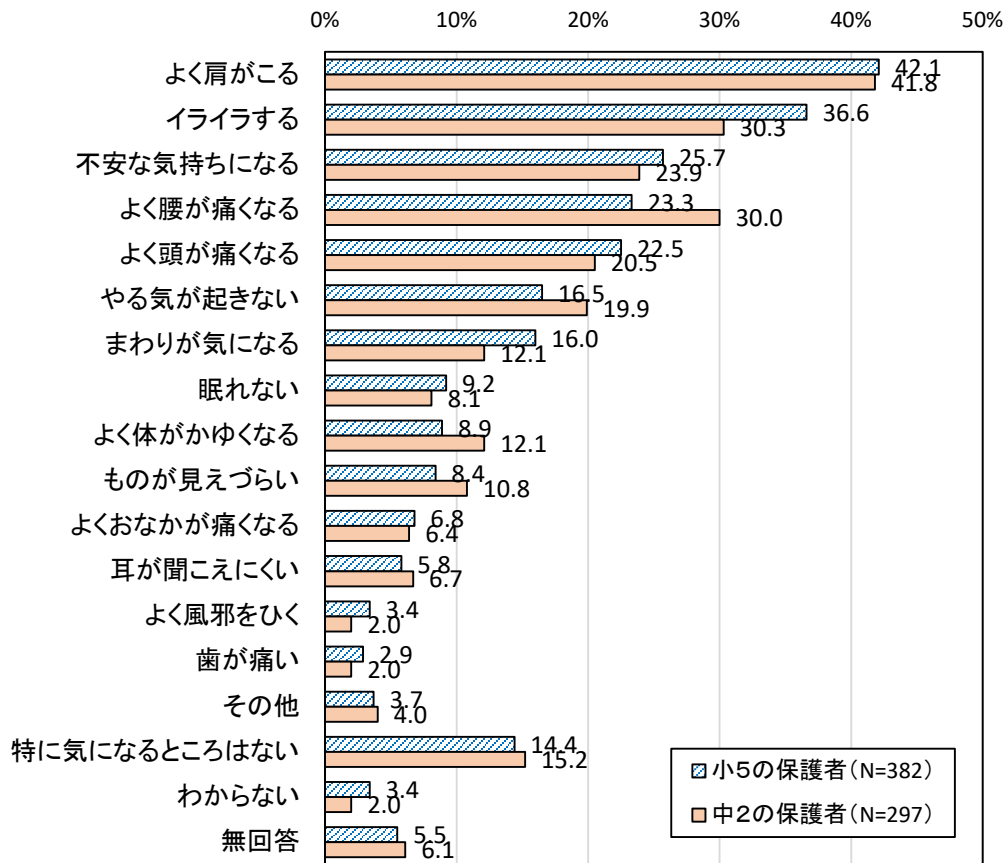
(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	眠れない	よく頭が痛くなる	歯が痛い	不安な気持ちになる	ものが見えづらい	耳が聞こえにくい	よくおなか痛くなる	よく風邪をひく	よく体がかゆくなる
小学5年生の保護者	382	35	86	11	98	32	22	26	13	34
	100.0	9.2	22.5	2.9	25.7	8.4	5.8	6.8	3.4	8.9
中学2年生の保護者	297	24	61	6	71	32	20	19	6	36
	100.0	8.1	20.5	2.0	23.9	10.8	6.7	6.4	2.0	12.1

	まわりが気になる	やる気が起きない	イライラする	よく肩がこる	よく腰が痛くなる	その他	は特 ない に 気 に な る と こ ろ	わ か ら な い	無 回 答
小学5年生の保護者	61	63	140	161	89	14	55	13	21
	16.0	16.5	36.6	42.1	23.3	3.7	14.4	3.4	5.5
中学2年生の保護者	36	59	90	124	89	12	45	6	18
	12.1	19.9	30.3	41.8	30.0	4.0	15.2	2.0	6.1

図3-47 自分の体や気持ちで気になること



⑥ 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと

問 24 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがあるか尋ねたところ、小5の保護者では、「時々ある」が62.6%と最も多く、「よくある」(11.3%)を合わせた『ある』は73.9%となっている。

一方、「ほとんどない」(17.8%)と「ない」(5.0%)を合わせた『ない』人は22.8%となっている。

中2の保護者では、「時々ある」が53.5%と最も多く、「よくある」(7.4%)を合わせた『ある』は60.9%となっている。

一方、「ほとんどない」(22.9%)と「ない」(11.8%)を合わせた『ない』人は34.7%となっている。

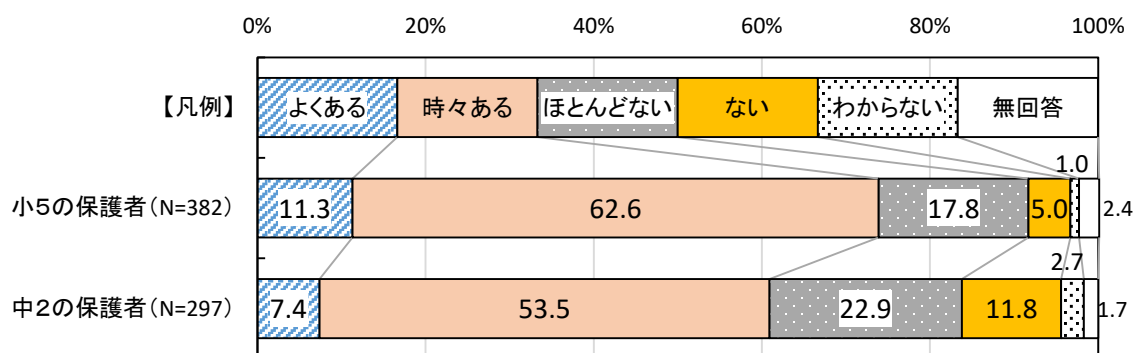
『ある』では小5の保護者が中2の保護者よりも約13ポイント多く、『ない』では中2の保護者が小5の保護者よりも約12ポイント多くなっており、子どもが小さい時期で子どもに当たってしまうことが多くなっている。

表3-52 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと

(上段：実数)
(下段：割合)

	調査数	よくある	時々ある	ほとんどない	ない	わからない	無回答
小学5年生の保護者	382	43	239	68	19	4	9
	100.0	11.3	62.6	17.8	5.0	1.0	2.4
中学2年生の保護者	297	22	159	68	35	8	5
	100.0	7.4	53.5	22.9	11.8	2.7	1.7

図3-48 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと



⑦ 定期的な健康診断受診の有無

問 25 あなたは、定期的に健康診断を受けていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

定期的な健康診断受診の有無を尋ねたところ、小5の保護者では、「はい」が66.8%と、「いいえ」(31.4%)を上回っている。

中2の保護者では、「はい」が70.0%と、「いいえ」(28.6%)を上回っている。

小5の保護者と中2の保護者に大きな違いはみられない。

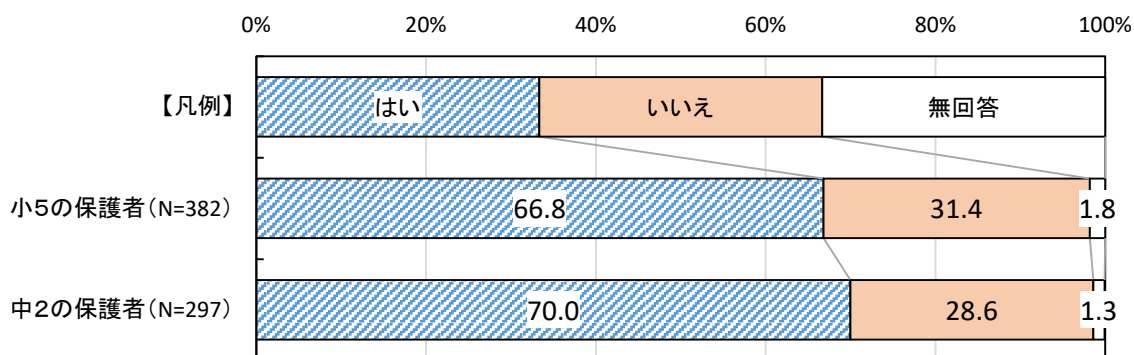
表 3－53 定期的な健康診断受診の有無

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	はい	いいえ	無回答
小学5年生の保護者	382	255	120	7
	100.0	66.8	31.4	1.8
中学2年生の保護者	297	208	85	4
	100.0	70.0	28.6	1.3

図 3－49 定期的な健康診断受診の有無



⑧ 自分自身について

問 26 あなたご自身のことで、次の①～⑤について、おたずねします。
(あてはまる番号(1～4) 1つに○をつけてください)

自分自身について5項目について尋ねたところ、小5の保護者では、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』は、「②はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける」が67.8%と他の項目に比べて多くなっている。

一方、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』は、「③人の集まりの中では、うまくふるまえない」(57.3%)、「④私は自分から友だちを作るのがうまい」(60.2%)、「⑤人生で起きる問題の多くは自分では解決できない」(66.8%)が他の項目に比べて多くなっている。

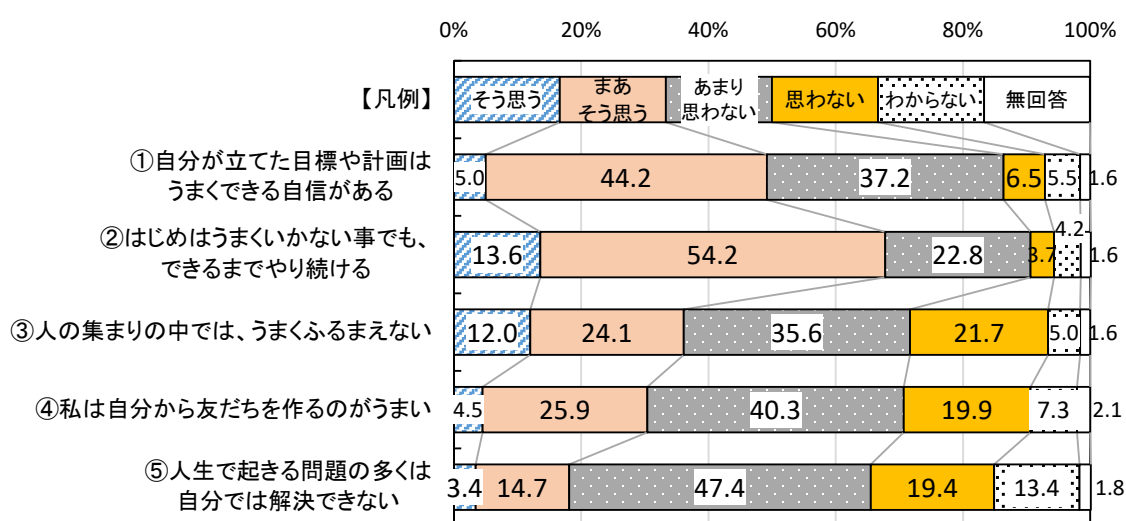
表 3-54 自分自身について【小5の保護者】

	調査数	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	無回答
①自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある	382	19	169	142	25	21	6
	100.0	5.0	44.2	37.2	6.5	5.5	1.6
②はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける	382	52	207	87	14	16	6
	100.0	13.6	54.2	22.8	3.7	4.2	1.6
③人の集まりの中では、うまくふるまえない	382	46	92	136	83	19	6
	100.0	12.0	24.1	35.6	21.7	5.0	1.6
④私は自分から友だちを作るのがうまい	382	17	99	154	76	28	8
	100.0	4.5	25.9	40.3	19.9	7.3	2.1
⑤人生で起きる問題の多くは自分では解決できない	382	13	56	181	74	51	7
	100.0	3.4	14.7	47.4	19.4	13.4	1.8

(上段：実数)

(下段：割合)

図 3-50 自分自身について【小5の保護者】(N=382)



中2の保護者では、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』は、「②はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける」が68.0%と他の項目に比べて多くなっている。

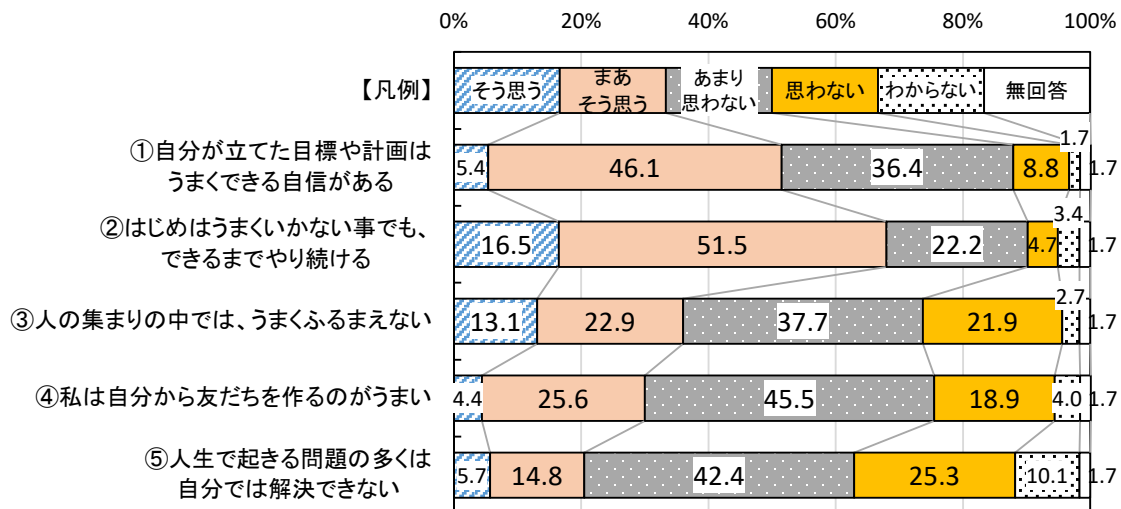
一方、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』は、「③人の集まりの中では、うまくふるまえない」(59.6%)、「④私は自分から友だちを作るのがうまい」(64.4%)、「⑤人生で起きる問題の多くは自分では解決できない」(67.7%)が他の項目に比べて多くなっている。

小5の保護者と中2の保護者に大きな違いはみられない。

表3-55 自分自身について【中2の保護者】

	調査数	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	無回答
		(上段：実数)		(下段：割合)			
①自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある	297	16	137	108	26	5	5
	100.0	5.4	46.1	36.4	8.8	1.7	1.7
②はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける	297	49	153	66	14	10	5
	100.0	16.5	51.5	22.2	4.7	3.4	1.7
③人の集まりの中では、うまくふるまえない	297	39	68	112	65	8	5
	100.0	13.1	22.9	37.7	21.9	2.7	1.7
④私は自分から友だちを作るのがうまい	297	13	76	135	56	12	5
	100.0	4.4	25.6	45.5	18.9	4.0	1.7
⑤人生で起きる問題の多くは自分では解決できない	297	17	44	126	75	30	5
	100.0	5.7	14.8	42.4	25.3	10.1	1.7

図3-51 自分自身について【中2の保護者】(N=297)



⑨ 地域との関わりについて

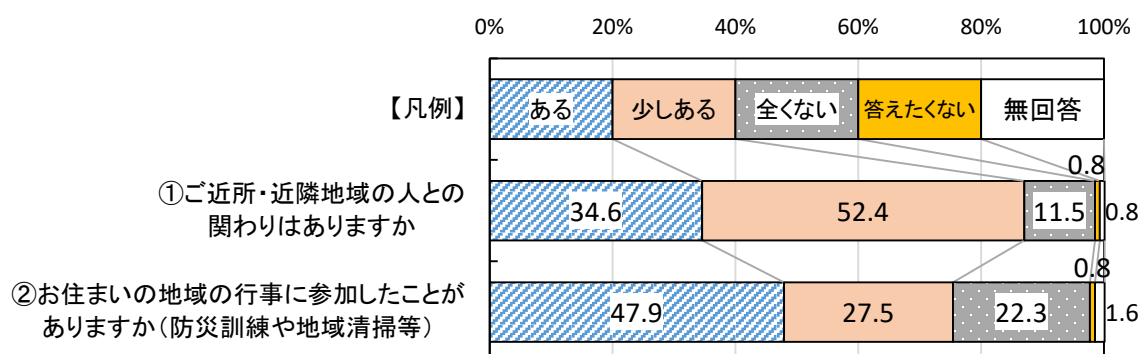
問 28 あなたの世帯の地域との関わりについておたずねします。
(①②の項目について、それぞれ、1～4のあてはまる番号1つに○をつけてください)

地域との関わりについて尋ねたところ、小5の保護者では、「ある」と「少しある」を合わせた『ある』が、「①ご近所・近隣地域の人との関わりがある」で87.0%となっているのに対して、「②お住まいの地域の行事に参加したことがある(防災訓練や地域清掃等)」では75.4%と約12ポイント少ない。

表 3-56 地域との関わりについて【小5の保護者】

	調査数	ある	少しある	全くない	答えたくない	無回答
①ご近所・近隣地域の人との関わり・交流はありますか	382	132	200	44	3	3
	100.0	34.6	52.4	11.5	0.8	0.8
②お住まいの地域の行事に参加したことがありますか (防災訓練や地域清掃等)	382	183	105	85	3	6
	100.0	47.9	27.5	22.3	0.8	1.6

図 3-52 地域との関わりについて【小5の保護者】(N=382)



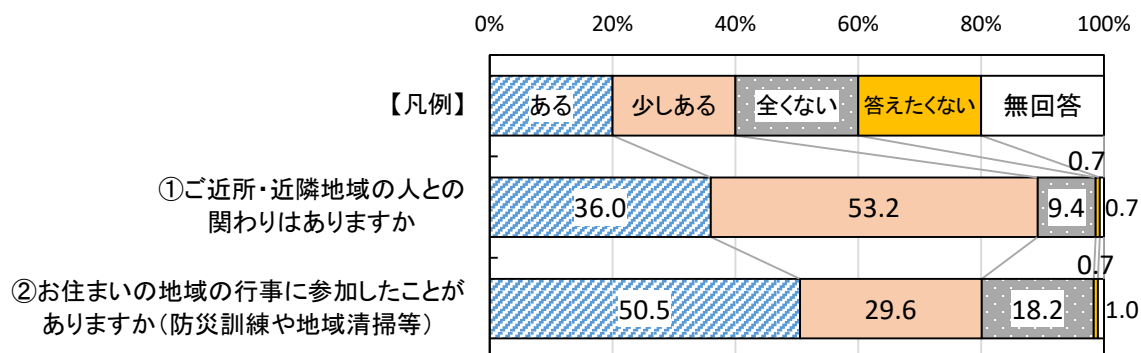
中2の保護者では、『ある』が「①ご近所・近隣地域の人との関わりがある」で89.2%であるのに対して、「②お住まいの地域の行事に参加したことがある（防災訓練や地域清掃等）」は80.1%と約9ポイント少ない。

小5の保護者と中2の保護者に大きな違いはみられない。

表3-57 地域との関わりについて【中2の保護者】

	調査数	(上段：実数)					無回答
		ある	少しある	全くない	答えたくない		
①ご近所・近隣地域の人との関わり・交流はありますか	297	107	158	28	2	2	
	100.0	36.0	53.2	9.4	0.7	0.7	
②お住まいの地域の行事に参加したことがありますか (防災訓練や地域清掃等)	297	150	88	54	2	3	
	100.0	50.5	29.6	18.2	0.7	1.0	

図3-53 地域との関わりについて【中2の保護者】(N=297)



(6) 機関・団体などの認知度

問 29 あなたは、次の機関・団体、人を知っていますか？

(あてはまる番号 (1～3) 1つに○をつけてください)

機関・団体などの認知度について、小5の保護者では、「知っている」と「名前だけ知っている」を合わせた『知っている』は、「①社会福祉協議会」(70.1%)、「②民生委員・児童委員」(83.2%)、「③家庭相談員」(71.5%)が70%となっている。

一方、「④東金ひと・しごと・くらしサポートセンターころん」は23.8%と認知度は他の機関・団体に比べて低くなっている。

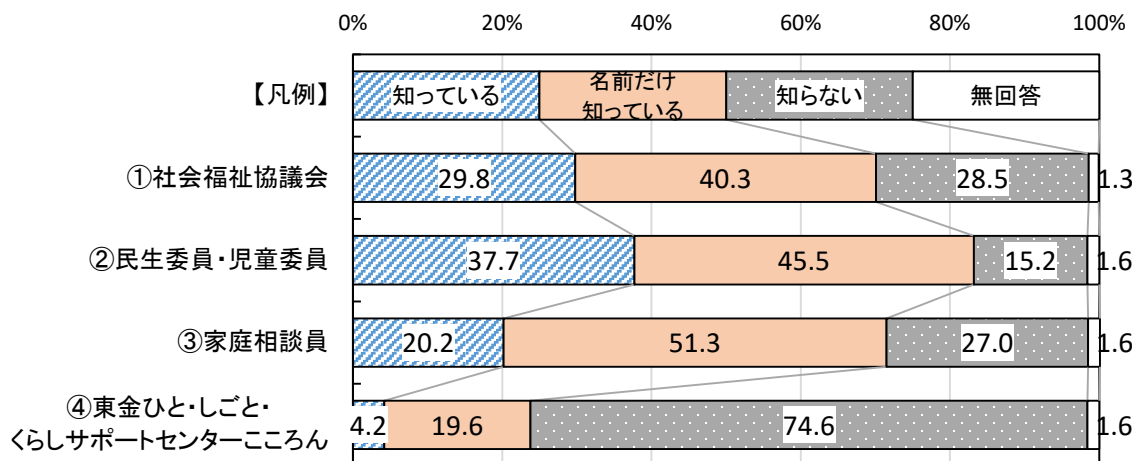
表 3-58 機関・団体などの認知度【小5の保護者】

(上段：実数)

(下段：割合)

	調査数	知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
①社会福祉協議会	382	114	154	109	5
	100.0	29.8	40.3	28.5	1.3
②民生委員・児童委員	382	144	174	58	6
	100.0	37.7	45.5	15.2	1.6
③家庭相談員	382	77	196	103	6
	100.0	20.2	51.3	27.0	1.6
④「東金ひと・しごと・くらしサポートセンターころん」	382	16	75	285	6
	100.0	4.2	19.6	74.6	1.6

図 3-54 機関・団体などの認知度【小5の保護者】(N=382)



中2の保護者では、「知っている」と「名前だけ知っている」を合わせた『知っている』は、「①社会福祉協議会」(69.7%)、「②民生委員・児童委員」(82.8%)、「③家庭相談員」(72.0%)が概ね70%以上となっている。

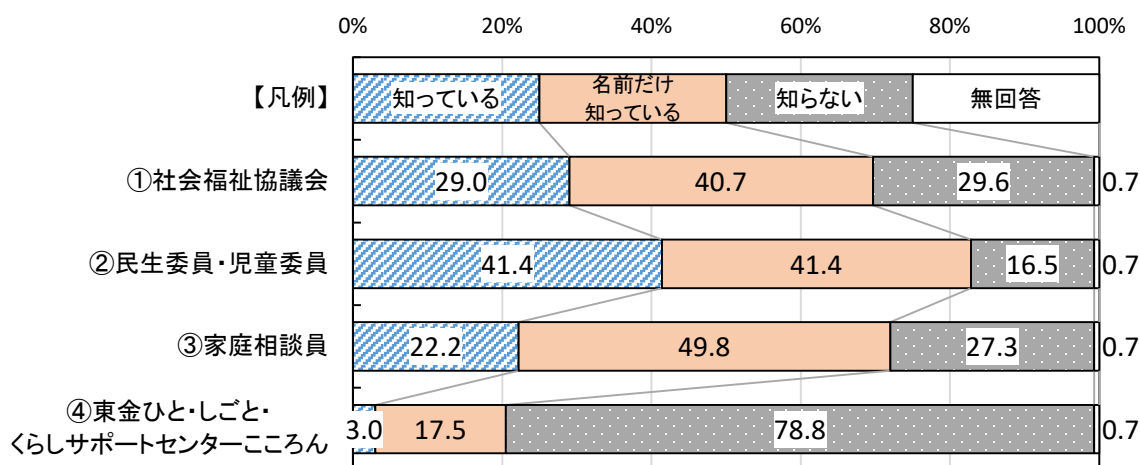
一方、「④東金ひと・しごと・くらしサポートセンターこころん」は20.5%と認知度は他の機関・団体に比べて低くなっている。

小5の保護者と中2の保護者に大きな違いはみられない。

表3-59 機関・団体などの認知度【中2の保護者】

	調査数	知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
①社会福祉協議会	297 100.0	86 29.0	121 40.7	88 29.6	2 0.7
②民生委員・児童委員	297 100.0	123 41.4	123 41.4	49 16.5	2 0.7
③家庭相談員	297 100.0	66 22.2	148 49.8	81 27.3	2 0.7
④「東金ひと・しごと・くらしサポートセンターこころん」	297 100.0	9 3.0	52 17.5	234 78.8	2 0.7

図3-55 機関・団体などの認知度【中2の保護者】(N=297)



第 3 章 事業成果

1. 子ども・保護者の評価

「ゆーすぽーと」の活動を振り返るために、利用した子どもたちとその保護者の方々を対象に、活動内容に沿ってアンケート調査を行った。対象は19名であったが、様々な理由で13人からの回答となった。内訳は、中学生8人（3年生5人、2年生3人）、小学生5人（6年生1人、5年生2人、3年生1人、2年生1人）だった。

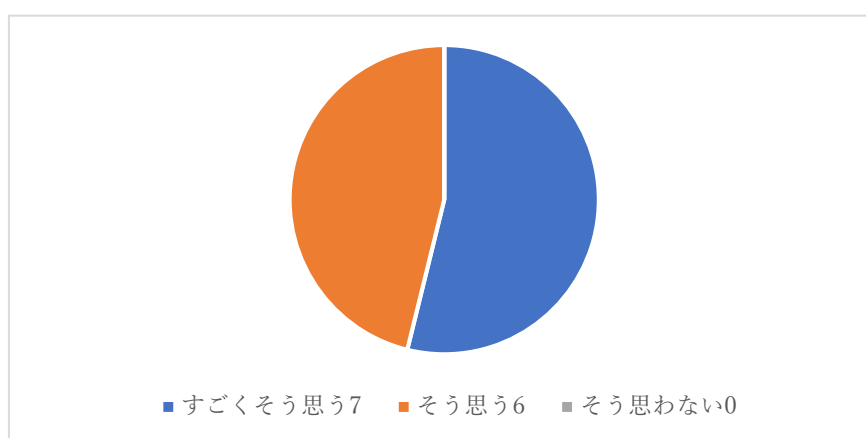
6人の調査が出来なかった理由は、・児童相談所への保護の後に施設入所（1）、居場所利用で高校に復帰してその後通ってきていない（1）、小学校低学年の子で保護者の送迎が困難になって長期間通ってきていない（4）。その内3人は姉妹である。

選択肢は、利用者本人に対しては「すごくそう思う」、「そう思う」、「そう思わない」の3択で行った。保護者の方には「わからない」の選択肢を加えて4択した。

（1）利用者対象のアンケート

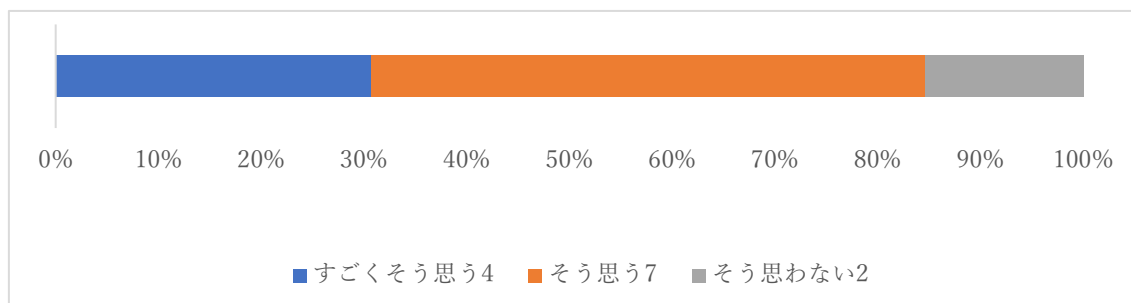
① ゆーすぽーとの開設意義について

問1 あなたは、「ゆーすぽーと」があってよかったですか。

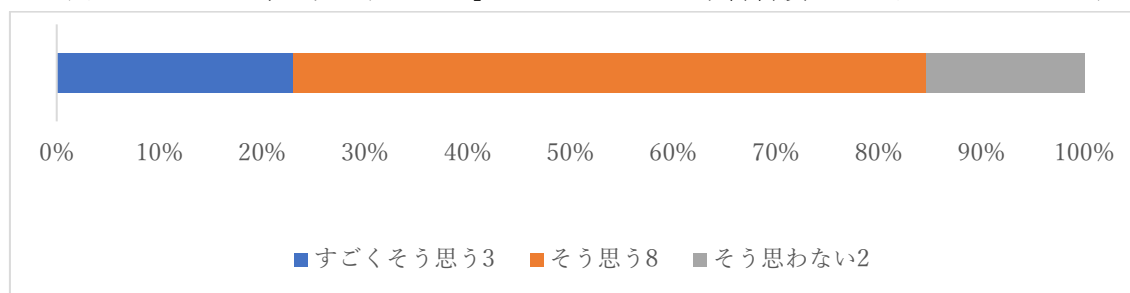


② 学習支援について

問2 あなたは「ゆーすぽーと」に参加してから学習成績は伸びたと思いますか。

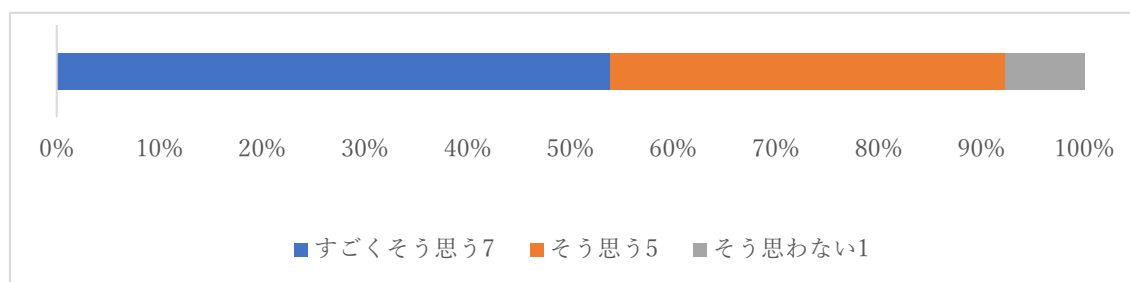


問3 あなたは、「ゆーすぽーと」に参加してから学習習慣が身に付いたと思いますか。

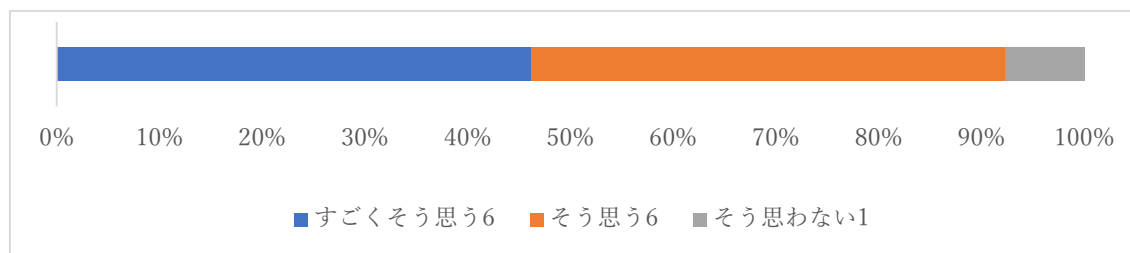


③ 居場所について

問4 あなたにとって、「ゆーすぽーと」は楽しく安心して過ごせる場所でしたか。

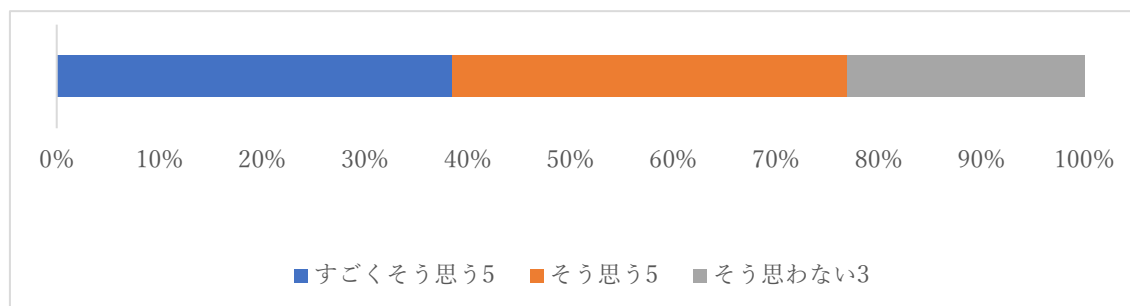


問5 あなたは「ゆーすぽーと」で信頼できる人と出会う事ができましたか。



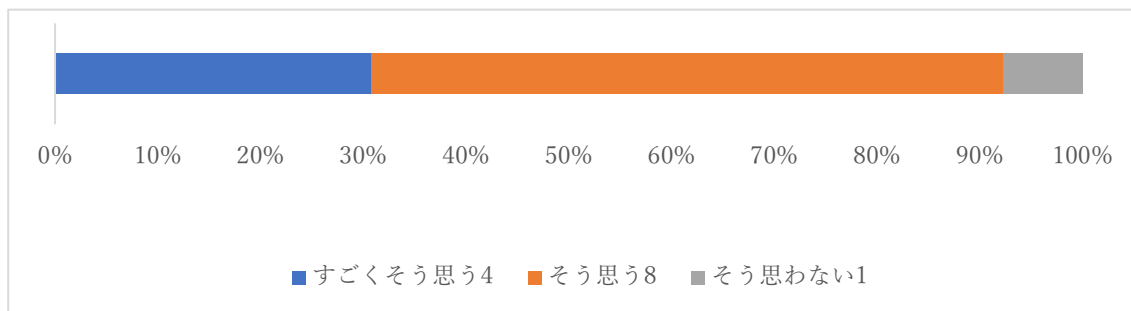
④ 相談支援について

問6 あなたは「ゆーすぽーと」で悩み事（進路、家庭や学校での悩みなど）相談できましたか。

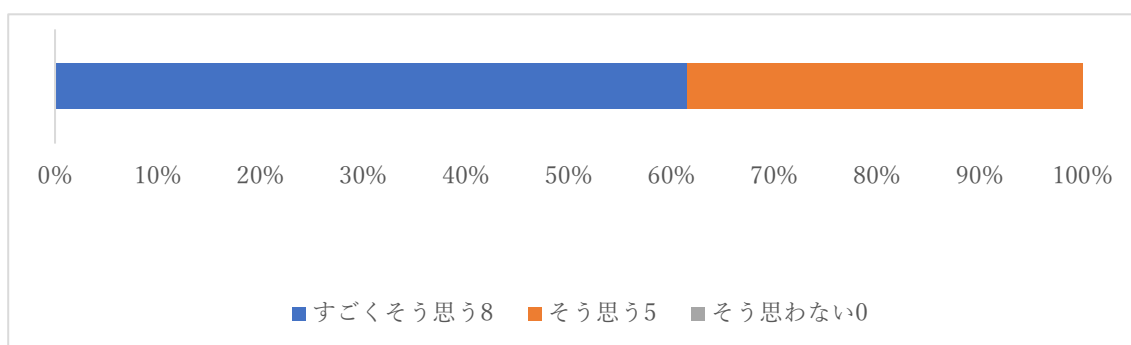


⑤ 社会・生活体験について

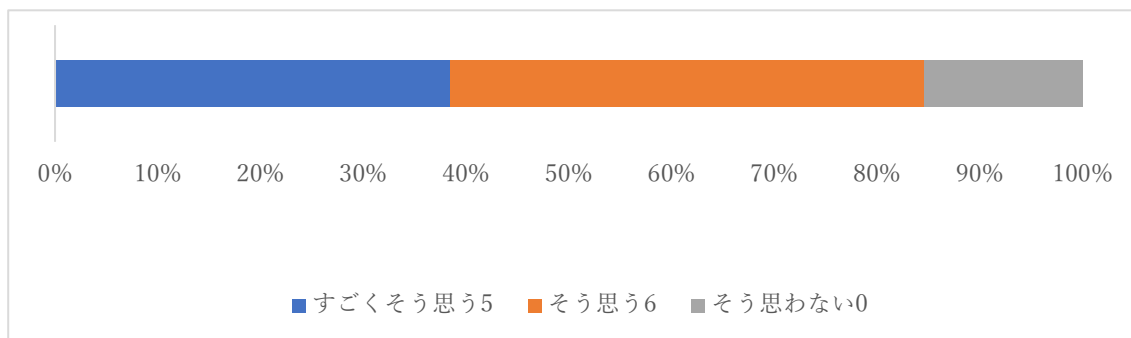
問7 あなたは「ゆーすぽーと」での社会体験（ジャム・恵方巻・餃子づくり、茶道教室などに進んで参加できましたか。



問8 あなたは「ゆーすぽーと」での社会体験は役にたつと思いますか。

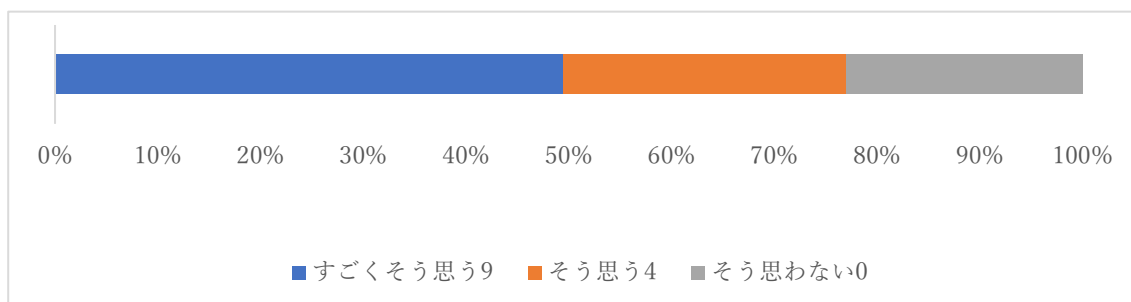


問9 あなたは「ゆーすぽーと」での日常の体験（掃除、食後の片付けなど）を楽しくできましたか。



⑤ 食事の提供について

問10 あなたは「ゆーすぽーと」での毎回の食事は楽しみでしたか。



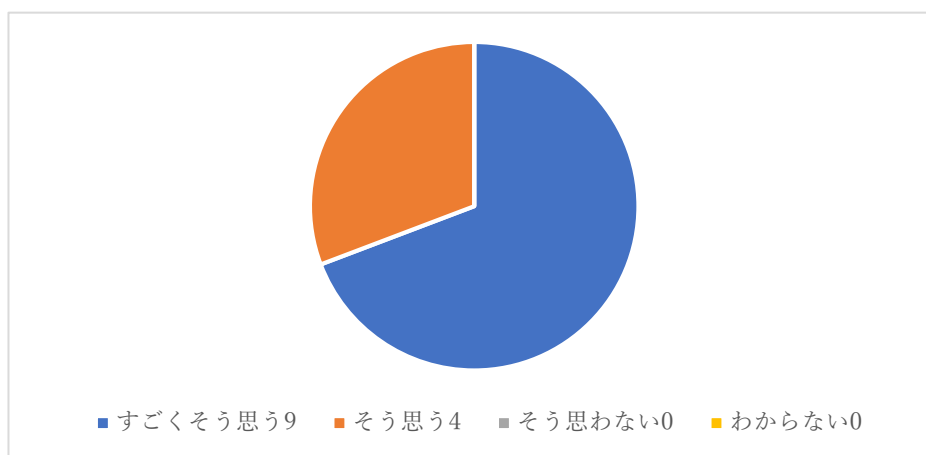
問 11 問 10 で「すごくそう思う」と「そう思う」と答えた人は、そう思った理由を下から選んで当てはまるものすべてを答えてください。

ア 作る人の顔が見え優しさを感じられたから	7
イ 作り立ての温かなご飯を食べられたから	6
ウ おいしいご飯を食べられたから	9
エ お替りができてたくさん食べることができたから	5
オ 友達と一緒に食べることができたから	9
カ 栄養のバランスを考えたご飯を食べることができたから	8
キ 珍しいものを食べることができたから	7
ク 旬（よくとれて味の最も良い時）のものがたべられたから	5
ケ 野菜や果物を多く食べられたから	8
コ その他（ ）	

（２） 利用者の保護者対象アンケート

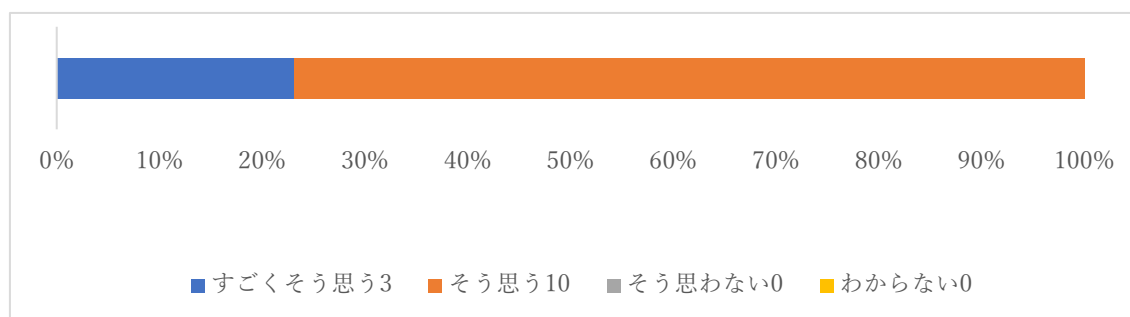
① 「ゆーすぽーと」の開設について

問 1 あなたのお子さんにとって「ゆーすぽーと」があってよかったですか。

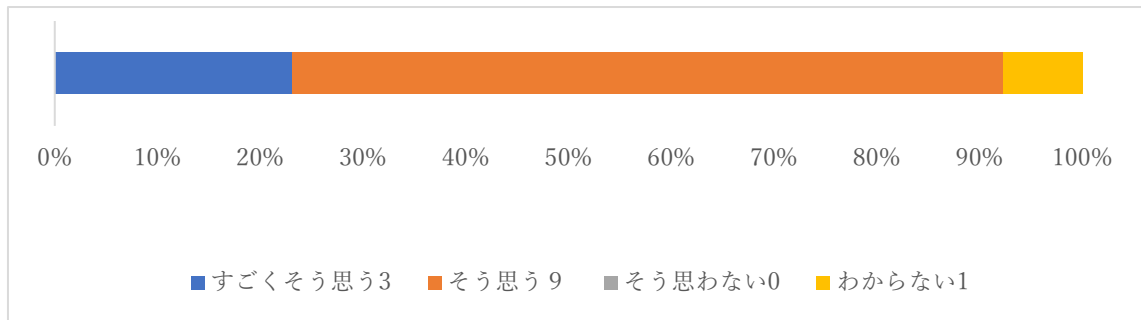


② 学習支援について

問 2 あなたのお子は「ゆーすぽーと」に参加してから学習成績は伸びたと思いますか。

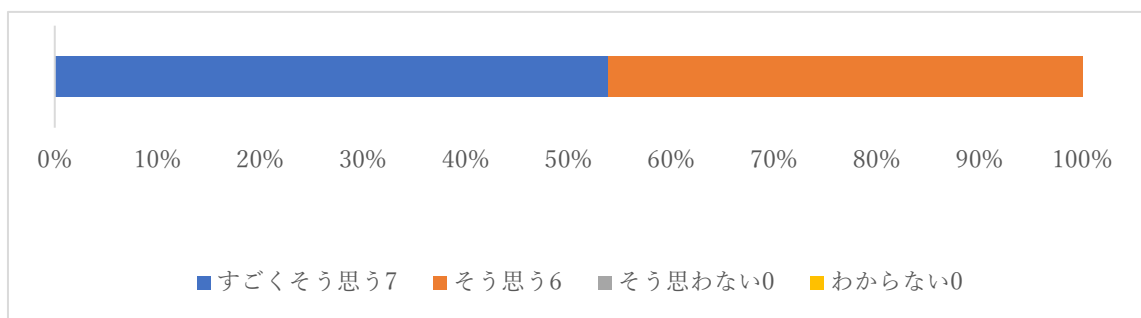


問3 あなたのお子さんは「ゆーすぽーと」に参加してから学習習慣が身についたと思いますか。

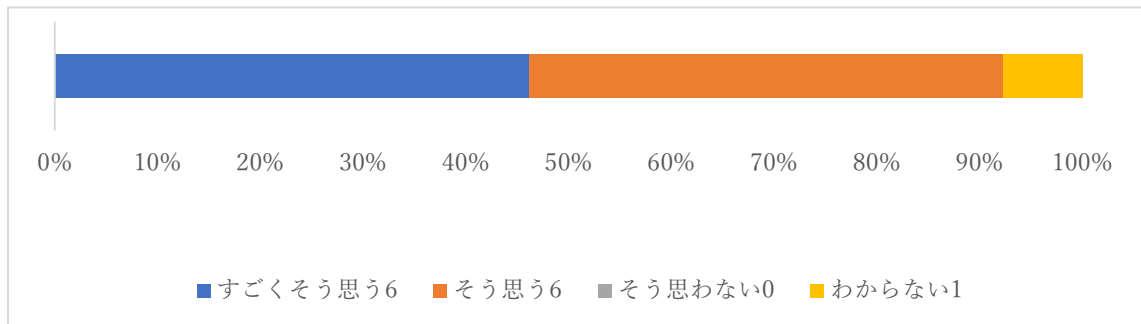


③ 居場所について

問4 あなたのお子さんにとって「ゆーすぽーと」は楽しく安心して過ごせる場所だったと思えますか。

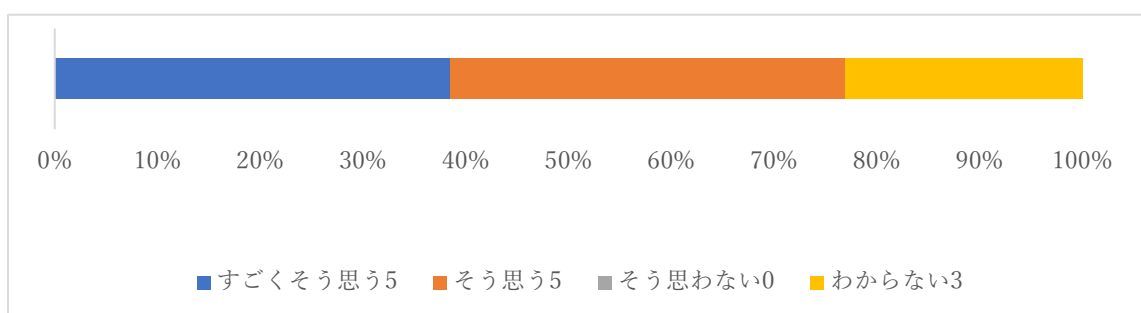


問5 あなたのお子さんは「ゆーすぽーと」で信頼できる人と出会うことができたと思えますか。



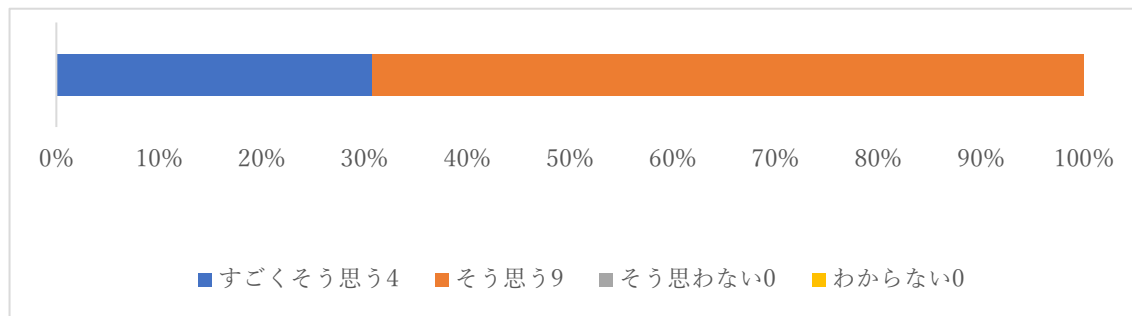
④ 相談支援について

問6 あなたのお子さんは「ゆーすぽーと」で悩み事を（進路、家庭や学校などでの悩み事など）を相談できたと思えますか。

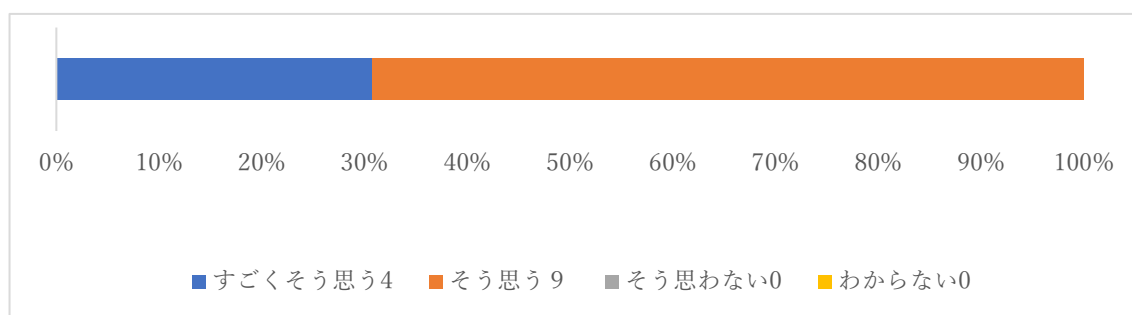


⑤ 社会・生活体験について

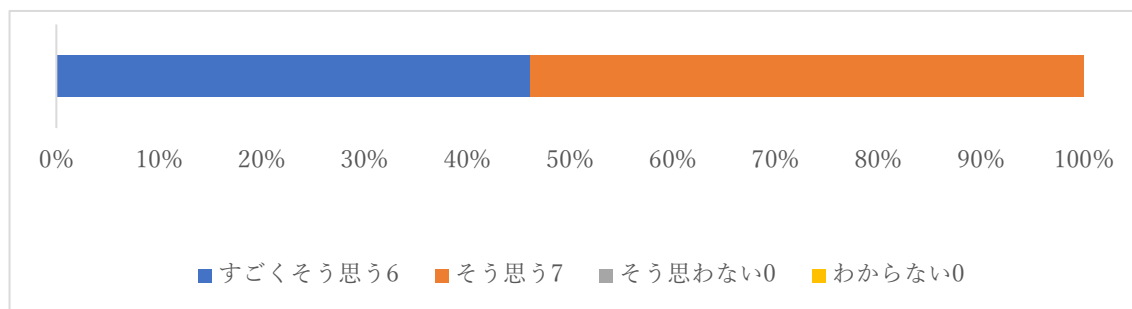
問7 あなたのお子さんは「ゆーすぽーと」での社会体験（ジャム、恵方巻、餃子づくり、茶道教室など）に進んで参加できましたか。



問8 あなたのお子さんにとって「ゆーすぽーと」での社会体験（ジャムづくりなど）は役立つと思いますか。

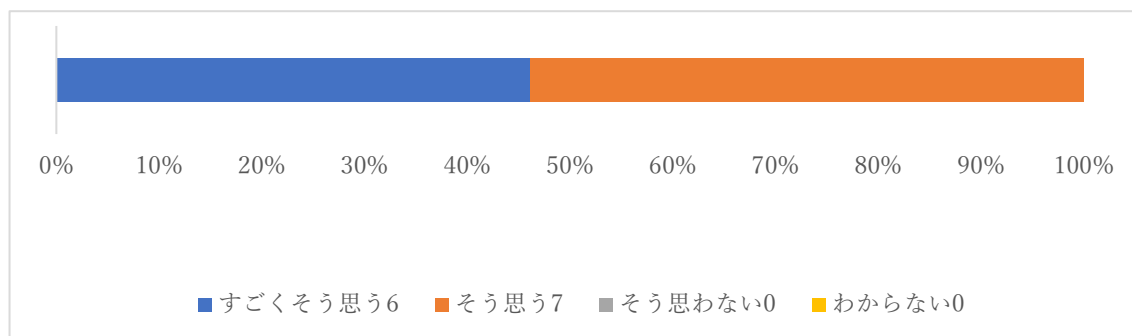


問9 あなたのお子さんにとって「ゆーすぽーと」での日常の体験（掃除、食後の片付けなど）を楽しくできたと思われますか。



⑥ 食事の提供について

問10 あなたのお子さんは「ゆーすぽーと」での毎回の食事は楽しみにしていましたか。



問 11 10 の質問で「すごくそう思う」と「そう思う」と答えた人に質問します。あなたのお子さんがそう思ったと思われる理由を次の項目から当てはまるすべてを選んでください。

ア 作る人の顔が見え優しさを感じられたから	4
イ 作り立ての温かなご飯を食べられたから	5
ウ おいしいご飯を食べられたから	5
エ お替りができてたくさん食べることができたから	3
オ 友達と一緒に食べることができたから	10
カ 栄養のバランスを考えたご飯を食べることができたから	7
キ 珍しいものを食べることができたから	5
ク 旬（よくとれて味の最も良い時）のものがたべられたから	6
ケ 野菜や果物を多く食べられたから	3
コ その他（ ）	

（３） 利用保護者の声

- ・学校と違う先生や友達と出会い、勉強に向き合う気持ちが変わったように思います
- ・日常生活の体験や友達との楽しい出来事を細かいところまでよく話してくれます
- ・「ゆーすぽーと」に通い始めてから子どもは前向きに考えられるようになりました
- ・塾に行かせられなかったので学習指導をして頂いてありがたく感謝しています
- ・公立高校に合格することができました。感謝しています。
- ・「ゆーすぽーと」での経験はこれから生きていく上で芯になると思います
- ・学校以外の友達ができて明るくなりました
- ・仕事で帰宅が遅くなり一人で留守番をしておなかをすかしていたが、学校が終わってからいる場所があって安心できるようになりました
- ・勉強する習慣ができてきました
- ・元は親の至らないのが原因なのですが、このような機会を作っていただけてただ感謝あるのみです
- ・子どもは喜んで「ゆーすぽーと」に通っています
- ・離婚をして何もしてやれずママの余裕も無くなって寂しい思いをさせている中で、とても楽しそうに勉強していて「塾に行きたい」という娘の願いが叶ったように思います

2. 子ども達の評価

中2・女性

『私たちのもう一つの家』

私には「ゆーすぽーと」によって得ることができたものがたくさんあります。人のことを信じる心、食べ物を粗末にしてはいけないこと、自律、相手の心を思いやるなどです。そんな数ある中でも、特に得ることができたのは自分の居場所です。「ゆーすぽーと」ではたくさんの人に出会い、たくさんの仲間である味方ができました。自分のことを認めてくれる人や相談を聞いてくれる人、自分のことをしかってくれる人、いっぱい出会いました。

そんな人たちと関係を築いていくうちに飾らない自分でいいんだと感じました。また、「ゆーすぽ

一と」には個性豊かで変わった人が多くいます。私はよく変わっていると言われるので、「ゆーすぽ一と」は自然体でいられます。ここは私のもう一つの家です。

でも今、「ゆーすぽ一と」がなくなるのではないかと不安で悲しくなります。どうか、私たちの居場所をなくさないでください。「ゆーすぽ一と」は私たちのもう一つの家です。

中3・男性

『社会人になるために必要なことを学べる場』

僕が「ゆーすぽ一と」に入ったのは、今年の8月後半です。「ゆーすぽ一と」に入った理由は、受験があることと、塾に入りたくても親の収入が少ないことで入りました。「ゆーすぽ一と」を知ったのは、前から「ゆーすぽ一と」に参加している友達の紹介でしりました。

「ゆーすぽ一と」に参加してみて、先生や友達がとても優しく元気で、自分の緊張が和らげてすごく居心地のよいところだなと思いました。学力面では、「ゆーすぽ一と」に参加する前にくらべて学力が上がりました。また、「ゆーすぽ一と」では勉強だけでなく食事ができます。家では満足にバランスよく食事がとれていないので「ゆーすぽ一と」でバランスの整った食事がとれてとてもありがたいです。

また、これからの社会人になるために必要なことも学べると思いました。たとえば、食事のあとの後片付け、食器洗いや掃除などをやっています。これらは、一人ひとりがすすんで積極的に手伝っていると思います。小さい子たちは大きい人の姿を見て、すすんでみんなの手伝いをしています。これらは、これからの社会人になるために必要なことだと思います。

「ゆーすぽ一と」では学力だけではなく、健康な体をつくれて、これからの社会人になるために必要なことも学べるすばらしいところだと思います。

中3・女性

『相談することができて、すっきりし安心できた』

「ゆーすぽ一と」にさんかしてみても、よかったことはたくさんあります。

一つ目は、小学校から学習塾に入りたかったのですが、お金がなくて入れませんでした。なので、「ゆーすぽ一と」ができてとても嬉しかったです。

二つ目は、勉強できる場や教えてくれる先生がいてテストの点数が上がったことです。家では勉強する気がおきず、すぐに携帯を手に取りいじってしまったりするのですが、「ゆーすぽ一と」に来ると、「よし。勉強しよう。」とすることができます。そして、分からない所は、昔はほっとしていたのですが、今はすぐに先生に聞くことができるようになりました。

三つめは、友達ができたことです。私は友達を作るのがすごく下手で、人見知りなので最初はすごく怖かったです。でも、先生が明るく話しかけてくれたことと、「ゆーすぽ一と」の子達が優しく話しかけてくれて、とても嬉しかったです。

四つ目は、悩みを先生方に相談できることです。私は学校であった悩みは家で話すことが多いのですが、家であった悩みを話せる場所がなく、友達に話すことが多く、悩みが解決することが少ないのですが、「ゆーすぽ一と」に行ってから先生方に相談することが増え、すごく自分自身がすっきりできて、とても安心できるのでよかったです。「ゆーすぽ一と」でおきた悩みも、先生に話すことができてよかったです。

母に反抗期だったときも、「ゆーすぽ一と」があったおかげですぐ相談できて母への反抗期も一週間で終わりました。

悪いところはありません。日々、「ゆーすぽーと」に来る時がすごく楽しみです。私は「ゆーすぽーと」に約半年間来てよかったです。

中2・女性

『居場所が増えた』

私は去年の12月末に「ゆーすぽーと」の面接に来て、それから2か月が経ちました。

東金市に引っ越し来た私は、部活も退部してしまったので、他校の人や小学生のみんなと関わる事がなかったので、「ゆーすぽーと」で他校の人達と出会う事が出来てとても良かったです。

そして居場所が一つ増えたということです。2か月前までは学校と家しか居場所がなくて、放課後も休日にも外に出る事なく、ずっと家に居る事しか出来なかったけれど、今は毎週四日間

「ゆーすぽーと」に通うことで気分転換にもなるし、心の面でも一つ生きがいができたと思います。

だから、みんなにとっての居場所でもある「ゆーすぽーと」を継続してもらいたいです。

小5・女性

『何度もくり返してできるようになった』

「ゆーすぽーと」に参加して、いろいろなことを学びました。きらいなところを教えてもらって、それを何度もくり返してできるようになりました。いろいろな体験をして学んだり、日本の文化を教えてくれたり、そのような体験がいっぱいできていろいろなことがためになりました。

他にも、ここでのそうじやお手伝いをして学んだこともあるし、友達と一緒にまなんだり遊んだりすることができて、とてもうれしかったです。私は、最初に「ゆーすぽーと」に来たときはきんちょうして入りづらかったけど、実際に入ってみたら、知っている友達も知らない友達もみんな話しかけてくれて、とても嬉しかったです。

「ゆーすぽーと」の先生方は、勉強を教えてくれたり、料理を作ってくれたりしてとてもすごいと思いました。

あと、私はとてもはずかしがりやです。でも、「ゆーすぽーと」でみんなといるとそれがなくなります。もっともっと通っていやなところを直したいです。

「ゆーすぽーと」では、いろいろお世話になっています。大人になったら少しでも恩返しができればいいなと思いました。

小5・女性

『目標をもって生活していきます』

わたしは、初めて「ゆーすぽーと」に来たときとてもきんちょうしました。それから今は「ゆーすぽーと」に行っています。でも、たいへんなことが二つあります。

一つ目は、学校をおわったあと、「ゆーすぽーと」に行くとてもつかれます。べんきょうは、だいじです。なぜなら、自分がおとなに、なったらこまるからです。

二つ目は、「ゆーすぽーと」に行きたいけど、みんな、わたしのことをきらいだと、おもいます。だから、わたしは、「ゆーすぽーと」に行っていないのか、不安があります。自分の目標は、テストで百点をとるためにがんばりたいです

みんながんばっているから、わたしもがんばるぞという気持ちがあるときもあります。これから目標をもって生活していきます。「ゆーすぽーと」では、たくさんのことがまなべました。体験学習の時、とてもたのしかったです。「ゆーすぽーと」があってよかったと思いました。

小2・女性

『一人でいる時間がすくなくなった』

わたしは、「ゆーすぽーと」に来る前、学校からまっすぐ家に帰って、みんなが帰ってくるまで一人ぼっちでした。でも、「ゆーすぽーと」にはいつてからは一人でいる時間が少なくなりました。「ゆーすぽーと」で食べるごはんは、おいしかったです。

ほかにも〇〇ちゃんが九九を教えてくれたりしました。ほかにも色々な体けんがありました。その中のわたしの一番楽しかったのは、木工教室です。わたしはキッチンにおくちょうみりょうなどがおけるのを作りました。せいかくにゆうと、おしえにきてくれた人がきってくれて、ドライバーでとめたりしてくれました。ペンキは自分でぬりました。わたしは人生ではじめての体けんだったのでたのしかったです。

中3・男性

『机に向かって勉強するようになった』

私は6月から「ゆーすぽーと」に参加しました。そこではたくさんの友達ができました。いろんな先生に勉強のことや生活のことなどをたくさん教えていただきました。私にとって、「ゆーすぽーと」はもう一つの学校のような場所でした。

「ゆーすぽーと」に来るようになってから机に向かって勉強するようになりました。他の学校の友達が出来て、いろいろな話をするのも楽しかったです。特になにより楽しい時間は食事でした。毎回食事を作ってくださったボランティアの方々や先生たちに大変感謝しています。全部美味しく、お腹いっぱい食べられて幸せでした。食事の後、みんなで協力して食器洗いを手伝ったこともとても楽しみでした。仲間意識が高まったように思います。

4月から僕は高校に行きます。「ゆーすぽーと」で学んだことを活かしてがんばっていきます。みなさん、どうもありがとうございました。

中3・女性

『いごこちのいい場所だった』

昨年の6月から「ゆーすぽーと」に参加して、いろんな体験ができたことがとてもうれしかったです。

友達が出来たり、勉強がだんだん出来る様になった事がとても良かったです。ここに来て半月過ぎた頃から友達がたくさん出来て、いっぱい話せるようになりました。今までなかったのもとても貴重でした。

ここは、私にとってはとてもいごこちのいい場所です。ここを卒業するのはとてもさびしいですが、高校に行ってもがんばります。

最後に、勉強を教えて下さった人、料理を作ってくれた人、体験でたくさん教えて下さった方々、ありがとうございました。

中3・男性

『おいしい料理が幸せだった』

僕は7月ころ「ゆーすぽーと」に入りました。きっかけは、ハートフルの先生の紹介でした。紹介の後には「ゆーすぽーと」の先生と話をし、妹と弟と一緒に入りました。最初は人数が少なかつたけ

ど、後から人数が多くなりました。多くなってからは、友達もでき、嬉しい気持ちになりました。

「ゆーすぽーと」では、食事ができます。食事は日にちによって違っていて、大好物もあれば、大嫌いな食べ物もありました。「ゆーすぽーと」は、野菜が出るので野菜から食べてから、大好物を食べました。大嫌いな食べ物は残していたけど、頑張って食べているうちに克服でき、残さないで食べられるようになりました。

「ゆーすぽーと」の食事は、毎日違う先生達が料理しているので、行くたびにワクワクして料理を食べています。「ゆーすぽーと」はおいしい料理を作ってくれます。その料理を食べている僕は幸せだと思いました。

「ゆーすぽーと」はボランティア活動で、それを続けている先生はすごいし、尊敬します。そして、改めて「ゆーすぽーと」に来て良かったと思います。ここで学んだことが役に立ったので、本当にありがたかったし、これからも「ゆーすぽーと」で学んだことをいかしたいと思いました。本当にありがとうございました。

※ 最初に掲載した中2・女性の作文のみ題名は本人が付けたものです。他は、文中から引用して付けさせていただきました。また、文中の「ゆーすぽーとの」の「」は読みやすいように付け加えてさせていただきました。掲載順は提出順。

3. 報告会の評価

I あなたのことを教えてください。

	①男性	②女性	無回答
性別	10	15	1

	①20代未満	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代以上
年代	0	1	4	1	3	17

	1年11ヶ月	20年	26年11ヶ月	無回答
経験年数	2	3	1	21

	社協関係	子育て、学習支援	児童福祉	市役所	相談員	市議会議員	学生	農業	教師	無回答
職種	1	1	1	1	1	1	1	1	2	16

II 今回の内容はいかがでしたか？

1 明石さんの講演

①大変参考になった	②参考になった	③もう少し聞きたかった	④物足りなかった	無回答
15	9	0	0	2

<理由>

①大変参考になった

- ・歴史的な経緯から現在の状況がよくわかった。子供たちから出ているSDSを大人が感じ取りにくくなっているのではないかという言葉が心に響いた。心をすまして子供たちに寄り添いたい。
- ・こどもへの向きあい方、考え方が参考になった。
- ・人は「関係の中で生きている」という言葉は大変印象に残った。子供が関係を意識しながら、自ら行動を起こす時間を大切にする姿勢に感銘を受けました。
- ・心がうごきました。
- ・目からウロコでした。
- ・子どものかわり方が参考になりました。
- ・ステキなお言葉をたくさんいただき宝物が増えたような気分です。書ききれないくらいのお土産です、頑張ります。ありがとうございました。
- ・一番大切な「仕事」は「生き抜くこと」。こちらからの働きかけはしない等々「成程」。
- ・「人間は関係を生きている」「働く」というのは自分を生きる自分を生かす、「生き抜くことが一番大切な仕事」「支援者のする支援者にならない」「Beingが保証されてDoingになる」「一緒に元気になる」「生き合う」という言葉がとても印象だった。背中を押すのではなく、一緒に手を携えることなのかなあと思った。とても参考になった。考え方が大変参考になりました。やや時間がかかりもう少しコンパクトに話ししてほしかったです。
- ・「何かをするのではなく、何かをしてはいけないか。」かみあう、おりあう、生きあうそして『諒解』で頑張りたいです。

②参考になった

- ・他県の学習支援の様子がわかった。
- ・思いは伝わって来ましたが、行政、地域とどのように結びついているかを聞きたかった。
- ・「待つ」ことが大切なのは理解しているが、なかなかできないでいる。でも、やっぱり「待つ」が必要であることを再認識しました。
- ・心開くまで寄りそい、待つ勇気をもつことの大切さを感じた。
- ・明石さんの考え方がわかったから。
- ・教員が考える『教育相談・支援』の形と同じ部分、少し異なる部分がありとても参考になった。
- ・子どもに、何をしたいか、やりたいかを考えさせる（待つ）ことが、学校ではなかなかやれず熱心な保護者の方たちも、すぐシュースを差し出す方が多いと感じました。

2 「学び舎・ゆーすぽーと」の活動報告

①大変参考になった	②参考になった	③もう少し聞きたかった	④物足りなかった	無回答
14	7	3	0	2

<理由>

①大変参考になった

- ・東金に必要な活動です。
- ・こどもが喜んで「ゆーすぽーと」に通っていることがよくわかりました。食事について

保護者との感覚の違いにもびっくりしました。

- ・ ゆーすぽーとを必要としている人がたくさんいるということや子どもと大人のギャップを見ること、知ることができたため。利用者からの声は大切だと思いました。
- ・ 今はできないが、自分も協力したい。先生の力も大きいと思います。
- ・ 学級にいる子たちからは、なかなか学校で様子を聞くことができない。お世話になっている様子がわかり、頭が下がる思いでした。
- ・ 安心して学んだり過ごしたりできる場所であることを改めて実感しました。利用者のアンケートをもとに作られた活動報告に説得力がありました。
- ・ 見学させていただき、ある子の表情の明るさにびっくりです。いつまでも子どもたちのあったかい居場所として残して下さい。
- ・ 名前は知っていたが、活動内容が伝わってなかったから。
- ・ 居場所として着々と機能してきているようですがよく分かりました。子どもたちばかりでなく保護者の方々の居場所にもなったらよいかな！と
- ・ ゆーすぽーとに通っている子どもたちの様子・満足度がアンケートからよくわかりました。素晴らしい取り組みだと思いました。今後とも継続してこの素晴らしい取り組みが行われることを祈念しています。写真等があるとより具体的にわかりやすかったですね。

②参考になった

- ・ 「ゆーすぽーと」の活動内容がよくわかった。子ども達の素直な感想が聞けてよかった。心から応援したいと思った。まだまだ「ゆーすぽーと」を知らない、利用できない子ども達をどうつなげていくかを感じた。
- ・ 「ゆーすぽーと」の活動が大変くわしくわかりました。多くの人々の大きな輪はさらに広がり、子供たちが安心して自信をもっと楽しくすごせるよう願っています。
- ・ 市内の実態をある程度把握できた。
- ・ 地元これだけ充実した内容の活動があるのは素晴らしい？（本当は必要でないのがよい）一人でも多くの子供の自立のため、がんばってほしいと思います。

③もう少し聞きたかった

選択している方はいたが、理由の回答はなかった。

3 東金市子どもの生活実態調査の報告

①大変参考になった	②参考になった	③もう少し聞きたかった	④物足りなかった	無回答
7	10	1	1	7

<理由>

①大変参考になった

- ・ 実状を知ることができた。

②参考になった

- ・自分が子どもと関わるのに全体的な子どもの様子が伺えたので、参考になった。協力してくださった学校に感謝したいと思う。
- ・生活におわれて、美術館とかコンサート等に親と出かけなくなっている。共通の趣味をもつようにしていくようになれば、会話が増えていくのでは...
- ・小中学生ともに家庭学習の時間がすくないことが気になりました。
- ・まだ途中までなので、これから読みます。とても重要な調査だと思います。
- ・報告を聞けませんでした。資料を参考にさせていただきます。

③もう少し聞きたかった

選択された方はいたが、理由の回答はなかった。

④物足りない

- ・集計後、分析後の報告に期待。

Ⅲ 今回の報告会を聞いて、あなたは今後何かできることがあると思いますか。

①とてもそう 思う	②そう思う	③あまりそう 思わない	④わからない	無回答
5	15	1	1	4

<理由>

①とてもそう思う

- ・ボランティア協力したい。
- ・自分にとっても本当に居心地の良い場所になりそうです。いつまでもみなさんと一緒に居たいという気持ちになりました。まだ一度しか伺っていませんが...
- ・ボランティアがんばります。

②そう思う

- ・関わる親子さんへの情報の素としていきたい。子ども達に関わっている知り合いに伝えたい。
- ・フードバンクの声かけをして、子ども食堂の回数が増えればいいですね。
- ・ボランティアに興味があったので。(できそうだなと思った)
- ・「ゆーすぽーと」の運営がしやすい形での参加が大切だと思います。
- ・東金の課題に今後取り組んでいきたい。
- ・大学生の立場を利用してやりたいことがあるため。
- ・支援臭を出さないように②にしました(笑) 今後は農業体験なんかどうでしょうか？
- ・自分にできること、一生懸命やらさせていただきます。今後もよろしくお願いします。
- ・支援を必要としている生徒は、学習・経済・発達障害など多く内在しています。多くの生徒に支援を向けたいと思っています。

③あまりそう思わない

- ・自分たちの生活で精いっぱいです。

④わからない

選択はあったが、理由の回答はなかった。

4. 事業成果のまとめ

本事業を助成頂くにあたり、期待される成果6つ挙げた。

- ・まず、子どもの学習支援や相談の居場所を開設することにより、貧困世帯の子ども達の拠り所ができる。
- ・学習支援と体験学習の両面からの支援により、学習の習慣や学力アップというだけでなく、コミュニケーション力やメンタル面での向上のきっかけを作ることができる。
- ・一つひとつの支援ケースを積み重ねることにより、各種関係機関・団体・地域住民に対し具体的な事例を通じて、貧困の理解や学習支援等の重要性を深めることができると考えている。
- ・子ども及び世帯の貧困状況の実態調査を通じて、学習支援のみならず、子どもとその親への支援の今後の支援についてもより深めるきっかけをつくることができる。
- ・個別に調査票を渡せることによる事業の啓発効果も期待できる。
- ・コーディネーターを設置することにより、本人を中心に世帯や学校、その他関係機関との調整がしやすくなると共に、包括的な支援が期待できる。

以上の6つの点踏まえて、成果を具体的に見てみると以下とおりである。

① 多くの利用者が自分自身の成長を実感し自信を育んでくれた

プリントやノートなどが友だちからのぞき込まれないように学習に取り組んでいた子どもたちが周囲を気にしないで堂々と学習に取り組む姿が多くなった。学校での成果や成績を「ゆーすぽーと」に持ってきて積極的に見せるようにもなってきた。

② 5人の受験生が互いに助け合い、そろって公立高校前期選抜で合格できた

安心できる空間で、適度の競争と教え教わる相互支援で学力を増し、お互い励ましあって受験の重圧を取り除き、見事にそろって合格できた。「ゆーすぽーと」に係る全員で祝福し喜び合った。また、このことが、他の子どもの励みやスタッフ・ボランティアのモチベーション向上となっている。つなぎの機関や関係団体に対してのアピールともなった。

③ 利用者の保護者がゆとりを実感し、精神的に安定した

子どもたちの生活にリズムができて落ち着きを増したことや学習に取り組んでいるという安心感、それに子どもとの適度の距離ができたことによって、精神的に不安定さを抱えていた保護者にも落ち着きが出てきた。

④ 関係機関とのネットワークが構築された

子どもたちや保護者を支援する多くの機関と連携できる体制ができ、子どもたちやその保護者、世帯の情報等を共有し、協議しながら一貫した方針で支援にあたることができ、支援を深め充実することができた。

⑤ 関係機関に「ゆーすぽーと」の必要性が認知された

関係機関から多くの紹介があったことは、その有効性、必要性を認めていただいたものと思う。また、機関及び所属する個人の方々から物心両面でたくさんの支援が受けられていることもその表れと理解している。

⑥ 調査を通じて子どもと世帯の実態把握が出来、関係機関とも共有し、将来の子ども支援に向けた材料となった

東金市において、今回のような世代を跨いで、かつ子どもと保護者向けに調査を実施した実績がないため、今後の基礎資料となると共に、経年調査等の基礎ともなると考える。

⑦ 大きな支援者・ボランティアのネットワークができた

「ゆーすぽーと」の運営に当たって実に 139 人以上の善意が寄せられた。大きな収穫で、「ゆーすぽーと」の財産となった。多くの皆さんの支援があったからこそ、子どもや保護者の皆さんから「肯定的な評価」をいただけたのだと思う。

⑧ 多くの教育関係者に福祉の分野を理解していただける窓口となれた

忙しい仕事の合間に多くの教育関係者に施設を見学してもらえた。また、学校を休みがちな利用者と担任の先生との触れ合い、連絡などの場として活用していただけた。

⑨ 教育と福祉と子育ての接点となり、子どもを主役に据えた情報交換ができた

学校と連携して、得られた学校生活などの情報は「ゆーすぽーと」で支援する上で大変有効だった。また、「ゆーすぽーと」からの学校への情報提供も子どもへの理解が深まり、指導に役立てていただけたのではないかと理解している。

⑩ 多様な人と「出会い」「つなぐ」「引き出し合う」場、「ゆーすぽーと」に多様な機能があり、その可能性を感じた

精神面で休職中の先生がボランティアを申し出てきてくれたケースがあった。公務員の立場で実現しなかったが、この雰囲気でのおしゃべりは有効だと思い誘った。復帰直前のリハビリの場としての可能性を感じた。

調理ボランティアとして来ていただいていた方がお孫さんの発達が心配なので見てほしいとの話があり、食事を作っていただいている間にお孫さんを預かって動きを観察して、専門機関への繋ぎをした。

教職を志望している学生がボランティアをしてくれている。福祉マインドをもった教員養成の場としてもその有効性を感じる。

第4章 新たなニーズ

1. 新たなニーズ

(1) 実践から見てきたこと

ゆーすぽーとを開設・運営して、子ども達の背景に見えてきたことは、家庭の経済的な困窮のみならず、ネグレクトをはじめとした児童虐待や障がいや病気で十分に子育てができない親と家庭の状況である。また、それが深刻な状況にあるということである。

実際、東金市を管轄する東上総児童相談所内の虐待件数をみると、東金市は、上位2位を常にキープしている状況である。当然、要対協（要保護児童対策地域協議会）で扱う件数も多く、非公開情報のため、実際の数字は不明であるが、東金市担当課（子ども課）の話よれば、前年度比の1.5倍増加という状況である。

この状況から、子育て環境が十分に整わない家庭や親を持つ子どもの居場所や相談の場づくりも必要であることが見えてきた。

一方で、こうした状況を東金市としても対応していきたいと考えているが、財政難のため人材の配置が厳しく、個別性の高い支援であるために、求められるスキルも高く、対応が難しい状況である。また、東金市内の民間団体・機関レベルでも、今日の家庭が抱える問題や子育て困難な状況を理解し、子どもの支援に関わるノウハウがある団体がないのが現状である。

(2) ニーズへの対応に向けて

ゆーすぽーとは、現在の活動を維持・継続する一方で、そうした子どもの受け入れ強化も図りつつ、家庭や保護者への相談支援も関係機関と連携して強化していきたいと考える。また、段階的ではあるが、外部機関・団体と連携して、家庭や保護者の場づくりや関係機関と連携し包括的な支援にも努めていきたいと考える。

事業成果でも述べていることであるが、「ゆーすぽーと」は、多様な可能性を秘めており、その源は、かかわるスタッフや地域の人達の思いや願い、いわばボランティアによって支えられているため、新たなニーズに対しても柔軟に対応していけるものと考えている。

また、今回の助成事業により行政機関や各種相談機関とのネットワークができたことにより、複雑・困難な課題に対し、多様な機関からのアプローチや連携した対応ができるため、十分対応できると考える。

一方で、ボランティアの力を引き出すことや、関係機関とのネットワークを維持・継続・発展させていくためには、理念をもった専従で常勤的なコーディネーターが必要であり、その体制確保、さらなる養成・育成が重要であると考えている。

終章 まとめ

1. まとめ

本会は、独立行政法人福祉医療機構平成 29 年度社会福祉振興助成事業の助成を受けることにより、生活困窮状態にある世帯の子ども「居場所・学習の場づくり」「個別的な学習支援」「社会・生活等体験学習」等を実施する拠点をつくり、地域の各種機関・団体と連携協働し、ボランティアの協力等も得て、子どもとその家庭を支援していくカタチを 1 年の中で、一定の成果を達成しつつ実施することができた。

一方で、事業を実施する中で出会った 10 数人の子どもとその家庭を取り巻く環境や課題は多種多様であり、その支援にあたっては、支援者間での相違や理解不足もあり、子どもやその家族というよりも、支援側の見立て方やかかわり方、専門性に課題があることを実感させられた。また、東金市内の 5 歳児、小学 5 年生、中学 2 年生の 3 つの年齢に分けて行った実態調査の結果を見ても、保護者それぞれの生活環境や価値観、関係性等にもバラつきが出てきており、保護者へのサポートが改めて重要となってきた。

よって、こうした状況を踏まえた上で、本会では、ゆーすぽーとが対応する対象の幅や機能強化を考えている。

しかし、そうした取り組みを支える補助金や助成金は、対象や問題・課題により縦割りのものが多く、複数事業を受けても事業の仕切りが難しい。また、事業によっては、補助や助成の対象になりにくい。

特に、ゆーすぽーとが有する生活困窮世帯の子どもに対する「居場所」「学習支援」「社会体験」「相談支援・コーディネート」の 4 つの機能のうち、「相談支援・コーディネート」機能は、今回の事業の根幹を支える役割を担っているものの継続的な補助や助成の対象になりにくい。

コーディネーターなしでは、子育て関係機関と教育機関と福祉関係機関等の調整しながら、子どもやその家庭と向きあい顔の見える支援を実施することはできなかったと考える。

今後、児童相談所や学校以外に、就学期の子ども自身が、気軽に相談できるような機関や場が細やかに必要であり、また、保護者への相談支援、サポートも切り離すことのない一元的な支援ができる対象者横断の制度や仕組みとして整えることが、今まさに必要ではないかと考える。

ゆーすぽーとの実践を進めながら、あるべき支援を更に検討していきたいと思う。

参考資料

学び舎 ゆーすぽーと

子ども達の生きる力を育み、自立を支援する拠点

アットホームな居場所、学習の場、学習支援、体験活動等を用意してお待ちしています。
お気軽にご相談ください！見学大歓迎！

【いつやっているの？】

月曜日・水曜日・金曜日・土曜日
午後 3 時～午後 7 時（※要相談）

注：夏休み・冬休みは、時間が変更になります。

【誰が利用できるの？】

小学生・中学生（※高校生は要相談）

【どんなことをしているの？】

①学習支援

教職員経験者、大学生・院生など学習指導
が可能な人材による支援。

②社会・生活体験

職業体験や農業体験、国際交流、文化芸術、
スポーツ等の様々な体験・経験を支援

③相談支援

学習・進路・生活環境等の相談支援

【利用にあたっては…】

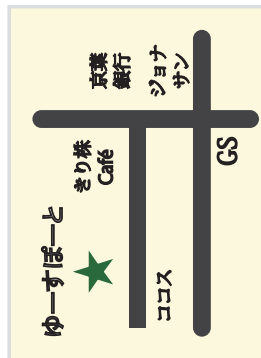
家庭教育相談員・民生児童委員・学校の先生・
各種相談支援機関・行政機関にご相談くださ
い。

【お金はかかるの？】

利用に伴う料金や実費負担はありません。
【教えてくれる人はどんな人？】

①コーディネーター（非常勤職員 3 名）
※教職員及び福祉関係相談員経験者

②ボランティア
※教員・福祉関係・大学生等



(※東金駅より車で 5 分、徒歩 15 分)

【お問い合わせ先】

学び舎 ゆーすぽーと

〒283-0006 東金市東新宿 1 2-2 5

Tel: 0475-86-6543 / Fax: 0475-86-6544

E-mail: usp@vega.ocn.ne.jp

担当：藤田・中村・今井

【実施団体】

特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎

〒283-0802 千葉県東金市東金 425-2

Tel: 0475-53-3630 / Fax: 0475-53-3631

www.chibasha.com

担当：太齋（ださい）

学び舎 ゆーすぽーと

私たちは、生活環境や人間関係等に恵まれず、暮らしが困難にしている又はその恐れのある
家庭の子どもに対し、関係機関と連携・協働しながら、子ども自らが、自分の能力を伸ばし、
社会で「自律」して生きていく力を育み・支援する拠点を開設しました。
ぜひ一度おいでください。また、お気軽にご相談ください。お待ちしております。

【営業日・時間】

月曜日・水曜日・金曜日・土曜日
午後 3 時～午後 7 時（※要相談）

注：夏休み・冬休みは、時間が変更になります。

【利用対象】

小学生・中学生（※高校生は要相談）

【活動概要】

①学習支援

教職員経験者、大学生・院生など学習指導
が可能な人材による支援。

②社会・生活体験

職業体験や農業体験、国際交流、文化芸術、
スポーツ等の様々な体験・経験を支援

③相談支援

学習・進路・生活環境等の相談支援

【利用方法】

家庭教育相談員・民生児童委員・学校関係・
各種相談支援機関・行政機関などからの紹介
及びつなぎを基本とします。

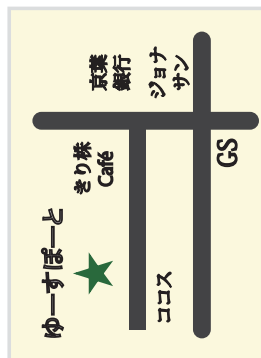
【料金等】

利用に伴う料金や実費負担はありません。

【実施体制】

①コーディネーター（非常勤職員 3 名）
※教職員及び福祉関係相談員経験者

②ボランティア
※教員・福祉関係・大学生等



(※東金駅より車で 5 分、徒歩 15 分)

【実施団体】

特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎

〒283-0802 千葉県東金市東金 425-2

Tel: 0475-53-3630 / Fax: 0475-53-3631

www.chibasha.com

担当：太齋（ださい）

1Dayボランティア募集



子ども達に自分の“知識”や“技術”を伝えたい人
 子ども達と一緒に学びたいと思っている人
 子ども達に“ご飯”や“おやつ”をつくらせてあげたいと思っている人
 子どもに関わる活動をしたいと考えている人
 子ども達に「教える」とはどういうことか?を学びたいと思っている人
 子どもに関わる仕事をしたいと思っている人
 子ども一人ひとりに寄り添いたいと思っている人
 未来をつくる子ども達のために何かしたいと思っている人!あなた…

あなたの“思い”と“時間”と“力”を少しでも、地域の子ども達のために活かしてみませんか?

- 実施期間 平成29年6月11日～平成30年3月31日
- 活動日 月曜日・水曜日・金曜日・土曜日
- 活動時間 平常時 15:00～19:00
長期休業(夏休み・冬休み等) 9:00～13:00
- 活動内容 小学生・中学生への学習支援、学習の見守り・サポート、社会体験のサポート、食事づくり、話相手など。
- 活動条件 毎月1回、2時間程度

お問い合わせ先

学び舎 ゆーすぽーと
TEL.0475-86-6543



1Dayボランティア募集



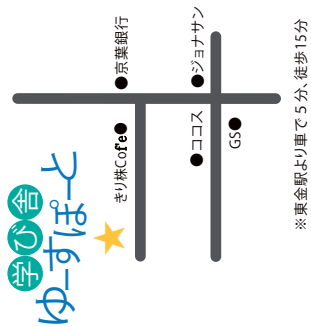
子ども達に自分の“知識”や“技術”を伝えたい人
 子ども達と一緒に学びたいと思っている人
 子ども達に“ご飯”や“おやつ”をつくらせてあげたいと思っている人
 子どもに関わる活動をしたいと考えている人
 子ども達に「教える」とはどういうことか?を学びたいと思っている人
 子どもに関わる仕事をしたいと思っている人
 子ども一人ひとりに寄り添いたいと思っている人
 未来をつくる子ども達のために何かしたいと思っている人!あなた…

あなたの“思い”と“時間”と“力”を少しでも、地域の子ども達のために活かしてみませんか?

- 活動日 月曜日・水曜日・木曜日・土曜日
- 活動時間 平常時 15:00～19:00
土曜日 14:00～18:00
長期休業(夏休み・冬休み等) ※変更になります。
- 活動内容 小学生・中学生への学習支援、学習の見守り・サポート、社会体験のサポート、食事づくり、話相手など。
- 活動条件 毎月1回、2時間程度

お問い合わせ先

学び舎 ゆーすぽーと
TEL.0475-86-6543



学び舎 ゆるぽーと

<中間報告会／2017.11.17>

特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎



もう一つのお家…
もうひとつの居場所…



“その子らしさ”を育むために…
必要な「関わり（出会い・支援etc）」「時間」「場」を提供

[目的]

ここは、生活環境や人間関係等に恵まれず、暮らしが困窮している又はその恐れのある家庭の子どもに対し、関係機関と連携・協働しながら、子ども自らが、自分の能力を伸ばし、社会で「自律」し「自立」して生きていく力を育み・支援する場です。

[事業内容]

①学習支援

教職員経験者、大学生・院生など学習指導が可能な人材による支援

②社会・生活体験職業体験や農業体験、国際交流、文化芸能、スポーツ等の様々な体験・経験を支援

③相談支援

学習・進路・生活環境等の相談支援

④食事提供(※独自事業)

※学習に来ている子ども達へ提供

[利用方法]

家庭教育相談員・民生児童委員・学校関係・
各種相談支援機関・行政機関などからの紹介及びつながりを基本
とします。

[料金等]

利用に伴う料金や実費負担はありません。

[実施体制]

- ①コーディネーター(非常勤職員3名)
※教職員及び福祉関係相談員経験者
- ②ボランティア(学習支援ボランティア、調理ボランティア)
※教員・福祉関係・大学生等

[実施の概況]

- ①開所日: 6～7月 月曜日・水曜日・金曜日・土曜日
9月以降 月曜日・水曜日・木曜日・土曜日
- ②実施時間: 平時: 15:00～19:00
土曜日・祝日: 14:00～18:00
長期休業: 9:00～13:00
- ③1日の流れ: 平日版
 - 15:00 OPENで子ども達は、自宅・学校より其々集合
 - 15:00～18:00 学習・体験活動や遊び
※学習内容(学校の宿題、持ち込み問題集、配布プリント)
 - 18:00～18:30 夕食
 - 18:30～19:00 片付け、清掃
 - 19:00 帰宅
※土・祝は、OPEN・夕食・帰宅が1時間早まる
※長期休業期間は、昼食を食べて帰宅

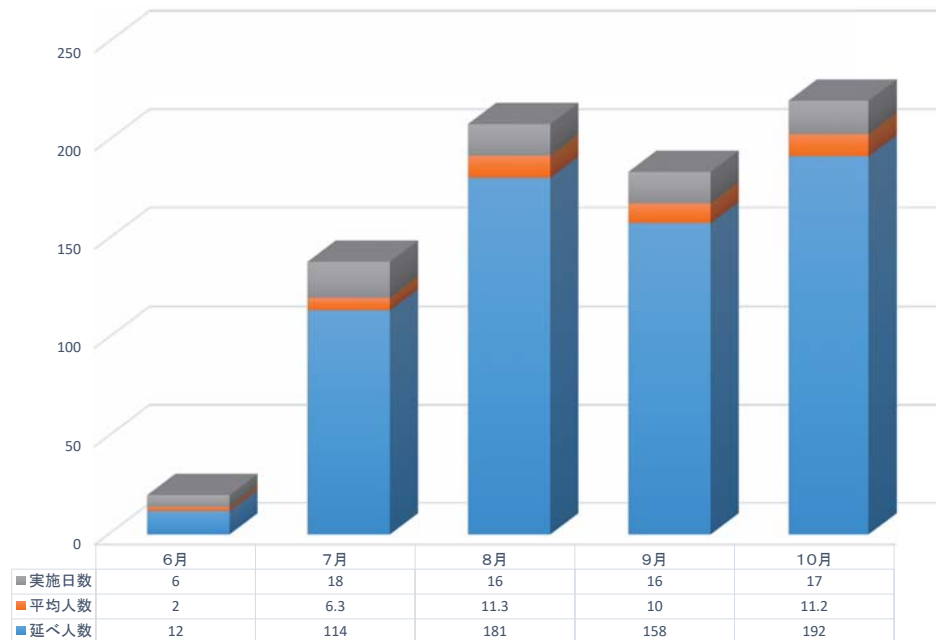
④体験内容

・ブルーベリー摘みとジャムづくり	(8月7日／松之郷・しいのき)	13人参加
・木工教室	(8月18日／ゆーすぽーと)	12人参加
・さつまいもと落花生掘り	(10月9日／季美の森)	10人参加
・太巻き寿司づくり	(10月28日／ゆーすぽーと)	14人参加
・そば打ち体験	(11月4日／ゆーすぽーと)	10人参加
・餃子づくり	(11月11日／ゆーすぽーと)	6人参加

[利用実績]

- ①登録人数 24人
- ②最近の利用者数(9～10月) 17人 ※平均11人
- ③利用総数(開所日～10月末まで) 554人 (平均: 8人、最大利用者数 15人)
- ④開所日数(開所日～10月末まで) 73日

利用実績



[支援体制]

①コーディネーターで3人体制。実際は、シフトの関係で2～4人となる場合もある。

2人体制の場合は、法人内の事務所よりサポートを入れ3名体制をとる。

②学習支援と調理担当で4人体制を目指している。

・学習支援ボランティア

登録者数 22人(大学生9人、元教員4人、現職教員3人、その他6人)

延べ参加人数 75人

・調理ボランティア

登録者数 25人 延べ参加人数 65人

※調理ボランティア不在率

7月:1日間、8月:7日間(44%)、9月:7日間(44%)、10月:6日間(35%)

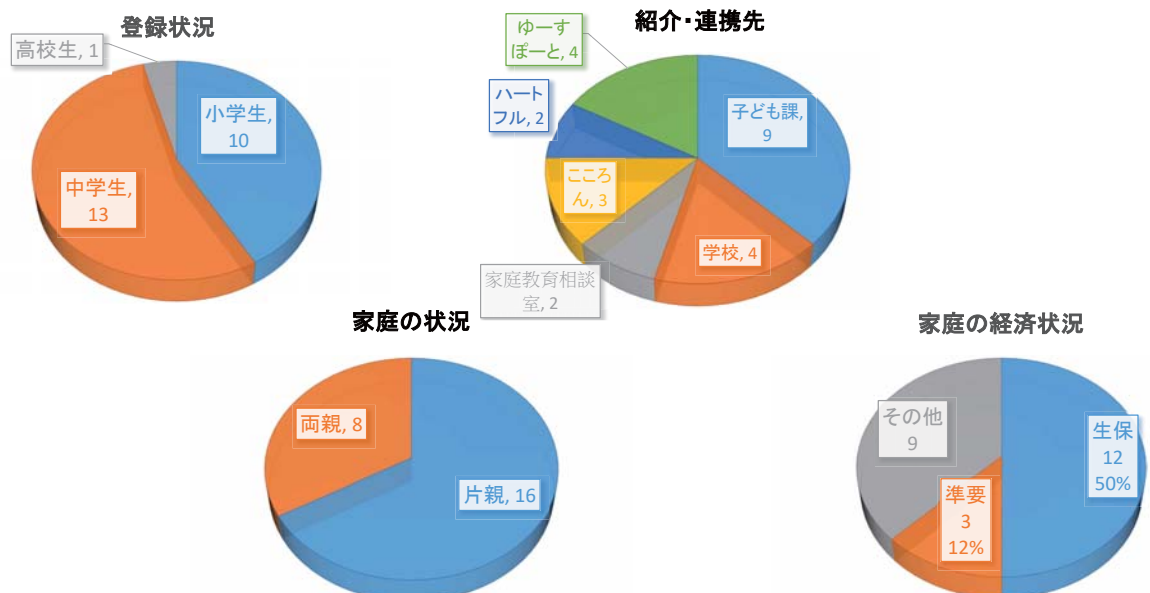
※月・土が多い

・物品提供者

54人(市内、県内、県外)

(提供を受けた食品・物品) 米、野菜、調理済み食品(カレー、ミートソース、ハヤシ等)
絵本、児童書、家具(本棚、座卓、カラーボックス等)、問題集、日用品(洗剤、トイレトペーパー、タオル等)、絵画、電子ピアノ、ギター、炊飯器、食器、調理用品

[利用する子ども・家庭の具体的状況]



学び舎『 ゆーすぽーと 』 出席簿

29 年 7 月 17 日 月 曜日

NO	氏 名	入室時間	退出時間	食事○×
1		12:50	19:05	○
2		12:55	19:09	○
3		15:45	19:05	○
4		16:52	19:09	○
5		17:01	19:06	○
6		17:20	19:09	○
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

学び舎『 ゆーすぽーと 』 出席簿

29 年 8 月 19 日 土 曜日

NO	氏 名	入室時間	退出時間	食事○×
1		8:25	12:25	○
2		8:45		○
3		8:52	12:32	○
4		8:52	11:53	○
5		8:52	12:35	○
6		8:52	11:53	○
7		8:52	12:00	○
8		8:52	12:39	○
9		8:52	12:40	○
10		9:17	12:12	○
11		9:17	12:12	○
12		9:50	1	○
13				
14				
15				

ゆーすぽーと 出欠表

2017 年 11 月

月	水	木	土
	1	2	4 そば打ち体験
	15:00~19:00	15:00~19:00	14:00~18:00
	出欠 (出) 欠	出欠 (出) 欠	出欠 (出) 欠
	食事 (有) 無	食事 (有) 無	食事 (有) 無
6	8	9	11
	15:00~19:00	15:00~19:00	14:00~18:00
出欠	(出) 欠	出欠 (出) 欠	出欠 (出) 欠
食事	(有) 無	食事 (有) 無	食事 (有) 無
13	15	16 休み	18
	15:00~19:00	15:00~19:00	14:00~18:00
出欠	(出) 欠	出欠 (出) 欠	出欠 (出) 欠
食事	(有) 無	食事 (有) 無	食事 (有) 無
20	22	23 ケーキパーティー	25
	15:00~19:00	14:00~18:00	14:00~18:00
出欠	(出) 欠	出欠 (出) 欠	出欠 (出) 欠
食事	(有) 無	食事 (有) 無	食事 (有) 無
27 休み	29	30	
	15:00~19:00	15:00~19:00	
	出欠 (出) 欠	出欠 (出) 欠	
	食事 (有) 無	食事 (有) 無	

[現在の課題]

①子どもの来所と支援体制のバランス

②子どもと家庭への支援内容と評価のあり方

③関係機関との共有と具体的な連携

④ゆーすぽーとの広報

利用する子どもや家庭のことを考えるとどのような広報がふさわしいのか？

※知らなければ利用されない！知られると「困窮者としてのレッテル」をはられかねない！

⑤支援体制の確保

- ・学習ボランティア等
- ・コーディネーターの体制

[ご協力頂きたいこと]

・「ゆーすぽーと」での学習支援・食事づくり・体験学習等のボランティア協力

(※この支援が、公的セクター(行政)や民間セクター(市場)だけでは、解決し得ないものであり、市民セクター(住民・ボランティア)の役割が大きいため)

・子ども達の状況や家庭・背景への理解

・「ゆーすぽーと」以外での子ども達への見守りと支援(※今後)

[今後に向けて]

支援の仕組みづくり(相談支援体制含む)、活動・事業の評価の在り方、ネットワークづくり



平成29年度
独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業

子どもの自立・自律と共生事業 報告会

2018年 **3/8** 木 14:45～16:30

場所:東金市ふれあいセンター2階 栄養指導室
(東金市保健福祉センター / 東金市田間三丁目 9-1)

プログラム

●基調講演

「子どもの貧困の支援に向けて
～相談・居場所・学習支援を通じて感じること～(仮題)」

講師 明石 紀久男 氏

(一般社団法人インクルージョンネットかながわ・代表理事、NPO法人遊悠楽舎・代表理事 他)

- ◆「学び舎・ゆーすぽーと」の活動報告
- ◆ 東金市子どもの生活実態調査の報告
- ◆ 質疑応答

●対象者 東金市内の福祉・介護関係者、事業者、商工関係者等、生活困窮者支援に関心のある市民

●定員 50人

●参加費 無料(※事前申込要)



参加申込書

FAX.0475-53-3631

参加者氏名 ①		所属	
参加者氏名 ②		所属	

●主催 特定非営利活動法人ちば地域生活支援会 〒283-0802 東金市東金425-2 Tel:0475-53-3630

●後援 社会福祉法人東金市社会福祉協議会(依頼中)

学び舎 ゆるぽーと

<最終報告会／2018.3.8>

特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎



もう一つのお家…
もうひとつの居場所…



“その子らしさ”を育むために…
必要な「関わり（出会い・支援etc）」「時間」「場」を提供



[目的]

ここは、生活環境や人間関係等に恵まれず、暮らしが困窮している又はその恐れのある家庭の子どもに対し、関係機関と連携・協働しながら、子ども自らが、自分の能力を伸ばし、社会で「自律」「自立」して生きていく力を育み・支援する場です。

[事業内容]

①学習支援

教職員経験者、大学生・院生など学習指導が可能な人材による支援

②社会・生活体験職業体験や農業体験、国際交流、文化芸能、スポーツ 等の様々な体験・経験を支援

③相談支援

学習・進路・生活環境等の相談支援

④食事提供(※独自事業)

※学習に来ている子ども達へ提供

[利用方法]

家庭教育相談員・民生児童委員・学校関係・
各種相談支援機関・行政機関などからの紹介及びつながりを基本とします。

[料金等]

利用に伴う料金や実費負担はありません。

[実施体制]

①コーディネーター(非常勤職員3名)

※教職員及び福祉関係相談員経験者等

②ボランティア(学習支援ボランティア、調理ボランティア)

※現教員・元教員・福祉関係者・大学生、主婦、社会人等

[実施の概況]

①開所日: 6～7月 月曜日・水曜日・金曜日・土曜日

9月以降 月曜日・水曜日・木曜日・土曜日

②実施時間: 平時: 15:00～19:00

土曜日・祝日: 14:00～18:00

長期休業: 9:00～13:00

③1日の流れ: 平日版

15:00 OPENで子ども達は、自宅・学校より其々集合

15:00～18:00 学習・体験活動や遊び

※学習内容(学校の宿題、持ち込み問題集、配布プリント)

18:00～18:30 夕食

18:30～19:00 片付け、清掃

19:00 帰宅

※土・祝は、OPEN・夕食・帰宅が1時間早まる

※長期休業期間は、昼食を食べて帰宅

[利用実績]

①登録人数 25人

②利用者数(6月～2月) 19人 (高校7人、中学9人、小学9人)

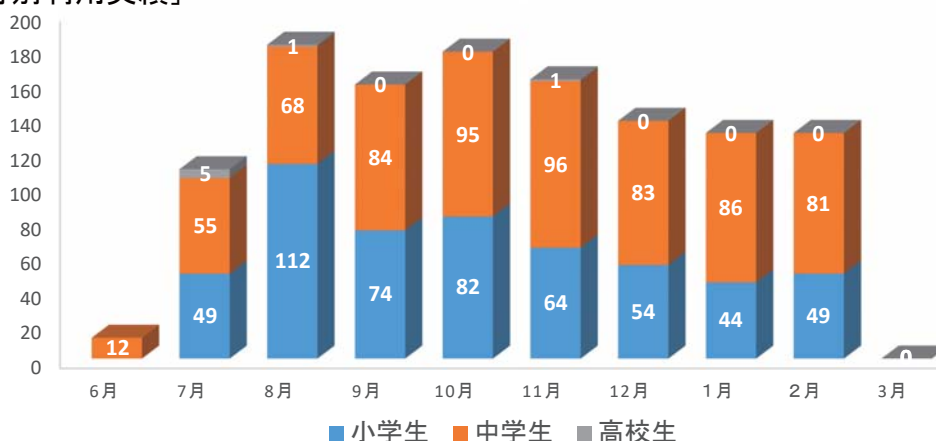
③利用総数(開所日～2月末まで) 1195人 (高校7人、中学660人、小学28人)

④開所日数(開所日～2月末まで) 137日

⑤平均利用者数 8.7人

⑥1日の最大利用者数 15人

[月別利用実績]



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	12	114	181	158	192	161	137	130	130	0
平均人数	2	6.3	11.3	10	11.2	10.1	8.6	8.1	8.1	0
実施日	6	18	16	16	17	16	16	16	16	0

[支援体制]

①コーディネーターで3人体制。実際は、シフトの関係で2～4人となる場合もあり、

2人体制の場合は、法人内の事務所よりサポートを入れ3名体制をとる。

②学習支援と調理担当・ボランティア。

・学習支援ボランティア

登録者数 31人(大学生13人、元教員4人、現職教員7人、その他7人)

延べ参加人数 115人

・調理ボランティア

登録者数 34人 延べ参加人数 128人

※調理ボランティア不在率

7月:94%、8月:44%、9月:44%、10月:35%

11月:100%、12月:25%、1月:14%、2月:6%

・物品提供者

71人(市内、県内、県外)

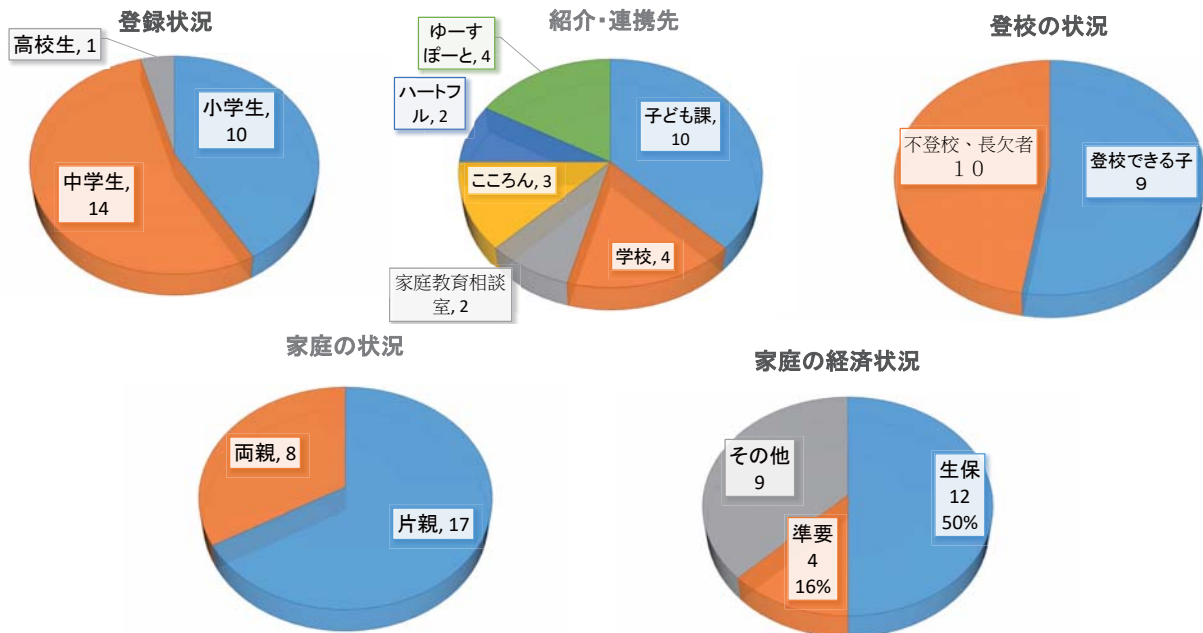
(提供を受けた食品・物品) 米、野菜、調理済み食品(カレー、ミートソース、ハヤシ等)

絵本、児童書、家具(本棚、座卓、カラーボックス等)、問題

集、日用品(洗剤、トイレトペーパー、タオル等)、絵画、

電子ピアノ、ギター、炊飯器、食器、調理用品

[利用する子ども・家庭の具体的状況]



[社会・生活体験]

①講師をお願いした体験

・ブルーベリー摘みとジャムづくり	(8月7日／松之郷・しいのき)	13人参加
・木工教室	(8月18日／ゆーすぽーと)	12人参加
・さつまいもと落花生掘り	(10月9日／大網・金谷郷)	10人参加
・太巻き寿司づくり	(10月28日／ゆーすぽーと)	14人参加
・そば打ち	(11月4日／ゆーすぽーと)	10人参加
・餃子づくり	(11月11日／ゆーすぽーと)	6人参加
・ケーキづくり	(11月23日／ゆーすぽーと)	10人参加
・もちつき	(12月25日／ゆーすぽーと)	12人参加
・茶道教室	(2月4日／ゆーすぽーと)	11人参加
・みそづくり	(3月17日予定／松之郷)	

[社会・生活体験]

②その他の体験

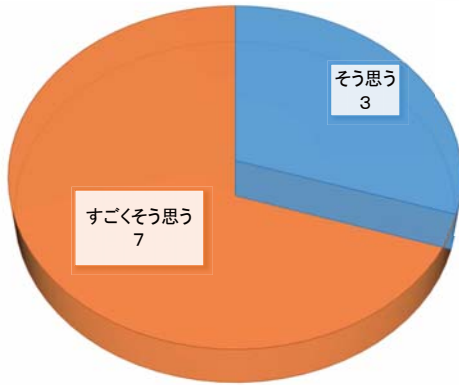
- ・豆まき(節分)
- ・ひなかざり
- ・風船アート
- ・調理体験
- ・大掃除
- ・フリーマーケット

③日常の活動

- ・配膳
- ・食事の後片付けや食器洗い
- ・部屋・トイレの掃除
- ・戸締り
- ・洗濯

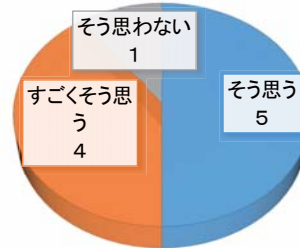
[利用者のアンケート調査結果]

(1) ゆーすぽーとがあつてよかったか。

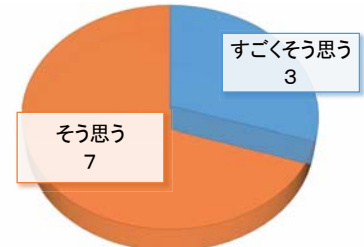


(2) 学習支援

① 学習成績は伸びたか



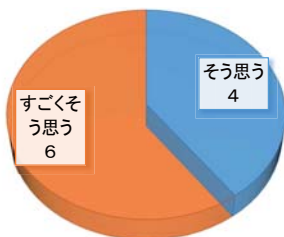
② 学習習慣は身についたか



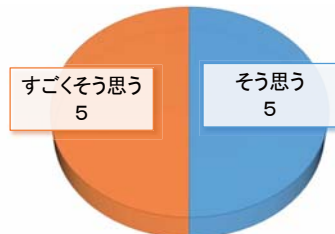
[利用者のアンケート調査結果]

(3) 居場所の提供

① 楽しく安心して過ごせる

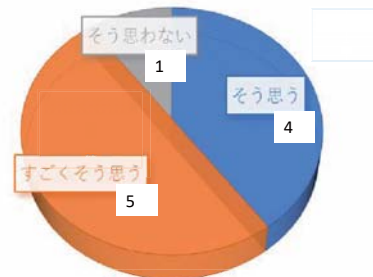


② 信頼できる人がいたか



(4) 相談支援

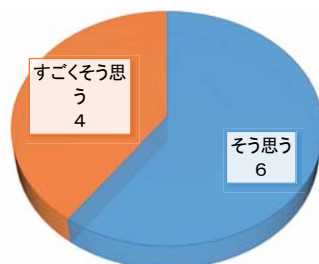
悩み事（進路、家庭や学校での悩みなど）できたか。



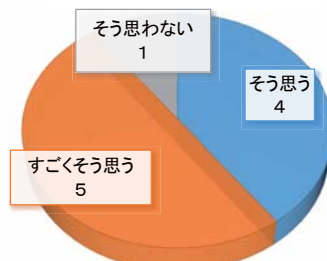
[利用者のアンケート調査結果]

(5) 社会・生活体験

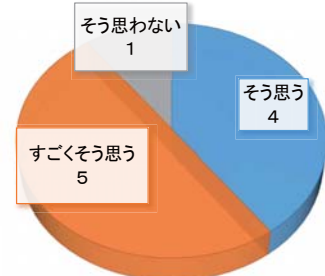
① 社会体験に進んで参加できたか



② 社会体験は役に立つと思うか



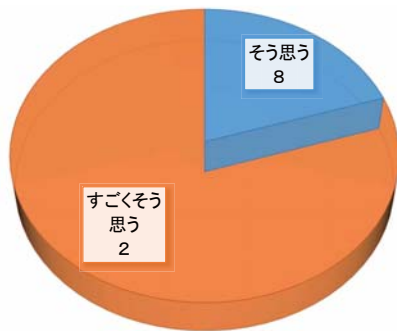
③ 生活（日常）の体験を楽しくできたか



[利用者のアンケート調査結果]

(6) 食事の提供

① 食事は楽しみでしたか



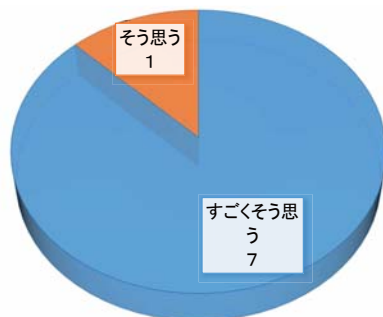
② そう思った理由(複数回答)

子ども 保護者

ア 作る人の顔が見え優しさを感じられたから	7	4
イ 作りたての温かなご飯を食べられたから	6	4
ウ おいしいご飯を食べられたから	8	3
エ お替わりもできてたくさん食べることができたから	5	2
オ 友達と一緒に食べることができたから	7	6
カ 栄養のバランスを考えたご飯を食べることができたから	7	3
キ 珍しいものを食べることができたから	6	2
ク 旬(よくとれて味の最も良い時)のものが食べられたから	5	5
ケ 野菜や果物を多く食べられたから	7	3
コ その他	0	0

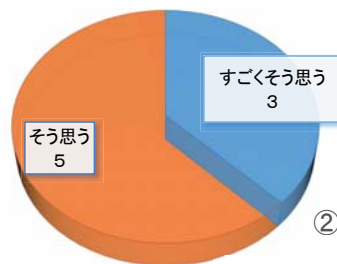
[利用者保護者のアンケート調査結果]

(1) お子さんにとって「ゆーすぽーと」があってよかったか

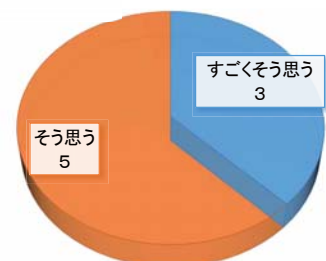


(2) 学習支援

① 学習成績は伸びたか



② 学習習慣は身についたか



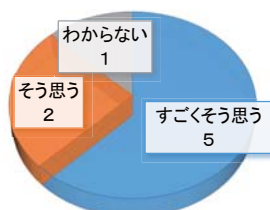
[利用者保護者のアンケート調査結果]

(3) 居場所の提供

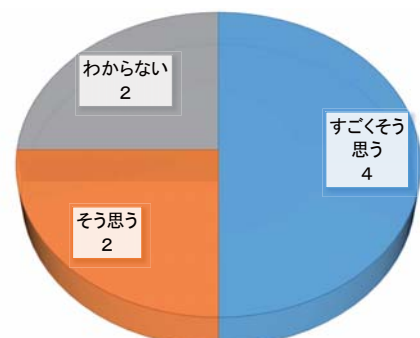
① 楽しく安心して過ごせたか



② 信頼できる人がいたか



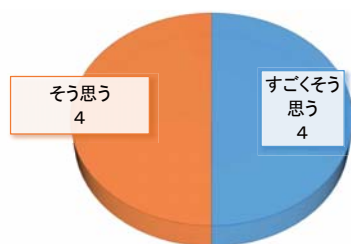
(4) 相談支援



[利用者保護者のアンケート調査結果]

(5) 社会体験体験

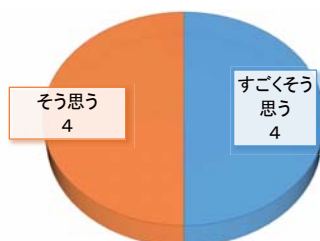
① 社会体験に進んで参加できたか



③ 生活(日常)の体験を楽しくできたか



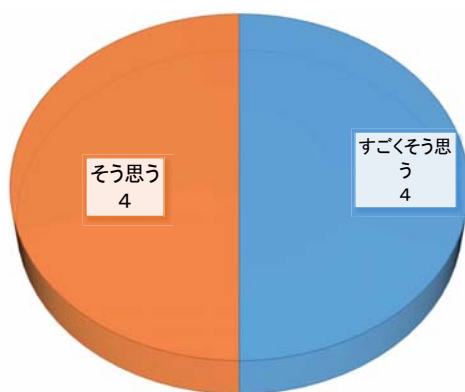
② 社会体験は役に立つと思うか



[利用者保護者のアンケート調査結果]

(6) 食事提供

① 食事を楽しみにしていたか



② そう思った理由(複数回答)

子ども 保護者

ア 作る人の顔が見え優しさを感じられたから	7	4
イ 作りたての温かなご飯を食べられたから	6	4
ウ おいしいご飯を食べられたから	8	3
エ お替わりもできてたくさん食べることができたから	5	2
オ 友達と一緒に食べることができたから	7	6
カ 栄養のバランスを考えたご飯を食べることができたから	7	3
キ 珍しいものを食べることができたから	6	2
ク 旬(よくとれて味の最も良い時)のものが食べられたから	5	5
ケ 野菜や果物を多く食べられたから	7	3
コ その他	0	0

[利用保護者の声]

- ・学校と違う先生や友達と出会い、勉強に向き合う気持ちが変わったように思います。
- ・日常生活の体験や友達との楽しい出来事を細かいところまでよく話してくれます。
- ・ゆーすぽーとに通い始めてから子どもは前向きに考えられるようになりました。
- ・塾に行かせられなかったので学習指導をして頂いてありがたく感謝しています。
- ・公立高校に合格することができました。感謝しています。
- ・「ゆーすぽーと」での経験はこれから生きていく上で芯になると思います。
- ・学校以外の友達ができ明くなりました。
- ・仕事で帰宅が遅くなり一人で留守番をしておなかをすかしていたが、学校が終わってからいる場所があって安心できるようになりました。
- ・勉強する習慣ができてきました。
- ・元は親の至らないのが原因なのですが、このような機会を作っていただけてただ感謝あるのみです
- ・子どもは喜んで「ゆーすぽーと」に通っています。
- ・離婚をして何もしてやれずママの余裕も無くなって寂しい思いをさせている中で、とても楽しそうに勉強していて「塾に行きたい」という娘の願いが叶ったように思います。

[成果]

- ① 多くの利用者が自分自身の成長を実感し自信を育んでくれた。
- ② 5人の受験生が互いに助け合い、そろって公立高校前期で合格できた。
- ③ 第三の居場所として利用者に心地好い空間が提供できていると思われる。
- ④ 利用者の保護者がゆとりを実感し、精神的に安定してきている。
- ⑤ 関係機関とのネットワークが構築されてきている。
- ⑥ 関係機関に「ゆーすぽーと」の必要性を認めていただけた。
- ⑦ 大きな支援者・ボランティアのネットワークができた。
- ⑧ 多くの教育関係者に福祉の分野を理解していただける窓口となった。
- ⑨ 教育と福祉の接点となり、利用者にとって益となる情報交換ができた。
- ⑩ 「ゆーすぽーと」に多様な機能があり、その可能性を感じる。

[今後の運営に心がけたいこと]

- ① 高校に進学した利用者へのサポート
- ② 利用者の年齢の巾が大きいので運営上工夫が必要
- ③ 関係機関とのより深い関係構築と情報交換
- ④ 利用者の保護者への関わり強化
- ⑤ 学力向上対策として、教科の専門性に配慮
- ⑥ 「ゆーすぽーと」の積極的な広報
- ⑦ 支援者の皆様への活動報告
- ⑧ そこまで(サービス)するかの声に対応する説明

平成 29年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



<最終報告会／2018.3.8>

特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎

東金市 子どもの生活に関する実態調査
くら歳児＞保護者向け調査 調査票
(平成23年4月2日～平成24年4月1日生まれの子どもさん対象)

この調査は、東金市内の認定こども園、幼稚園、保育所（園）に通う5歳児のお子さんがいっしょやるすべての保護者の方に、日頃のお子さんとの関わりや家庭の状況について伺うものです。

この調査は、こどもたちの未来が生まれ育った環境によって左右されることなく、自らの可能性を追求できる社会の実現をめざしています。しかしながら、経済面、社会面、教育面などで困難なことが多いのも現実です。この調査は、こうした問題を解決する施策につなぐための重要な調査です。

- こどもたちは無記入のこれからのために、ぜひアンケートに協力をお願いします。
- ◆お名前は無記入でお願いします。この調査は、統計的に利用することを目的とし、個人情報収集を目的とするものではありません。
- ◆調査票に回答いただきましたら、配付兼回収用封筒に入れ、封をして、この調査用紙が配付された認定こども園、幼稚園、保育所（園）に提出してください。
- ◆平成30年2月9日（金）までの提出をお願いします。なお、調査票を認定こども園、幼稚園、保育所（園）が開封することはありません。

調査の概要

調査主体：特定非営利活動法人 ちば地域生活支援会
調査助成：独立行政法人福祉医療機構・社会福祉振興助成事業
実施協力：東金市、東金市教育委員会
調査入力・集計：株式会社 K I T A B A（北海道札幌市中央区）

この調査の問合せ先

調査への回答にあたってご不明な点などございましたら、お問い合わせください。
特定非営利活動法人 ちば地域生活支援会（住所：千葉県東金市東金425-2）
電話：0474-53-3630（月曜日～金曜日／午前10～12時、午後2～4時）
FAX：0475-53-3631

調査のご記入にあたってのお願い

- ◆この調査で「お子さん」とは、この調査用紙が配付された認定こども園、幼稚園、保育所（園）等の施設に通っているお子さんのことをさします。「お子さん」と書かれた質問については、そのお子さんについてのみお答えください。
- ◆ご兄弟などで、この調査用紙が複数届いた場合も、お手数ですが、それぞれのお子さんについて、それぞれの調査用紙に回答してください。
- ◆回答は、お答えになれる範囲で回答してください。

質問の回答方法について

- ◆それぞれの質問について次のように答えてください

（例）あなたの好きな色は何ですか。

- | | | | | |
|-------|--------|-------|-------|----------|
| 1. あお | 2. みどり | 3. しろ | 4. あお | 5. その他の色 |
|-------|--------|-------|-------|----------|

※お答えは、あてはまる番号に○をつけてください。
※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号1つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などと書いてありますので、それにしてください。

I 最初に、お子さん及びあなたとお子さんの関係についておたずねします。

- 問1 この調査票を持ち帰ったお子さんの性別についておたずねします。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男子 | 2. 女子 |
|-------|-------|

- 問2 この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんから見たあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | |
|----------------|------------------------------|
| 1. お母さん | 4. おば、おじなど親戚 |
| 2. お父さん | 5. その他の人（具体的に：) |
| 3. おばあさん・おじいさん | 6. 里親・その他 ⇒問12から問34のみお答えください |

II 世帯の状況についておたずねします。

- 問3 あなたの世帯の状況についておたずねします。

※あなたの世帯について、平成29年10月1日現在の状況を教えてください。

※世帯とは、普段、住居と生計を共にしている方々（世帯員）の集まりをいいます。血縁関係がない人も同居していれば世帯に含んでください。また、単身赴任のため、普段は同居されていない方も含みます。

※世帯員には、旅行や出張などで一時的に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人を含みます。

なお、病院・診療所に入院している人を含みますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。また、学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人も除きます。

- ① 世帯員の人数は何人ですか。(あなたとこの調査票を受け取ったお子さんを含め、あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|----------|-------|
| 1. 2人 | 2. 3人 | 3. 4人 | 4. 5人 | 5. 6人 |
| 6. 7人 | 7. 8人 | 8. 9人 | 9. 10人以上 | |

- ② 世帯員をすべて選んでください。(お子さんから見た続柄で、あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | |
|----------------------|---------|--------------|
| 1. この調査票を受け取ったお子さん本人 | 4. 兄・姉 | 7. おじさん |
| 2. お母さん | 5. 弟・妹 | 8. おば・おじなど親戚 |
| 3. お父さん | 6. おばさん | 9. その他の人 |

- ③ 世帯員の人の介護または介助の必要の方がいますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

- ④ 世帯員の子どものうち、小学校入学前の子どもの人数は何人ですか。

(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

- ⑤ 世帯員の子どものうち、小学校1年生から18歳未満の子どもの人数は何人ですか。

(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

- | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. いない | 2. 1人 | 3. 2人 | 4. 3人 | 5. 4人 | 6. 5人以上 |
|--------|-------|-------|-------|-------|---------|

- ⑥ 世帯員の子どものうち、18歳以上の子どもの人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

- | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. いない | 2. 1人 | 3. 2人 | 4. 3人 | 5. 4人 | 6. 5人以上 |
|--------|-------|-------|-------|-------|---------|

⑦ 世帯員の住む地域はどこですか。(あてはまる地域の番号1つに○をつけてください)

1. 公平地区 (求名、家之子、道庭、松之郷)
2. 大和地区 (山口、田中、福俣、西福俣)
3. 嶺南地区 (北之幸谷、堀上、川場、押堀)
4. 城西地区 (台方、大豆谷)
5. 源地区 (上布田、極楽寺、滝沢、酒蔵、三ヶ尻)
6. 丘山地区 (油井、小野、山田、丘山台、滝、丹尾、季美の森東)
7. 東金地区 (東金、東上宿、南上宿、東岩崎、東新宿、田間、日吉台、八坂台)
8. 豊成地区 (上武射田、下武射田、土農田、菱沼、前之内、二又、東中、間内、堀之内、宮、三浦名、御門、高倉、中野、殿廻)
9. 正気地区 (広瀬、関下、大沼、宿、荒生、薄島、家徳、幸田、北幸谷)
10. 福岡地区 (小沼田、大沼田、一之袋、二之袋、砂古瀬、依古島、下谷、東中島、上谷、西中)
11. 市外 (学区外)

問4 あなたの住居は次のどれにあたりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 持ち家 (あなたの親・きょうだいの名義を含む)
4. 官舎・社宅
2. 市営の住宅
5. その他
3. 民間の賃貸住宅

Ⅲ お子さんの保護者の方の状況についておたずねします。

問5 お子さんの保護者の方の、現在の就業状況についておたずねします。
※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

問5-1 (1) 問3②で世帯員に「3.お父さん」と答えた方に伺います。
お父さんはお仕事をされていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 勤め (常勤・正規職員)
4. 自営業・家業
2. 勤め (パート・アルバイトまたは非正規職員で、1か所に勤務)
5. その他の就業形態
3. 勤め (パート・アルバイトまたは非正規職員で、2か所以上に勤務)
6. 現在、就職しておらず、仕事を探している
7. 現在、就職しておらず、仕事を探していない
8. その他 (具体的に：)

問5-1 (2) 問5-1 (1) で「7. 現在、就職しておらず、仕事を探していない」と答えた方に伺います。その理由について教えてください。

1. 家事や育児に専念
3. おうちの人の介護や介助
5. 年金など
2. 学生
4. 病気療養
6. 家賃収入、株式運用など
7. その他 (具体的に：)

問5-2 (1) 問3②で世帯員に「2.お母さん」と答えた方に伺います。
お母さんはお仕事をされていますか。

1. 勤め (常勤・正規職員)
4. 自営業・家業
2. 勤め (パート・アルバイトまたは非正規職員で、1か所に勤務)
5. その他の就業形態
3. 勤め (パート・アルバイトまたは非正規職員で、2か所以上に勤務)
6. 現在、就職しておらず、仕事を探している
7. 現在、就職しておらず、仕事を探していない
8. その他 (具体的に：)

問5-2 (2) 問5-2 (1) で「7. 現在、就職しておらず、仕事を探していない」と答えた方に伺います。その理由について教えてください。

1. 家事や育児に専念
3. おうちの人の介護や介助
5. 年金など
2. 学生
4. 病気療養
6. 家賃収入、株式運用など
7. その他 (具体的に：)

問6 お子さんのお母さんとお父さんの最後に通った学校を教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 中学校卒業
2. 高等学校途中退学
3. 高等学校卒業
4. 高専、短大、専門学校等卒業
5. 大学卒業
6. 大学院修了
7. その他の教育機関卒業
8. 答えたくない
- お母さん
1. 中学校卒業
2. 高等学校途中退学
3. 高等学校卒業
4. 高専、短大、専門学校等卒業
5. 大学卒業
6. 大学院修了
7. その他の教育機関卒業
8. 答えたくない
- お父さん

問7 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、最も多い時間帯を選んでください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

※保護者の方には、おばあさん・おじいさん、おば・おじなどの親戚を含みます。
※自宅が仕事の場合は、お仕事が終わる時間帯を選んでください。

1. お子さんの学校や塾・習い事からの帰宅時間には家にいる
4. お子さんが寝た後に帰ってくる
2. お子さんの夕食時間には家にいる
5. 保護者の方の帰宅時間が決まっている
3. お子さんの寝る時間には家にいる
6. その他

問8 学校が終わってから、主にお子さんと過ごす時間が長いのはどちらですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. お母さん
5. 兄・姉
9. 学童保育 (※) の指導員
2. お父さん
6. 弟・妹
10. ファミリーサポートセンター会員
3. おばあさん
7. おば、おじなど親戚
11. お子さんがひとりである
4. おじいさん
8. 近所の人
12. その他の人

※「学童保育」とは、「児童館」、「放課後等デイサービス」も含まれます。

Ⅳ 世帯の経済状況についておたずねします。

問9 あなたの世帯の収入状況についておたずねします。
(1) あなたの世帯で収入のある方の方の人数を教えてください。

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人以上

(2) あなたの世帯で主に生計を支えている方はどなたですか。(お子さんから見た続柄で、あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. お父さん
2. お母さん
3. おじいさん、おばあさん
4. 兄・姉
5. おじ・おばなど親戚
6. その他の人

(3) あなたの世帯では以下の手当や援助等を受けていますか。

①～⑫の項目ついて、それぞれ1～3のあてはまる番号1つに○をつけてください

受けている	受けたことがある	受けたことがない
①児童手当	1	3
②就学援助費（※1）	1	3
③児童扶養手当（※2）	1	3
④障がいや難病の手当（※3）	1	3
⑤生活保護	1	3
⑥公的年金（老齢年金）	1	3
⑦公的年金（遺族年金、障害年金）	1	3
⑧雇用保険（失業保険）	1	3
⑨養育費	1	3
⑩親・親族からの仕送り	1	3
⑪退職金	1	3
⑫その他、株式配当などの副収入	1	3

※1「就学援助費」とは、経済的な理由により、就学が困難と認められる児童生徒に対して、学用品費などを援助する制度です。

※2 「児童扶養手当」とは、父又は母と生計を同じくしている、18歳到達後最初の年度末までの児童（児童に政令で定める程度の障害がある場合は20歳未満の児童）を監護しているひとり親家庭の母または父等に支給される手当です。15歳までを対象とした「児童手当」とは異なります。

※3 障がい児や難病を対象とした手当には、特別児童扶養手当、障がい者福祉手当、重度障害者介助手当などがあります。

(4) 2016年1年間のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

※収入には、働いて得た給料だけではなく、株式配当や副収入、公的な援助手当や養育費・仕送りも含めてお答えください。なお、収入の中から税金や社会保険料を差し引いた後の額でお答えください。

1. 50万円未満	12. 550～600万円未満	23. 1,200～1,300万円未満
2. 50～100万円未満	13. 600～650万円未満	24. 1,300～1,400万円未満
3. 100～150万円未満	14. 650～700万円未満	25. 1,400～1,500万円未満
4. 150～200万円未満	15. 700～750万円未満	26. 1,500～1,750万円未満
5. 200～250万円未満	16. 750～800万円未満	27. 1,750～2,000万円未満
6. 250～300万円未満	17. 800～850万円未満	28. 2,000～2,250万円未満
7. 300～350万円未満	18. 850～900万円未満	29. 2,250～2,500万円未満
8. 350～400万円未満	19. 900～950万円未満	30. 2,500～2,750万円未満
9. 400～450万円未満	20. 950～1000万円未満	31. 2,750～3,000万円未満
10. 450～500万円未満	21. 1,000～1,100万円未満	32. 3,000万円以上
11. 500～550万円未満	22. 1,100～1,200万円未満	33. わからない
		34. 答えたくない

問 10 あなたの家帯の収支状況についておたずねします。

(1) 2016 年 1 年間のあなたのあなたの世帯の家計の状況について教えてください。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 貯蓄ができている
2. 赤字である
3. 赤字でもなく黒字でもない
4. わからない

(2) 問10(1)で「2.赤字である」と答えただけにすぎません。

赤字の場合はどのようにしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 貯金・預金のとくりくずし
2. 親や親族などからの仕送り
3. 金融機関等からの借入
4. その他

(3)お子さんの将来のため貯蓄をしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 貯蓄している
2. 貯蓄をしたいが、できていない
3. 貯蓄をするつもりはない

問 11 あなたの世界では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。

おおむね1年の間でお考えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 電気・ガス・水道などが止められた
2. 医療機関を受診できなかった
3. 国民健康保険料の支払いが滞った
4. 国民年金の支払いが滞った
5. 金融機関などに借金をした
6. クレジットカードの利用が停止になった
7. 電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞った
8. 家賃や住宅ローンの支払いが滞った
9. 冷暖房の使用を控えた
10. 敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した

V お子さんのことについておたずねします。

問12 お子さんの出生時の体重を教えてください。

(あてはまる番号1. つに○をつけてください)

1. 1,000 g 未満
2. 1,000 g ~1499 g
3. 1,500 g ~2499 g
4. 2,500 g ~3,999 g
5. 4,000 g ~4,499 g
6. 4,500 g
7. わからない

問13 お子さんの出生時の身長を教えてください。

(①か②のいずれが該当する方で、あてはまる番号1つに○をつけてください)

① 男子	1. 43.9 cm以下 2. 44.0 cm～45.9 cm 3. 46.0 cm～47.3 cm	4. 47.4 cm～48.9 cm 5. 49.0 cm～50.2 cm 6. 50.3 cm～51.5 cm	7. 51.6 cm～52.6 cm 8. 52.7 cm以上 9. わからない
② 女子	1. 43.9 cm以下 2. 44.0 cm～45.4 cm 3. 45.5 cm～46.9 cm	4. 47.0 cm～48.4 cm 5. 48.5 cm～50.0 cm 6. 50.1 cm～51.0 cm	7. 51.1 cm～52.0 cm 8. 52.1 cm以上 9. わからない

問 14 お子さんの現在の体重を教えてください。
(①か②のいずれか該当する方で、あてはまる番号1つに○をつけてください)

① 男子	1. 15.02 kg以下 2. 15.03 kg～16.01 kg 3. 16.02 kg～17.16 kg	4. 17.17 kg～18.62 kg 5. 18.63 kg～20.36 kg 6. 20.37 kg～22.19 kg	7. 22.20 kg～24.33 kg 8. 24.34 kg以上 9. わからない
② 女子	1. 14.80 kg以下 2. 14.81 kg～15.74 kg 3. 15.75 kg～16.83 kg	4. 16.84 kg～18.26 kg 5. 18.27 kg～20.00 kg 6. 20.01 kg～21.91 kg	7. 21.92 kg～24.22 kg 8. 24.23 kg以上 9. わからない

問 15 お子さんの現在の身長を教えてください。
(①か②のいずれか該当する方で、あてはまる番号1つに○をつけてください)

① 男子	1. 103.2 cm以下 2. 103.3 cm～105.7 cm 3. 105.8 cm～108.3 cm	4. 108.4 cm～111.2 cm 5. 111.3 cm～114.3 cm 6. 114.4 cm～117.1 cm	7. 117.2 cm～119.9 cm 8. 120.0 cm以上 9. わからない
② 女子	1. 101.5 cm以下 2. 101.6 cm～104.6 cm 3. 104.7 cm～107.5 cm	4. 107.6 cm～110.5 cm 5. 110.6 cm～113.4 cm 6. 113.5 cm～115.9 cm	7. 116.0 cm～118.2 cm 8. 118.3 cm以上 9. わからない

問 16 お子さんは、ふだん朝何時に起きていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 午前6時より前 2. 午前6時台	3. 午前7時台 4. 午前8時台	5. 午前9時以降 6. わからない
------------------------	----------------------	-----------------------

問 17 お子さんは、ふだん夜何時に寝ていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 午後9時より前 2. 午後9時台	3. 午後10時台 4. 午後11時台	5. 午前0時以降 6. わからない
------------------------	------------------------	-----------------------

問 18 お子さんは、毎日朝ご飯を食べますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 必ず食べる 2. 食べる人が多い	→問 20へ 3. 食べないことが多い 4. 食べない	5. わからない 6. わからない
------------------------	-----------------------------------	----------------------

問 19 問 18 で「1. 必ず食べる」以外を選択された方にお伺いします。お子さんが朝ご飯を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 時間がない 2. 子どもが「お腹がすいていない」と言う 3. 用意していない	4. 食べる習慣がない 5. 食べるものがない 6. わからない
---	--

問 20 お子さんは、おうちの大人のひととのくらしい一緒に朝ご飯を食べていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ほとんど毎日 2. 週に4～5回 3. 週に2～3回	4. 週に1回程度 5. 月に1～2回 6. ほとんどない	7. まったくはない 8. わからない
-------------------------------------	-------------------------------------	------------------------

問 21 お子さんは、毎日夜ご飯を食べますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 必ず食べる 2. 食べる人が多い	→問 23へ 3. 食べないことが多い 4. 食べない	5. わからない
------------------------	-----------------------------------	----------

- 7 -

問 22 問 21 で「1. 必ず食べる」以外を選択された方にお伺いします。お子さんが夜ご飯を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 時間がない 2. 子どもが「お腹がすいていない」と言う 3. 用意していない	4. 食べる習慣がない 5. 食べるものがない 6. わからない
---	--

問 23 お子さんは、おうちの大人のひととのくらしい一緒に夜ご飯を食べていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ほとんど毎日 2. 週に4～5回 3. 週に2～3回	4. 週に1回程度 5. 月に1～2回 6. ほとんどない	7. まったくはない 8. わからない
-------------------------------------	-------------------------------------	------------------------

問 24 お子さんは、毎日お風呂(シャワーのみの場合も含む)に入りますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ほとんど毎日 2. 週に4～5回	3. 週に2～3回 4. 週に1回程度	5. 入らない 6. わからない
------------------------	------------------------	---------------------

問 25 お子さんが1日にテレビやDVDを見たり、ゲームなどをしている時間はどれくらいありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 見ない 2. 30分まで 3. 30分～1時間未満	4. 1時間～2時間未満 5. 2時間～3時間未満 6. 3時間以上	7. わからない
------------------------------------	--	----------

問 26 お子さんは歯磨きの習慣がありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ある 2. ない 3. わからない

問 27 保護者の方が、お子さんの歯磨きの仕上げ磨きをしますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. する 2. しない

問 28 お子さんはMR (麻しん (はしか)、風しん混合) ワクチン1期 (1歳～2歳の間に接種)を受けていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 受けている 2. 受けていない 3. わからない

問 29 お子さんは、療育手帳や身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 持っている 2. 持っていない

問 30 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(おむね1年の間でお考えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 子どもを医療機関に受診させることができなかった 2. 子どものための本や絵本が買えなかった 3. 子どもにおこづかいを渡すことができなかった 4. 子どもに新しく服や靴を買うことができなかった 5. 子どもを遠足へ参加させることができなかった 6. 子どもを習い事に通わせることができなかった 7. 子どもをクラブに参加させられなかった	8. 子どもを学習塾に通わせることができなかった (通信制の幼児教育教材を含む) 9. 子どもの誕生日を祝えなかった 10. 子どもにお年玉をあげることができなかった 11. 子どもの保育所 (園)、幼稚園などの通園施設の行事などに参加することができなかった 12. 子ども会、地域の行事 (祭りなど) の活動に参加することができなかった 13. 家族旅行 (テーマパークなど) 日帰りのおでかけを含む) ができなかった
---	---

14. 1～13の項目には、どれにもあてはまらない

- 8 -

- 248 -

問 31 あなたの世帯では、お子さんに次のことをしていますか。(おおむね 1 年の間でお考えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 生活リズム (早寝・早起き・朝ご飯など) を整える
2. 文字や簡単な計算を教える
3. あいさつ、言葉遣い、食事のマナーなどを教える
4. (絵) 本を読み聞かせる

問 32 あなたとお子さんとの関係について、次の項目で最も近いものを選んでください。

(1) あなたは、お子さんをかわいいと思いますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. とてもかわいい
2. かわいい
3. あまりかわいくない
4. かわいくない
5. 答えたくない

(2) あなたは、お子さんとよく会話しますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. よくする
2. する
3. あまりしない
4. しない

(3) あなたがお子さんと一緒に何かしたり、相手をしたりしている時間は、1 日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。(平日、休日それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

平 日		休 日	
1. 15 分未満	よくある 1 1 1 1 1 1	1. 2 時間未満	たまに ある 3 3 3 3 3
2. 15 分～30 分未満		2. 3 時間～4 時間未満	
3. 30 分～1 時間未満		3. 4 時間～6 時間未満	
4. 1 時間～2 時間未満		4. 6 時間～8 時間未満	
5. 2 時間～3 時間未満		5. 8 時間～10 時間未満	
6. 3 時間～4 時間未満		6. 10 時間以上	
7. 4 時間以上			

問 33 あなたの世帯では、お子さんに次の①～⑦のようなことをすることがありますか。(それぞれ 1 ～ 4 のあてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	よくある 1 1 1 1 1 1	ときどき ある 2 2 2 2 2 2	たまに ある 3 3 3 3 3 3	まったく ない 4 4 4 4 4 4
①夜間に子どもだけ残して外出する				
②子どもの前で家族が大人げんかをする				
③子どもの前でタバコを吸う				
④子どもに話しかけられても、あえて無視をする				
⑤子どものしつけのために、からだ(尻・手・頭・顔など)をたく				
⑥子どものしつけのために、屋外に締め出す				
⑦子どもを大声でしかる				

問 34 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 中学校
2. 高校
3. 大学・短期大学
4. 大学院
5. 専門学校・高等専門学校
6. 留学
7. 考えたことがない
8. わからない

IV あなたのことにについておたずねします。

問 35 初めに親となった年齢はいくつですか (実子以外も含みます)。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 10 代
2. 20～23 歳
3. 24～26 歳
4. 27～30 歳
5. 31～34 歳
6. 35～39 歳
7. 40 歳以上
8. その他

問 36 次の①～⑦について、おうちの方を含め (子どもは除き)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれている人はいいますか。(それぞれ、1 ～ 3 のあてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	いる	いない	わからない
①心配ごとや悩みごとを親身に聞いてくれる人	1	2	3
②あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	1	2	3
③趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	1	2	3
④子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	1	2	3
⑤子どもの遊びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人 (運動や文化活動)	1	2	3
⑥子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってってくれる人	1	2	3
⑦留守を頼める人	1	2	3

問 37 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 配偶者・パートナー	10. 公的機関や役所の相談員
2. 自分の親	11. 習い事の先生
3. 配偶者・パートナーの親	12. 地域の民生委員・児童委員
4. きょうだい・その他の親戚	13. 民間の支援団体
5. 近隣に住む知人や友人	14. 民間のカウンセラー・電話相談
6. 近隣に住んでいない知人や友人	15. 医療機関の医師や看護師
7. 職場関係者	16. インターネットのサイトへの書き込み
8. 学校の先生やスクールカウンセラー	17. その他
9. 子育て講座 (小・中学生を持つ保護者を対象) を担当するリーダーや職員等	18. 相談できる相手がいらない

問 38 あなたの心の状態についておたずねします。(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

(1) 生活を楽しんでいますか。(仕事や家事、育児など)

1. とても楽しんでいる
2. 楽しんでいる
3. あまり楽しんでいない
4. 楽しんでいない
5. わからない

(2) 将来に対して希望を持っていますか。

1. 希望が持てる 2. 希望が持てるときもあれば、持てないときもある 3. 希望が持てない 4. わからない
--

(3) ストレスを発散できるものがありますか。

1. ある 2. あるときもある、ないときもある 3. ない 4. わからない
--

(4) あなたは、ご自分が幸せだと思いますか。

1. とても幸せだと思う
2. 幸せだと思う
3. あまり幸せだと思わない
4. 幸せだと思わない
5. わからない

問39 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。

(あてはまる番号をつけてください)

1. 眠れない
2. よく頭が痛くなる
3. 歯が痛い
4. 不安な気持ちになる
5. ものが見えづらい
6. 耳が聞こえにくい
7. よくおなかが痛くなる
8. よく風邪をひく
9. よく体がかゆくなる
10. まわりが気になる
11. やる気が起きない
12. イライラする
13. よく肩がこる
14. よく腰が痛くなる
15. とくに気になるところはない
16. その他
17. わからない

問40 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくある
2. 時々ある
3. ほとんどない
4. ない
5. わからない

問 41 あなたは、定期的に健康診断を受けていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 42 次の①～⑤について、おたずねします。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	そう思う	まあそう 思う	あまり思 わない	思わない	わからない
①自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある	1	2	3	4	5
②はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける	1	2	3	4	5
③人の集まりの中では、うまくふるまえない	1	2	3	4	5
④私は自分から友だちを作るのがうまい	1	2	3	4	5
⑤人生で起きている問題の多くは自分では解決できない	1	2	3	4	5

問 43 あなたは、今の家に何年ぐらい住んでいますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 1 年未満	5. 4 ～ 5 年未満	9. 8 ～ 10 年未満
2. 1 ～ 2 年未満	6. 5 ～ 6 年未満	10. 10 年以上
3. 2 ～ 3 年未満	7. 6 ～ 7 年未満	11. わからない
4. 3 ～ 4 年未満	8. 7 ～ 8 年未満	12. 答えたくない

問44 あなたの世界の地域との関わりについておたずねします。

(それぞれ、1～4のあとにはまる番号1つに○をつけてください)

	ある	少しある	全くない	答えたくない
① ご近所・近隣地域の人との関わりはありますか	1	2	3	4
② お住まいの地域の行事に参加したことがありますか（防災訓練や地域清掃等）	1	2	3	4

VI その他

問45 あなたは、次の機関・団体、人を知っていますか？

(それぞれ、1～3のあてはまる番号1つに○をつけてください)

	知っている	名称だけ 知っている	知らない
①社会福祉協議会	1	2	3
②民生委員・児童委員	1	2	3
③家庭相談員	1	2	3
④東金ひと・しごと・くらしサポーター こころん	1	2	3

問46 毎日の生活・暮らして感じていることを自由に書いてください。

[illegible]

質問は以上です。調査にご協力いただき、まことにありがとうございます。

東金市 子どもの生活に関する実態調査
保護者向け調査 調査票
(小学5年生、中学2年生対象)

この調査は、東金市立小学校5年生または中学校2年生のお子さんがいらっしゃるすべての保護者の方に、日頃のお子さんとの関わりや家庭の状況について伺うものです。
この調査は、子どもたちの未来が生まれ育った環境によって左右されることなく、自らの可能性を追求できる社会の実現をめざしています。しかしながら、経済面、社会面、教育面などで困難なことが多いため、この調査は、こうした問題を解決する施策につなぐための重要な調査です。

子どもたちのこれからのために、ぜひアンケートに協力してください。

◆お名前は無記入でお願いします。この調査票は、統計的に利用することを目的とし、個人情報保護の収集を目的とするものではありません。

◆この調査は保護者の方にご回答いただくもののほか、お子さんに対する調査もあります。調査の結果は、同封の小学生・中学生向け調査のデータと合わせて分析します。

◆調査に回答するときは、お子さんと保護者の回答が見えないよう別々の場所で記入してください。なお、お子さんの回答内容は見えないようお願いいたします。

◆調査票に回答いただきましたら、「保護者用」と書かれた封筒（もも色）に入れ、封をしてください。「子ども用封筒（黄緑色）」と「保護者用封筒（もも色）」のそれぞれの封筒を配付兼回収封筒（クリアム色またはオレンジ色）にまとめて入れていただき、封をしてお子さんに渡してください。お子さんに、学校の先生に提出するようお声掛けをお願いします。

◆平成30年2月9日（金）までの提出をお願いします。
なお、調査票を学校、市・教育委員会、調査主体が開封することはありません。
開封は、調査入力機関が全て行います。

調査の概要	
調査主体：特定非営利活動法人 ちば地域生活支援会	
調査助成：独立行政法人福祉医療機構・社会福祉振興助成事業	
実施協力：東金市、東金市教育委員会	
調査入力・集計：株式会社 K I T A B A（北海道札幌市中央区）	

この調査の問合せ先	
調査への回答にあたってご不明な点などございましたら、お問い合わせください。	
特定非営利活動法人ちば 地域生活支援会（住所：千葉県東金市東金4 2 5 - 2）	
電話：0 4 7 5 - 5 3 - 3 6 3 0（月曜日～金曜日／午前10～12時、午後2～4時）	
FAX：0 4 7 5 - 5 3 - 3 6 3 1	

調査のご記入にあたってのお願い	
◆この調査で「お子さん」とは、この調査用紙が入っていた封筒を持ち帰ったお子さんのことをさします。「お子さん」と書かれた質問につきましては、そのお子さんについてののみお答えください。	
◆ご兄弟などで、この調査用紙が複数届いた場合も、お手数ですが、それぞれのお子さんについて、それぞれの調査用紙に回答してください。	
◆回答は、お答えになれる範囲で回答してください。	

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように答えてください。

(例) あなたの好きな色は何ですか。

1. あお 2. みどり 3. しろ 4. あお 5. その他の色

※お答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号 1 つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などと書いてありますので、それにしてください。

I 最初に、あなたとお子さんの関係についておたずねします。

問1 この調査票を持ち帰ったお子さんは小学生ですか、中学生ですか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 小学5年生 2. 中学2年生 3. 小学生・中学生両方

問2 この調査に回答したい方におたずねします。お子さんから見たあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. お母さん 4. おば、おじなど親戚
2. お父さん 5. その他の人 (具体的に：)
3. おばあさん・おじいさん 6. 里親・その他 →問12から問30のみお答えください

II 世帯の状況についておたずねします。

問3 あなたの世帯の状況についておたずねします。

※あなたの世帯について、平成29年10月1日現在の状況を教えてください。

※世帯とは、普段、住居と生計を共にしている方々（世帯員）の集りをいいます。血縁関係がない人でも同居していれば世帯に含んでください。また、現在、単身赴任のため、普段は同居されていない方も含みます。

※世帯員には、旅行や出張などで一時的に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人を含みます。なお、病院・診療所に入院している人を含みますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。また、学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人も除きます。

① 世帯員の人数は何人ですか。(あなたとこの調査票を受け取ったお子さんを含め、あてはまる人数の番号 1 つに○をつけてください。)

1. 2人 2. 3人 3. 4人 4. 5人 5. 6人
6. 7人 7. 8人 8. 9人 9. 10人以上

② 世帯員をすべて選んでください。

(お子さんから見た続柄で、あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. この調査票を受け取ったお子さん本人 2. お母さん 3. お父さん
4. 兄・姉 5. 弟・妹 6. おばあさん 7. おじいさん
8. おば・おじなど親戚 9. その他の人

③ 世帯員の一人に介護または介助の必要の方がいますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください。)

1. いる 2. いない

④ 世帯員の子どものうち、小学校入学前の子どもの人数は何人ですか。
(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください。)

1. いない 2. 1人 3. 2人 4. 3人 5. 4人 6. 5人以上

⑤ 世帯員の子どものうち、小学校1年生から18歳未満の子どもの人数は何人ですか。
(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください。)

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

⑥ 世帯員の子どものうち、18歳以上の子どもの人数は何人ですか。
(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください。)

1. いない 2. 1人 3. 2人 4. 3人 5. 4人 6. 5人以上

⑦ 世帯員の住む地域はどこですか。(あてはまる地域の番号1つに○をつけてください。)

1. 公平地区 (求名、家之子、道庭、松之郷)

2. 大和地区 (山口、田中、福俣、西福俣)

3. 嶺南地区 (北之幸谷、堀上、川場、押堀)

4. 城西地区 (台方、大豆谷)

5. 源地区 (上布田、極楽寺、滝沢、酒蔵、三ヶ尻)

6. 丘山地区 (油井、小野、山田、丘山台、滝、丹尾、季美の森東)

7. 東金地区 (東金、東上宿、南上宿、東岩崎、東新宿、田間、日吉台、八坂台)

8. 豊成地区 (上武野田、下武野田、土農田、菱沼、前之内、二又、東中、関内、堀之内、宮、三浦名、御門、高倉、中野、殿廻)

9. 正気地区 (広瀬、関下、大沼、宿、荒生、薄島、家徳、幸田、北幸谷)

10. 福岡地区 (小沼田、大沼田、一之袋、二之袋、砂古瀬、依古島、下谷、東中島、上谷、西中)

11. 市外 (学区外)

問4 あなたの住居は次のどれにあたりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 持ち家 (あなたの親・兄弟姉妹の名義を含む)

4. 官舎・社宅

2. 市営の住宅

5. その他

3. 民間の賃貸住宅

Ⅲ お子さんの保護者の方の状況についておたずねします。

問5 お子さんの保護者の方の現在の就業状況についておたずねします。
※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

問5－1 (1) 問3②で世帯員に「3. お父さん」と答えた方に伺います。
お父さんはお仕事をされていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 勤め (常勤・正規職員)	4. 自営業・家業
2. 勤め (パート・アルバイトまたは非正規職員で、1か所に勤務)	5. その他の就業形態
3. 勤め (パート・アルバイトまたは非正規職員で、2か所以上に勤務)	6. 現在、就職しておらず、仕事を探している
	7. 現在、就職しておらず、仕事を探していない
	8. その他 (具体的に：)

- 3 -

問5－1 (2) 問5－1 (1) で「7. 現在、就職しておらず、仕事を探していない」と答えた方に伺います。その理由について教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 家事や育児に専念	3. おうちの人の介護や介助	5. 年金など
2. 学生	4. 病気療養	6. 家賃収入、株式運用など
7. その他 (具体的に：)		

問5－2 (1) 問3②で世帯員に「2. お母さん」と答えた方に伺います。
お母さんはお仕事をされていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 勤め (常勤・正規職員)	4. 自営業・家業
2. 勤め (パート・アルバイトまたは非正規職員で、1か所に勤務)	5. その他の就業形態
3. 勤め (パート・アルバイトまたは非正規職員で、2か所以上に勤務)	6. 現在、就職しておらず、仕事を探している
	7. 現在、就職しておらず、仕事を探していない
	8. その他 (具体的に：)

問5－2 (2) 問5－2 (1) で「7. 現在、就職しておらず、仕事を探していない」と答えた方に伺います。その理由について教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 家事や育児に専念	3. おうちの人の介護や介助	5. 年金など
2. 学生	4. 病気療養	6. 家賃収入、株式運用など
7. その他 (具体的に：)		

問6 お子さんのお母さんとお父さんの最後に通った学校を教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

お母さん	お父さん
1. 中学校卒業	1. 中学校卒業
2. 高等学校途中退学	2. 高等学校途中退学
3. 高等学校卒業	3. 高等学校卒業
4. 高専、短大、専門学校等卒業	4. 高専、短大、専門学校等卒業
5. 大学卒業	5. 大学卒業
6. 大学院修了	6. 大学院修了
7. その他の教育機関卒業	7. その他の教育機関卒業
8. 答えたくない	8. 答えたくない

- 4 -

-252-

問7 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、最も多い時間帯を選んでください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

※保護者の方には、おばあさん・おじいさん、おば・おじなどの親戚を含みます。
※自宅が仕事の場合は、お仕事が終わる時間帯を選んでください。

1. お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	4. お子さんが寝た後に帰ってくる
2. お子さんの夕食時間には家にいる	5. 保護者の方の帰宅時間が決まっていない
3. お子さんの寝る時間には家にいる	6. その他

問8 学校が終わってから、主にお子さんと過ごす時間が長いのはどなたですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. お母さん	5. 兄・姉	9. 学童保育(※)の指導員
2. お父さん	6. 弟・妹	10. ファミリーサポートセンター会員
3. おばあさん	7. おば、おじなど親戚	11. お子さんがひとりである
4. おじいさん	8. 近所の人	12. その他の人

※「学童保育」とは、「児童館」、「放課後等デイサービス」も含みます。

IV 世帯の経済状況についておたずねします。

問9 あなたの家族の経済状況についておたずねします。
(1) あなたの世帯で収入のある方の人数を教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 1人	3. 3人	5. 5人以上
2. 2人	4. 4人	

(2) あなたの世帯で主に生計を支えている方はどなたですか。
(お子さんから見た続柄で、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. お父さん	4. 兄・姉
2. お母さん	5. おじ・おばなど親戚
3. おじいさん、おばあさん	6. その他の人

(3) あなたの世帯では以下の手当や援助等を受けていますか。
(①～⑫の項目ついて、それぞれ1～3のあてはまる番号1つに○をつけてください。)

	受けている	受けたことが ある	受けたことが ない
①児童手当	1	2	3
②就学援助費(※1)	1	2	3
③児童扶養手当(※2)	1	2	3
④障がいや難病の手当(※3)	1	2	3
⑤生活保護	1	2	3
⑥公的年金(老齢年金)	1	2	3
⑦公的年金(遺族年金、障害年金)	1	2	3
⑧雇用保険(失業保険)	1	2	3
⑨養育費	1	2	3
⑩親・親族からの仕送り	1	2	3
⑪退職金	1	2	3
⑫その他、株式配当などの副収入	1	2	3

※1「就学援助費」とは、経済的な理由により、就学が困難と認められる児童生徒に対して、学用品費などを援助する制度です。

※2「児童扶養手当」とは、父又は母と生計を同じくしている、18歳到達後最初の年度末までの児童(児童に政令で定める程度の障害がある場合は20歳未満の児童)を監護しているひとり親家庭の母または父等に支給される手当です。15歳までを対象とした「児童手当」とは異なります。

※3 障がいや難病を対象とした手当には、特別児童扶養手当、障がい者福祉手当、重度障害者介助手当などがあります。

(4) 2016年 1年間のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

※収入には、働いて得た給料だけではなく、株式配当や副収入、公的な援助手当や養育費・仕送りも含めてお答えください。なお、収入の中から税金や社会保険料を差し引いた後の額でお答えください。

1. 50万円未満	12. 550～600万円未満	23. 1200～1300万円未満
2. 50～100万円未満	13. 600～650万円未満	24. 1300～1400万円未満
3. 100～150万円未満	14. 650～700万円未満	25. 1400～1500万円未満
4. 150～200万円未満	15. 700～750万円未満	26. 1500～1750万円未満
5. 200～250万円未満	16. 750～800万円未満	27. 1750～2000万円未満
6. 250～300万円未満	17. 800～850万円未満	28. 2000～2250万円未満
7. 300～350万円未満	18. 850～900万円未満	29. 2250～2500万円未満
8. 350～400万円未満	19. 900～950万円未満	30. 2500～2750万円未満
9. 400～450万円未満	20. 950～1000万円未満	31. 2750～3000万円未満
10. 450～500万円未満	21. 1000～1100万円未満	32. 3000万円以上
11. 500～550万円未満	22. 1100～1200万円未満	33. わからない
		34. 答えたくない

問 10 あなたの家計の収支状況についておたずねします。

(1) 2016年 1年間のあなたの家計の状況についておたずねします。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 貯蓄ができている
2. 赤字である
3. 赤字でもなく黒字でもない
4. わからない

(2) 問 10 (1) で「2. 赤字である」と答えた方におたずねします。赤字の場合はどのようにしていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください。)

1. 貯金・預金のとりにくし
2. 親や親族などからの仕送り
3. 金融機関等からの借入
4. その他

(3) お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 貯蓄している
2. 貯蓄をしたいが、できていない
3. 貯蓄をするつもりはない

問 11 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。
おおよね1年の間でお考えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 電気・ガス・水道などが止められた
 2. 医療機関を受診できなかった
 3. 国民健康保険料の支払いが滞った
 4. 国民年金の支払いが滞った
 5. 金融機関などに借金をした
 6. クレジットカードの利用が停止になった
 7. 電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞った
 8. 家賃や住宅ローンの支払いが滞った
 9. 冷暖房の使用を控えた
 10. 敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した
11. 上記1～10の項目には、どれもあてはまらない

V お子さんのことについておたずねします。

問 12 お子さんは、療育手帳や身体障害者手帳、精神障害者手帳、保健福祉手帳をお持ちですか。
(あてはまる番号 1 つに○をつけてください。)

1. 持っている
2. 持っていない

問 13 あなたの世界では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。
(おおよね1年の間でお考えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 子どもを医療機関に受診させることができた
2. 子どもの進路を変更した
3. 子どものための本や絵本が買えなかった
4. 子どもにおこづかいを渡すことができなかった
5. 子どもに新しく服や靴を買うことができなかった
6. 子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった
7. 子どもを習い事に通わせることができなかった
8. 子どもをクラブや部活に参加させられなかった
9. 子どもを学習塾に通わせることができなかった
10. 子どもの誕生日を祝えなかった
11. 子どもにお年玉をあげることができなかった
12. 子どもの学校行事などに参加することができなかった
13. 子どもも会、地域の行事（祭りなど）の活動に参加することができなかった
14. 家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった。
15. 上記 1～14 の項目には、どれにもあてはまらない

問 14 あなたとお子さんとの関係について、次の項目でもっとも近いものを選んでください。
(1) あなたは、お子さんを信頼していますか。

1. とても信頼している
2. 信頼している
3. あまり信頼していない
4. 信頼していない

(2) あなたは、お子さんとよく会話しますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. よくする
2. する
3. あまりしない
4. しない

(3) あなたがお子さんと一緒に何かしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。(平日、休日それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

平日	休日
1. 15分未満	1. 2時間未満
2. 15分～30分未満	2. 2時間～4時間未満
3. 30分～1時間未満	3. 4時間～6時間未満
4. 1時間～2時間未満	4. 6時間～8時間未満
5. 2時間～3時間未満	5. 8時間～10時間未満
6. 3時間～4時間未満	6. 10時間以上
7. 4時間以上	

-254

問20 次の①～⑦について、おうちの方を含め（子どもは除き）、あなたを支えてくれて、手伝ってくれている人はいいますか。

(あてはまる番号 (1~3) 1つに○をつけてください。)

	いる	いない	わから ない
①心配ごとや悩みごとを親身に聞いてくれる人	1	2	3
②あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	1	2	3
③趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	1	2	3
④子どもとの関りについて、適切な助言をしてくれる人	1	2	3
⑤子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人 (運動や文化活動)	1	2	3
⑥子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3
⑦留守を頼める人	1	2	3

問 21 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 配偶者・パートナー
2. 自分の親
3. 配偶者・パートナーの親
4. きょうだい・その他の親戚
5. 近隣に住む知人や友人
6. 近隣に住んでいない知人や友人
7. 職場関係者
8. 学校の先生やスクールカウンセラー
9. 公的機関や役所の相談員
10. 学童保育(※)の指導員
11. 地域の民生委員・児童委員
12. 民間の支援団体
13. 民間のカウンセラー・電話相談
14. 医療機関の医師や看護師
15. インターネットのサイトへの書き込み
16. その他
17. 相談できる相手はいない

※「学童保育」とは、「児童館」、「放課後等デイサービス」も含まれます。

問22 現在のあなたの心の状態についておたずねします。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

(1) 生活を楽しんでいますか。(仕事や家事、育児など)

1. とても楽しんでいる
2. 楽しんでいる
3. あまり楽しんでいる
4. 楽しんでいる
5. わからない

(2) 将来に対して希望を持っていますか。

1. 希望が持てる
2. 希望が持てるときもある、持てないときもある
3. 希望が持てない
4. わからない

- 10 -

(4) あなたは、お子さんの将来に期待していますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. とても期待している
2. 期待している
3. あまり期待していない
4. 期待していない

問 15 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 中学校
2. 高校
3. 大学・短期大学
4. 大学院
5. 専門学校・高等専門学校
6. 留学
7. 考えたことがない
8. わからない

問 16 あなたは、お子さんが問 15 の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 思う→問 18へ
2. 思わない→問 17へ
3. わからない→問 18へ

問17 問16で「2. 思わない」と答えた方におたずねします。

その理由について教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. お子さんの希望と異なる
2. お子さんの学力から考えて
3. 経済的な余裕がないから
4. その他（具体的に： _____）
5. 特に理由はない

問 18 お子さんの通学状況について、最も近いもの1つに○をつけてください。

1. ほぼ毎日通っている
2. 欠席は年間 30 日未満である
3. 欠席が年間 30 日以上、60 日未満である
4. 欠席が年間 60 日以上、1 年未満である
5. 欠席が年間 1 年以上続いている
6. わからない

VI あなたのことについておたずねします。

問19 初めて親となった年齢はいくつですか。(実子以外も含みます)

あてはまる番号1つに○をつけてください。）

1. 10代	4. 27～30歳	7. 40歳以上
2. 20～23歳	5. 31～34歳	8. その他
3. 24～26歳	6. 35～39歳	

-9-

(3) ストレスを発散できるものがありますか。

1. ある	3. ない
2. あるときもあれば、ないときもある	4. わからない

(4) あなたは、ご自分が幸せだと思いますか。

1. とても幸せだと思う	4. 幸せだと思わない
2. 幸せだと思う	5. わからない
3. あまり幸せだと思わない	

問 23 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。

(あてはまるものをすべてに○をつけてください)

1. 眠れない	10. まわりが気になる
2. よく頭が痛くなる	11. やる気が起きない
3. 歯が痛い	12. イライラする
4. 不安な気持ちになる	13. よく肩がこる
5. ものが見えづらい	14. よく腰が痛くなる
6. 耳が聞こえにくい	15. その他 (具体的に:)
7. よくおなかが痛くなる	16. 特に気になるところはない
8. よく風邪をひく	17. わからない
9. よく体がかゆくなる	

問 24 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. よくある	4. ない
2. 時々ある	5. わからない
3. ほとんどない	

問 25 あなたは、定期的に健康診断を受けていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください。)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 26 あなたご自身のことで、次の①～⑤について、おたずねします。

(あてはまる番号 1 ～ 4) 1 つに○をつけてください。)

	そう思う	まあそう思う	あまり思わない	思わない	わからない
①自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある	1	2	3	4	5
②はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける	1	2	3	4	5
③人の集まりの中では、うまくふるまえない	1	2	3	4	5
④私は自分から友だちを作るのがうまい	1	2	3	4	5
⑤人生で起きている問題の多くは自分では解決できない	1	2	3	4	5

問 27 あなたは、今の家に何年ぐらい住んでいますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください。)

1. 1 年未満	5. 4 ～ 5 年未満	9. 8 ～ 10 年未満
2. 1 ～ 2 年未満	6. 5 ～ 6 年未満	10. 10 年以上
3. 2 ～ 3 年未満	7. 6 ～ 7 年未満	11. わからない
4. 3 ～ 4 年未満	8. 7 ～ 8 年未満	12. 答えたくない

問 28 あなたの世帯の地域との関わりについておたずねします。

(①②の項目について、それぞれあてはまる番号 (1 ～ 4) 1 つに○をつけてください。)

	ある	少しある	全くない	答えたくない
①ご近所・近隣地域のひととの関わり・交流はありますか	1	2	3	4
②お住まいの地域の行事に参加したことがありますか (防災訓練や地域清掃等)	1	2	3	4

VII その他

問 29 あなたは、次の機関・団体、人を知っていますか？

(あてはまる番号 (1 ～ 3) 1 つに○をつけてください。)

	知っている	名称だけ知っている	知らない
①社会福祉協議会	1	2	3
②民生委員・児童委員	1	2	3
③家庭相談員	1	2	3
④「東金ひと・しごと・くらしサポートセンター」	1	2	3

問 30 毎日の生活・暮らしで感じていることを自由に書いてください。

質問は以上です。調査にご協力いただきありがとうございました。

東金市 子どもの生活に関する実態調査
子ども向け調査 調査票
(小学5年生、中学2年生対象)

この調査は、東金市の小学5年生と中学2年生のみなさんの家や学校での生活の様子、将来についての考えや希望などについておたずねするものです。
みなさんの家庭や学校には、難しい問題もたくさんあると思います。この調査は、こうした問題を解決につなげ、みなさんの将来を少しでも良くするために必要な取組みを決めることに使います。みなさんのこれからのために、ぜひアンケートに協力してください。

- ◆この調査票は、小学5年生、中学2年生のあなたが、必ず自分で書いてください。
 - ◆名前を書く必要はありません。テストではありませんので、ありのままを答えてください。
 - ◆答えたくない質問は答える必要はありません。
 - ◆あなたが書いた内容は、おうちの人や先生に見せる必要はありません。
 - ◆書き終えたら「子ども用」と書いてある封筒(きみどり色)に入れ封をしてください。
 - ◆保護者の記入済み調査票が入った保護者用封筒(もも色)と一緒に配布兼回収封筒(クリーム色またはオレンジ色)に入れて学校の先生に提出してください。
 - ◆平成30年2月9日(金)までの提出をお願いします。
- なお、調査票を学校、教育委員会、市町村、調査主体が開封することはありません。調査入力機関が全て行います。

調査の概要	
調査主体	特定非営利活動法人 ちば地域生活支援会
調査助成	独立行政法人福祉医療機構・社会福祉振興助成事業
実施協力	東金市、東金市教育委員会
調査入力・集計	株式会社 K I T A B A (北海道札幌市中央区)

この調査の問合せ先	
調査への回答にあたってご不明な点などございましたら、お問い合わせください。	
特定非営利活動法人 ちば地域生活支援会 (住所：千葉県東金市東金4 2 5 - 2)	
電話	0 4 7 5 - 5 3 - 3 6 3 0 (月曜日～金曜日／午前10～12時、午後2～4時)
FAX	0 4 7 5 - 5 3 - 3 6 3 1

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように答えてください。
(例) あなたの好きな色は何ですか。

1. あお 2. みどり 3. しろ 4. あお 5. その他の色

※お答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号1つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などと書いてありますので、それにしてください。

あなたについておたずねします。

問1 あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 小学5年生 2. 中学2年生

あなたのふだんの生活のことについておたずねします。

問2 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時刻に起きていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 起きている 3. あまり、起きていない
2. どちらかといえば、起きている 4. 起きていない

問3 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時に寝ていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 午後9時より前 4. 午後11時～11時59分 7. きまっていない
2. 午後9時～9時59分 5. 午前0時～0時59分
3. 午後10時～10時59分 6. 午前1時より後

問4 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時間くらい寝ていますか。(睡眠時間)

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 5時間59分より短い 4. 8時間～8時間59分 7. きまっていない
2. 6時間～6時間59分 5. 9時間～9時間59分
3. 7時間～7時間59分 6. 10時間より長い

問5 朝食 についておたずねします。

(1) あなたは、週 にどのくらい、朝 食 を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 毎日またはほとんど毎日	→ 問6へ
2. 週 に4～5回	
3. 週 に2～3回	
4. 週 に1回程度	
5. 食べない	

(2) 問5(1)で「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方におたずねします。

あなたが朝食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. 食べるものがない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	6. わからない

問6 夕食 についておたずねします。

(1) あなたは、週 にどのくらい、夕 食 を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 毎日またはほとんど毎日	→ 問7へ
2. 週 に4～5回	
3. 週 に2～3回	
4. 週 に1回程度	
5. 食べない	

(2) 問6(1)で「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方におたずねします。

あなたが夕食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. 食べるものがない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	6. わからない

問7 あなたは、学校がお休みの日に 昼 食 を食べますか (夏休みなどの長期のお休みの日も含みます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 毎回食べる	3. たまに食べる	5. 食べない
2. だいたい食べる	4. ほとんど食べない	

問8 あなたは、週 にどのくらい、お風呂(シャワーのみの場合も含む)に入りますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週 に2～3回	5. 入らない
2. 週 に4～5回	4. 週 に1回程度	

問9 あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週 に2～3回	5. 月に1～2回程度
2. 週 に4～5回	4. 週 に1回程度	6. 学期に数回程度
		7. 遅刻はしない

問10 あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。(①～⑩について教えてください。)

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. ほとんど毎日	2. 週 に4～5回	3. 週 に2～3回	4. 週 に1回程度	5. 月 1～2回程度	6. ほとんどない	7. まったくない
(回答の仕方の見本)			4	5	6	7
④おうちの手伝いをしていますか	1	2	3			
①おうちの大人のひとと一緒に朝食を食べていますか	1	2	3	4	5	6
②おうちの大人のひとと一緒に夕食を食べていますか	1	2	3	4	5	6
③おうちの大人のひとに朝、起こしてもらいますか	1	2	3	4	5	6
④おうちの手伝いをしていますか	1	2	3	4	5	6
⑤おうちの大人のひとに宿題(勉強)をみてもらいますか	1	2	3	4	5	6
⑥おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話しますか	1	2	3	4	5	6
⑦おうちの大人のひとと遊んだり、体を動かしたりしますか	1	2	3	4	5	6
⑧おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話をしますか	1	2	3	4	5	6
⑨おうちの大人のひとと文化活動(図書館や美術館、博物館等)に行きますか	1	2	3	4	5	6
⑩おうちの大人のひとと一緒に外出しますか(散歩する・買い物に出かける・外食をする等)	1	2	3	4	5	6

問11 あなたは、毎日の生活でどのようなときに楽しんでいますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. おうちのひとと一緒に過ごしているとき
2. ともだちと一緒に過ごしているとき
3. 学校生活やクラブ活動に参加しているとき
4. ひとりで過ごしているとき
5. 今、住んでいる地域の行事に参加しているとき
6. 塾や習い事で過ごしているとき
7. その他(1～6以外のとき)
8. 特に楽しいと思うときはない

問12 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、だれと過ごしますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. おうちの大人のひと(お母さん、お父さん、おばあちゃん、おじいちゃん等)
2. 兄弟・姉妹
3. おうちのひと以外の大人(近所の大人、塾や習い事の先生等)
4. 学校のおともだち
5. クラブ活動、部活の仲間
6. 学校以外のおともだち(地域のスポーツクラブ、近所のおともだち等)
7. その他()
8. ひとりでいる

問13 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、どこで過ごしますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 自分の家
2. おばあちゃん・おじいちゃんの家
3. ともだちの家
4. 塾
5. 習い事
6. 学校(クラブ活動・部活など)
7. 公園・広場
8. スーパーやショッピングモール
9. コンビニエンスストア
10. ゲームセンター
11. 図書館や公民館など公共の施設
12. 地域の居場所(学習支援の場など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所)
13. 学童保育(児童館、放課後等デイサービスなど)、児童いきいき放課後事業
14. その他

問14 あなたは、学校のある日、授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(塾などの時間も含みます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. まったくしない
2. 30分より少ない
3. 30分以上、1時間より少ない
4. 1時間以上、2時間より少ない
5. 2時間以上、3時間より少ない
6. 3時間以上
7. わからない

問15 放課後に学習塾や家庭教師、文化・スポーツ教室等に通っていますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 学習塾、進学塾
2. 家庭教師
3. 通信制の家庭学習教材
4. 英会話、そろばん等の習い事
5. 絵画、音楽、習字等の習い事
6. スポーツ
7. その他
8. 学習塾等、習い事はしていない

⇒ 1～7を選んだ方は、問16へ。

⇒ 8を選んだ方は、問17へ進んでください。

問16 放課後に塾などに通ったり、習い事をしたりしている人にお聞きします。学習塾等に通っていて、良かったと思うことはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 学校の授業がよくわかるようになった
2. 勉強がおもしろくなった
3. 学校の成績があがった
4. ともだちができた
5. 体力や技術、知識が身についた
6. その他
7. 特になし

⇒ 問18へ進んでください

問17 放課後に塾などに通ったり、習い事をしていない人にお聞きします。学習塾等に通っていない理由はなんですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 家の近くに通いたい
2. 自由な時間が少なくなる
3. 通いたい人が、親に月謝などの負担を
4. 学校の部活などで忙しい
5. 学習塾等へ通う必要性を感じない
6. 行きたくない
7. その他
8. 特に理由はない

問18 学校で勉強する内容について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- | | | |
|------------|--------------|----------|
| 1. よくわかる | 3. あまりわからない | 5. わからない |
| 2. だいたいわかる | 4. ほとんどわからない | |

問19 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。
(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. まったくしない | 5. 2時間以上、3時間より少ない |
| 2. 30分より少ない | 6. 3時間以上 |
| 3. 30分以上、1時間より少ない | 7. わからない |
| 4. 1時間以上、2時間より少ない | |

問20 おこづかいについておたずねします。

(1) あなたは、毎月、いくらのおこづかいをもらっていますか。
(時々もらう場合は、1か月のおおよその平均の金額に○をつけてください。
ただしお年玉はのぞきます。)

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- | | | |
|-----------------|------------------|-------------------|
| 1. 500円より少ない | 6. 2,500～2,999円 | 11. 5,000円～7,999円 |
| 2. 500～999円 | 7. 3,000～3,499円 | 12. 8,000円～9,999円 |
| 3. 1,000～1,499円 | 8. 3,500～3,999円 | 13. 10,000円以上 |
| 4. 1,500～1,999円 | 9. 4,000～4,499円 | 14. もらっていない |
| 5. 2,000～2,499円 | 10. 4,500～4,999円 | |

(2) 毎月のおこづかいは、たりていきますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- | | | |
|-------------------|----------------|----------|
| 1. 十分たりている | 3. ややたりていない | 5. わからない |
| 2. どちらかと言えば、たりている | 4. まったく、たりていない | |

(3) 毎月のおこづかいは、何に使っていますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- | | |
|---------------|------------------------------|
| 1. ともだちとの遊び | 6. 家庭用ゲーム機、ゲームソフト、携帯やスマホのアプリ |
| 2. 学校で使う必要なもの | 7. 貯金 |
| 3. 本 | 8. 音楽関連(CD、DVD、曲のダウンロード) |
| 4. マンガ | 9. その他 |
| 5. 食べ物や飲み物 | 10. わからない |

問21 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1. 本(学校の教科書やマンガはのぞく) | 9. けいたい電話 |
| 2. マンガ・雑誌 | 10. スマートフォン・タブレット機器(通話等) |
| 3. 子ども部屋(ひとり部屋や兄弟といっしょに使っている部屋など) | 11. 化粧品・アクセサリー |
| 4. インターネットにつながるパソコン | 12. 習い事などの道具(ピアノなど) |
| 5. 運動用具(ボール・ラケットなど) | 13. 自分で選んだ服 |
| 6. ゲーム機 | 14. キャラクターグッズ |
| 7. 自転車 | 15. その他 |
| 8. テレビ | 16. あてはまるものはない |

問22 今、あなたは、いやなことや悩んでいることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. おうちのこと | 6. 好きな人のこと |
| 2. 学校や勉強のこと | 7. 進学・進路のこと |
| 3. クラブ活動や部活のこと | 8. その他のこと |
| 4. 自分なこと(外見や体型など) | 9. いやなことや悩んでいることはない |
| 5. ともだちのこと | 10. わからない |

問23 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

- | | |
|-------------------|---|
| 1. 親 | 13. 塾や習い事の先生 |
| 2. 兄弟・姉妹 | 14. 学童保育(児童館、放課後等デイサービス等)の先生 |
| 3. おばあちゃん・おじいちゃん | 15. 子ども専用の電話相談 |
| 4. おじ、おばなど親戚 | 16. インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人 |
| 5. 学校のともだち | 17. 近所の人 |
| 6. 塾や習い事のともだち | 18. 地域の支援団体(学習支援の場など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所の人) |
| 7. その他のともだち | 19. その他の人 |
| 8. いとこ | 20. だれにも相談できない・したくない |
| 9. 担任の先生や他のクラスの先生 | 21. わからない |
| 10. 保健室の先生 | |
| 11. クラブ活動や部活の先生 | |
| 12. スクールカウンセラー | |

問24 あなたに次の①～⑧のことをしてくれる人はどれですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

	1. お母さん	2. お父さん	3. おおばあちゃん	4. 兄弟姉妹	5. その他の人	6. 誰でもない	7. わからない
(回答の仕方の見本)	○ 1	2	○ 3	○ 4	5	6	7
⑥ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる							8
① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる	1	2	3	4	5	6	7
② あなたが、勉強 やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる	1	2	3	4	5	6	7
③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる	1	2	3	4	5	6	7
④ ふだんから、あなたの気持ちをよくわかってくれている	1	2	3	4	5	6	7
⑤ いつでも、あなたのことを信じてくれる	1	2	3	4	5	6	7
⑥ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる	1	2	3	4	5	6	7
⑦ あなたの良いところも、良くないところもよくわかってくれている	1	2	3	4	5	6	7
⑧ あなたのことをとても大切にしてくれる	1	2	3	4	5	6	7

問25 あなたは、自分の 体 や気持ちで気になることはありませんか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 眠れない	9. よく体がかゆくなる
2. よく頭が痛くなる	10. まわりが気になる
3. 歯が痛い	11. やる気が起きない
4. 不安な気持ちになる	12. イライラする
5. ものが見えづらい	13. その他
6. 耳が聞こえにくい	14. 特に気になるところはない
7. よくおなかが痛くなる	15. わからない
8. よく風邪をひく	

あなたが、ふだん考えていることについておたずねします。

問26 あなたがふだん考えていることについて、次の(1)～(6)について教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

(1) 自分に自信がある

1. ある
2. どちらかというところ
3. どちらかというところ
4. ない

(2) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

1. できる
2. どちらかというところ
3. どちらかというところ
4. できない

(3) 大人は信用できる

1. そう思う
2. どちらかというところ
3. どちらかというところ
4. そう思わない

(4) 自分の将来の夢や目標を持っている

1. 持っている
2. どちらかというところ
3. どちらかというところ
4. 持っていない

(5) 将来のために、今、頑張りたいと思う

1. そう思う
2. どちらかというところ
3. どちらかというところ
4. そう思わない

(6) 将来、働きたいと思う

1. そう思う
2. どちらかというところ
3. どちらかというところ
4. そう思わない

問27 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 中学校
2. 高校
3. 大学・短期大学
4. 大学院
5. 専門学校(美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など)
6. 留学
7. 考えたことがない
8. わからない

あなたのことについて、おたずねします。

問28 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 男性 だんせい 2. 女性 じょせい 3. その他 4. わからない

問29 現在のあなたの身長と体重について、近いものをそれぞれえらんでください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

【身長】(しんちよう)

1. 124.9 cm 以下	せみち	い	か
2. 125 cm ~ 129.9 cm	せみち		
3. 130 cm ~ 134.9 cm	せみち		
4. 135 cm ~ 139.9 cm	せみち		
5. 140 cm ~ 144.9 cm	せみち		
6. 145 cm ~ 149.9 cm	せみち		
7. 150 cm ~ 154.9 cm	せみち		
8. 155 cm ~ 159.9 cm	せみち		せみち
9. 160 cm ~ 164.9 cm	せみち		せみち
10. 165 cm ~ 169.9 cm	せみち		せみち
11. 170 cm ~ 174.9 cm	せみち		せみち
12. 175 cm ~ 179.9 cm	せみち	179.9	せみち
13. 180 cm 以上	せみち	いじよう	
14. わからない	せみち		

【体重(たいじゆう)】

1. 24.9kg以下
2. 25 kg ~ 29.9 kg
3. 30 kg ~ 34.9 kg
4. 35 kg ~ 39.9 kg
5. 40 kg ~ 44.9 kg
6. 45 kg ~ 49.9 kg
7. 50 kg ~ 54.9 kg
8. 55 kg ~ 59.9 kg
9. 60 kg ~ 64.9 kg
10. 65 kg ~ 69.9 kg
11. 70 kg ~ 74.9 kg
12. 75 kg ~ 79.9 kg
13. 80 kg 以上
14. わからない

問30 あなたの自宅は、どの地域にありますか。(あてはまる地域の番号1つに○をつけてください)

1. 公平地区(くへい-ちいき) (求子、冢之子、道庭、松之郷)
こうせい-ちいき いまのこ づかのこ みちてい まつこのごう
2. 嶺南地区(れいなん-ちいき) 北之幸谷、堀上、川場、押堀
れいなん-ちいき きたのきやく たけがし かわば おしぼり
3. 嶺南地区(れいなん-ちいき) 北之幸谷、堀上、川場、押堀
れいなん-ちいき きたのきやく たけがし かわば おしぼり
4. 源地区(げん-ちいき) 油井、小野、山田、丘山台、滝、丹尾、李美の森等
げん-ちいき あぶらゐ せの の やまだ かしやだい たい にのみ りべい のもり
5. 東金地区(とうきん-ちいき) (東金、真上宿、南上宿、東岩崎、東新宿、田間、日吉台、八坂台)
とうきん-ちいき ひがしきん まみかどまり みなみかどまり とうがんざき とうしんしゆく たにま ひよしだい やちばだい
6. 豊成地区(ほうせい-ちいき) (土武射田、下武射田、土農田、菱沼、前之内、二又、栗中、関内、堀之内、宮、三浦名、御門、高倉、中野、殿廻)
ほうせい-ちいき とむせだ しもとむせだ とぬで しかのめ まえのうちに ふたまた くりなかつ かんない ほりのうち みや みうらの かみくら なかの のとのまわり
7. 正氣地区(しょうき-ちいき) (公祖、越前、関下、大沼、宿、荒生、薄島、家徳、幸田、北幸谷)
しょうき-ちいき こうそ えちぜん かんげ おほのま しのめ ありうま うすしま いけとく きよた きたのきやく
8. 福岡地区(ふくおか-ちいき) (小沼田、大沼田、一之袋、砂古瀬、依古瀬、下谷、真中島、上谷、西中)
ふくおか-ちいき こぬまた おほのま いちのふく さどろせ よころせ したや まなかじま うえや さいなかつ
9. 市外(いちがい) (学区外)
いちがい がくくわい

問31 あなたは、誰と一緒に生活していますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. お母さん おはあ
2. お父さん おとこ
3. おばあさん、おじいさん
4. おばさん、おじさん
5. 兄弟・姉妹 けいだい しまい
6. 親戚 しんせき
7. その他 その他
8. 施設職員・里親 しせつしやくいん きよおや

問32 毎日の生活・暮らし、家のこと、学校のこと、友達のことを感じていることを自由に書いてください。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

質問はこれで終わります。調査にご協力いただきありがとうございます。調査に「子ども用」と書いてある封筒に入れ、封をして、保護者に渡してください。

**平成２９年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業
「子どもの自立・自律と共生事業」報告書**

発行日 平成 30 年 3 月 31 日
発行者 特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎
〒283-0802 千葉県東金市東金 4 2 1 番地
Tel:0475-53-3630／Fax:0475-53-3631

※無断コピー及び転載を禁じます。コピー・転載・引用等される際には、必ずご連絡いただきますようお願いいたします。